SONY®

2-584-484-**13** (1)

NW-HD3

Network Walkman

Portable Hard Disk Audio Player



Atrac3plus

To go to the section you want to read, click the title in the PDF Bookmarks, the title in the “Table of Contents” of the Operating Instructions, or the page in the sentences.



SONY

取扱説明書

NW-HD3

Network Walkman

Portable Hard Disk Audio Player





⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

読みたいページにジャンプするには、PDFの「しおり」、取扱説明書の「目次」、または文中のページをクリックしてください。





安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために注意事項を必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

5~8ページの注意事項をお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

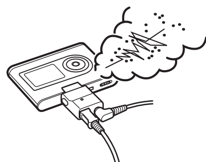
1年に一度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、変換アダプターやACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら、液漏れしたら



❶ ACパワーアダプターを使用中の場合は、コンセントから抜く。

❷ お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理を依頼する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号


火災


感電


破裂

行為を禁止する記号


禁止


分解禁止


接触禁止


ぬれ手禁止

行為を指示する記号


指示

目次

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

付属のソフトウェアについて

□ 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
□ 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
□ 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
□ 本機に付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
□ 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
□ 本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。
□ 付属のソフトウェアは、この取扱説明書の画面と一部違うところがある場合があります。
□ この取扱説明書は、お客様がWindowsの基本操作に習熟していることを前提にしています。
パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

- SonicStageおよびそのロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- OpenMG、ATRAC3plusおよびそれぞれのロゴはソニー株式会社の商標です。
- MicrosoftおよびWindows、Windows NT、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Macintoshは、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- PentiumはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- 本機はドルビー・ラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。
- CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000-2003 Gracenote. Gracenote CDDB® Client software, copyright 2000-2003 Gracenote. This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593, and other patents issued or pending.
  Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo, and the “Powered by Gracenote” logo are trademarks of Gracenote.





この製品はリチウムイオン充電式電池を内蔵しています。
漏液、**発熱**、**発火**、**破裂**などを避けるため、
必ず下記の注意事項をお守りください。

指定以外のACパワーアダプターを使わない。



充電するときおよび家庭用電源で使用するときは、必ず指定のACパワーアダプターと変換アダプターを使用してください。
破裂や電池の液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

火の中に入れない。



分解しない。





感電の原因となります。充電池の交換、内部の点検および修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。
ただし、廃棄時には42ページの手順に従って内蔵の充電池を取りはずし、リサイクルにご協力ください。

火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。



変換アダプターにコイン、キー、ネックレスなどの金属類を置かない。



変換アダプターの端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。

充電式電池が液漏れしたとき

充電式電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。

液が本体内部に残ることがあるため、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談下さい。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けて下さい。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談して下さい。







下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

運転中は使用しない。



- 自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

内部に水や異物を入れない。



水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、ACパワーアダプター、USBケーブルを変換アダプターから抜き、お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

海外で使用しない。



交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない。



感電の原因となります。



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり
周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない。

感電の原因となることがあります。



大音量で長時間続けて聞きすぎない。

耳を刺激するような大きな音で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。



はじめからボリュームを上げすぎない。

突然大きな音が出て、耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、ヘッドホンで聞くときにはご注意ください。



通電中のACパワーアダプターや製品に長時間ふれない。

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。



本体や変換アダプター、あるいはACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない。

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



使用上のご注意

本機の取り扱いについて

- 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない。本機の故障の原因となります。
- 以下のような場所に置かない。
  - 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ。
  - ダッシュボードや、炎天下で窓を閉め切った自動車内（とくに夏季）。
  - 磁石やスピーカー、テレビのすぐそばなど磁気を帯びたところ。
  - ホコリの多いところ。
  - ぐらついた台の上や傾いたところ。
  - 振動の多いところ。
  - 風呂場など、湿気の多いところ。
- ラジオやテレビの音に雑音が入るときは、本機の電源を切って、本機をラジオやテレビから離す。
- ヘッドホン使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用をやめて、医師またはお客様ご相談センターに相談する。
- 本機をお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。
  - 本機をズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。



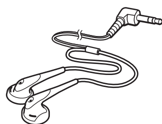
  - 本体にリモコン/ヘッドホンを巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えない。

ご注意

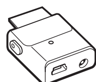
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合、および音楽データが破損または消去された場合、データの内容の補償については、ご容赦ください。

付属品を確かめる

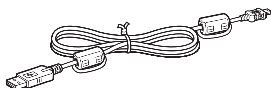
- ヘッドホン（1）



- 変換アダプター（1）
  （付属のUSB接続ケーブル、ACパワーアダプター接続用）



- 専用USB接続ケーブル（1）



- ACパワーアダプター（1）
- キャリングケース（1）
- CD-ROM（1）*
  （SonicStage（ソニックステージ）、取扱説明書のPDF）
- クイックスタートガイド（1）
- 保証書（1）
- ソニーご相談窓口のご案内（1）
- カスタマー登録のお願い（1）
- 安全のために（1）

* CD-ROMは、音楽CDプレーヤーでは再生しないでください。

推奨アクセサリーのご案内

本機用の推奨アクセサリーとして、下記のアクセサリーをご案内いたします。

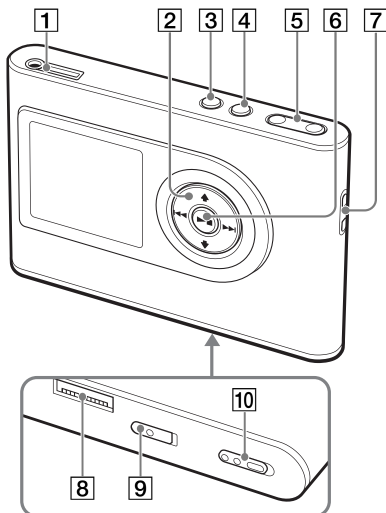
- 漢字表示対応3行ジョグダイヤルリモコンRM-MC40ELK
- 漢字表示対応スティック・コントローラー RM-MC35ELK

別売りリモコン使用時のご注意

- 推奨のリモコンに表示されていても、本機では、一部使えない機能があります。
- 詳細な使い方は、下記URLのPDFをご覧ください。
  - http://www.sony.jp/support/p-audio/contents/pdf/RM_MC40ELK.pdf
  - http://www.sony.jp/support/p-audio/contents/pdf/RM_MC35ELK.pdf
- 各アクセサリーについて詳しくは下記URLをご覧ください。
  - http://www.ecat.sony.co.jp/audio/walkmanacc/acc/index.cfm?PD=17150&KM=RM-MC40ELK
  - http://www.ecat.sony.co.jp/audio/walkmanacc/acc/index.cfm?PD=10824&KM=RM-MC35ELK

各部の名前

本体



1 ♫（ヘッドホン）/LINE OUT（ライン アウト）ジャック（☞22ページ）

2 ↑、↓、⏮、⏭ボタン（☞24、25ページ）

3 MENU（メニュー）ボタン（☞29、33ページ）

4 MODE（モード）ボタン（☞25ページ）

5 VOLUME（ボリューム）＋*/－ボタン（☞22ページ）

6 ►■（再生/停止）ボタン（☞22、24ページ）

7 ハンドストラップ穴**

8 変換アダプター接続部（☞11、19ページ）

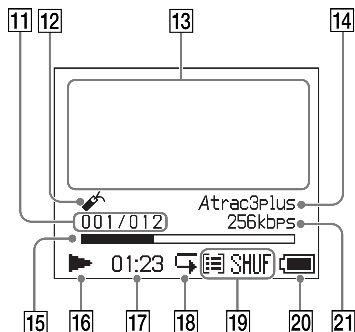
9 BUILT－IN BATTERY（ビルトイン バッテリー）スイッチ（☞11ページ）

10 HOLD（ホールド）スイッチ（☞23ページ）

* 凸点（突起）が付いています。操作の目印として使ってください。

** お手持ちのハンドストラップを付けられます。

本体表示窓



11 曲番表示（☞24ページ）

12 ブックマーク表示（☞28ページ）

13 文字情報表示部（☞24ページ）

14 Atrac3plus/MP3表示（☞23ページ）

15 再生位置表示（☞24ページ）

16 再生状態（☞24ページ）

17 再生時間（☞24ページ）

18 リピート表示（☞32ページ）

19 プレイモード表示（☞30ページ）、サウンド表示（音量調節時、☞34ページ）

20 電池残量表示（☞13ページ）

21 ビットレート表示（☞17ページ）

シリアルナンバーについて

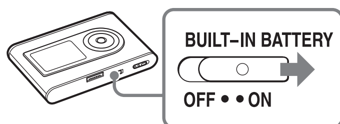
カスタマー登録の際に、本機のシリアルナンバーの入力が必要となります。シリアルナンバーは、本体裏面のラベルに印刷されています。

充電する

初めて使うときや電池が消耗したときは、本体内蔵の充電式電池（充電池）を充電してください。

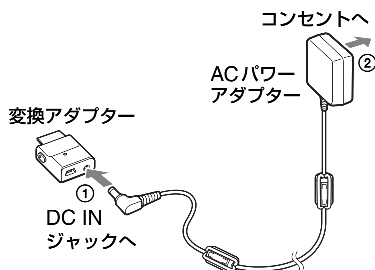
1 BUILT-IN BATTERY（ビルトイン バッテリー）スイッチをスライドしてON（オン）にする。

内蔵リチウムイオン充電式電池の保護機能が解除されて、通電が始まります。通常はONのままお使いください。



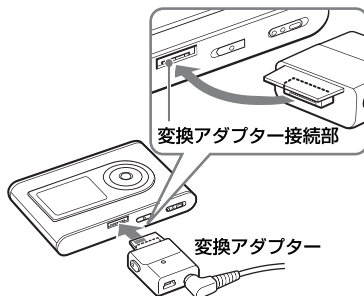
2 変換アダプターにACパワーアダプターを接続する。

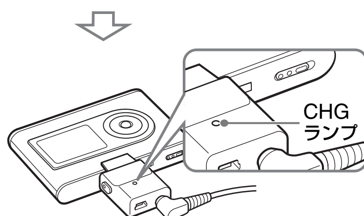
先にACパワーアダプターを変換アダプターに接続し、次にコンセントに差し込みます。



3 本体に変換アダプターを接続する。

イラストの矢印の向きに、「カチッ」と音がするまで変換アダプターを差し込みます。変換アダプターのCHG（チャージ）ランプが点灯して、本体の電源が入っている場合はバッテリー表示が変わり、充電が始まります。





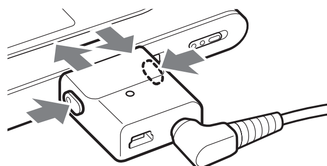
充電は約3時間*で終わり、CHGランプが消えて、本体の電源が入っている場合は表示窓に稲妻マークが点灯します。急いで充電したい場合は、表示窓が消えた状態でかつ、USB接続ケーブルを抜いた状態で充電すると、約1時間*で約80%充電されます。

* 室温で電池残量がない状態から充電したときの目安です。本体表示窓がついている場合は、約5時間で充電が完了します。電池残量や電池の使用状況により、充電時間は異なります。また、充電時の温度が低い場合は、充電時間は長くなります。

次のページにつづく ⟶

本体から変換アダプターを取り外すには

変換アダプターの両側にあるグレーのボタンを押しながら、変換アダプターを奥へ押し付けてから引き抜いてください。



USB接続で充電するには

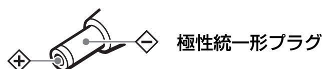
パソコンの電源を入れて、USBケーブルをパソコンに接続してください（☞18ページ）。CHGランプが点灯して、充電が始まります。約5時間で充電が完了します。なお、ACパワーアダプターが接続されているときは、ACパワーアダプターから充電されます。

ご注意

- USB接続で充電する場合、パソコンの電源が充分でないと、充電時間が長くなることがあります。
- USB接続で充電中に、パソコンの状態によっては、充電が停止します。
- 充電中に長時間パソコンとUSB接続していると、本体の温度上昇を抑えるために一時的に充電を停止することがあります。充電が停止した場合は、CHGランプが消えます。本体から変換アダプターを外し、しばらくたってから再び充電をしてください。
- 3か月以上お使いにならないときは、内蔵充電池の劣化を防ぐため、BUILT-IN BATTERYスイッチをOFFにしてください。
- 充電は周囲の温度が5 ～ 35℃の環境で行ってください。

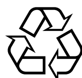
ACパワーアダプターについてのご注意

- 本機には、付属のACパワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA規格）をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使うと、故障の原因となることがあります。



- ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合はすみやかにコンセントから抜いてください。
- 充電には付属のACパワーアダプターと変換アダプターをお使いください。

リチウムイオン電池について



Li-ion

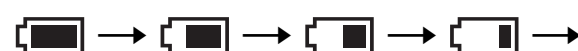
リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください（「本機を廃棄するときのご注意」☞43ページ）。

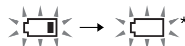
充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については有限責任中間法人JBRCのホームページを参照してください。

URL: http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

電池残量を確認する

表示窓に電池残量が表示されます。黒い目盛りが少なくなるほど、電池残量が減っています。



*

* 表示窓に「電池残量がありません」と表示され、「ピー」という音がします。

電池が消耗しきったら、充電池を充電してください。

ご注意

- 残量表示は目安です。1つの目盛りが4分の1を示しているわけではありません。
- 動作状況により、残量表示は増減します。

電池の使用可能時間（連続再生時）*

ATRAC3plus（アトラックスリープラス） 48kbps再生時で約30時間、MP3（エムピースリー） 128kbps再生時で約22時間です。再生時間は、使用状況によって変わります。

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

SonicStageをパソコンにインストールする

付属のCD-ROMを使って、パソコンにSonicStageをインストールします。

必要な環境を準備する

以下のハードウェアおよびソフトウェアが必要です。

パソコン	IBM PC/AT互換機	
	• CPU：Pentium Ⅱ プロセッサー 400MHz以上（Pentium III 450MHz以上推奨） • ハードディスクの空き容量：200MB以上（1.5GB以上推奨） （お使いのWindowsのバージョンや扱う音楽ファイルの量に比例して空き容量が必要です。） • RAM：64MB以上（128MB以上推奨）	
	その他	• CDドライブ（WDMによるデジタル再生機能に対応しているドライブ） • サウンドボード • USBポート（本機はHi-Speed USBに対応しています。）
OS	下記、日本語版標準インストールのみ Windows XP Media Center Edition 2005/Windows XP Media Center Edition 2004/Windows XP Professional/Windows XP Home Edition/Windows 2000 Professional/Windows Millennium Edition/Windows 98 Second Edition	
ディスプレイ	ハイカラー（16ビットカラー）以上、 800×600ドット以上（1024×768ドット以上推奨）	
その他	• CDDB、MUSIC NAVI、インターネット音楽配信サービス（EMD）を利用する場合は、インターネットへの接続環境 • WMAファイルを再生する場合は、Windows Media Player 7.0以上がインストールされた環境	

ご注意

- 以下のシステム環境での動作保証はいたしません。
  - －上記のOS以外のOS
  - －自作PC
  - －標準インストールされているOSから他のOSへのアップグレード環境
  - －マルチブート環境
  - －マルチモニタ環境
  - －Macintosh
- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- Windows XP/2000のNTFSフォーマットは、標準インストール（お買い上げ時）でのみ使えます。
- Windows 2000の場合は、Service Pack3以降を導入してください。
- すべてのパソコンに対して、システムサスペンド、スリープ（スタンバイ状態）、ハイバネーション（休止状態）などの動作を保証するものではありません。

インストールする

インストールの前に以下を確認します。

- 他のすべてのWindowsのプログラムを終了してください。特にウィルスチェックソフトは負荷が大きいため、必ず終了してください。
- 本機を使うときは、必ず付属のCD-ROMを使ってインストールしてください。
  – すでにOpenMG Jukebox、SonicStageがインストールされている場合は、上書きインストールされます。それまでにお使いいただいていた機器の機能は引き継がれ、新たに必要な機能が追加されます。
  – SonicStage Premium、SonicStage Simple Burner、MD Simple Burnerがインストールされている場合は、共存します。
  – 登録した音楽データは、そのまま引き継がれます。念のため、音楽データのバックアップをとることをおすすめします。バックアップについては、SonicStageのヘルプ「マイ ライブラリをバックアップする」をご覧ください。

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。

2 パソコンのCDドライブに付属のCD-ROMを入れる。

インストーラが起動し、インストールガイドが表示されます。

3 次の画面が表示された場合は、使用する地域または国を選択しクリックする。表示されなかった場合は、手順4に進む。



4 「SonicStageインストール」をクリックし、画面の指示に従って操作する。

「SonicStageインストール」



注意事項をよくお読みください。お使いのパソコンの環境によっては、インストールに20 ～ 30分かかることがあります。
インストールが終わったら、必ずパソコンを再起動してください。
インストールできないときは、☞47ページをご覧ください。

アンインストールするときのご注意

SonicStageをインストールすると、「OpenMG Secure Module」もインストールされます。「OpenMG Secure Module」は、他のソフトウェアでも使用していることがありますので削除しないでください。

パソコンに音楽データを取り込む

音楽CDの曲をSonicStageのマイ ライブラリに取り込んで、録音します。
音楽CD以外に、インターネットやパソコン上の音楽ファイルも取り込めます。
詳しくはSonicStageのヘルプをご覧ください（☞20ページ）。



1 「スタート」－「すべてのプログラム」*－「SonicStage」－「SonicStage」の順にクリックする。

SonicStageが起動します。
以前のバージョンのSonicStageをお使いになっていた場合、インストール後、初めてSonicStageを起動したときは、「SonicStageファイル一括変換ツール」**の画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。



* Windows ME/2000/98SEでは「プログラム」
** 本機に高速で音楽データを転送できるように、SonicStage2.0以前で録音した音楽ファイルの形式（OpenMG）を、本機に最適な形式（OpenMG Audio）に変換するツールです。

2 録音したい音楽CDを、パソコンのCDドライブに入れる。

SonicStage画面左上の取り込み元選択リストに、「CDを録音する」と表示されます。

3 **SonicStage画面の「音楽を取り込む」をクリックする。**

音楽CDの曲が一覧で表示されます。

CD情報を自動で取得できなかったときは、インターネットに接続してから画面右下の「CD情報取得」をクリックして、アルバム名やアーティスト名、タイトルなどを曲の一覧に取り込みます。

4 **必要に応じて、録音時のフォーマットとビットレートを変更する。**

SonicStage画面右側の「詳細設定」をクリックして、「CD録音フォーマットの設定」画面を表示します。
お買い上げ時の設定では、フォーマットはOpenMG Audio(ATRAC3plus)、ビットレートは64kbpsです。

5 **SonicStage画面の [→] をクリックする。**

録音が始まります。

録音を途中でやめるには

SonicStage画面の [■] をクリックする。

録音したくない曲があるときは

手順**5**の前に、SonicStage画面で、トラック番号をクリックして ☑ を外す。

ご注意

SonicStageで使える音楽CDは、COMPACT DISC DIGITAL AUDIO マークが入っているCDのみです。コピーコントロールCDでの動作保証はいたしません。

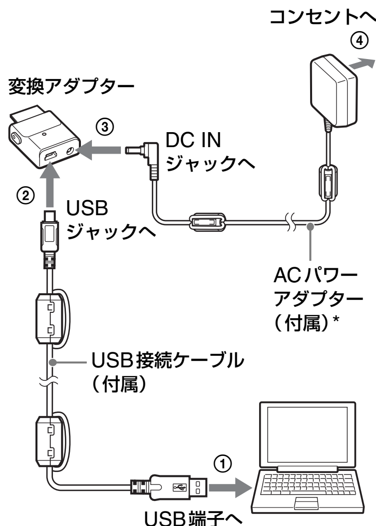
本機に音楽データを転送する

SonicStageのマイ ライブラリに録音した曲（音楽データ）を、ATRAC3plus/MP3のフォーマットで本機に転送します。転送する音楽データには、曲情報に入っているアーティスト名やアルバム名（オリジナルアルバム名）などの情報が含まれています。



1 **変換アダプターをパソコンと電源に接続する。**

下記イラストの①から④を接続します。USB接続ケーブル（付属）は、大きいほうの端子をパソコンのUSB端子に、小さいほうの端子を変換アダプターに差し込みます。



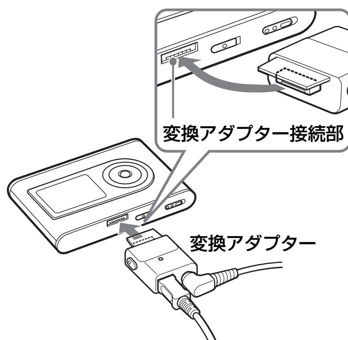
* 音楽データ転送時には、必ず変換アダプターにACパワーアダプターを接続してください。接続しないと転送できません。

2 **変換アダプターを本体に接続する。**

イラストの矢印の向きに「カチッ」と音がするまで、奥までしっかり本体に差し込みます。

本体表示窓に「PC Connect」と表示されます。

SonicStage画面に「自動転送の設定」画面が表示され、自動転送ができます。画面の指示に従って操作してください。詳しくはSonicStageのヘルプをご覧ください（☞20ページ）。



3 **SonicStage画面右上の「音楽を転送する」をクリックする。**

本機に音楽データを転送する画面が表示されます。

4 **SonicStage画面右上の転送先選択リストで「ATRAC Audio Device」を選ぶ。**

5 **SonicStage画面左側（マイ ライブラリ側）の一覧で、転送したい曲をクリックして選ぶ。**

複数の曲を一度に転送する場合は、「Ctrl」キーを押しながら曲を選びます。アルバム内の曲をまとめて転送する場合は、アルバムを選びます。

6 **SonicStage画面の [→] をクリックする。**

選んだ曲の転送が始まります。転送の状態は、SonicStage画面で確認できます。

転送を途中でやめるには

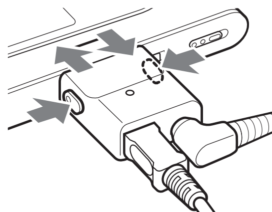
SonicStage画面の [■] をクリックする。

ご注意

転送中は、本機に振動や衝撃を加えないでください。また磁気を帯びたものを、近づけないでください。

本体から変換アダプターを取り外すには

変換アダプターの両側にあるグレーのボタンを押しながら、変換アダプターを奥へ押し付けてから引き抜いてください。



次のページにつづく

ご注意

- SonicStage画面でデータ転送中の表示が出ている間は、USB接続ケーブルや変換アダプターを抜かないでください。転送中のデータが壊れることがあります。
- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証はいたしません。
- 同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- パソコンに接続しているときは、本機での操作はできません。本機で再生中に、パソコンと接続した変換アダプターを本体に取り付けると、再生が停止し、本体表示窓に「PC Connect」と表示されます。
- 本機の空き容量が転送しようとした曲の容量よりも少ない場合、転送できません。
- 転送中は、パソコンのサスペンド、スリープ（スタンバイ状態）、ハイバネーション（休止状態）機能は働きません。
- SonicStageで入力した文字は、文字の種類や文字数によって、本機で表示できないことがあります。これは本機の制限によるものです。
- パソコンが起動した状態で本機をパソコンに接続したままにしたり、本機に大量のデータを転送した後は、本体が温かくなる場合がありますが故障ではありません。変換アダプターを抜いてしばらく放置しておくと常温に戻ります。

SonicStageのヘルプを使う

SonicStageのヘルプでは、SonicStageの使いかたについて詳しく説明しています。調べたいことがらを「音楽を取り込む」、「音楽を転送する」といった操作の目的から探したり、あらかじめ設定されている「キーワード」から探したりできます。また、ヘルプ内の説明を思いついた単語で「検索」することもできます。

1 SonicStageを起動した状態で、「ヘルプ」から「SonicStageのヘルプ」をクリックする。

ヘルプが表示されます。
ヘルプでは、本機を「ATRAC Audio Device」として説明しています。

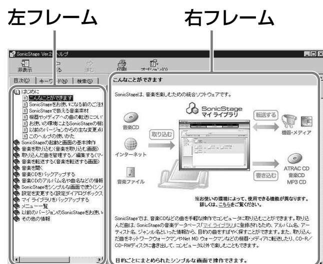
「SonicStageのヘルプ」



ご注意

- ヘルプでは、本機を「機器・メディア」と呼んでいます。
- 音楽配信サイトを利用するときは、プロバイダーが推奨する使用環境などの指示に従ってください。

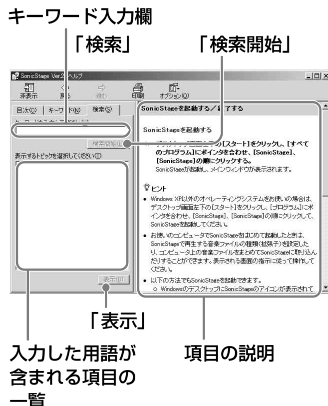
ヘルプの使いかたを見るには



1 左フレームの「 はじめに」をダブルクリックする。

2 「 このヘルプの使いかた」をクリックする。
右フレームに説明が表示されます。
必要に応じてスクロールしてください。
下線付きの用語をクリックすると、
その用語の説明にジャンプします。

思いついた用語を入力して調べるには



1 「検索」をクリックする。

2 キーワード入力欄に調べたい用語を入力する。

3 「検索開始」をクリックする。
入力した用語が含まれる項目の一覧が表示されます。

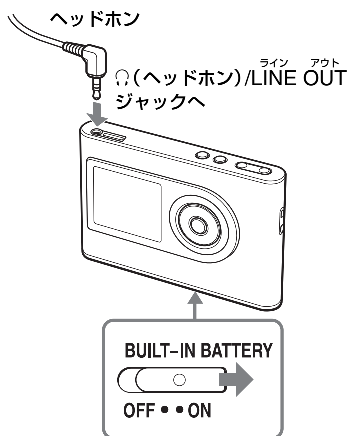
4 表示された項目から、内容を見たい項目をクリックする。

5 「表示」をクリックする。
選んだ項目の説明が表示されます。

再生する

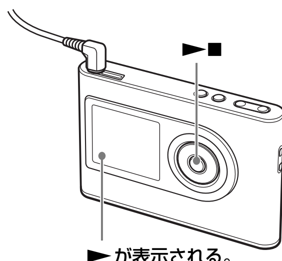
あらかじめ本機に音楽データを転送しておきます（☞18ページ）。
表示窓に表示されるメニューやメッセージなどの言語を変えることができます（☞33ページ）。

1 **BUILT-IN BATTERYスイッチをON（☞11ページ）にしてから、ヘッドホンを本体に接続する。**

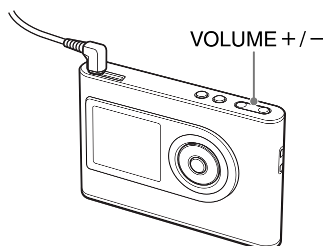


2 **►■を押す。**

表示窓の左下に►が表示され、再生が始まります。



3 **VOLUME（ボリューム）＋/－を押して音量を調節する。**



再生できる音楽データについて

本機では、ATRAC3plus（アトラックスリープラス）/MP3（エムピースリー）フォーマットの音楽データを再生できます。

ATRAC3plusは、Adaptive（アダプティブ） Transform（トランスフォーム） Acoustic（アコースティック） Coding3plus（コーディングスリープラス）の略で、高音質と高圧縮を両立させた音声圧縮技術です。ATRAC3plusは、音声データをCDの約20分の1（ビットレートが64kbpsのとき）に圧縮する音声圧縮技術です。また本機で再生できるMP3フォーマットは、次の通りです。

– MPEG-1 Audio Layer-3

– ビットレート 32～320kbps（CBR/VBR）

– サンプリング周波数 32/44.1/48kHz

ご注意

- 本機で再生できないMP3フォーマットの曲も、本機に転送されます。
- 本機で再生できないMP3フォーマットの曲を再生しようとすると、再生が止まります。その場合は、▶▶I を押して別の曲を選び、再生してください。
- 電池で使用しているときに、停止状態のまま約30秒間操作がないと、自動的に表示が消えます。また、曲名などがスクロール中のときは、スクロールが終了してから約30秒後に表示が消えます。
- ACパワーアダプターを接続しているときは、停止状態のまま約3分間操作がないと、自動的に表示が消えます。また、曲名などがスクロール中のときは、スクロールが終了してから約3分後に表示が消えます。
- 再生が始まらないときは、HOLD（ホールド）（誤操作防止）スイッチが解除されているのを確認してください（☞右記）。

誤操作を防ぐ（HOLD機能）

持ち運び中などに誤って操作ボタンが押され、誤操作するのを防ぎます。HOLD機能が働いているときは、操作しても表示窓に「HOLDがかかっています」と表示され、操作が無効になります。

1 **HOLDスイッチを矢印の方向にスライドする。**

HOLDを解除するには

HOLDスイッチを矢印と反対の方向にスライドする。

次のページにつづく ⟶

再生の基本操作一覧（再生、停止、頭出しなど）

こんなときは	本体操作
続きから再生する	►■を押す。前回再生を止めたところから始まる。
再生を止める	►■を押す。
今聞いている曲を頭出しする	⏮を1度押す。
前の曲、更に前の曲を頭出しする*	⏮を繰り返し押す。
次の曲を頭出しする*	⏭を1度押す。
更に先の曲を頭出しする*	⏭を繰り返し押す。
早戻しする	⏮を押したままにする。
早送りする	⏭を押したままにする。

* Play Mode（☞30ページ）がシャッフル再生、プレイユニットシャッフル再生の場合は、動きが異なります。

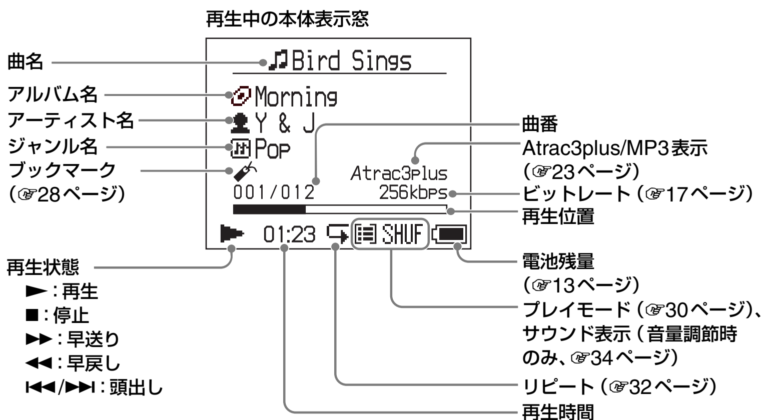
電源を切るには

表示が消えるまでMENUを押したままにする。

電源を入れるには、いずれかのボタンを押す。

表示窓の情報を確認する

再生中の表示窓で、音楽データや再生状態の詳しい情報を確認できます。



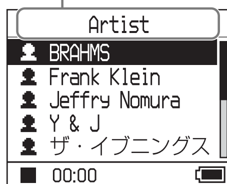
選んで再生する（アーティスト、アルバム、ジャンル、グループなど）

「Artist」や「Album」など（MODEと呼ぶ）で検索して、聞きたい曲を選べます。MODEには5種類あります。ここでは、「Artist」MODEを選んで再生するときの画面を使って説明します。
各MODEと表示される画面について詳しくは、☞27ページをご覧ください。
選んだ曲やアルバムなどで、リピート再生（☞32ページ）やシャッフル再生（☞30ページ）もできます。

1 MODEを繰り返し押して、MODEを選ぶ。

押すたびにMODEが以下のように切り換わります。
Artist（ ）→ Album（ ）* →
Genre（ ）→ Group（ ）**→
Others → Artistに戻る

MODEが表示される。



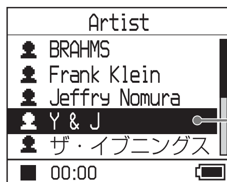
* SonicStageの曲情報に入っているアルバム名（オリジナルアルバム名）で表示されます。

**SonicStageの「アルバム」がグループとして認識されます。

2 ↑/↓で再生したい項目を選ぶ。

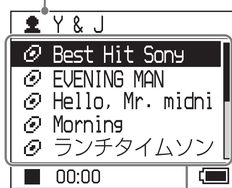
ここで再生を始めたいときは、►■を押します。
選んだアーティストの最初のアルバムの1曲目から順に再生し、その後に続く全アーティストのアルバムの全曲を再生します。

再生したいアーティスト



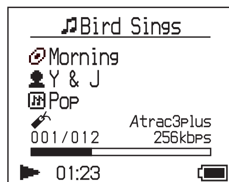
次のページにつづく

3 更に細かく検索するには、▶▶I を押す。



4 ⬆/⬇ で再生したい項目を選び、►■ を押す。

選んだ曲や項目（アルバム、アーティストなど）の1曲目から順に再生し、その後に続く全曲を再生します。



再生を始めた画面に戻るには

MODEを押したままにする。

MODEを選ぶ画面に戻るには

MODEを押す。

曲一覧の画面に戻るには

⬆または⬇を押す。

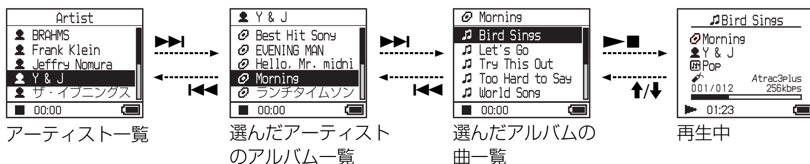
MODEを選ぶ画面や一覧画面で再生を止めるには

本体の►■を押したままにする。

MODE画面一覧

各MODEで表示される画面が異なります。
どの画面からでも、►■を押すと、再生が始まります。

Artist



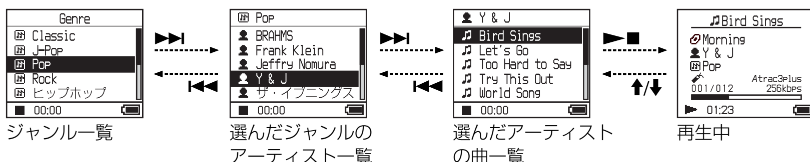
アーティスト一覧　選んだアーティストのアルバム一覧　選んだアルバムの曲一覧　再生中

Album：曲情報に入っているアルバム名（オリジナルアルバム名）で表示される。



アルバム一覧　選んだアルバムの曲一覧　再生中

Genre



ジャンル一覧　選んだジャンルのアーティスト一覧　選んだアーティストの曲一覧　再生中

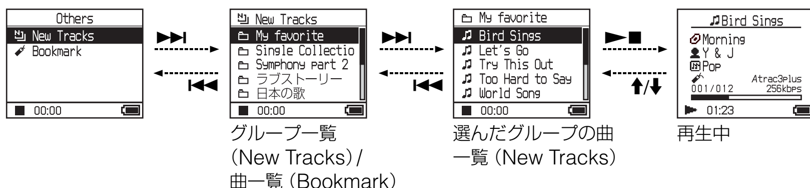
Group：SonicStageの「アルバム」のグループごとに再生する。



グループ一覧　選んだグループの曲一覧　再生中

Others

- 「New Tracks」: 新しく転送された（最近5回）グループに含まれる曲
- 「Bookmark」: ブックマークを付けた曲（設定方法は☞28ページ）



グループ一覧（New Tracks）/曲一覧（Bookmark）　選んだグループの曲一覧（New Tracks）　再生中

次のページにつづく

ブックマークを付ける（ブックマークトラック再生）

聞きたい曲にブックマークを付けることができます。ブックマークを付けた曲は、MODEで「Others」を選んで再生します（☞25ページ）。

1 ブックマークを付けたい曲の再生中に、⬆または⬇を押したままにする。

ブックマーク数（登録数/登録可能数）が表示され、🖋（ブックマーク）が点灯します。

2 複数の曲にブックマークを付けたいときは、手順1を繰り返す。

ブックマークは、100曲まで付けられます。

ブックマークを付けた曲を再生するには

1 MODEを繰り返し押して、「Others」MODEを選ぶ。

2 ⬆/⬇で「Bookmark」を選び、▶▶Iを押す。
ブックマークを付けたすべての曲を再生するときは、ここで▶■を押します。

3 ⬆/⬇で聞きたい曲を選び、▶■を押す。

ブックマークを消すには

ブックマークを消したい曲の再生中に、⬆または⬇を押したままにする。
「Off」と表示され、🖋が消えます。

ご注意

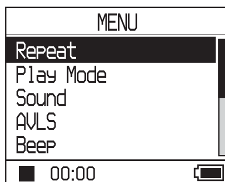
ブックマークを付けたり、消したりできるのは、再生中のみです。

再生方法（Play Mode）を変えて再生する

好きな曲だけを聞いたり、曲を順不同に聞くことができます。
再生方法（Play Mode）や再生範囲について詳しくは、☞30、31ページをご覧ください。
また、選んだ再生方法を繰り返して聞くこともできます（リピート再生、☞32ページ）。

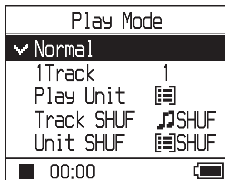
1 **MENUを押す。**

MENU画面が表示されます。



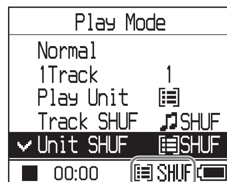
2 **↑/↓で「Play Mode」を選び、►■を押して決定する。**

Play Mode画面が表示されます。



3 **↑/↓で再生方法を選び、►■を押して決定する。**

初期設定は「Normal」（通常再生）です。



再生方法が表示される。

4 **MENUを2回押して再生画面を表示し、►■を押す。**

選んだ再生方法で再生が始まります。

操作を途中でやめるには

MENUを押すと、MENU画面に戻る。
MODEを押したままにする、または MENU画面でMENUを押すと、手順**1**の前の画面に戻る。

通常再生に戻るには

手順**3**で、「Normal」を選ぶ。

MODEを選ぶ画面に戻るには

MODEを押す。

ご注意

Play Modeを変えると、プレイユニット（☞31ページ）は全曲に変更されます。
プレイユニットの再生をしたい場合は、一覧画面から項目（アーティスト、アルバム、曲など）を選んでください。

次のページにつづく ⟶

Play Mode項目一覧

再生するMODE（☞25ページ）によって、曲の再生範囲（プレイユニット、☞31ページ）が変わります。

本体 / 本体のアイコン	説明
Normal/表示なし （通常再生）	選んだ曲の後に続くすべての曲を、順に1回再生します。 曲以外（アルバムやアーティストなど）を選んだときは、最初の曲やアルバムの1曲目から順に1回再生します。
1Track/1 （1曲再生）	選んだ曲だけを、1回再生します。 曲以外（アルバムやアーティストなど）を選んだときは、最初の曲だけを、1回再生します。
Play Unit/ （プレイユニット再生）	プレイユニット内の全曲を、順に1回再生します。
Track SHUF/ SHUF （シャッフル再生）	プレイユニット内の全曲を、順不同に1回再生します。 MODEを選ぶ画面を表示しているときに選ぶと、本機内の全曲を順不同に1回再生します。
Unit SHUF/ SHUF （プレイユニットシャッフル再生）	プレイユニット内の全曲を、曲やアルバム、アーティストなどの項目ごとに順不同に1回再生します。

プレイユニットとは

再生を始めたときに一覧に属しているすべての項目（アーティスト、アルバム、曲など）を、「プレイユニット」と呼びます。
Play Modeを変えると、プレイユニットは全曲に変更されます。

プレイユニットの再生について

例：「Artist」MODEを選んだときのプレイユニット

アーティスト一覧	アルバム一覧	曲一覧
全アーティストの全曲がプレイユニットになる。	アーティスト「Y & J」の全アルバムの全曲がプレイユニットになる。	アーティスト「Y & J」のアルバム「Morning」の全曲がプレイユニットになる。
プレイユニット再生をすると		
• 「Y & J」の曲から順に再生し、「Jeffery Nomura」の全曲を再生して止まる。	• アルバム「Morning」の曲を順に再生し、「Hello, Mr. midnight」の全曲を再生して止まる。	• アルバム「Morning」の曲を順に全曲再生して止まる。
プレイユニットシャッフル再生をすると		
• アーティストごとに順不同に1回再生する。アーティスト内のアルバムや曲は順に再生する。	• アルバムごとに順不同に1回再生する。アルバム内の曲は順に再生する。	• アルバム「Morning」の曲を順不同に1回再生する。
シャッフル再生をすると		
• 本機内の全曲を順不同に再生する。	• アーティスト「Y&J」の全アルバムの全曲を順不同に再生する。	• アルバム「Morning」の曲を順不同に1回再生する。

シャッフル再生について

例えば、本機内の全曲をシャッフル再生するには、「Artist」MODEなど「Others」以外のMODEを表示して、Play Modeで「Track SHUF」（シャッフル再生）を選んで再生します（☞29ページ）。本機内の全曲を順不同に1回再生して止まります。



アーティスト一覧の場合は、全アーティストの全曲を順不同に再生して止まる。

次のページにつづく

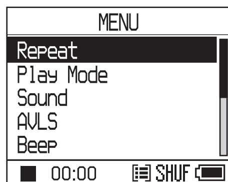
繰り返し聞く（Repeat）

☞29ページで選んだ再生方法を繰り返して再生します。

1 **繰り返したい再生方法を選ぶ（☞29ページ）。**

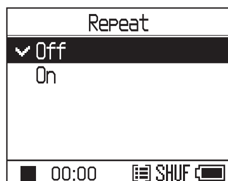
2 **MENUを押す。**

MENU画面が表示されます。

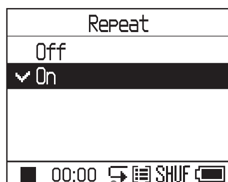


3 **↑/↓で「Repeat（リピート）」を選び、►■を押して決定する。**

Repeat画面が表示されます。



4 **↓で「On（オン）」を選び、►■を押して決定する。**



が表示される。

5 **MENUを2回押して再生画面を表示し、►■を押す。**

選んだ再生方法が繰り返されます。

全曲を繰り返し聞くには

例えば「Artist」MODEなど、「Others」以外のいずれかのMODEを選んでから、手順**1**～**5**を行う。

操作を途中でやめるには

MENUを押すと、MENU画面に戻る。
MODEを押したままにする、またはMENU画面でMENUを押すと、手順**2**の前の画面に戻る。

通常再生に戻るには

手順**4**のRepeat画面で「Off（オフ）」を選ぶ。

MODEを選ぶ画面に戻るには

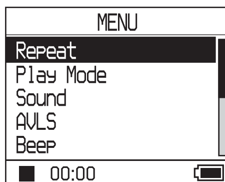
MODEを押す。

音質や表示の設定を変える

設定項目と内容について詳しくは、☞34ページをご覧ください。

1 **MENUを押す。**

MENU画面が表示されます。



2 **↑/↓で項目を選び、►■を押して決定する。**

選んだ項目の画面が表示されます。

3 **↑/↓で設定内容を選び、►■を押して決定する。**

音質を変えるときは（Sound）

手順**3**の後、↑/↓で設定内容（☞34ページ）を選び、►■を押して決定する。
「Custom1」、「Custom2」、「Custom3」または「Custom4」を選んだときは、音域ごとに更に細かく設定できます（☞36ページ）。

前の画面に戻るには

⏮を押す。

操作を途中でやめるには

MENUを押すと、MENU画面に戻る。
MODEを押したままにする、またはMENU画面でMENUを押すと、手順**1**の前の画面に戻る。

MODEを選ぶ画面に戻るには

MODEを押す。

ご注意

「V-SUR」または「Sound EQ」設定時は、MP3フォーマットの曲を再生しても、音質は変わりません。MP3フォーマットの曲の音質を変えたい時は、「Digital Sound Preset」を選んで設定してください。

次のページにつづく

設定項目一覧

項目	設定内容（●：お買い上げ時の設定）		
Sound （音質設定）	● Off		通常の音質になります。
	V-SUR [1,2]	Studio （VS）	録音スタジオで聞いているような音質になります。
		Live （VL）	ライブハウスで聞いているような音質になります。
		Club （VC）	クラブで聞いているような音質になります。
		Arena （VA）	アリーナ会場で聞いているような音質になります。
	Sound EQ [1,2]	Heavy （SH）	低域と高域を最も強調した迫力のある音質になります。
		Pops （SP）	中域を強調したヴォーカルなどに適した音質になります。
		Jazz （SJ）	低域と高域を強調したメリハリのある音質になります。
		Unique （SU）	低域と高域を強調し中域もある程度強調した音質になります。
		Custom1 （S1）	自分で設定した音質になります。音域ごとに更に細かく設定できます（設定方法は☞36ページ）。
		Custom2 （S2）	自分で設定した音質になります。音域ごとに更に細かく設定できます（設定方法は☞36ページ）。
	Digital Sound Preset [2]	Custom3 （S3）	高音や低音を強調して、あらかじめお好みの音質に設定できます（設定方法は☞37ページ）。
		Custom4 （S4）	高音や低音を強調して、あらかじめお好みの音質に設定できます（設定方法は☞37ページ）。
AVLS [3] （快適音量）	On		音もれや耳への圧迫感軽減のため、一定以上に音量が上がりません。
	● Off		音量の制限無しで、操作に合わせて音量が変わります。
Beep （確認音）	● On		操作時の確認音（ピッなど）が鳴ります。
	Off		確認音は鳴りません。

1) ATRAC3plusフォーマットの曲を再生している時に、設定できます。MP3フォーマットの曲を再生している時には、音質は変わりません。

2) 設定内容が表示窓に（ ）内の文字で表示されます（☞24ページ）。

3) Automatic Volume Limiter Systemの略です。

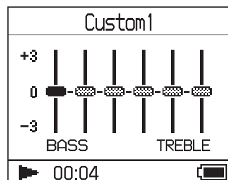
項目	設定内容（●：お買い上げ時の設定）	
Audio Out（外部出力音声）	● Headphone	付属のヘッドホンを接続しているときに選びます。
	Line Out	スピーカーなどの他機を音声コードで接続しているときに選びます（☞39ページ）。
Contrast（本体表示窓明暗調整）	● 右から2つ目	適度な明るさで表示します。本体の色が黒の場合は、お買い上げ時の設定は左から2つ目です。
	−〜+	−に設定すると薄く、+に設定すると濃く表示します。
Backlight（表示窓のランプ点灯）	● Auto	操作直後に約10秒間点灯します。また、表示をスクロールしている間点灯します。
	10秒	操作直後に約10秒間点灯します。また、表示がスクロール中でも、10秒を過ぎると消灯します。
	30秒	操作直後に約30秒間点灯します。また、表示がスクロール中でも、30秒を過ぎると消灯します。
	Off	表示が消灯し、電池の消耗を極力抑えます。
Reverse Display（反転表示）	● Positive	文字やアイコンは黒、背景色は白で表示します。
	Negative	文字やアイコンは白、背景色は黒で表示します。
Language（表示言語）	● 日本語	日本語で表示します。
	English	英語で表示します。
	Français	フランス語で表示します。
	Deutsch	ドイツ語で表示します。
	Italiano	イタリア語で表示します。
	Español	スペイン語で表示します。

次のページにつづく ⟶

好みの音質に細かく設定する（Sound EQ - Custom）

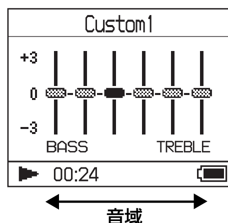
表示窓を見ながら、音域ごとに更に細かく音質を調節できます。

1 「音質や表示の設定を変える」の手順2（☞33ページ）で「Sound」を選んだ後、「Sound EQ」の「Custom1」または「Custom2」を選ぶ。



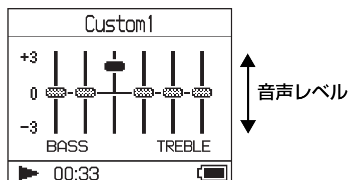
2 ⏮/⏭で音域を選ぶ。

6つの音域があります。



3 ⬆/⬇で音声レベルを選ぶ。

7段階の中から選びます。



4 手順2と3を繰り返して残りの音域の設定を行う。

5 ►■を押して決定する。

MENU画面に戻ります。

操作を途中でやめるには

MENUを押すと、MENU画面に戻る。
MODEを押したままにする、または MENU画面でMENUを押すと、手順1の前の画面に戻る。

MODEを選ぶ画面に戻るには

MODEを押す。

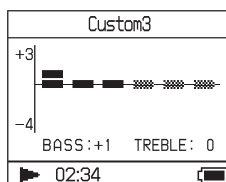
ご注意

- 設定によって、音量を大きくしたときに音が歪む場合は、音量を下げてください。
- 「Custom1」または「Custom2」を選んだときとそれ以外の音質で音量が変わったように感じる場合は、音量を調節してください。

高音や低音を強調する（デジタルサウンドプリセット）

高音や低音を強調して、あらかじめお好みの音質を設定できます。表示窓を見ながら音質を調節し、記憶させることができます。

1 **「音質や表示の設定を変える」の手順2（☞33ページ）で「Sound」を選んだ後、「Digital Sound Preset」（デジタル サウンド プリセット）の「Custom3」または「Custom4」を選ぶ。**

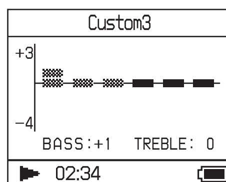


お買い上げ時の設定

音質	Custom3（S3）	Custom4（S4）	Off（通常の音質）
Bass（低音）	＋1	＋3	±0
Treble（高音）	±0	±0	±0

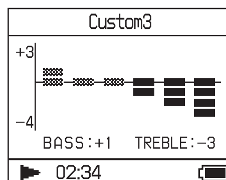
2 **⏮/⏭で「Treble」または「Bass」を選ぶ。**

Treble（高音）とBass（低音）の音質を調整できます。



3 **↑/↓で音声レベルを選ぶ。**

8段階の中から選びます。



音質	数値の設定
Bass（低音）	−4～＋3
Treble（高音）	−4～＋3

4 **►■を押して決定する。**

MENU画面に戻ります。

操作を途中でやめるには

MENUを押すと、MENU画面に戻る。
MODEを押したままにする、または MENU画面でMENUを押すと、手順**1**の前の画面に戻る。

MODEを選ぶ画面に戻るには

MODEを押す。

ご注意

- 設定するTreble（高音）とBass（低音）の値は、画面の左右両端に表示されます。中央の4つの値は、両端の値に連動して自動的に設定されます。選んで設定することはできません。
- 設定によって、音量を大きくしたときに音が歪む場合は、音量を下げてください。
- 「Custom3」または「Custom4」を選んだときとそれ以外の音質で音量が変わったように感じる場合は、音量を調節してください。

転送した曲をパソコンに戻す

音楽データをSonicStageのマイ ライブラリに戻します。



1 **本機をパソコンに接続する（「本機に音楽データを転送する」の手順1と2、****☞18ページ）****。**

2 **SonicStage画面右上の「音楽を転送する」をクリックする。**

SonicStageに音楽データを転送する画面が表示されます。

3 **SonicStage画面右上の転送元選択リストで「ATRAC Audio Device」を選ぶ。**

4 **SonicStage画面右側（本機）の一覧で、マイ ライブラリに戻したい曲をクリックして選ぶ。**

複数の曲を一度に転送する場合は、「Ctrl」キーを押しながら曲を選びます。アルバム内の曲をまとめて転送する場合は、アルバムを選びます。

5 **SonicStage画面の をクリックする。**

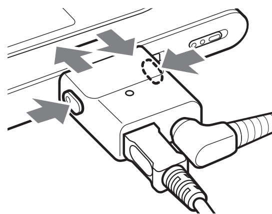
手順**4**で選んだ曲の転送が始まります。転送の状態は、SonicStage画面で確認できます。

転送を途中でやめるには

SonicStage画面の をクリックする。

本体から変換アダプターを取り外すには

変換アダプターの両側にあるグレーのボタンを押しながら、変換アダプターを奥へ押し付けてから引き抜いてください。

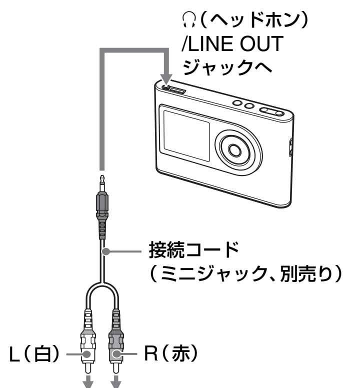


ご注意

- パソコンから本機に転送した曲は、同じパソコンにしか戻すことができません。
- SonicStage画面でデータ転送中の表示が出ている間は、USB接続ケーブルや変換アダプターを抜かないでください。転送中のデータが壊れることがあります。

他の機器に接続する

他のステレオ機器に接続して曲を聞いたり、本機で再生した曲をMDやテープに録音できます。接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。
接続する機器の電源を必ず切ってから、以下のように接続、設定してください。



接続した機器に音声が出力されるように、MENU画面で「Audio Out」の設定を必ず変更してください。「Audio Out」の設定は以下のとおりです。設定方法は、☞33ページをご覧ください。

接続機器	設定
ヘッドホン	Headphone
接続コードで接続した機器	Line Out

他機に接続したときは、「Line Out」に設定します。「Line Out」に設定すると、音量調節と「Sound」の設定はできないだけでなく、働きません。

ご注意

- 付属のヘッドホンを接続しているときは、🎧（ヘッドホン）/LINE OUT出力の設定「Audio Out」を「Line Out」に切り換えないでください。音量調節ができなくなり、ひずんだ大きな音が出ます。
- 曲を聞く前に、接続した機器の音量を下げてください。音がひずんだり、思わぬ大音量が出てスピーカーが破損するおそれがあります。

音楽以外のデータを保存する

Windowsのエクスプローラを使って、パソコンのハードディスク内のデータを、本機の内蔵ハードディスクに転送できます。Windowsのエクスプローラのリムーバブルディスクとして、本機の内蔵ハードディスクが表示されます。

ご注意

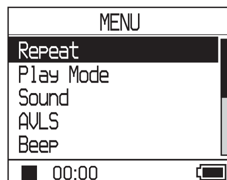
- Windowsのエクスプローラを使って本機内蔵ハードディスクを操作している間、SonicStageは使わないでください。
- エクスプローラを使ってWAVやMP3などのファイルを転送しても本機では再生できません。SonicStageを使って、転送してください。
- データへのアクセス中は、USB接続ケーブルを抜かないでください。データを転送中にUSB接続ケーブルを抜くと、転送中のデータが壊れることがあります。
- パソコンで本機のハードディスクを初期化しないでください。

お買い上げ時の設定に戻す

設定項目の内容をお買い上げ時の設定に戻します。

1 停止中に、MENUを押す。

MENU画面が表示されます。



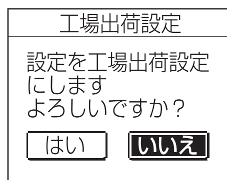
2 ↑/↓で「Format（フォーマット）」を選び、►■を押して決定する。

Format画面が表示されます。



3 「工場出荷設定」が選ばれているので、►■を押して決定する。

工場出荷設定画面が表示されます。



4 ⏮ で「はい」を選び、►■を押して決定する。

「設定を工場出荷設定にしました」と表示され、Format画面に戻ります。

操作を途中でやめるには

手順**4**で「いいえ」を選び、►■を押すと、Format画面に戻る。
MENUを押すと、MENU画面に戻る。
MODEを押したままにする、または
MENU画面でMENUを押すと、手順**1**の前の画面に戻る。

MODEを選ぶ画面に戻るには

MODEを押す。

ご注意

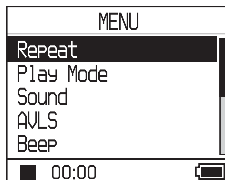
再生中は、お買い上げ時の設定に戻すことはできません。

初期化する

内蔵ハードディスクを初期化できます。初期化すると、記録された音楽やデータはすべて消去されます。初期化する前に内容を確認してください。
本機を転送元のパソコンに接続すると、初期化により消した曲は、SonicStageで曲を戻したとみなされ、残りの転送回数が増えます。

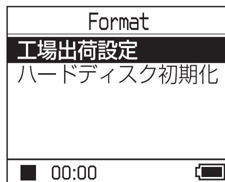
1 停止中に、MENUを押す。

MENU画面が表示されます。



2 ⬆/⬇で「Format」を選び、►■を押して決定する。

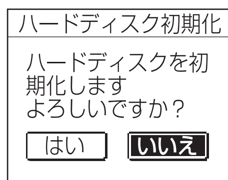
Format画面が表示されます。



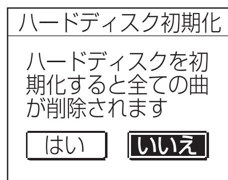
次のページにつづく

3 ➡で「ハードディスク初期化」を選び、►■を押して決定する。

ハードディスク初期化画面が表示されます。



4 ⏮ で「はい」を選び、►■を押して決定する。



5 ⏮ で「はい」を選び、►■を押して決定する。

「ハードディスクを初期化しました」と表示され、Format画面に戻ります。

操作を途中でやめるには

手順**5**で「いいえ」を選び、►■を押すと、Format画面に戻る。
MENUを押すと、MENU画面に戻る。
MODEを押したままにする、またはMENU画面でMENUを押すと、手順**1**の前の画面に戻る。

MODEを選ぶ画面に戻るには

MODEを押す。

ご注意

- パソコンで本機のハードディスクを初期化しないでください。
- 再生中は初期化できません。
- 初期化すると、音楽データや音楽以外のファイルがすべて削除されます。

本機を廃棄するときのご注意

環境保護のため、内蔵の充電式電池を取り出してください。

⚠警告

本機を廃棄するとき以外は、絶対にネジを外さないでください。

⚠注意

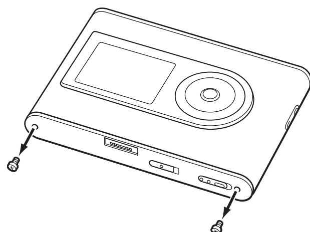
内蔵充電式電池は、完全に消耗した状態を確認してから取り出してください。

内部の金属部分（取り付け板など）の取り扱いには充分ご注意ください。

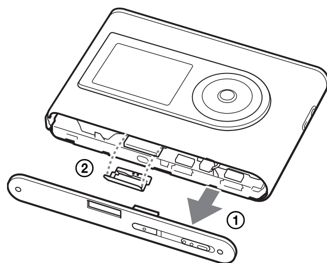
内蔵充電式電池の取り出しかた

1 本体底面のBUILT-IN BATTERYスイッチをOFFにする。

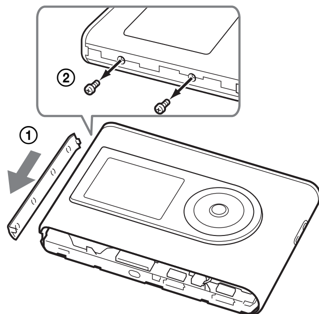
2 本体底面にある2本のネジを外す。



3 本体底面のプレート（①）を矢印の方向に外し、USBブラケット（②）をピンセットなどを使って外す。

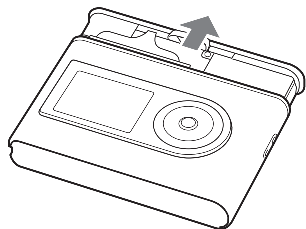


4 本体側面のプレート（①）を矢印の方向にスライドさせて外し、本体側面にある2本のネジ（②）を外す。

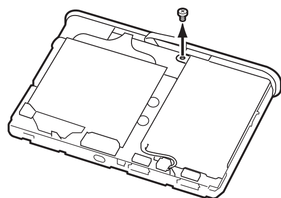


次のページにつづく

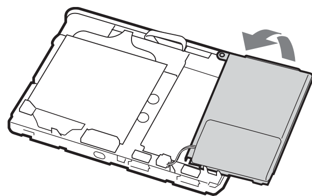
5　本体の中身を矢印の方向に引き出す。



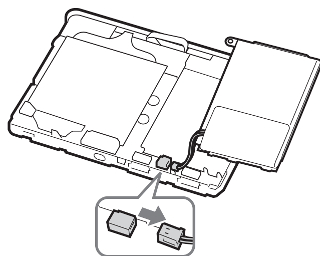
6　電池の横にある1本のネジを外す。



7　電池を本体から外す。



8　本体と電池を接続しているコードを引き抜き、接続部を外して電池を取り出す。



故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前に、もう1度以下の流れにしたがって、問題をチェックしてください。

1 本体底面のBUILT-IN BATTERYスイッチをOFFにして、再びONにする。
OFFにしても音楽データは失われません。

2 「故障かな？と思ったら」の各項目で調べる。

3 「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」のホームページ
http://www.sony.co.jp/support-pa/で調べる。

4 手順**1**～**3**を確認しても問題が解決しないときは、お客様ご相談センター（☞裏表紙）またはお買い上げ店に相談する。

電源

症状	原因 / 処置
CHGランプが点灯しない。	➔ 変換アダプターの充電用端子が汚れている。乾いた柔らかい布などで充電用端子を拭く。 ➔ 変換アダプターが正しく接続されていない。変換アダプターを「カチッ」と音がするまで、本機の接続部の奥までしっかり差し込み、CHGランプが点灯するのを確認する（☞11ページ）。
CHGランプが点滅する。	➔ 充電可能温度範囲（5～35℃）外で充電しようとした。5～35℃の温度範囲で充電する。
電池の持続時間が短い。	➔ 5℃以下の環境で使用している。電池の特性によるもので故障ではありません。 ➔ 長期間使用していなかった。何回か充放電を行うと、電池性能が回復する。 ➔ 充電式電池の交換が必要。ソニーサービス窓口に問い合わせる。 ➔ 充電時間が短い。電池を保護するため、最初の15分間は電池状態のチェックを行い、その後急速充電をする。CHGランプが消えて充電が完了するまで、充電をする。

次のページにつづく

音声

症状	原因 / 処置
再生音が出ない。 雑音が入る。	→ 音量がゼロになっている。音量を上げる（☞22ページ）。 → ヘッドホンがしっかり差し込まれていない。🎧（ヘッドホン）/LINE OUTジャックにしっかり差し込む（☞22ページ）。 → ヘッドホンのプラグが汚れている。乾いた柔らかい布などでプラグの汚れを拭く。 → 曲が入っていない。
再生音が大きくならない。	→ 「AVLS」が「On」に設定されている。「AVLS」を「Off」に設定する（☞34ページ）。
右チャンネルから音が出ない。	→ ヘッドホンがしっかり差し込まれていない。🎧（ヘッドホン）/LINE OUTジャックにしっかり差し込む（☞22ページ）。
音量を調節できない。	→ 「Audio Out」が「Line Out」に設定されている。接続した機器側で音量を調節する。または「Audio Out」を「Headphone」に設定する（☞34ページ）。
接続したステレオ機器で、音がひずんだり雑音が聞こえる。	→ 「Audio Out」が「Headphone」に設定されている。「Audio Out」を「Line Out」に設定する（☞34ページ）。
MP3フォーマットの曲を再生時に、「V-SUR」または「Sound EQ」の設定をしても音質が変わらない。	→ MP3フォーマットの曲の音質を変えたいときは、「Digital Sound Preset」を選んで設定してください（☞34ページ）。

操作/再生

症状	原因 / 処置
ボタン操作に反応しない。	→ HOLDになっている（誤操作防止状態）。HOLDスイッチを矢印と反対の方向にスライドして、HOLDを解除する（☞23ページ）。 → 結露している。そのまま約2、3時間おく。 → 電池の残量が少ない。充電をする（☞11ページ）。 → パソコンに接続し、更にパソコンが起動している場合、変換アダプターを接続しているときは操作できない。変換アダプターを外して操作する（☞12ページ）。
再生していたら急に音が止まった。	→ 電池が消耗している。充電をする（☞11ページ）。 → 本機で再生できない音楽データを、再生しようとしている（☞23ページ）。▶▶I を押して別の曲を選び、再生する。
表示窓のバックライトがつかない。	→ 「Backlight」が「Off」に設定されている。「Backlight」を「Auto」「10秒」「30秒」のいずれかに設定する（☞35ページ）。
タイトル欄に「□」と表示される。	→ 本機で表示できない文字が使用されている。付属のSonicStageソフトウェアを使って本機で表示可能な別の文字に置き換える。

表示が消える。	→ 停止状態のまま電池使用時は約30秒間、ACパワーアダプター使用時は約3分間操作がないと、自動的に表示が消える。また、曲名などがスクロール中のときは、スクロールが終了してから電池使用時は約30秒後、ACパワーアダプター使用時は約3分後に表示が消える。更に、MENUを押したままにすると表示が消える。いずれの場合も、操作ボタンを押すと再び表示される。

パソコンとの接続/SonicStage

症状	原因 / 処置
インストールできない。	→ 対応のOS以外のOSを使っている（☞14ページ）。 → すべてのWindowsのプログラムを終了していない。他のプログラムが起動した状態でインストールを行うと、不具合が生じることがある。特にウィルスチェックソフトは負担が大きいため、必ず終了する。 → ハードディスクの空き容量が足りない。ハードディスクの空き容量は200MB以上必要のため、不要なファイルなどを削除する。
インストール作業が止まっているように見える。	→ 警告などのメッセージダイアログが、インストール画面の後ろに隠れている。「Alt」キーを押しながら「Tab」キーを押し、メッセージが表示されたら画面に従って操作する。メッセージが表示されないときは、インストール作業中のため、そのまま待つ。
画面上のバーが動いていない。または、CDドライブやハードディスクのアクセスランプが数分間点灯していない。	→ インストール作業は正常に行われているため、そのまま待つ。お使いのパソコン、CDドライブによっては、インストール終了まで30分以上かかる場合がある。
USB接続ケーブルでパソコンに接続しても、本機の表示窓に「PC Connect」と表示されない。	→ SonicStageの認証を行うために、時間がかかる場合がある。しばらく待つ。 → パソコン上で他のアプリケーションが起動している。しばらくしてから、専用USB接続ケーブルを接続し直す。それでも解決しない場合は、ケーブルを抜いてからパソコンを再起動する。 → USB接続ケーブルがきちんと差し込まれていない。USB接続ケーブルをいったん抜いて、差し直す。 → USBハブを使用している。動作保証外のため、パソコンのUSB端子に接続する。
パソコンに接続したとき、本体がパソコンに認識されない。	→ 変換アダプターが正しく接続されていない。「カチッ」と音がするまで、本機の接続部の奥までしっかり差し込む（☞19ページ）。 → USB接続ケーブルがきちんと差し込まれていない。USB接続ケーブルをいったん抜いて、差し直す。 → USBハブを使用している。動作保証外のため、パソコンのUSB端子に接続する。 → 本機用のドライバをインストールしていない。付属のCD-ROMを使って、もう1度SonicStageをパソコンにインストールすると、ドライバもインストールされる（☞15ページ）。 → ソフトウェアのインストールに失敗している。本機とパソコンの接続を外し、付属のCD-ROMを使ってもう1度ソフトウェアをインストールする（☞15ページ）。 → 本体のBUILT-IN BATTERYスイッチをスライドしてONにする。

症状	原因 / 処置
転送できない。	→ USB接続ケーブルがきちんと差し込まれていない。USB接続ケーブルをいったん抜いて、差し直す。 → 1つの曲をすでに3回転送している。1度転送した曲をパソコンに戻すと（☞38ページ）、再び転送できるようになる。 → 本体内の空き容量が不足している。聞かなくなった曲をパソコンに戻して（☞38ページ）、空き容量を増やす。 → 本機に65,535曲を超える曲数、または4,096グループを超えるグループ数を転送しようとしている。または1グループにつき999曲を超える曲数を転送しようとしている。 → 再生期間や再生回数などの再生制限のついた曲は、著作権者の意向により本機に転送できないことがある。それぞれの曲に関する設定内容については、配信者に問い合わせる。
転送できる曲数が少ない。（録音できる時間が短い。）	→ 本体内の空き容量が不足している。聞かなくなった曲をパソコンに戻して（☞38ページ）、空き容量を増やす。 → 本機に音楽以外のデータが入っていると、転送できる曲数が減る。音楽以外のデータをパソコンに移動するなどして、本体内の空き容量を増やす。
パソコンに戻せない。	→ 転送したパソコンと異なるパソコンに曲を戻そうとしている。転送元のパソコン以外には、曲を戻せない。 → 転送元のパソコンで曲を削除した。パソコン側の転送元の曲を削除した場合は、曲を戻せない。
本機をパソコンに接続すると勝手に曲の転送回数が戻ることがある。	→ SonicStageソフトウェアをインストールした他のパソコンで本機の曲を削除した場合、自分のパソコンに本機を接続すると、SonicStageは削除された曲を戻したものと自動的にみなし、残りの転送回数を元に戻す。
パソコン接続中の動作が安定しない。	→ USBハブ、またはUSB延長ケーブルを使用している。動作保証外のため、付属のUSB接続ケーブルのみで直接パソコンと接続する。
パソコンと接続中にパソコンの画面に「機器・メディアの認証処理に失敗しました。」と表示される。	→ パソコンと本機が正しく接続されていない。SonicStageを終了し、USB接続ケーブルでの接続を確認した後、再びSonicStageを起動しする。

その他

症状	原因 / 処置
操作時の確認音が鳴らない。	→ 「Beep」が「Off」に設定されている。「Beep」を「On」に設定する（☞34ページ）。
本体や変換アダプターが温かくなる。	→ 充電中または充電直後である。急速充電のため、充電中および充電直後は本体や変換アダプターが一時的に温かくなることがある。また、大量の曲を転送した場合も、本体や変換アダプターが一時的に温かくなることがある。しばらく放置する。
本体から「キーン」という音がする。または、本体が震えることがある。	→ 本体内蔵ハードディスクの動作時の音または振動で、故障ではありません。

メッセージ一覧

本体表示窓にエラー表示が出たら、下の表に従ってチェックしてください。

表示	意味	処置
グループ数制限を超えました	グループ(アルバムやアーティスト)の数が制限数(8,192)を超えた。	→ 一覧画面(曲一覧を除く)での合計項目数が8,192を超えている。MODEを確認し、不要な音楽データをSonicStageのマイ ライブラリに戻す(☞38ページ)。
再生できません 再生可能期間外です	• 再生期限開始前に再生しようとした。 • 再生期限が切れた後に再生しようとした。	→ 再生期限外の曲は再生できない。
再生できません トラックエラーです	音楽データが壊れている。	→ 本機に音楽データを転送し直す(☞18ページ)。
再生できません PCに接続してください	本機の時刻設定が無効になっている。	→ パソコンに接続する(☞18ページ)。
再生を停止しないと操作できません	再生中に「MENU」の「Format」を選んだ。	→ 再生を停止してから、「Format」を選び直す。
システムエラーです <No.***> (***には番号が表示されます。)	システムエラーが発生した。	→ エラー番号をメモして、お客様ご相談センター(☞裏表紙)またはお買い上げ店に相談する。
システムファイルに不整合があります	システムファイルに不整合がある。	→ ハードディスクを初期化し(☞41ページ)、本機に音楽データを転送しなおす(☞18ページ)。
停止中は操作できません	停止中にブックマークを設定しようとした。	→ 再生中に設定する(☞28ページ)。
データベースがありません	パソコン接続終了時に本機に曲がない、またはすべてのMODEの情報が揃っていない。	→ 本機に音楽データを転送する(☞18ページ)。
電池残量がありません	電池残量がない。	→ 電池を充電する(☞11ページ)。
登録制限数を超えています	ブックマークの登録制限数を超えた。	→ 不要なブックマークを消し(☞28ページ)制限数以内でブックマークをつける。
トラックがありません	曲一覧で曲が表示されていない状態で、再生しようとした。	→ 曲が表示されている曲一覧で再生する。 → 本機に音楽データを転送する(☞18ページ)。

次のページにつづく

表示	意味	処置
本機では再生できないトラックです	● 本機で再生が許可されていない曲を再生しようとした。 ● 回数制限付きの曲を再生しようとした。	→ 本機で再生が許可されていない曲は再生できない。
ラインアウト設定のため変更できません	「Audio Out」の設定が「Line Out」のときに、音量または「Sound」の設定を変更しようとした。	→ 「Audio Out」の設定を「Headphone」にする（☞34ページ）。
ACパワーアダプターをつないで下さい	● 変換アダプターのDC INジャックにACパワーアダプターが接続されていない状態で、パソコンと接続した。 ● パソコン接続中にACパワーアダプターが変換アダプターから抜かれた。	→ ACパワーアダプターを変換アダプターに接続する（☞18ページ）。
AVLS ON **音量を上げられません**	音量がAVLSの制限値まで上がった。	→ 「AVLS」の設定を「Off」にする（☞34ページ）。
HDDが正しく初期化されていません	● ハードディスクが正しく初期化されていない。 ● パソコンで初期化されている。 ● ハードディスク交換などで初期化していない。	→ ハードディスクを初期化しなおす（☞41ページ）。
HDDは5℃～35℃で書き込み可能です	書き込み可能温度（5～35℃）の範囲外で操作しようとした。	→ 5～35℃の範囲内で操作する。
HOLDがかかっています	HOLDスイッチがONになっているため、本機の操作ができない。	→ HOLDスイッチを矢印と反対の方向にスライドして、HOLDを解除する（☞23ページ）。
5℃～35℃内で充電して下さい	充電可能温度（5～35℃）の範囲外で充電しようとした。	→ 5～35℃の範囲内で充電する。

お手入れ

キャビネットの汚れは

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で拭いた後、乾ぶきします。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液をしめらせた布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので使わないでください。変換アダプター接続部分のすき間から内部に水が入らないようにご注意ください。

ヘッドホンプラグのお手入れについて

ヘッドホンプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、ヘッドホンの先端のプラグ部をときどき柔らかい布で乾ぶきしてください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへ

お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、ポータブルハードディスクオーディオプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

記録できる最大曲数*の目安

ATRAC3	ATRAC3plus	MP3
5,000曲（132kbps）	2,500曲（256kbps）	5,000曲（128kbps）
6,000曲（105kbps）	10,000曲（64kbps）	10,000曲（64kbps）
10,000曲（66kbps）	13,000曲（48kbps）	

* 1曲4分の曲を転送した場合

サンプリング周波数
44.1kHz（Atrac3plus）
32/44.1/48kHz（MP3）

再生信号圧縮方式
アダプティブトランスフォームアコースティックコーディング3plus（ATRAC3plus）
MPEG-1 Audio Layer-3（MP3）

周波数特性*
20 Hz ～ 20,000 Hz（再生時、単信号測定）

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の規格による測定値です。

出力端子
♎（ヘッドホン）/LINE OUT*：
ステレオミニジャック/194mV（10k Ω）

* ヘッドホンとLINE OUTは兼用ジャックです。

動作温度
5 ～ 35℃

電源
DC IN 6V内蔵充電式電池使用

電池持続時間（連続再生時）
ATRAC3plus形式（48kbps）：約30時間
MP3形式（128kbps）：約22時間

本体寸法（幅×高さ×奥行き）
約90.0×62.1×14.8（最薄部13.8）mm
（最大突起部を含まず）

最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）（JEITA*）
約90.8×63.4×15.7 mm

質量
本体：約130 g（JEITA*）

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機はドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

索引

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

次のページにつづく

お問合せ窓口のご案内

本機についてご不明な点や**技術的なご質問、故障と思われるときのご相談**については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには ⇨ パーソナルオーディオ・カスタマーサポートへ**
  (http://www.sony.co.jp/support-pa/)
  ネットワークウォークマンに関する最新サポート情報や、よくあるお問合せとその回答をご案内しています。

- **電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ お客様ご相談センターへ**
  (下記電話・FAX番号)
  - 本機の商品カテゴリーは[オーディオ]−[ウォークマン]です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

    ◆セット本体に関するご質問時:
    - 型名:NW-HD3
    - 製造(シリアル)番号:本体裏面のラベルに記載
    - ご相談内容:できるだけ詳しく
    - お買い上げ年月日

    ◆付属のソフトウェアに関連するご質問時:
    質問の内容によっては、お客様のシステム環境についてご質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境(「必要な環境を準備する」☞14ページ)を事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

- **http://www.sony.co.jp/SonyDrive/**

お客様ご相談センター

- **ナビダイヤル ………… 0570-00-3311**
  (全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)
- **携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311**
  (ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)
- **FAX ……………………… 0466-31-2595**

受付時間 :月〜金 9:00〜20:00　土・日・祝日 9:00〜17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

SONY®

NW-HD3

Operating Instructions **GB**

Network Walkman

Portable Hard Disk Audio Player



Atrac3plus

To go to the section you want to read, click the title in the PDF Bookmarks, the title in the "Table of Contents" of the Operating Instructions, or the page in the sentences.



Owner's Record

The model and serial numbers are located at the rear of the player. Record the serial number in the space provided below. Refer to these numbers whenever you call upon your Sony dealer regarding this product.
Model No. NW-HD3
Serial No. ___________________________

WARNING

To prevent fire or shock hazard, do not expose the unit to rain or moisture.

Do not install the appliance in a confined space, such as a bookcase or built-in cabinet.

To prevent fire, do not cover the ventilation of the apparatus with newspapers, table cloths, curtains, etc. And don't place lighted candles on the apparatus.

To prevent fire or shock hazard, do not place objects filled with liquids, such as vases, on the apparatus.

Note on installation

If you use the unit at a place subject to static or electrical noise, the track's transferring information may be corrupted. This would prevent successful transferring authorization on your computer.

For the customers in the USA and Canada

RECYCLING LITHIUM-ION BATTERIES

Lithium-ion batteries are recyclable. You can help preserve our environment by returning your used rechargeable batteries to the collection and recycling location nearest you.



For more information regarding recycling of rechargeable batteries, call toll free 1-800-822-8837, or visit **http://www.rbrc.org/**.

Caution: Do not handle damaged or leaking Lithium-ion batteries.

For the Customers in Russia

Для покупателей в России



Этот знак относится только к адаптеру переменного тока.

Портативный плеер со встроенным жёстким диском

Изготовитель: Сони Корпорейшн
Адрес: 6-7-35 Киташинагава, Шинагава-ку, Токио 141-0001, Япония

For the customers in the USA

INFORMATION:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

If you have any questions about this product:

Visit: www.sony.com/walkmansupport
Contact:
Sony Customer Information Service Center at 1-(866)-456-7669
Write:
Sony Customer Information Services Center
12451 Gateway Blvd.,
Fort Myers, FL 33913

Declaration of Conformity

Trade Name:	SONY
Model No.:	NW-HD3
Responsible Party:	Sony Electronics Inc.
Address:	16450 W. Bernardo Dr, San Diego, CA 92127 USA
Telephone Number:	858-942-2230

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

"WALKMAN" is a registered trademark of Sony Corporation to represent Headphone Stereo products. WALKMAN logo is a trademark of Sony Corporation.

Table of Contents

Notice for Users

On the supplied software

- Copyright laws prohibit reproducing the software or the manual accompanying it in whole or in part, or renting the software without the permission of the copyright holder.
- In no event will SONY be liable for any financial damage, or loss of profits, including claims made by third parties, arising out of the use of the software supplied with this player.
- In the event a problem occurs with this software as a result of defective manufacturing, SONY will replace it. However, SONY bears no other responsibility.
- The software provided with this player cannot be used with equipment other than that which is so designated.
- Please note that, due to continued efforts to improve quality, the software specifications may be changed without notice.
- Operation of this player with software other than that provided is not covered by the warranty.
- The ability to display the languages on the software will depend on the installed OS on your PC. For better results, please ensure that the installed OS is compatible with the desired language you want to display.
  - We do not guarantee all the languages will be able to be displayed properly on the software.
  - User-created characters and some special characters may not be displayed.
- Depending on the type of the text and characters, the text shown on the software may not be displayed properly on the device. This is due to:
  - The capability of the connected device.
  - The device is not functioning normally.

- SonicStage and SonicStage logo are trademarks or registered trademarks of Sony Corporation.
- OpenMG, ATRAC3plus and their logos are trademarks of Sony Corporation.
- Microsoft, Windows, Windows NT and Windows Media are trademarks or registered trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- IBM and PC/AT are registered trademarks of International Business Machines Corporation.
- Macintosh is a trademark of Apple Computer, Inc. in the United States and/or other countries.
- Pentium is a trademark or a registered trademark of Intel Corporation.
- Adobe and Adobe Reader are trademarks or registered trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.
- US and foreign patents licensed from Dolby Laboratories.
- All other trademarks and registered trademarks are trademarks or registered trademarks of their respective holders.
- In this manual, ™ and ® marks are not specified.
- CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000-2003 Gracenote. Gracenote CDDB® Client Software, copyright 2000-2003 Gracenote.
  This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593 and other patents issued or pending.
  Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.

Precautions

On safety

- Do not put any foreign objects in the DC IN jack of the USB adaptor.
- Be sure not to short-circuit the terminals of the USB adaptor with other metallic objects.

On installation

- Never use the player where it will be subjected to extremes of light, temperature, moisture or vibration.
- Never wrap the player in anything when it is being used with the AC power adaptor. Heat build-up in the player may cause malfunction or damage.

On heat build-up

Heat may build up in the player or USB adaptor while charging if it is used for an extended period of time.

On the headphones

Road safety

Do not use headphones while driving, cycling, or operating any motorized vehicle. It may create a traffic hazard and is illegal in many areas. It can also be potentially dangerous to play at a high volume while walking, especially at pedestrian crossings. You should exercise extreme caution or discontinue use in potentially hazardous situations.

Preventing hearing damage

Avoid using the headphones at a high volume. Hearing experts advise against continuous, loud and extended play. If you experience a ringing in your ears, reduce the volume or discontinue use.

Caring for others

Keep the volume at a moderate level. This will allow you to hear outside sounds and to be considerate to the people around you.

Warning

If there is lightning when you are using the player, take off the headphones immediately.

On cleaning

- Clean the player casing with a soft cloth slightly moistened with water or a mild detergent solution.
- Clean the headphone plug periodically.

Notes

- Do not use any type of abrasive pad, scouring powder or solvent such as alcohol or benzene as it may mar the finish of the casing.
- Be careful not to let water into the USB adaptor or the recording USB adaptor from the clearance at the connection part.

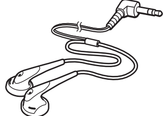
If you have any questions or problems concerning the player, consult your nearest Sony dealer.

NOTES

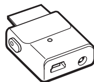
- The recorded music is limited to private use only. Use of the music beyond this limit requires permission of the copyright holders.
- Sony is not responsible for incomplete recording/downloading or damaged data due to problems of the player or computer.

Checking the Supplied Accessories

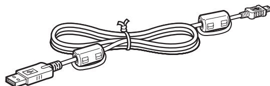
- Headphones (1)



- USB adaptor (1)
  (For connecting to the supplied USB cable and the supplied AC power adaptor)



- Dedicated USB cable (1)



- AC power adaptor (1)
- Carrying case (1)
- CD-ROM (1) *
  (SonicStage, PDF of Operating Instructions)
- Quick Start Guide (1)

* Do not play this CD-ROM on an audio CD player.

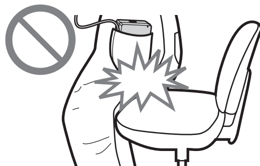
For customers in the US

The AC power adaptor supplied with this unit is not intended to be serviced. Should the AC power adaptor cease to function in its intended manner during the warranty period, the adaptor should be returned to your nearest Sony Service Center or Sony Authorized Repair Center for replacement, or if a problem occurs after the warranty period has expired, the adaptor should be discarded.

Notes

When using this unit, remember to follow the precautions below in order to avoid warping the cabinet or causing the unit to malfunction.

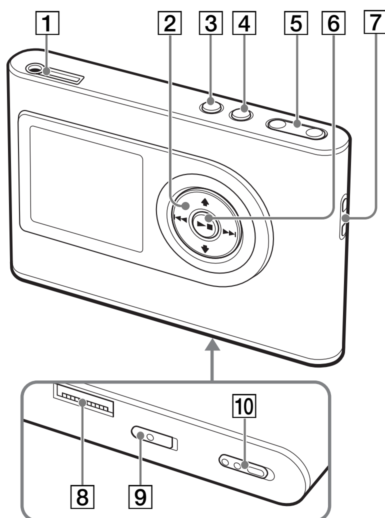
– Make sure not to sit down with the unit in your back pocket.



– Make sure not to put the unit into a bag with the remote control or the headphones/earphones cord wrapped around it and then subject the bag to strong impact.

Guide to Parts and Controls

Player



1 🎧 (headphones)/LINE OUT jack (☞ page 18)

2 ↑, ↓, ⏮, ⏭ buttons (☞ page 20, 21)

3 MENU button (☞ page 25, 29)

4 MODE button (☞ page 21)

5 VOLUME +*/– buttons (☞ page 18)

6 ►■ (play/stop) button (☞ page 18, 20)

7 Hole for hand strap**

8 USB adaptor connector (☞ page 8, 15)

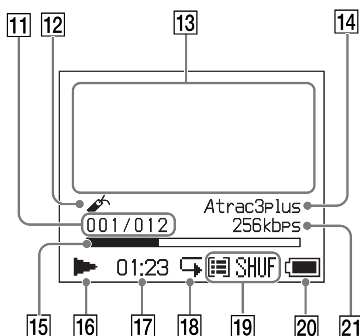
9 BUILT-IN BATTERY switch (☞ page 8)

10 HOLD switch (☞ page 19)

* This button has a tactile dot.

** You can attach your own hand strap.

Player display



11 Track number indicator (☞ page 20)

12 Bookmark indicator (☞ page 24)

13 Character information display (☞ page 20)

14 Atrac3plus/MP3 indicator (☞ page 19)

15 Playback progress bar (☞ page 20)

16 Playback indicator (☞ page 20)

17 Playing time (☞ page 20)

18 Repeat indicator (☞ page 28)

19 Play mode indicator (☞ page 25), Sound indicator (when adjusting the volume, ☞ page 30)

20 Battery indicator (☞ page 9)

21 Bit rate (☞ page 13)

About the serial number

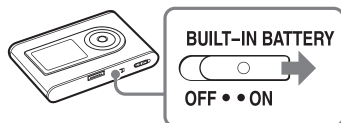
The serial number provided for this player is required for the customer registration. The number is on a label on the rear of the player.

Preparing a Power Source

Charge the built-in lithium-ion rechargeable battery before using it for the first time or when it is depleted.

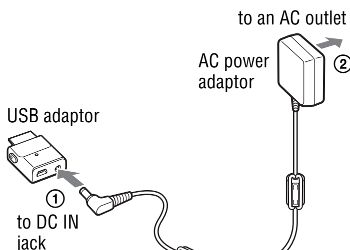
1 Slide the BUILT-IN BATTERY switch to ON.

The protection for the built-in rechargeable battery is released and power is supplied to the player. Keep the switch to ON position.



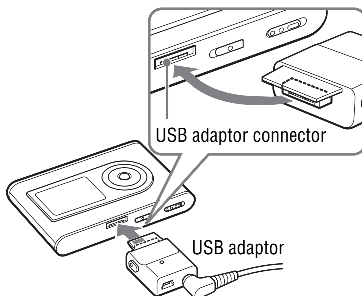
2 Connect the the AC power adaptor to the USB adaptor.

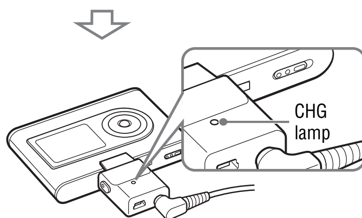
Connect the DC plug of the AC power adaptor to the DC IN jack of the USB adaptor, and then connect the AC plug to a wall outlet.



3 Connect the USB adaptor to the player.

Insert the USB adaptor as shown below until it clicks into place.
Charging of the battery starts. The CHG lamp lights up on the USB adaptor, and if the player is on, the battery indicator in the display changes.



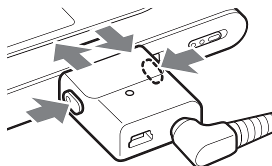


Charging is completed and the CHG lamp goes off in approximately 3 hours*. The lightning mark lights up in the display if the player is on.
To charge quickly, turn the display off and disconnect the USB cable from the USB adaptor, and then it takes approximately 1 hour* to charge up to 80%.

* This is the approximate charging time for an empty battery charged under room temperature. When the display is on, it takes approximately 5 hours to charge. The charging time will differ depending on the remaining power and battery condition. If the battery is charged in a low-temperature environment, the charging time will be longer.

To remove the USB adaptor from the player

While pressing the gray buttons on both sides, push the USB adaptor inward, and then pull it outward.



Charging the battery using a USB connection

Turn on your computer and connect the USB cable to your computer (☞ page 14). The CHG lamp lights up on the USB adaptor and charging of the battery starts. It takes approximately 5 hours to charge. When the player is connected to the AC power adaptor, the power is supplied from the AC power adaptor.

Notes

- When charging the battery using a USB connection, if your computer's power supply is insufficient, the charging time will be longer.
- When charging the battery using a USB connection, the charging will stop depending on your system environment.
- If the player is connected to the computer for a long time while charging, charging may stop to prevent the temperature of the player from increasing too much. In this case, the CHG lamp goes out. Remove the USB adaptor from the player and start charging again after a while.
- If the player will not be used for three months or more, set the BUILT-IN BATTERY switch to OFF to prevent degradation of the battery.
- Charge the battery in an ambient temperature of between 5 to 35ºC (41 to 95ºF).

Notes on the AC power adaptor

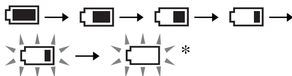
- Use only the AC power adaptor and the USB adaptor supplied with the player. Do not use any other AC power adaptor since this may cause the player to malfunction.



- The player is not disconnected from the AC power source (mains) as long as it is connected to the wall outlet, even if the player itself has been turned off.
- If you are not going to use the player for a long time, be sure to disconnect the power supply. To remove the AC power adaptor from the wall outlet, grasp the adaptor plug itself; never pull the cord.

Checking the remaining power of the battery

The remaining power of the battery is indicated in the display. As the black indicator section decreases, the remaining power is depleted further.



* "LOW BATTERY" appears in the display and beep sounds.

When the battery is depleted, recharge the battery.

Notes

- The display shows the approximate battery power remaining. For example, one section does not always indicate one-fourth of the battery power.
- Depending on the operating conditions, the display may increase or decrease relative to the actual power remaining.

Battery life (continuous use)

Playing time for ATRAC3plus 48 kbps is approximately 30 hours. Playing time for MP3 128 kbps is approximately 22 hours. The amount varies depending on how the player is used.

Installing SonicStage on Your Computer

Using the supplied CD-ROM, install the SonicStage on your computer.

Preparing the required system

The following system environment is required.

Computer	IBM PC/AT or Compatible	
	• CPU: Pentium II 400 MHz or higher (Pentium III 450 MHz or higher is recommended.) • Hard disk drive space: 200 MB or more (1.5 GB or more is recommended.) (The amount of space will vary according to the Windows version and the number of music files stored on the hard disk.) • RAM: 64 MB or more (128 MB or more is recommended.)	
	Others	• CD drive (capable of digital playback by WDM) • Sound Board • USB port (Hi-Speed USB is supported.)
Operating System	Factory installed: Windows XP Media Center Edition 2005/Windows XP Media Center Edition 2004/ Windows XP Media Center Edition/Windows XP Professional/ Windows XP Home Edition/Windows 2000 Professional/ Windows Millennium Edition/Windows 98 Second Edition	
Display	High Color (16 bit) or higher, 800 × 600 dots or better (1024 × 768 dots or better is recommended.)	
Others	• Internet access: for Web registration, EMD services and CDDB • Windows Media Player (version 7.0 or higher) installed for playing WMA files	

Notes

- SonicStage is not supported by the following environments:
  - Operating systems other than those the indicated above
  - Personally constructed PCs or operating systems
  - An environment that is an upgrade of the original manufacturer-installed operating system
  - Multi-boot environment
  - Multi-monitor environment
  - Macintosh
- We do not guarantee trouble-free operation on all computers that satisfy the system requirement.
- The NTFS format of Windows XP/Windows 2000 Professional can be used only with the standard (factory) settings.
- For Windows 2000 Professional users, install Service Pack 3 or later version before using the software.
- We do not guarantee trouble-free operation of the system suspend, sleep, or hibernation function on the computers.

Installing SonicStage

Check the following before installing the SonicStage software.

- Make sure to close all other software, including any virus-check software, as such software usually demands a large amount of system resources.
- Make sure to use the supplied CD-ROM for installing SonicStage.
  - If OpenMG Jukebox or SonicStage has been installed, the existing software will be overwritten by the new version with the new functions.
  - If SonicStage Premium, SonicStage Simple Burner, or MD Simple Burner has been installed, the existing software will co-exist with SonicStage.
  - You will still be able to use audio data registered by the existing software. As a precaution, we recommend that you back up your audio data. To back up the data, refer to "Backing Up My Library" – "Backing Up Data to a Disk" on SonicStage Help.

1 Turn on your computer and start up Windows.

2 Insert the supplied CD-ROM into the CD drive of your computer.

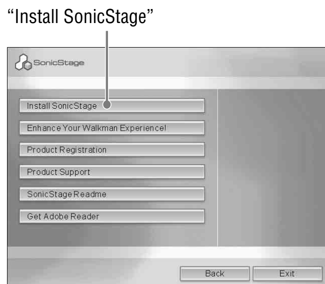
The setup program starts up automatically and the installation window appears. Depending on the region, a window may appear asking you to select your country. In this case, follow the displayed instructions.

3 Click the region in which you will use SonicStage software.



4 Click "Install SonicStage," and then follow the displayed instructions.

"Install SonicStage"



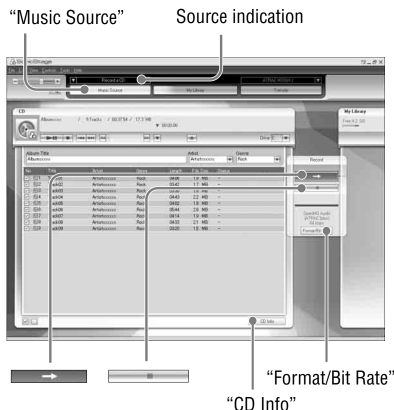
Read the instructions carefully. Depending on your region, the buttons other than "Install SonicStage" may differ from those in the illustration above.
The installation may take 20 to 30 minutes, depending on your system environment.
Make sure to restart your computer only after the installation is completed.
If any trouble occurs during the installation, see "Troubleshooting" (☞ page 43).

Note on uninstalling

"OpenMG Secure Module" is installed when you install SonicStage. If you uninstall SonicStage, do not delete OpenMG Secure Module since it may be used by other software.

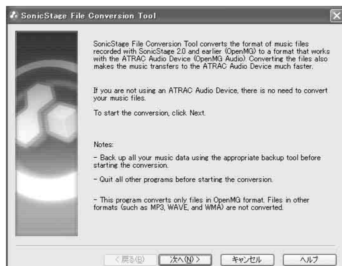
Importing Audio Data to Your Computer

Record and store tracks (audio data) from an audio CD to the SonicStage "My Library" on the hard disk drive of your computer.
You can record or import tracks from other sources such as the Internet and your computer's hard disk. Refer to SonicStage Help for details (☞ page 16).



1 Select "Start" – "All Programs"* – "SonicStage" – "SonicStage."

SonicStage starts up.
If you use the earlier version of SonicStage, the "SonicStage file conversion tool"** window appears when you start up SonicStage for the first time after installing it. Follow the instructions in the window.



* "Programs" in the case of Windows Millennium Edition/Windows 2000 Professional/Windows 98 Second Edition

**This tool converts the audio files that were imported to your computer with SonicStage2.0 or a prior version into the optimum data format (OpenMG) for this player, in order to transfer audio data to the player at high speed.

2 Insert the audio CD that you want to record into the CD drive of your computer.

The source indication in the top-left of the SonicStage window changes to "Record a CD."

3 Click "Music Source" on the SonicStage window.

The contents of the audio CD appear in the music source list. If CD information such as album title, artist name, and track names could not be obtained automatically, connect your computer to the Internet and click "CD Info" on the right side of the window.

4 If necessary, change the format and bit rate for audio CD recording.

Click "Format/Bit Rate" on the right side of the SonicStage window to display "CD Recording Format [My library]" dialog box.
The default setting is OpenMG Audio (ATRAC3plus) for format and 64 kbps for bit rate.

5 Click [→] on the SonicStage window.

The recording of the selected tracks starts.

To stop recording

Click [■] on the SonicStage window.

To select the tracks you do not want to record

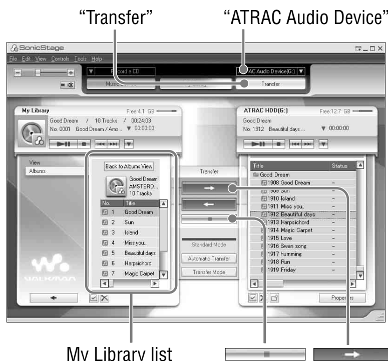
Before step **5**, click the track number to uncheck ☑ on the SonicStage window.

Note

Only audio CDs with a COMPACT DISC DIGITAL AUDIO mark can be used with SonicStage. We do not guarantee normal operation in the case of the copy-controlled CDs.

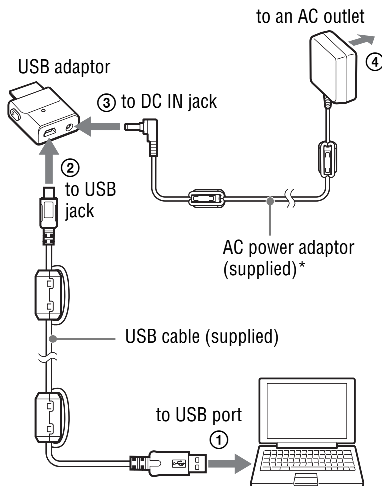
Transferring Audio Data to the Player

Transfer the tracks (audio data) stored in SonicStage "My Library" on your computer to the player in ATRAC3plus/MP3 format. The audio data to be transferred includes the information, such as an artist name and an album name (original album name) in the CD information.



1 Connect the USB adaptor to your computer and the AC power adaptor.

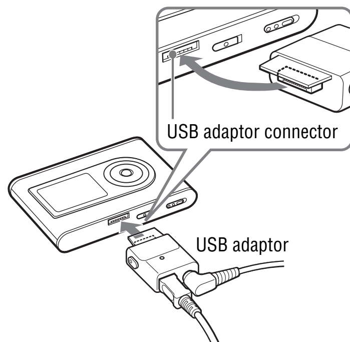
Connect from ① to ④ as shown below. Connect the large connector of the USB cable to a USB port on your computer and the small connector to the USB jack on the USB adaptor.



* When transferring audio data, make sure to connect the AC power adaptor to the USB adaptor. You cannot transfer audio data if they are not connected.

2 **Connect the USB adaptor to the player.**

Insert the USB adaptor as shown below until it clicks into place.
"PC Connect" appears in the display.
The setup display for automatic transfer appears in the SonicStage window. Follow the instructions in the window. For details, see the SonicStage Help (☞ page 16).



3 **Click "Transfer" on the right side of the SonicStage window.**

The screen is switched to the Transfer window.

4 **Select "ATRAC Audio Device" from the Transfer Destination list on the right side of the SonicStage window.**

5 **Click the tracks you want to transfer from the My Library list on the left side of the SonicStage window.**

To transfer more than one track, hold down the "Ctrl" key while selecting the tracks. To transfer all tracks of the album, click the album.

6 **Click [→] on the SonicStage window.**

Transfer of the selected tracks starts.
You can check the transferring status on the SonicStage window.

To stop transferring

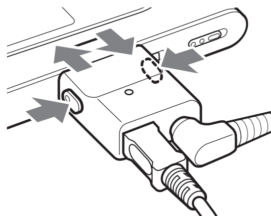
Click [■] on the SonicStage window.

Note

Do not use the player where it will be subjected to vibration when transferring audio data. Also, do not place the player near magnetic objects.

To remove the USB adaptor from the player

While pressing the gray buttons on both sides, push the USB adaptor inward, and then pull it outward.



Continued

Notes

- Do not disconnect the USB cable or the USB connector while the data is being transferred. If you do, the data being transferred may be destroyed.
- Use of the player with a USB hub or a USB extension cable is not guaranteed. Always connect the player to the computer directly using the supplied USB cable.
- Some USB devices connected to the computer may interfere with the proper operation of the player.
- The control buttons on the player are all disabled while it is connected to a computer. If you attach the player to the USB adaptor connected to the computer during playback, playback stops and "PC Connect" appears in the player display.
- When there is not enough free space on the player for audio data to be transferred, the transfer will fail.
- During the transfer, the system suspend, sleep, or hibernation function will not operate.
- Depending on the type of the text and number of characters, the text entered by SonicStage may not be displayed on the player. This is due to the limitations of the player.
- If the player is connected for a while to a computer that is powered, or after lots of data is transferred to the player, the player may get warm. However, this is not a malfunction. Disconnect the player from the USB adaptor and leave it aside for a while.

Using SonicStage Help

SonicStage Help provides further details on how to use SonicStage. SonicStage Help allows you to search easily for information from a list of operations, such as "Importing audio data" or "Transferring audio data," or from large list of keywords, or by typing in words that might lead you to the appropriate explanations.

1 Click "Help" – "SonicStage Help" while SonicStage is running.

Help appears.
The player is explained as "ATRAC Audio Device" in SonicStage Help.

"SonicStage Help"



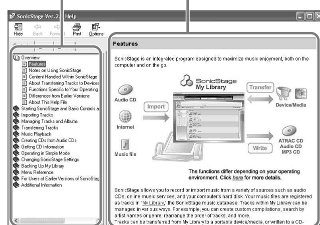
Notes

- In SonicStage Help, "Device/Media" is the general term for this player.
- Follow the instructions of your internet provider regarding such things as recommended system.

To understand SonicStage Help

The left side frame

The right side frame



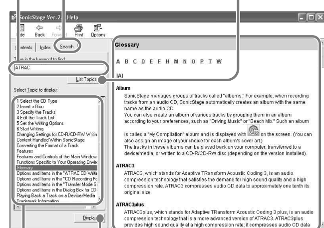
1. Double click "Overview" in the left-side frame of SonicStage Help.
2. Click " About This Help File."
   The explanation will appear in the right-side frame.
   Scroll the display if necessary. Click underlined words to jump to their explanations.

To search for a word inside an explanation

"Type in the keyword to find" text box

"Search"

"List Topics"



"Display"

A list of the typed words

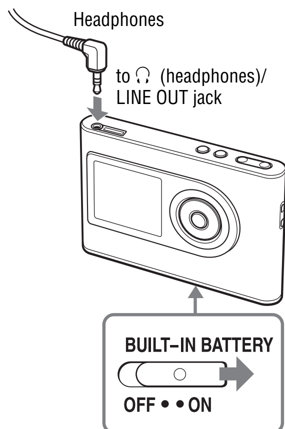
An explanations of the selected item

1. Click "Search."
2. Type in the words.
3. Click "List Topics."
   A list of the typed words is displayed.
4. Click to select the desired item among those displayed.
5. Click "Display."
   An explanation of the selected item is displayed.

Playing Back

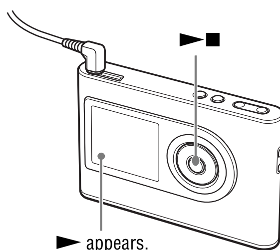
Transfer audio data from your computer to the player beforehand (☞ page 14).
You can change the language to your own for the menu and the messages in the display (☞ page 31).

1 After setting the BUILT-IN BATTERY switch to ON (☞ page 8), connect headphones to the player.

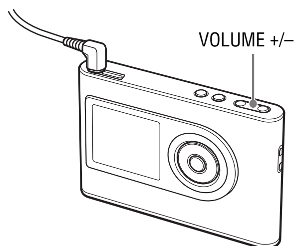


2 Press ►■.

► (play) appears on the left bottom of the display and the player starts playback.



3 Adjust the volume by pressing VOLUME +/–.



Playable audio data

This player can play audio data compressed in the ATRAC3plus/MP3 formats.
ATRAC3plus (Adaptive Transform Acoustic Coding3plus) is an audio compression technology that satisfies the demand for high sound quality and high compression rates. ATRAC3plus can compress audio files to about 1/20 of their original size at 64 kbps.
Playable MP3 file formats are as follows:

– MPEG-1 Audio Layer-3
– Bit rate 32 to 320 kbps (CBR/VBR)
– Sampling frequencies 32/44.1/48 kHz

Notes

- MP3 format files that are not playable on the player can still be transferred to the player.
- When trying to play an MP3 audio track that cannot be played on this player, playback will stop. Press ▶▶I to select other tracks.
- When using the built-in battery, if the player is not operated for about 30 seconds while in stop mode, the display automatically turns off. When scrolling track titles, etc., the display turns off about 30 seconds after scrolling is finished.
- When using the AC power adaptor, if the player is not operated for about 3 minutes while in stop mode, the display automatically turns off. When scrolling track titles, etc., the display turns off about 3 minutes after scrolling is finished.
- If playback does not start, make sure that the HOLD switch is set to off (☞ right).

Locking the controls (HOLD)

You can prevent accidental button presses while carrying the player by locking the controls. "HOLD" flashes on the display if you press any button when the HOLD function is activated.

1 Slide the HOLD switch in the direction of the arrow.

To unlock the controls

Slide the HOLD switch in the direction opposite to that of the arrow.

Continued ⟶

Basic playback operations (Play, stop, search)

To	Operation
Play from a point where you stopped the player previously	Press ►■. Playback starts from the point where you stopped.
Stop playback	Press ►■.
Find the beginning of the current track	Press ⏮ once.
Find the beginning of previous tracks*	Press ⏮ repeatedly.
Find the beginning of the next track*	Press ⏭ once.
Find the beginning of succeeding tracks*	Press ⏭ repeatedly.
Go backwards quickly	Press and hold ⏮.
Go forward quickly	Press and hold ⏭.

* When shuffle play or play unit shuffle play (☞ page 26) is selected, playback order is different.

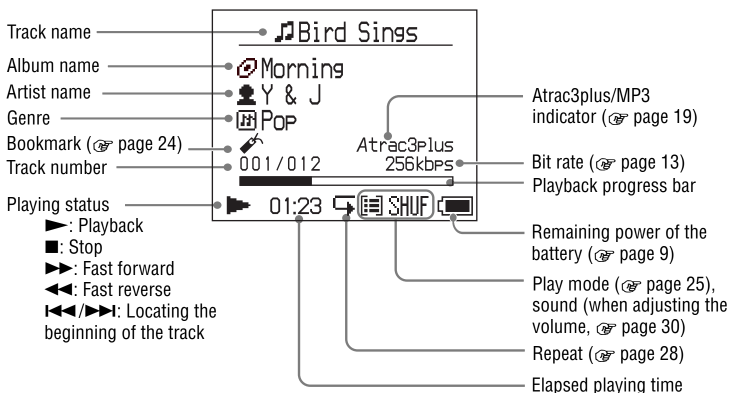
To turn off the player

Press and hold MENU until the display disappears.
To turn on the player again, press any button.

Checking information in the display

You can check audio data and the playback status in the player display.

Player display during playback



Note

The characters A to Z, a to z, 0 to 9, and symbols (except /) can be displayed.

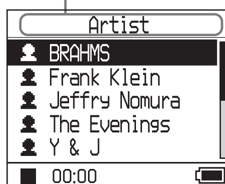
Playing Back Tracks Selected by MODE
(Artist, Album, Genre, Group, etc.)

By grouping the tracks in the player into a "MODE," such as by "Artist" or "Album," you can select tracks you want to listen to. There are five MODEs, and the steps here use the displays of the "Artist" MODE as an example.
For details about the displays of each MODE, see ☞ page 23.
You can also play the selected tracks repeatedly (☞ page 28) or randomly (shuffle play, ☞ page 26).

1 Press MODE repeatedly to select a MODE.

Each press of the button changes the MODE as follows:

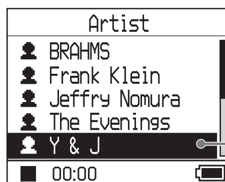
Artist ( ) → Album ( )* →
Genre ( ) → Group ( )** →
Others → Return to Artist



* An album name (original album name) in the CD information of SonicStage is displayed.
**An album in SonicStage is recognized as a group.

2 Press ↑ or ↓ to select an item in the MODE.

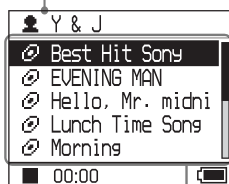
To start playback here, press ►■.
Playback starts from the first track in the first album of the artist you selected. All the albums of the artists listed after the selected artist are played in the track number order.



Continued

3 To search tracks more, press ▶▶I.

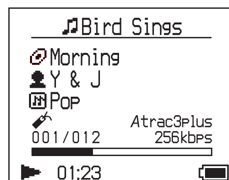
Artist selected in step **2**.



Albums of the selected artist appear.

4 Press ↑ or ↓ to select an item, and then press ►■.

Playback starts from the track you selected or the first track of the item (artist, album, etc.) you selected. All the tracks listed after the selected items are played in the track number order.



To return to the display where you start playback

Press and hold MODE.

To return to the display where you select a MODE

Press MODE.

To return to the track list

Press ↑ or ↓.

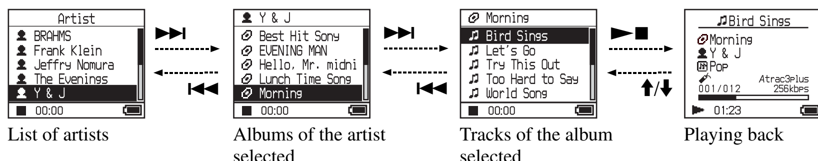
To stop playback when selecting a MODE or in the list display

Press and hold ►■.

MODE displays

The display differs depending on the MODE.
You can start playback by pressing ►■ in all the displays.

Artist



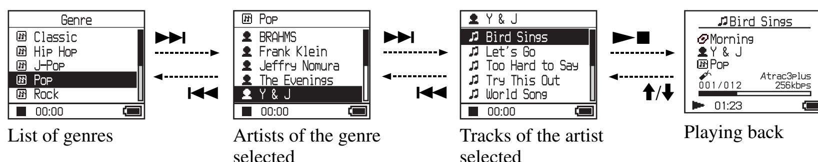
List of artists | Albums of the artist selected | Tracks of the album selected | Playing back

Album: displaying an album name (original album name) in the CD information of SonicStage



List of albums | Tracks of the album selected | Playing back

Genre



List of genres | Artists of the genre selected | Tracks of the artist selected | Playing back

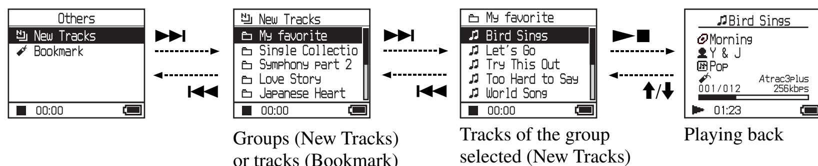
Group: playing tracks in the groups of albums created in SonicStage



List of groups | Tracks of the group selected | Playing back

Others

- "New Tracks": Tracks in groups newly transferred to the player (the 5 latest times)
- "Bookmark": Bookmarked tracks (for how to add the bookmark, ☞ page 24)



Groups (New Tracks) or tracks (Bookmark) | Tracks of the group selected (New Tracks) | Playing back

Continued

Adding a bookmark (Bookmark track play)

You can play your favorite tracks by adding a Bookmark to them. To play bookmarked tracks, select "Others" MODE (☞ page 21).

1 During playback of the track where you want to add a Bookmark, press and hold ↑ or ↓.

The number of bookmarks (the number of bookmarked tracks/the number of possible bookmark) appears, and then (Bookmark) lights up.

2 If you want to add a Bookmark to two or more tracks, repeat step 1.

You can add Bookmarks to up to 100 tracks.

To play the bookmarked tracks

1 Press MODE repeatedly to select "Others" MODE.

2 Press ↑ or ↓ to select "Bookmark," and then press ▶▶I.
To playback all the bookmarked tracks, press ▶■.

3 Press ↑ or ↓ to select a track, and then press ▶■.

To remove bookmarks

During playback of the track where you want to remove a Bookmark, press and hold ↑ or ↓.

"Off" appears and disappears from the display.

Note

You can add or remove a bookmark only during playback.

Changing Playback Options (Play Mode)

You can use various playback options, such as selecting songs you want to listen to and playing songs in random order.
For details about playback options (Play Mode), see ☞ page 26, 27.
You can also play songs repeatedly using the playback options you choose (repeat play, ☞ page 28).

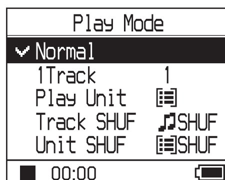
1 Press MENU.

The MENU display appears.



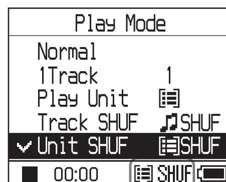
2 Press ⬆ or ⬇ to select "Play Mode," and then press ►■.

The Play Mode display appears.



3 Press ⬆ or ⬇ to select the playback options, and then press ►■.

The default setting is "Normal" (normal play).



Playback options appear.

4 Press MENU twice to go to the playback display, and then press ►■.

Playback starts in the selected playback option.

To cancel set up

Press MENU to return to the MENU display.
Press and hold MODE or press MENU in the MENU display to return to the display before step **1**.

To return to normal play

In step **3**, select "Normal."

To return to the display where you select a MODE

Press MODE.

Note

When you change the Play Mode, the play unit (☞ page 27) also changes to all the tracks recorded in the player.
To play only the selected play mode, select the item (artist, album, track, etc.) in the list display.

Continued ⟶

Playback options (Play Mode)

A range of tracks to be played ("Play unit" ☞ page 27) differs depending on the MODE (☞ page 21) where you start playback.

In the MENU display/icon	Explanation
Normal/No icon (Normal play)	All the tracks after the selected track are played once in the track number order. When you select an item (album, artist, etc.) other than a track, all the tracks are played once from the first track of the item in the track number order.
1 Track/1 (Single play)	The selected track is played once. When you select an item (album, artist, etc.) other than a track, only the first track is played once.
Play Unit/ ☰ (Play unit play)	All the tracks of the selected play unit are played once in a track number order.
Track SHUF/♫ SHUF (Shuffle play)	All the tracks of the selected play unit are played once in random order. In the display where you select a MODE, all the recorded tracks are played once in random order.
Unit SHUF/ ☰ SHUF (Play unit shuffle play)	All the tracks in the selected play unit are played once in random order for every play unit.

What is a “play unit” ?

All the items (an artist, an album, a track, etc.) on the list when you start playback is called a “play unit.”

When you change the Play Mode, the play unit changes to all the tracks recorded in the player.

On playback of a play unit

Example: When you select Artist MODE

Artists	Albums	Tracks
All the tracks of all the artists make a play unit.	All the tracks in all the albums of the artist “Y & J” make a play unit.	All the tracks in the album “Morning” of the artist “Y & J” make a play unit.
When selecting “Play Unit” (Play unit play)		
• Playback starts from the tracks of “Y & J” and stops after playing all the tracks of “The Evenings.”	• Playback starts from the album “Morning” and stops after playing all the tracks of the album “Lunch Time Song.”	• Playback starts from the first track of the album “Morning” and stops after playing all the tracks.
When selecting “Unit SHUF” (Play unit shuffle play)		
• Playback is in random order for every artist. Albums or tracks of the artist are played in order.	• Playback is in random order for every album. Tracks of the album are played in order.	• The tracks in the album “Morning” are played in random order.
When selecting “Track SHUF” (Shuffle play)		
• All the recorded tracks are played in random order.	• The tracks in all the albums of “Y & J” are played in random order.	• The tracks in the album “Morning” are played in random order.

On Shuffle play

For example, to play all the tracks recorded in the player randamly, display a MODE other than “Others” (“Artist” MODE, etc.), and then start playback selecting “Track SHUF” as the Play Mode (☞ page 25). All the tracks recorded in the player are played once in random order.



Continued

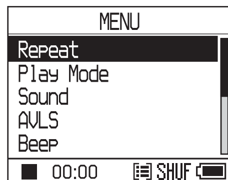
Playing tracks repeatedly (Repeat play)

Playback of tracks repeats in the playback options selected in ☞ page 25.

1 Select the playback option you want to repeat (☞ page 25).

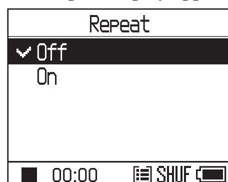
2 Press MENU.

The MENU display appears.

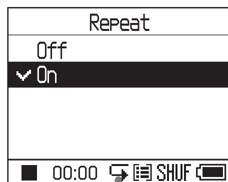


3 Press ↑ or ↓ to select "Repeat," and then press ►■.

The Repeat display appears.



4 Press ↓ to select "On," and then press ►■.



5 Press MENU twice to go to the playback display, and then press ►■.

The current playback option repeats.

To repeat all the tracks

Select a MODE other than "Others" ("Artist" MODE, etc.) and then follow steps **1** to **5**.

To cancel set up

Press MENU to return to the MENU display. Press and hold MODE or press MENU in the MENU display to return to the display before step **2**.

To return to normal play

In step **4**, select "Off" on the Repeat display.

To return to the display where you select a MODE

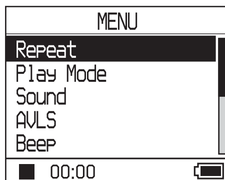
Press MODE.

Changing Sound Quality and Settings

For details about various setting items, see ☞ page 30.

1 Press MENU.

The MENU display appears.



2 Press ↑ or ↓ to select the item, and then press ►■.

The display to set the selected item appears.

3 Press ↑ or ↓ to select an option, and then press ►■.

To change sound quality

After step **3**, press ↑ or ↓ to select an option (☞ page 30), and then press ►■.
When you select "Custom1" , "Custom2", "Custom3" or "Custom4" you can customize sound quality (☞ page 32).

To return to the previous display

Press ⏮.

To cancel set up

Press MENU to return to the MENU display.
Press and hold MODE or press MENU in the MENU display to return to the display before step **1**.

To return to the display where you select a MODE

Press MODE.

Note

When "V-SUR" or "Sound EQ" is selected, the sound settings do not work for MP3 tracks. To change sound quality of MP3 tracks, adjust the "Digital Sound Preset" sound setting.

Continued ⟶

Setup items

Item	Options (●: Default setting)		
Sound (Sound setting)	● Off		Plays tracks in normal sound quality.
	V-SUR[1,2]	Studio (VS)	Recreates the sound of a recording studio.
		Live (VL)	Recreates the sound of a concert hall.
		Club (VC)	Recreates the sound of a dance hall.
		Arena (VA)	Recreates the sound of a stadium.
	Sound EQ[1,2]	Heavy (SH)	Plays tracks in powerful sounds, further emphasizing high and low ranges compared with Pops sound.
		Pops (SP)	Plays tracks in sound for vocal, stressing middle range audio.
		Jazz (SJ)	Plays tracks in lively sounds, emphasizing high and low range audio.
		Unique (SU)	Plays tracks in special sounds, emphasizing high and low range audio more than middle range.
		Custom1 (S1)	Plays tracks in customized sound (☞ page 32 for details).
		Custom2 (S2)	Plays tracks in customized sound (☞ page 32 for details).
	Digital Sound Preset[2]	Custom3 (S3)	Plays tracks with preset treble and bass sound (☞ page 33 for details).
		Custom4 (S4)	Plays tracks with preset treble and bass sound (☞ page 33 for details).
AVLS[3] (Limiting volume)	On		The maximum volume is limited to protect your hearing.
	● Off		The volume changes without limiting the volume level.
Beep (Sound of operation)	● On		The beep sounds when you operate the player.
	Off		The beep is turned off.
Audio Out (External audio output)	● Headphone		Select this when you connect the supplied headphones.
	Line Out		Select this when you connect other devices such as speakers with an audio cord (☞ page 35).
Contrast (Adjustment of the display)	● Second from the right		The display is moderately bright. If the body color of the player is black, the default setting is second from the left.
	– to +		Set toward – to make the display brighter and toward + to make it darker.

1)The settings work only when playing ATRAC3plus audio tracks. When playing an MP3 audio track, the settings do not work.

2)The sound settings appear in the display as the letters in parentheses (☞ page 7).

3)AVLS is an abbreviation of the Automatic Volume Limiter System.

Items	Options (●: Default settings)	
Backlight (LCD backlight of the display)	● Auto	The display lights up for about 10 seconds when you press a button and keeps lighting up while you scroll the track titles, etc.
	10 seconds	The display lights up for about 10 seconds when you press a button. The light turns off in about 10 seconds even if you are scrolling the track titles, etc.
	30 seconds	The display lights up for about 30 seconds when you press a button. The light turns off in about 30 seconds even if you are scrolling the track titles, etc.
	Off	The display is turned off to save power.
Reverse Display (Turning over the display)	● Positive	Characters and icons appear in black and the background in white.
	Negative	Characters and icons appear in white and the background in black.
Language (Display language)	日本語	The messages and the menus are in Japanese.
	● English	The messages and the menus are in English.
	Français	The messages and the menus are in French.
	Deutsch	The messages and the menus are in German.
	Italiano	The messages and the menus are in Italian.
	Español	The messages and the menus are in Spanish.
	簡体中文 *	The messages and the menus are in Simple Chinese.
	繁體中文 *	The messages and the menus are in Traditional Chinese.
	한글 *	The messages and the menus are in Korean.

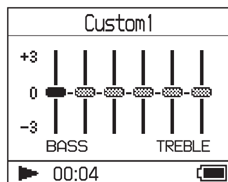
* These languages are not displayed depending on the country where you use the player.

Continued ⟶

Customizing sound quality (Sound EQ - Custom)

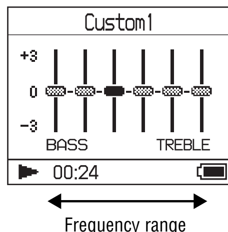
You can adjust the sound quality for each frequency range individually, checking the settings on the display.

1 **After selecting "Sound" in step 2 in "Changing Sound Quality and Settings" (☞ page 29), select "Custom1" or "Custom2" of "Sound EQ."**



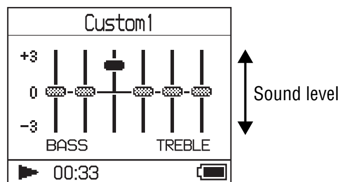
2 **Press ⏮ or ⏭ to select the frequency range.**

There are six frequency ranges.



3 **Press ⬆ or ⬇ to select the sound level.**

The sound level can be adjusted in seven levels.



4 **Repeat steps 2 and 3 to make adjustments for the remaining frequency ranges.**

5 **Press ►■.**

The MENU display appears.

To cancel set up

Press MENU to return to the MENU display. Press and hold MODE or press MENU in the MENU display to return to the display before step **1**.

To return to the display where you select a MODE

Press MODE.

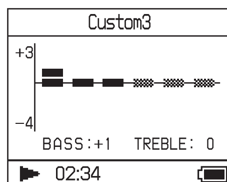
Notes

- If the sound is distorted by your sound settings when you turn up the volume, turn the volume down.
- If you feel difference in sound volume between the "Custom1" or "Custom2" sound setting and other sound settings, adjust the volume to your preference.

Adjusting treble and bass emphasis
(Digital Sound Preset)

You can preset the treble and bass levels to your preference. While checking the display, adjust the emphasis settings.

1 After selecting "Sound" in step 2 in "Changing Sound Quality and Settings" (☞ page 29), select "Custom3" or "Custom4" of "Digital Sound Preset".

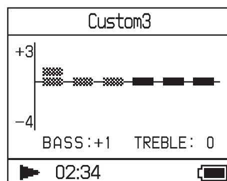


Default settings

Sound quality	Custom3 (S3)	Custom4 (S4)	OFF (NORMAL SOUND)
Bass	+1	+3	±0
Treble	±0	±0	±0

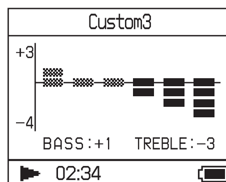
2 Press ⏮ or ⏭ to select "Treble" or "Bass".

You can adjust the sound quality of the treble and bass.



3 Press ↑ or ↓ to select the sound level.

The sound level can be adjusted in eight levels.



Sound quality	Emphasis level
Bass	-4 to +3
Treble	-4 to +3

4 Press ►■.

The MENU display appears.

To cancel set up

Press MENU to return to the MENU display. Press and hold MODE or press MENU in the MENU display to return to the display before step **1**.

To return to the display where you select a MODE

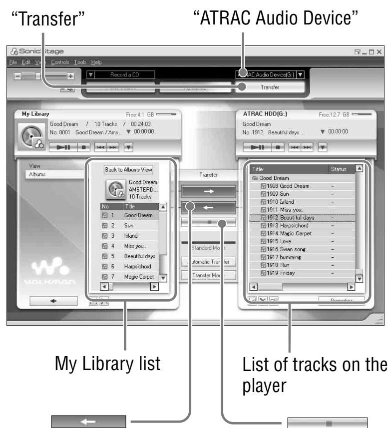
Press MODE.

Notes

- The treble and bass sound levels appear on the right and left ends of the "Custom3" or "Custom4" chart. You cannot adjust the in-between levels individually because they are linked to the treble and bass levels and change automatically.
- If the sound is distorted by your sound settings when you turn up the volume, turn the volume down.
- If you feel difference in sound volume between the "Custom3" or "Custom4" sound setting and other sound settings, adjust the volume to your preference.

Transferring Audio Data Back to Your Computer

Audio data can be transferred back to SonicStage "My Library" on your computer.



1 Connect the player to your computer (see steps 1 and 2 in "Transferring audio data to the player," ☞ page 14).

2 Click "Transfer" on the right side of the SonicStage window.

The screen is switched to the Transfer window.

3 Select "ATRAC Audio Device" from the Transfer Destination list on the right side of the SonicStage window.

4 Click the tracks you want to transfer to My Library in the Network Walkman list on the right side of the SonicStage window.

To transfer more than one track, hold down the "Ctrl" key while selecting the tracks. To transfer all tracks of the album, click the album.

5 Click [←] on the SonicStage window.

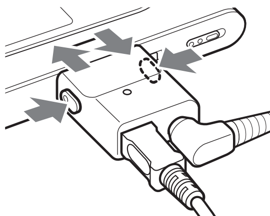
Transfer of the tracks selected in step **4** starts.
You can check the transferring status on the SonicStage window.

To stop transferring

Click [■] on the SonicStage window.

To remove the USB adaptor from the player

While pressing the gray buttons on both sides, push the USB adaptor inward, and then pull it outward.

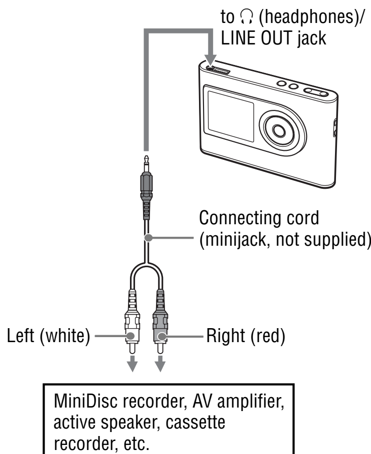


Notes

- Tracks transferred to the player from another computer cannot be transferred to My Library on your computer.
- Do not disconnect the USB cable or the USB adaptor while the data is being transferred. If you do, the data being transferred may be destroyed.

Connecting Other Devices

You can listen to tracks through a stereo system and record tracks in the player onto a MiniDisc or a cassette tape. See the instruction manual that comes with the device you want to connect.
Be sure to turn off all devices before making the connections and changing the settings and explained below.



You need to change the setting for "Audio Out" in the MENU display to output sound to the connected device. The settings of "Audio Out" are shown below. To make those settings, see ☞ page 29.

Connected device	Setting
Headphones	Headphone
Device connected using the connecting cord	Line Out

When you connect another device, set this to "Line Out." When the setting is "Line Out," volume cannot be adjusted, and the settings in "Sound" is not available and do not work.

Notes

- When the supplied headphone is connected to the player, do not set "Audio Out" to "Line Out." If it is set to "Line Out," the volume cannot be adjusted and the sound will be distorted and noisy.
- Before playback, turn down the volume of the connected device to avoid damaging the connected speaker.

Storing Data Other Than Audio Files

You can transfer data from the hard disk of a computer to the built-in hard disk of this player using Windows Explorer.
The built-in hard disk of the player is displayed in Windows Explorer as an external drive (as a removable storage).

Notes

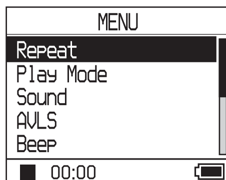
- Do not use SonicStage while operating the hard disk of the player using Windows Explorer.
- If WAV and MP3 files are transferred to the player using Explorer, they cannot be played. Transfer them using SonicStage.
- Do not disconnect the USB cable while the data is transferred. The data being transferred may be destroyed.
- Do not initialize the hard disk of the player on the computer.

Resetting to the Factory Settings

Reset all the settings in the MENU display to the factory settings.

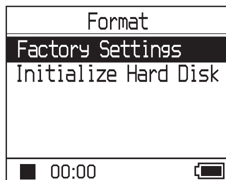
1 While the player is stopped, press MENU.

The MENU display appears.



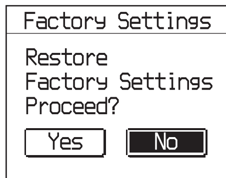
2 Press ⬆ or ⬇ to select "Format," and then press ►■.

The Format display appears.



3 Press ►■ while selecting "Factory Settings."

The Factory Settings display appears.



4 Press ⏮ to select "Yes," and then press ►■.

The message appears, and then the Format display appears.

To cancel set up

In step **4**, select "No," and then press ►■. The Format display appears.
Press MENU to return to the MENU display.
Press and hold MODE or press MENU in the MENU display to return to the display before step **1**.

To return to the display where you select a MODE

Press MODE.

Note

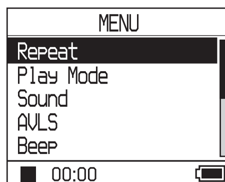
You cannot reset to the factory settings during playback.

Initializing Hard Disk

You can initialize the built-in hard disk of the player. If the hard disk is initialized, all the audio data and the other data stored will be erased. Be sure to verify the data stored in the hard disk prior to initializing.
If tracks are erased by initializing, SonicStage recognizes them as tracks to be transferred back to the computer when the player is connected to your computer. Therefore, the remaining transferable count increases automatically.

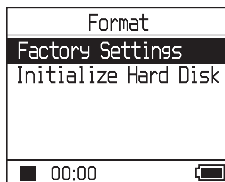
1 While the player is stopped, press MENU.

The MENU display appears.



2 Press ↑ or ↓ to select "Format," and then press ►■.

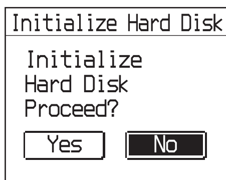
The Format display appears.



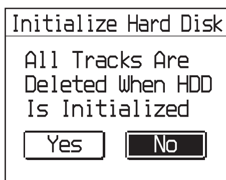
Continued

3 Press ↓ to select "Initialize Hard Disk," and then press ►■.

The Initialize Hard Disk display appears.



4 Press |◄◄ to select "Yes," and then press ►■.



5 Press |◄◄ to select "Yes," and then press ►■.

The message appears, and then the Format display appears.

To cancel set up

In step **5**, select "No," and then press ►■. The Format display appears.
Press MENU to return to the MENU display. Press and hold MODE or press MENU in the MENU display to return to the display before step **1**.

To return to the display where you select a MODE

Press MODE.

Notes

- Do not initialize the hard disk of the player on the computer.
- You cannot format the hard disk during playback.
- All the audio data and the files other than audio data are deleted if the player is initialized.

Notes on Disposing of the Unit

This player has a built-in lithium-ion rechargeable battery. When you dispose of the player, be sure to dispose of it properly.

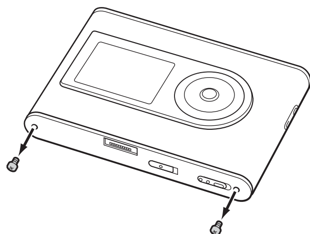
Certain countries may regulate disposal of the battery used to power this product. Please consult with your local authority.

Notes

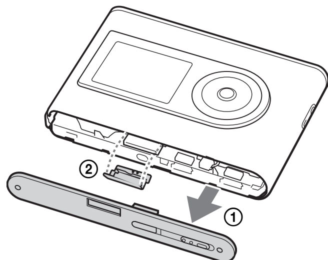
- Never disassemble the player except when disposing it.
- Be careful of handling the inside metallic part, especially its edge.

To remove the built-in rechargeable battery

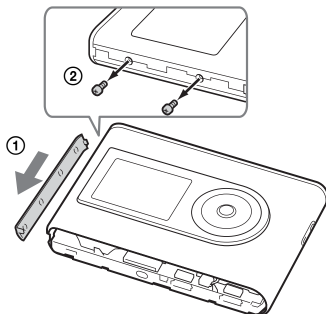
1. Slide the BUILT-IN BATTERY switch on the bottom of the player to OFF.
2. Remove the two screws on the bottom.



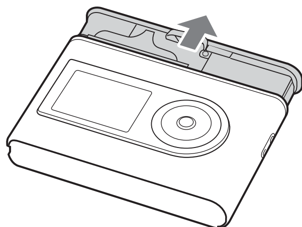
3. Remove the plate on the bottom (①) and the USB bracket (②). If necessary, use the tools such as tweezers.



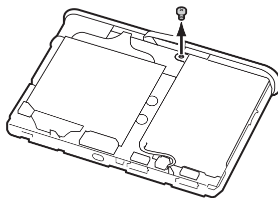
4. Slide the side part (①) and remove the two screws (②) on the side of this player.



5. Push the bottom into the player with your finger and pull out the inside of the player in the direction of the arrow below.

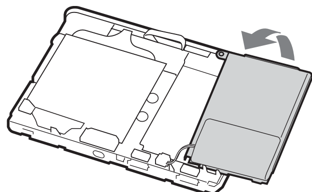


6. Remove the screw on the side of the battery.

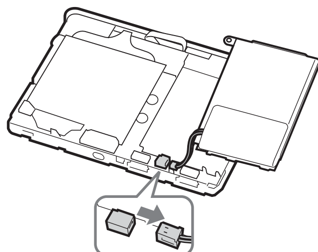


Continued

7 Remove the built-in battery.



8 Pull the connecting cord between the battery and the player to separate the connector.



Troubleshooting

If you experience trouble with your player, try the following solutions.

1. Set the BUILT-IN BATTERY switch to OFF, and then set to ON again. The data is not lost when you set it to OFF.
2. Check the symptoms in "Troubleshooting."
3. If the problem persists, consult your nearest Sony dealer.

Power

Symptom	Case and/or corrective action
The CHG lamp does not light.	→ The terminals of the USB adaptor are dirty. Wipe them with a soft, dry cloth. → The player is not connected to the USB adaptor. Insert the USB adaptor securely until it reaches to the end and clicks into place (☞ page 8).
The CHG lamp flashes.	→ The temperature is not appropriate. Charge the battery in an ambient temperature of between 5 to 35ºC (41 to 95ºF).
Battery life is short.	→ The operating temperature is below 5°C (41°F). This is due to the battery characteristics and not a malfunction. → You have not used the player for a prolonged period. Efficiency of the battery will be improved by repeatedly charging and discharging. → The battery needs to be replaced. Consult your nearest Sony dealer. → Battery charging time is not enough. The player requires 15 minutes to check the battery condition to protect it before a quick recharge starts. Keep charging the battery until it is complete (until the CHG lamp goes out).

Continued

Sound

Symptom	Case and/or corrective action
There is no sound. Noise is heard.	→ The volume level is set to zero. Turn the volume up (☞ page 18). → The headphone plug is not connected properly. Connect it to 🎧 (headphones)/LINE OUT jack securely (☞ page 18). → The headphone plug is dirty. Clean the headphone plug with a soft dry cloth. → No audio data is stored in the hard disk.
The volume does not increase.	→ "AVLS" is set to "On." Set it to "Off" (☞ page 30).
There is no sound from the right channel of the headphones.	→ The headphone plug is not connected properly. Connect it to 🎧 (headphones)/LINE OUT jack securely (☞ page 18).
The volume cannot be adjusted.	→ "Audio Out" is set to "Line Out." Adjust the volume using the volume control on the connected device, or set "Audio Out" to "Headphone" (☞ page 30).
When using the player with a stereo system connected, the sound is distorted or noisy.	→ "Audio Out" is set to "Headphone." Set it to "Line Out" (☞ page 30).
When playing an MP3 audio track, the sound does not change even if the "V-SUR" and "SOUND EQ" in "Sound" have been set.	→ Only the settings in "Digital Sound Preset" work when playing an MP3 audio track (☞ page 30).

Operation/Playback

Symptom	Case and/or corrective action
Buttons do not work.	→ The buttons are locked. Slide the HOLD switch back (☞ page 19). → Moisture condensation has occurred. Leave the player aside for a few hours until the moisture evaporates. → The remaining battery power is insufficient. Charge the battery (☞ page 8). → When the player is connected to your computer that is powered, if the USB adaptor is connected to the player, button operations are disabled. Remove the USB adaptor from the player (☞ page 9).
Playback has stopped suddenly.	→ The remaining battery power is insufficient. Charge the battery (☞ page 8). → When trying to play an MP3 audio track that cannot be played on this player, playback will stop. Press ▶▶I to select other tracks (☞ page 19).
The backlight is not turned on.	→ "Backlight" is set to "Off." Set it to "Auto," "10 seconds," or "30 seconds" (☞ page 31).
"□" is displayed for a title.	→ Characters that cannot be displayed on the player are involved. Use the SonicStage software to rename the title with appropriate characters.

The display turns off.	→ The display automatically turns off if there is no operation for about 30 seconds (when using the battery) or about 3 minutes (when using the AC power adaptor) in stop mode. When scrolling track titles, etc., the display turns off about 30 seconds or about 3 minutes after scrolling is finished. Also, the display turns off when pressing and holding MENU. For all the cases, press any button to turn on the display again.

Connection with the computer/SonicStage

Symptom	Case and/or corrective action
The SonicStage software cannot be installed.	→ An operating system not compatible with the software is used (☞ page 10). → All Windows applications are not closed. If you start the installation while other programs are running, a malfunction may occur. This is especially true for programs that require large amounts of system resources, such as virus-check software. → There is not enough space on the hard disk of your computer. You need 200 MB or more free space. Delete the unnecessary files on your computer.
The installation appears to have stopped before it has finished.	→ Check for the appearance of an error message beneath the installation window. Press the "Tab" key while holding down the "Alt" key. If an error message has appeared, press the "Enter" key. The installation will resume. If there is no message, the installation is still in progress. Wait for a little while longer.
The progress bar on the display of your computer is not moving. The access lamp of your computer has not lit for a few minutes.	→ The installation is progressing normally. Please wait. The installation may take 30 minutes or more, depending on your CD drive or system environment.
"PC Connect" is not displayed when connecting to the computer with the USB cable.	→ Please wait for the authentication of the SonicStage software. → Another application is running on the computer. Wait for a while and reconnect the USB cable. If the problem persists, disconnect the USB cable, restart the computer, and then reconnect the USB cable. → The USB cable is not connected properly. Disconnect the USB cable and then reconnect it. → A USB hub is used. Connecting via a USB hub is not guaranteed. Connect the USB cable directly to the computer.

Continued

Symptom	Case and/or corrective action
The player is not recognized by the computer when it is connected to the computer.	→ The USB adaptor is not connected correctly to the player. Insert the USB adaptor securely until it reaches to the end and clicks into place (☞ page 8). → The USB cable is not connected properly. Disconnect the USB cable and then reconnect it. → A USB hub is used. Connecting via a USB hub is not guaranteed. Connect the USB cable directly to the computer. → The driver file for the player has not been installed. Reinstall the SonicStage software for the player using the supplied CD-ROM (☞ page 11) to install the driver together. → The installation of the SonicStage software had been failed. Disconnect the player and your computer, and then reinstall the software again using the supplied CD-ROM (☞ page 11). → Slide the BUILT-IN BATTERY switch to ON.
Audio data cannot be transferred to the player from your computer.	→ The USB cable is not connected properly. Disconnect the USB cable and then reconnect it. → The track has already been transferred to the player three times. Transfer back the track to the computer to increase the transferable count (☞ page 34), and then transfer it to the player again. → The free space of the hard disk in the player is insufficient. Transfer back any unnecessary tracks to your computer to increase the free space (☞ page 34). → You have already transferred over 65,535 tracks or over 4,096 groups to the hard disk of the player. Or you have already transferred over 999 tracks for a group. → Tracks with a limited playing period or playing count may not be transferred due to restrictions set by copyright holders. For details on the settings of each audio file, contact the distributor.
The number of tracks that can be transferred to the player is not much. (Available recording time is short.)	→ The free space in the hard disk of the player is not enough for the size of audio data you tried to transfer. Transfer back any unnecessary tracks to increase the free space (☞ page 34). → Data other than audio data is stored in the hard disk of the player. Move data other than audio data to the computer to increase the free space.
Audio data cannot be transferred back to your computer from the player.	→ A computer other than the one used for transfer to the player is selected as the transfer target. Audio data cannot be transferred back to a computer other than the one used for transfer to the player. → The audio data has been deleted from computer you used to transfer to the player. The audio data cannot be transferred back to your computer if the track is deleted from the computer used to transfer to the player.

Symptom	Case and/or corrective action
Audio data is transferred back to your computer and remaining transferable count increases without operations occasionally when the player is connected to the computer.	➔ If a track is deleted from the player using the SonicStage software installed on a computer other than the one used for transfer to the player, the track will be transferred back automatically when the player is connected to the computer that you used for transfer to the player. Therefore, the remaining transferable count increases automatically.
The operation of the player becomes unstable while it is connected to the computer.	➔ A USB hub or USB extension cable is used. Connecting via a USB hub or USB extension is not guaranteed. Connect the USB cable directly to the computer.
"Failed to authenticate Device/ Media." is displayed on the computer screen when the player is connected to the computer.	➔ The player is not connected to the computer properly. Quit the SonicStage software and verify the connection of the USB cable. Restart the SonicStage software.

Others

Symptom	Case and/or corrective action
There is no beep sound when the player is operated.	➔ "Beep" is set to "Off." Set it to "On" (☞ page 30).
The player or the USB adaptor gets warm.	➔ The player and the USB adaptor may get warm when the battery is being charged and just after charging because of quick charge. Besides, the player and the USB adaptor may get warm when transferring a large number of tracks. Leave the player aside for a while.
The sound is heard from the inside of the player. The player shakes.	➔ When the built-in hard disk of the player moves, the sound of operation may be heard, and the vibration of the player occurs. This is not a malfunction.

Error Messages

Follow the instructions below if an error message appears in the display.

Message	Meaning	Corrective action
AVLS NO VOLUME OPERATION	The volume exceeds the maximum volume of AVLS.	→ Set "AVLS" to "Off" (☞ page 30).
BOOKMARK FULL	The number of bookmarks exceeds the limit.	→ Remove unnecessary bookmarks (☞ page 24).
CANNOT OPERATE STOP	"Format" in the MENU display is selected during playback.	→ Stop playback and select "Format" again.
CANNOT OPERATE WHEN STOPPED	You are trying to add a bookmark while the player is stopped.	→ Add a bookmark during playback (☞ page 24).
CANNOT PLAY CONNECT TO PC	The clock in the player is not working.	→ Connect to the computer (☞ page 14).
CANNOT PLAY TRACK ERROR	Audio data is broken.	→ Transfer audio data to the player again (☞ page 14).
CANNOT PLAY TRACK ON THIS DEVICE	• The track is not permitted to be played back on the player. • The tracks with a limited playing count are playing.	→ You cannot play back tracks that are not permitted to be played back on the player.
CANNOT PLAY UNAVAILABLE FOR PLAYBACK	You are trying to play a track before or after its limited playing period.	→ Tracks with a limited playing time can only be played back within the designated playing period.
CHARGE 5°C – 35°C 41F – 95F	You are charging the player in an ambient temperature out of the 5 to 35°C (41 to 95°F) range.	→ Charge in an ambient temperature of between 5 to 35°C (41 to 95°F).
CONNECT AC POWER ADAPTER	• The player is connected to the computer but the AC power adaptor is not connected to the DC IN jack of the USB adaptor. • The AC power adaptor is disconnected from the USB adaptor while the player is connected to the computer.	→ Connect the AC power adaptor to the USB adaptor (☞ page 14).
HARD DISC WRITABLE 5°C – 35°C	You are transferring the audio data to the player in an ambient temperature out of the 5 to 35°C (41 to 95°F) range.	→ Operate in an ambient temperature of between 5 to 35°C (41 to 95°F).

Message	Meaning	Corrective action
HDD NOT INITIALIZED CORRECTLY	• The hard disk of the player is not correctly initialized. • The hard disk of the player was initialized on the computer. • The hard disk of the player has not been initialized because it was changed.	→ Initialize the hard disk of the player again (☞ page 37).
HOLD	The HOLD switch is set to ON.	→ Unlock the controls by sliding the HOLD switch in the direction opposite to that of the arrow (☞ page 19).
LINE OUT NO OPERATION	When "Audio Out" is set to "Line Out," you are trying to change the volume or the setting of "Sound."	→ Set "Audio Out" to "Headphone" (☞ page 30).
LOW BATTERY	There is no remaining battery power.	→ Charge the battery (☞ page 8).
MAX NO OF GROUPS EXCEEDED	The number of groups (albums, artists, etc.) exceeds the limit (8,192).	→ The total number of items in the list display (except track list) exceeds 8,192. Check the MODE and transfer any unnecessary tracks back to your computer (☞ page 34).
MISMATCH IN SYSTEM FILES	There is mismatch in the system files.	→ Initialize the hard disk of the player (☞ page 37) and transfer audio data to the player again (☞ page 14).
NO DATABASE FOUND	When disconnecting from the computer, there are no tracks transferred to the player, or there is lack of MODE information.	→ Transfer audio data to the player (☞ page 14).
NO TRACK	There are no tracks in the track list.	→ Go to a track list with tracks. → Transfer audio data to the player (☞ page 14).
SYSTEM ERROR <No. ***> (Number appears in parenthesis.)	There is a system error.	→ Write down the number and consult your nearest Sony dealer.

Specifications

Maximum recordable number of track (Approx.)*

ATRAC3	ATRAC3plus	MP3
5,000 (132 kbps)	2,500 (256 kbps)	5,000 (128 kbps)
6,000 (105 kbps)	10,000 (64 kbps)	10,000 (64 kbps)
10,000 (66 kbps)	13,000 (48 kbps)	

* When transferring four-minute tracks

Sampling frequency

44.1 kHz (ATRAC3plus), 32/44.1/48 kHz (MP3)

Audio compression technology

Adaptive Transform Acoustic Coding3plus (ATRAC3plus), MPEG-1 Audio Layer-3 (MP3)

Frequency response

20 to 20,000 Hz
(single signal measurement during playback)

Output

(headphones)/LINE OUT* :
Stereo minijack/194 mV

* The jack is used for both headphones and LINE OUT.

Operating temperature

5 to 35ºC (41 to 95ºF)

Power source

DC IN 6 V (from built-in rechargeable battery)

Battery life (continuous playback)

ATRAC3plus format (48 kbps): Approx. 30 hours
MP3 format (128 kbps): Approx. 22 hours

Dimension

Not including projecting parts:
90.0 × 62.1 × 14.8 (the thinnest part 13.8) mm
(3 5/8 × 2 1/2 × 19/32 (the thinnest part 9/16) inches) (w/h/d)
Including projecting parts:
90.8 × 63.4 × 15.7 mm
(3 5/8 × 2 1/2 × 5/8 inches) (w/h/d)

Mass

Approx. 130 g (4.6 oz)

US and foreign patents licensed from Dolby Laboratories.

Design and specifications are subject to change without notice.

Index

Symbols

A

B

C

http://www.sony.net/

Sony Corporation

SONY®

NW-HD3

Mode d'emploi FR

Network Walkman

Portable Hard Disk Audio Player



Atrac3plus

Pour passer à la section que vous souhaitez lire, cliquez sur le titre dans les signets du PDF ou dans la «Table des matières » du Mode d 'emploi, ou sur le numéro de page dans les phrases.



AVERTISSEMENT

Pour prévenir tout risque d'incendie ou d'électrocution, gardez cet appareil à l'abri de la pluie ou de l'humidité.

N'installez pas l'appareil dans un espace confiné comme dans une bibliothèque ou un meuble encastré.

Pour prévenir tout risque d'incendie, ne recouvrez pas la ventilation de l'appareil avec des journaux, nappes, rideaux, etc. Evitez également de placer des bougies allumées sur l'appareil.

Pour prévenir tout risque d'incendie ou d'électrocution, ne placez pas d'objets remplis de liquides (p. ex. un vase) sur l'appareil.

Remarque concernant l'installation

Si vous utilisez l'appareil à un endroit soumis à des parasites statiques ou électriques, les informations de rapatriement et d'extraction de la plage risquent d'être corrompues. Ceci empêcherait alors le bon déroulement de toute opération de rapatriement/extraction sur votre ordinateur.

A pleine puissance, l'écoute prolongée du baladeur peut endommager l'oreille de l'utilisateur.

Pour les utilisateurs aux Etats-Unis et au Canada

RECYCLAGE DES BATTERIES ION-LITHIUM

Les batteries ion-lithium sont recyclables. Vous pouvez contribuer à préserver l'environnement en rapportant les piles usées dans un point de collection et recyclage le plus proche.



Pour plus d'informations sur le recyclage des accumulateurs, téléphonez le numéro gratuit 1-800-822-8837 (Etats-Unis et Canada uniquement), ou visitez **http://www.rbrc.org/**.

Avertissement : Ne manipulez pas de batteries ion-lithium endommagées ou présentant des traces de fuite.

Table des matières

Remarques à l'attention des utilisateurs

A propos du logiciel fourni

- La législation sur les droits d'auteur interdit la reproduction complète ou partielle du logiciel ou du manuel qui l'accompagne, de même que le prêt du logiciel, sans l'autorisation du détenteur du copyright.
- En aucun cas, SONY ne pourra être tenu responsable de dommages financiers ou de pertes de bénéfices, y compris les réclamations de tiers, résultant de l'utilisation du logiciel fourni avec ce lecteur.
- En cas de problème avec ce logiciel résultant d'une fabrication défectueuse, SONY le remplacera. SONY n'assume toutefois aucune autre responsabilité.
- Le logiciel fourni avec le lecteur ne peut être utilisé avec un autre équipement que celui prévu à cet effet.
- Notez que, en raison d'efforts permanents visant à améliorer la qualité, les spécifications du logiciel peuvent être modifiées sans préavis.
- L'utilisation de ce lecteur avec un logiciel autre que celui fourni n'est pas couverte par la garantie.
- En fonction du type de texte et des caractères, il se peut que le texte affiché sur SonicStage ne s'affiche pas correctement sur le périphérique.
  Les causes possibles sont les suivantes :
  - Le lecteur connecté n'est pas compatible.
  - Le lecteur ne fonctionne pas normalement.

- SonicStage et le logo SonicStage sont des marques ou des marques déposées de Sony Corporation.
- OpenMG, ATRAC3plus et leurs logos sont des marques déposées de Sony Corporation.
- Microsoft, Windows, Windows NT et Windows Media sont des marques ou des marques déposées de Microsoft Corporation aux Etats-Unis et/ou d'autres pays.
- IBM et PC/AT sont des marques déposées d'International Business Machines Corporation.
- Macintosh est une marque d'Apple Computer, Inc. aux Etats-Unis et/ou d'autres pays.
- Pentium est une marque ou une marque déposée d'Intel Corporation.
- Adobe et Adobe Reader sont des marques ou des marques déposées d'Adobe Systems Incorporated aux Etats-Unis et/ou d'autres pays.
- Brevets américains et internationaux sous licence de Dolby Laboratories.
- Toutes les autres marques et marques déposées sont des marques ou des marques déposées de leurs détenteurs respectifs.
- Les marques ™ et ® n'apparaissent pas dans ce manuel.
- CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000-2003 Gracenote. Gracenote CDDB® Client Software, copyright 2000-2003 Gracenote.
  This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593 and other patents issued or pending.
  Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.

Précautions

Sécurité

- N'introduisez aucun corps étranger dans la prise DC IN de l'adaptateur USB.
- Veillez à ce que les bornes de l'adaptateur USB n'entrent pas en contact avec d'autres objets métalliques car ceci peut engendrer un court-circuit.

Installation

- N'exposez jamais le lecteur à des conditions extrêmes de luminosité, de température, d'humidité ou de vibrations.
- N'emballez jamais le lecteur lorsque vous l'utilisez avec l'adaptateur secteur. Une surchauffe interne pourrait entraîner un dysfonctionnement du lecteur ou risquerait de l'endommager.

Surchauffe interne

Une surchauffe interne risque de se produire si vous utilisez le lecteur ou l'adaptateur USB, lors de sa charge, pendant une période prolongée.

Casque

Sécurité routière

N'utilisez pas le casque à vélo ou pendant la conduite d'une voiture ou de tout autre véhicule motorisé. Cette pratique peut être dangereuse et est illégale dans de nombreux pays. Il peut également s'avérer dangereux de l'utiliser à volume élevé en marchant et plus particulièrement lorsque vous traversez un passage piéton. Redoublez de vigilance ou interrompez l'écoute dans les situations à risque.

Prévention des troubles de l'ouïe

Evitez d'utiliser le casque avec un volume sonore élevé. Les médecins déconseillent l'écoute prolongée à volume élevé. Si vous percevez des sifflements dans les oreilles, réduisez le volume ou interrompez l'écoute.

Respect d'autrui

Maintenez le volume à un niveau modéré. Ceci vous permettra d'entendre les sons extérieurs et d'être attentif à votre entourage.

Avertissement

Si des étincelles apparaissent lors de l'utilisation du lecteur, retirez immédiatement le casque.

Entretien

- Nettoyez le boîtier du lecteur avec un chiffon doux légèrement imprégné d'eau ou d'une solution détergente neutre.
- Nettoyez régulièrement la fiche du casque.

Remarques

- N'utilisez pas de tampon abrasif, de poudre à récurer ni de solvant tel qu'alcool ou benzène, qui risquent de ternir la surface du boîtier.
- Veillez à ne pas laisser l'adaptateur USB (lors d'un enregistrement ou non) en contact avec de l'eau au niveau de la partie servant à la connexion.

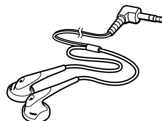
Si vous avez des questions ou des problèmes concernant le lecteur, consultez votre revendeur Sony le plus proche.

REMARQUES

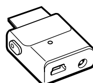
- La musique enregistrée ne peut être utilisée qu'à des fins privées. Toute utilisation autre doit faire l'objet d'une autorisation de la part des détenteurs des droits d'auteurs.
- Sony ne peut être tenu responsable d'un enregistrement ou téléchargement incomplet ou d'une corruption de données provenant d'un problème relatif au lecteur ou à l'ordinateur.

Vérification des accessoires fournis

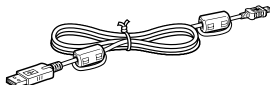
• Casque (1)



• Adaptateur USB (1)
(pour la connexion au câble USB et à l'adaptateur secteur fournis)



• Câble USB dédié (1)



• Adaptateur secteur (1)
• Etui de transport (1)
• CD-ROM (1)*
(SonicStage, PDF du mode d'emploi)
• Guide de démarrage rapide (1)

* Ne lisez pas ce CD-ROM dans un lecteur de CD audio.

Remarques

Lorsque vous utilisez cet appareil, observez les mesures de précaution ci-dessous afin d'assurer son bon fonctionnement et de ne pas déformer le boîtier.

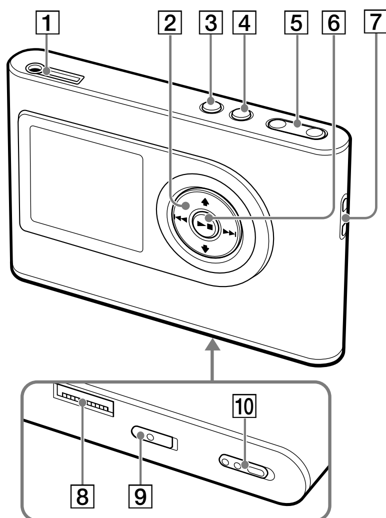
– Veillez à ne pas vous asseoir sur votre appareil lorsqu'il est dans votre poche arrière.



– Si vous avez placé l'appareil dans un sac après avoir enroulé le cordon de la télécommande, du casque ou des écouteurs autour de l'appareil, ne soumettez pas le sac à des chocs violents.

Guide pour les pièces et les commandes

Lecteur



1 Prise 🎧 (casque)/LINE OUT (☞ page 18)

2 Touches ↑, ↓, ⏮, ⏭ (☞ page 20, 21)

3 Touche MENU (☞ page 25, 29)

4 Touche MODE (☞ page 21)

5 Touches VOLUME +*/– (☞ page 18)

6 Touche ►■ (lecture/arrêt) (☞ page 18, 20)

7 Orifice pour dragonne**

8 Connecteur pour adaptateur USB (☞ page 8, 15)

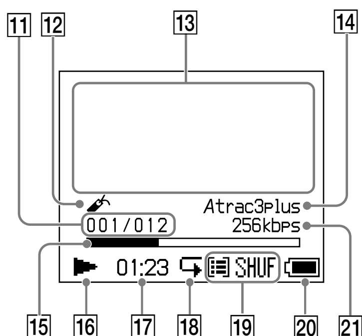
9 Commutateur BUILT-IN BATTERY (☞ page 8)

10 Commutateur HOLD (☞ page 19)

* Cette touche possède un point tactile.

** Utilisez l'orifice pour fixer la dragonne.

Affichage lecteur



11 Indicateur de numéro de piste (☞ page 20)

12 Affichage d'informations par caractères (☞ page 20)

13 Indicateur de signet (☞ page 24)

14 Indicateur Atrac3plus/MP3 (☞ page 19)

15 Barre de progression de lecture (☞ page 20)

16 Indicateur de lecture (☞ page 20)

17 Temps de lecture (☞ page 20)

18 Indicateur de lecture répétée (☞ page 28)

19 Indicateur du mode de lecture (☞ page 25),
Indicateur de son (lors du réglage du volume, ☞ page 30)

20 Indicateur de batterie (☞ page 9)

21 Débit binaire (☞ page 13)

A propos du numéro de série

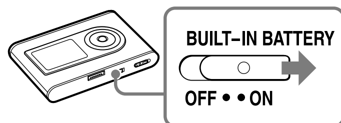
Le numéro de série fourni avec ce lecteur est requis lors de l'enregistrement du client. Ce numéro figure sur une étiquette située à l'arrière du lecteur.

Préparation de la source d'alimentation

Chargez la batterie rechargeable ion-lithium intégrée avant la première utilisation ou lorsqu'elle est usée.

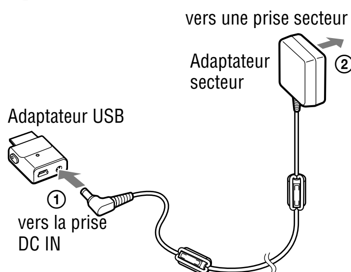
1 Faites glisser le commutateur BUILT-IN BATTERY sur ON.

La protection de la batterie rechargeable intégrée est déverrouillée et le lecteur est alimenté. Maintenez le commutateur sur la position ON.



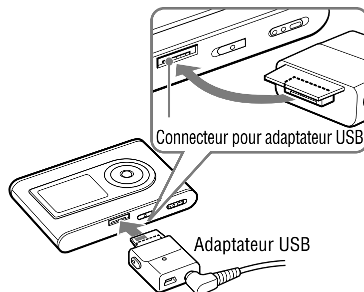
2 Branchez l'adaptateur secteur à l'adaptateur USB.

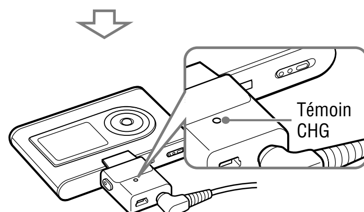
Branchez la prise DC de l'adaptateur secteur à la prise DC IN de l'adaptateur USB, puis branchez la prise secteur à une prise murale.



3 Connectez l'adaptateur USB au lecteur.

Insérez l'adaptateur USB comme indiqué ci-dessous, jusqu'à entendre un déclic.
La charge de la batterie commence. Le témoin CHG s'allume sur l'adaptateur USB et, si le lecteur est allumé, l'indicateur de batterie indique que le chargement est en cours.



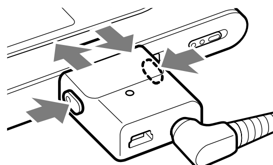


La charge est terminée et le témoin CHG disparaît au bout d'environ 3 heures*.
L'éclair apparaît sur l'affichage si le lecteur est en marche.
Pour une charge rapide, désactivez la fenêtre d'affichage puis débranchez le câble USB de l'adaptateur USB. Il faut alors environ 1 heure* pour charger 80 % de la batterie.

* Il s'agit du temps de charge approximatif d'une batterie totalement déchargée, à température ambiante. Lorsque la fenêtre d'affichage est activée, il faut environ 5 heures pour que la batterie soit chargée. Le temps de charge peut varier en fonction de la capacité restante et de l'état de la batterie. Notez également que le temps de charge est plus long à basse température.

Pour retirer l'adaptateur USB du lecteur

Tout en appuyant sur les boutons gris situés de chaque côté, poussez l'adaptateur USB vers l'appareil, puis retirez-le.



Recharge de la batterie à l'aide d'une connexion USB

Allumez votre ordinateur, puis connectez le câble USB à celui-ci (☞ page 14).
Le témoin CHG s'allume sur l'adaptateur USB et la charge de la batterie commence.
Il faut compter environ 5 heures pour une recharge totale. Lorsque le lecteur est connecté à l'adaptateur secteur, c'est par ce dernier que le lecteur est alimenté.

Remarques

- Lors d'une recharge par connexion USB, l'opération peut durer plus longtemps si l'alimentation de votre ordinateur est insuffisante.
- Lors d'une recharge par connexion USB, l'opération s'interrompt sous certains systèmes d'exploitation.
- Il se peut que la charge du lecteur s'interrompe afin d'éviter une surchauffe du lecteur, par exemple si le lecteur reste longtemps connecté à l'ordinateur pendant la charge. Le témoin CHG s'éteint alors. Retirez l'adaptateur USB du lecteur et reprenez la charge après quelques instants.
- Si vous ne devez pas utiliser votre lecteur pendant une période de plus de trois mois, mettez le commutateur BUILT-IN BATTERY en position OFF afin d'éviter d'endommager la batterie.
- Chargez la batterie à une température ambiante comprise entre 5 et 35 ºC (entre 41 et 95 ºF).

Remarques sur l'adaptateur secteur

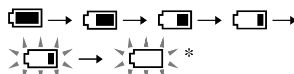
- Utilisez uniquement l'adaptateur secteur et l'adaptateur USB fournis avec le lecteur. N'utilisez aucun autre type d'adaptateur secteur car cela pourrait provoquer un dysfonctionnement du lecteur.



- Le lecteur n'est pas déconnecté de la source d'alimentation secteur tant qu'il reste raccordé à la prise murale, même s'il a été mis hors tension.
- Si vous prévoyez de ne pas utiliser ce lecteur pendant une période prolongée, déconnectez-le de la source d'alimentation. Pour débrancher l'adaptateur secteur de la prise murale, saisissez la fiche ; ne tirez jamais sur le cordon.

Vérification de la puissance restante de la batterie

La puissance restante de la batterie est indiquée sur l'affichage. Plus l'indicateur noir diminue, plus la batterie se vide.



* « BATT FAIBLE » apparaît sur l'affichage et un bip sonore se fait entendre.

Quand la batterie est usée, rechargez-la.

Remarques

- L'affichage montre la puissance restante approximative de la batterie. Par exemple, une seule section ne signifie par forcément qu'il reste un quart de puissance.
- Selon les conditions d'utilisation, l'affichage peut augmenter ou diminuer en fonction de la puissance restante effective.

Durée de vie de la batterie (utilisation continue)

Le temps de lecture pour le format ATRAC3plus 48 Kbits/s est d'environ 30 heures. Le temps de lecture pour le format MP3 128 Kbits/s est d'environ 22 heure.
La durée de vie varie en fonction de l'utilisation du lecteur.

Installation de SonicStage sur votre PC

Installez le logiciel SonicStage sur votre ordinateur à l'aide du CD-ROM fourni.

Préparation du système requis

L'environnement d'exploitation suivant est nécessaire.

Ordinateur	IBM PC/AT ou compatible • Processeur : Pentium II 400 MHz ou supérieur (Pentium III 450 MHz ou supérieur recommandé.) • Espace sur le disque dur : 200 Mo ou plus (1,5 Go minimum recommandé.) (La quantité d'espace varie en fonction de la version de Windows et du nombre de fichiers musicaux stockés sur le disque dur.) • Mémoire RAM : 64 Mo ou plus (128 Mo minimum recommandé.) Divers • Lecteur de CD (pouvant assurer la lecture numérique par WDM) • Carte son • Port USB (USB à haut débit pris en charge.)
Système d'exploitation	Installation standard : Windows XP Media Center Edition 2005/Windows XP Media Center Edition 2004/ Windows XP Media Center Edition/Windows XP Professionnel/ Windows XP Edition Familiale/Windows 2000 Professionnel/ Windows Millennium Edition/Windows 98 Deuxième Edition
Affichage	High Color (16 bits) ou supérieur, 800 × 600 points minimum (1 024 × 768 points minimum recommandé)
Divers	• Accès à Internet : pour l'enregistrement Web, les services EMD et CDDB • Windows Media Player (version 7.0 ou supérieure) installé pour la lecture de fichiers WMA

Remarques

- SonicStage n'est pas pris en charge par les environnements suivants :
  - Systèmes d'exploitation autres que ceux mentionnés ci-dessus
  - Ordinateurs ou systèmes d'exploitation personnels
  - Un environnement qui est une mise à jour du système d'exploitation original installé par le fabricant
  - Environnement multiamorçage
  - Environnement multimoniteur
  - Macintosh
- Nous ne garantissons pas un fonctionnement parfait sur tous les ordinateurs présentant la configuration requise.
- Le format NTFS de Windows XP/Windows 2000 Professionnel ne peut être utilisé qu'avec les paramètres par défaut (standard).
- Pour les utilisateurs de Windows 2000 Professionnel, installez le Service Pack 3 ou version ultérieure avant d'utiliser le logiciel.
- Nous ne garantissons pas un fonctionnement parfait de la mise en veille du système sur les ordinateurs.

Installation de SonicStage

Lisez les recommandations suivantes avant d'installer le logiciel SonicStage.

- Fermez toutes les autres applications, y compris les logiciels antivirus, dans la mesure où ce type de logiciel occupe généralement un volume important de ressources système.
- Assurez-vous d'installer SonicStage avec le CD-ROM fourni.
  – Si OpenMG Jukebox ou SonicStage est déjà installé, le logiciel précédent est écrasé par la nouvelle version et les nouvelles fonctions associées.
  – Si SonicStage Premium, SonicStage Simple Burner ou MD Simple Burner est déjà installé, le logiciel précédent coexiste avec SonicStage.
  – Vous serez toujours en mesure d'utiliser les données audio enregistrées par une version précédente du logiciel. Par mesure de précaution, nous vous conseillons tout de même de sauvegarder vos données audio. Pour sauvegarder les données, reportez-vous aux rubriques « Sauvegarde de Ma bibliothèque » – « Sauvegarde de données sur un disque » de l'Aide de SonicStage.

1 **Mettez l'ordinateur sous tension et démarrez Windows.**

2 **Insérez le CD-ROM fourni dans le lecteur de votre ordinateur.**

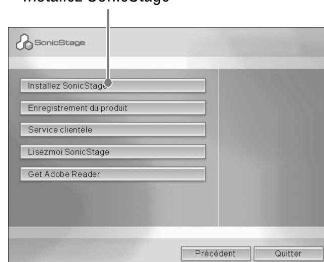
Le programme d'installation démarre automatiquement et la fenêtre d'installation apparaît.
Selon la région où vous habitez, une fenêtre peut apparaître pour vous laisser préciser le pays. Dans ce cas, suivez les instructions qui s'affichent.

3 **Cliquez sur la région où vous allez utiliser le logiciel SonicStage.**



4 **Cliquez sur « Installez SonicStage », puis suivez les instructions à l'écran.**

« Installez SonicStage »



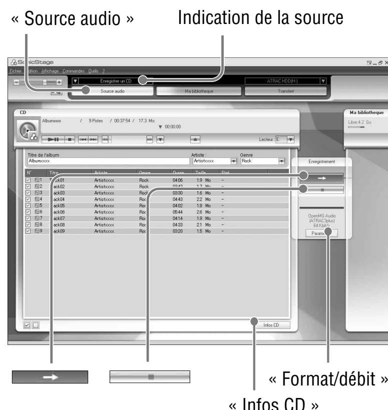
Lisez attentivement ces instructions.
Selon la région où vous habitez, les boutons autres que « Installez SonicStage » peuvent différer de ceux présentés dans l'illustration ci-dessus.
L'installation peut prendre de 20 à 30 minutes, selon votre environnement d'exploitation.
Ne redémarrez l'ordinateur qu'une fois l'installation terminée.
En cas de problèmes pendant l'installation, reportez-vous à la section « Dépannage » (☞ page 41).

Remarque sur la désinstallation

Lorsque vous installez SonicStage, « OpenMG Secure Module » s'installe en même temps. Si vous désinstallez SonicStage, ne supprimez pas OpenMG Secure Module dans la mesure où il peut être utilisé par d'autres logiciels.

Importation de données audio sur votre ordinateur

Enregistrez et stockez des pistes (données audio) à partir d'un CD audio dans « Ma bibliothèque » de SonicStage sur le disque dur de votre ordinateur.
Vous pouvez également enregistrer ou importer des pistes d'autres sources : Internet et le disque dur de votre ordinateur, par exemple. Pour plus d'informations, reportez-vous à l'aide de SonicStage (☞ page 16).



1 **Sélectionnez « Démarrer » – « Tous les programmes »* – « SonicStage » – « SonicStage. »**

SonicStage démarre.
Si vous utilisez une version précédente de SonicStage, la fenêtre « Outil de conversion de fichiers de SonicStage »** apparaît lorsque vous lancez le logiciel pour la première fois après son installation. Suivez les instructions qui s'affichent dans la fenêtre.



* « Programmes » sous Windows Millennium Edition/Windows 2000 Professionnel/ Windows 98 Deuxième Edition

**Cet outil convertit les fichiers audio importés vers votre ordinateur, grâce à SonicStage2.0 ou une version antérieure, en un format de données optimal (OpenMG) pour ce lecteur, afin de transférer, à très grande vitesse, ces données vers le lecteur.

2 **Insérez le CD audio à enregistrer dans le lecteur CD de l'ordinateur.**

Dans le coin supérieur gauche de la fenêtre SonicStage, l'indication de la source passe à « Enregistrer un CD ».

3 **Cliquez sur « Source audio » dans la fenêtre SonicStage.**

Le contenu du CD audio apparaît dans la liste des sources audio. Si les informations du CD, telles que le titre de l'album, le nom de l'artiste et les titres des pistes ne peuvent être obtenues automatiquement, connectez votre ordinateur à Internet, puis cliquez sur « Infos CD », sur le côté droit de la fenêtre.

4 **Si nécessaire, modifiez le format et le débit binaire pour l'enregistrement du CD audio.**

Cliquez sur « Format/débit » sur la partie droite de l'écran SonicStage pour afficher la boîte de dialogue « Format d'enregistrement CD [Ma bibliothèque] ». Les paramètres par défaut sont OpenMG Audio (ATRAC3plus) pour le format et 64 Kbits/s pour le débit binaire.

5 **Cliquez sur [→] dans la fenêtre SonicStage.**

L'enregistrement des pistes sélectionnées commence.

Pour arrêter l'enregistrement

Cliquez sur [■] dans la fenêtre SonicStage.

Pour sélectionner les pistes que vous ne souhaitez pas enregistrer.

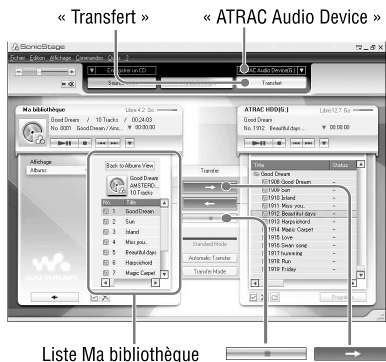
Avant de passer à l'étape **5**, cliquez sur le numéro de la piste à désélectionner ☑ dans la fenêtre SonicStage.

Remarque

Seuls les CD portant la mention COMPACT DISC DIGITAL AUDIO peuvent être utilisés avec SonicStage. Nous ne garantissons pas un fonctionnement normal en cas d'utilisation de CD protégés contre la copie.

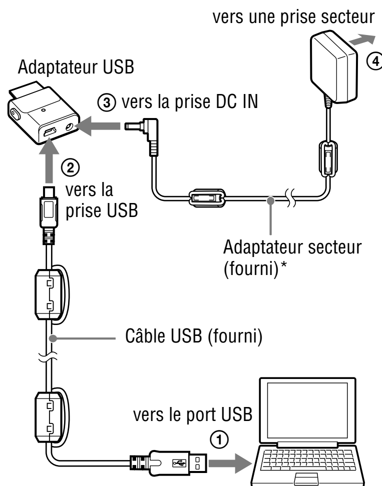
Transfert des données audio vers le lecteur

Transférez les pistes (données audio) stockées dans « Ma bibliothèque » de SonicStage (sur votre ordinateur) vers le lecteur au format ATRAC3plus/MP3*.
Les données audio à transférer contiennent des informations, telles que le nom de l'artiste et le titre de l'album (titre de l'album d'origine) dans les informations du CD.



1 **Branchez l'adaptateur USB à votre ordinateur et à l'adaptateur secteur.**

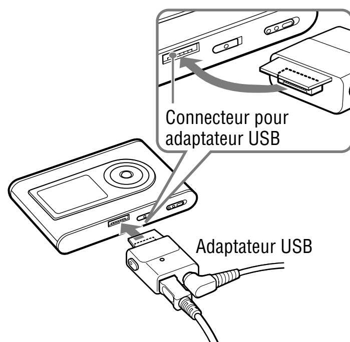
Procédez au branchement en suivant les étapes ① à ④ comme indiqué ci-dessous. Branchez la plus grosse prise du câble USB au port USB de votre ordinateur et la plus petite à la prise USB de l'adaptateur secteur.



* Lors du transfert de données audio, veillez à bien brancher l'adaptateur secteur à l'adaptateur USB. Il est impossible de transférer des données audio si ceux-ci ne sont pas reliés.

2 Connectez l'adaptateur USB au lecteur.

Insérez l'adaptateur USB comme indiqué ci-dessous, jusqu'à entendre un déclic. « PC connecté » apparaît dans la fenêtre d'affichage.
L'affichage signalant le transfert automatique apparaît dans la fenêtre SonicStage. Suivez les instructions qui s'affichent dans la fenêtre. Pour plus d'informations, reportez-vous à l'aide de SonicStage (☞ page 16).



3 Cliquez sur « Transfert » dans la partie droite de la fenêtre SonicStage.

L'écran de transfert s'affiche.

4 Dans la partie droite de la fenêtre SonicStage, sélectionnez « ATRAC Audio Device » dans la liste des destinations du transfert.

5 Dans la partie gauche de la fenêtre SonicStage, cliquez sur les pistes que vous souhaitez transférer de la liste « Ma bibliothèque ».

Pour transférer plusieurs pistes, maintenez la touche « Ctrl » enfoncée tout en sélectionnant les pistes. Pour transférer toutes les pistes de l'album, cliquez sur l'album.

6 Cliquez sur [→] dans la fenêtre SonicStage.

Le transfert des pistes sélectionnées commence.
Vous pouvez vérifiez l'état du transfert dans la fenêtre SonicStage.

Pour arrêter le transfert

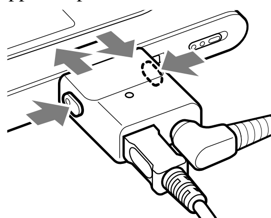
Cliquez sur [■] dans la fenêtre SonicStage.

Remarques

N'exposez pas le lecteur à des vibrations lors du transfert de données audio. Ne placez pas non plus le lecteur à proximité d'une source de champ magnétique.

Pour retirer l'adaptateur USB du lecteur

Tout en appuyant sur les boutons gris situés de chaque côté, poussez l'adaptateur USB vers l'appareil, puis retirez-le.



Suite

Remarques

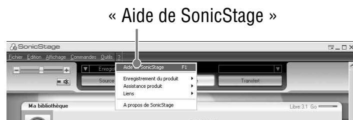
- Ne débranchez ni le câble USB ni le connecteur USB pendant le transfert des données. Si vous les débranchez, les données en cours de transfert peuvent être perdues.
- L'utilisation du lecteur par le biais d'un concentrateur USB ou d'une rallonge USB n'est pas garantie. Connectez toujours le lecteur à l'ordinateur à l'aide du câble USB fourni.
- Il est possible que certains appareils USB connectés à l'ordinateur nuisent au bon fonctionnement du lecteur.
- Les touches de commande du lecteur sont toutes désactivées lorsque celui-ci est connecté à l'ordinateur. Si vous reliez le lecteur à l'adaptateur USB connecté à l'ordinateur pendant la lecture, celle-ci s'arrête et « PC connecté » apparaît dans la fenêtre d'affichage du lecteur.
- Le transfert de données échoue si le lecteur ne dispose pas d'un espace libre suffisant pour ce transfert.
- Au cours du transfert, la mise en veille du système ne fonctionne pas.
- Selon le type de texte et le nombre de caractères, le texte saisi par SonicStage risque de ne pas s'afficher sur le lecteur, en raison des limitations propres au lecteur.
- Une surchauffe peut survenir si le lecteur est connecté trop longtemps à un ordinateur sous tension ou suite au transfert d'un nombre de données important. Cependant, il ne s'agit pas d'un dysfonctionnement. Déconnectez le lecteur de l'adaptateur USB et laissez-le de côté pendant quelques instants.

Utilisation de l'Aide de SonicStage

L'Aide de SonicStage fournit des informations détaillées sur l'utilisation de SonicStage. L'Aide de SonicStage vous permet de rechercher aisément des informations. Vous pouvez choisir une rubrique à partir d'une liste d'opérations telles que l'importation ou le transfert de données audio, choisir un mot-clé dans la liste fournie ou saisir les mots qui vous amèneront aux explications voulues.

1 Cliquez sur « ? » – « Aide de SonicStage » pendant l'exécution de SonicStage.

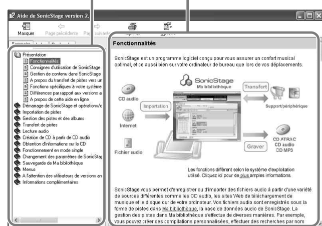
L'aide apparaît.
Dans l'Aide de SonicStage, « ATRAC Audio Device » fait référence au lecteur.



Remarques

- « support/périphérique » est le terme générique utilisé pour désigner ce lecteur dans l'aide de SonicStage.
- Suivez les instructions de votre fournisseur d'accès Internet sur la configuration système recommandée.

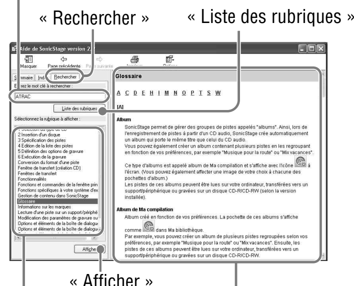
Fonctionnement de l'aide de SonicStage



1 Double-cliquez sur « Présentation » dans la fenêtre de gauche de l'Aide de SonicStage.

2 Cliquez sur « A propos de cette aide en ligne ».
L'explication apparaît dans la fenêtre de droite.
Faites éventuellement défiler l'affichage. Cliquez sur les mots soulignés pour afficher leurs explications.

Pour rechercher un mot dans une explication



1 Cliquez sur « Rechercher ».

2 Saisissez les termes recherchés.

3 Cliquez sur « Liste des rubriques ».
Une liste des mots saisis s'affiche.

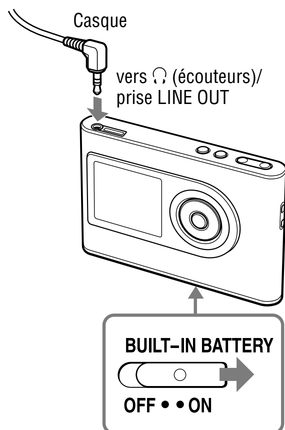
4 Cliquez sur l'élément qui vous intéresse pour le sélectionner.

5 Cliquez sur « Afficher ».
L'explication correspondant à l'élément sélectionné s'affiche.

Lecture

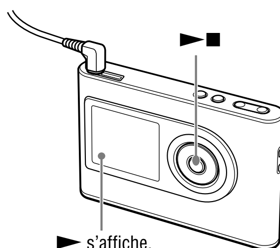
En premier lieu, transférez les données audio de votre ordinateur vers le lecteur (☞ page 14).
Vous pouvez sélectionner votre propre langue pour le menu et les messages qui apparaissent sur l'affichage (☞ page 29).

1 Après avoir positionné le commutateur BUILT-IN BATTERY sur ON (☞ page 8), branchez le casque sur le lecteur.

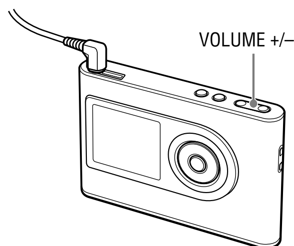


2 Appuyez sur ►■.

► (lecture) apparaît en bas à gauche de l'affichage et la lecture démarre.



3 Réglez le volume en appuyant sur VOLUME +/–.



Données audio pouvant être lues

Ce lecteur peut lire les données audio compressées aux formats ATRAC3plus/MP3.
ATRAC3plus (Adaptive Transform Acoustic Coding3plus) est une technologie de compression de fichiers audio qui satisfait à des exigences de qualité sonore et de taux de compression élevées.
ATRAC3plus permet de compresser les fichiers audio à environ 1/20 de leur taille d'origine à la vitesse de 64 Kbits/s.
Les caractéristiques des formats de fichiers MP3 pris en charge sont les suivantes :

-MPEG-1 Audio Layer-3
-Débit binaire compris entre 32 et 320 Kbits/s (DBC/DBV)
-Fréquences d'échantillonnage 32/44,1/48 kHz

Remarques

- Les fichiers MP3 non pris en charge par le lecteur peuvent malgré tout être transférés sur celui-ci.
- Si vous essayez de lire des pistes MP3 non compatibles avec ce lecteur, la lecture s'interrompt automatiquement. Appuyez sur ⏭ pour sélectionner d'autres pistes.
- Lorsque vous utilisez la batterie intégrée, si le lecteur n'est pas utilisé pendant 30 secondes environ pendant qu'il est à l'arrêt, l'affichage s'éteint automatiquement. Lorsque vous faites défiler des titres de piste, etc., l'affichage s'éteint environ 30 secondes après la fin du défilement.
- Lorsque vous utilisez l'adaptateur secteur, si le lecteur n'est pas utilisé pendant 3 minutes environ pendant qu'il est à l'arrêt, l'affichage s'éteint automatiquement. Lorsque vous faites défiler des titres de piste, etc., l'affichage s'éteint environ 3 minutes après la fin du défilement.
- Si la lecture ne démarre pas, assurez-vous que le commutateur HOLD est positionné sur off (☞ à droite).

Verrouillage des commandes (HOLD)

Vous pouvez éviter d'appuyer par mégarde sur des touches pendant le transport en verrouillant les commandes. « HOLD » clignote sur l'affichage si vous appuyez sur n'importe quelle touche alors que la fonction HOLD est activée.

1 Faites glisser le commutateur HOLD dans le sens de la flèche.

Pour déverrouiller les commandes

Faites glisser le commutateur HOLD dans le sens opposé à la flèche.

Suite ⟶

Fonctions de base en lecture (lecture, arrêt, avance/retour rapide)

Pour	Opération
Reprendre la lecture au point de sa précédente interruption	Appuyez sur ►■. La lecture commence depuis le point où vous l'avez arrêtée précédemment.
Arrêter la lecture	Appuyez sur ►■.
Localiser le début de la piste en cours	Appuyez une fois sur I◄◄.
Localiser le début des pistes précédentes*	Appuyez plusieurs fois sur I◄◄.
Localiser le début de la piste suivante*	Appuyez une fois sur ►►I.
Localiser le début des pistes suivantes*	Appuyez plusieurs fois sur ►►I.
Revenir rapidement en arrière	Maintenez la touche I◄◄ enfoncée.
Avancer rapidement	Maintenez la touche ►►I enfoncée.

* Lorsque la lecture aléatoire ou la lecture aléatoire d'une unité de lecture (☞ page 26) est sélectionnée, l'ordre de lecture est différent.

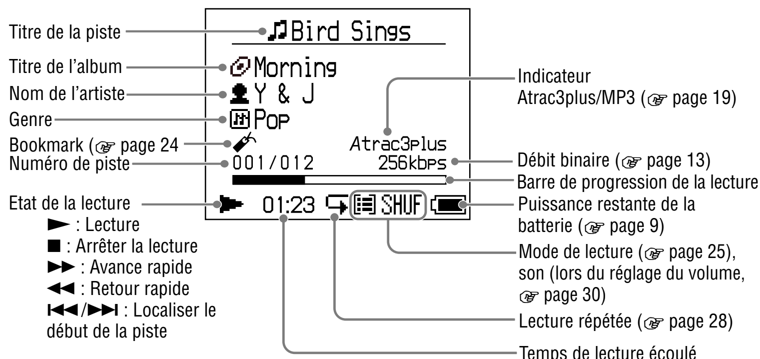
Pour éteindre le lecteur

Maintenez la touche MENU enfoncée jusqu'à ce que l'affichage disparaisse.
Pour rallumer le lecteur, appuyez sur une touche.

Vérification des informations dans l'affichage

Vous pouvez contrôler les données audio et l'état de la lecture dans l'affichage du lecteur.

Affichage du lecteur pendant la lecture



Remarque

Les caractères A-Z, a-z, 0-9 et les symboles (à l'exception de /) sont pris en charge.

Lecture de pistes sélectionnées par MODE (Artiste, Album, Genre, Groupe, etc.)

En regroupant les pistes du lecteur dans un « MODE » du type « Artiste » ou « Album », vous pouvez sélectionner les pistes que vous souhaitez écouter.
Il existe cinq MODES différents. Les étapes suivantes utilisent le MODE « Artiste » comme exemple d'affichage.
Pour obtenir des détails sur les affichages de chaque MODE, voir ☞ page 23.
Vous pouvez également lire les pistes sélectionnées plusieurs fois (☞ page 28) ou de façon aléatoire (lecture aléatoire, ☞ page 26).

1 Appuyez plusieurs fois sur MODE pour sélectionner un MODE.

Chaque pression sur la touche modifie le MODE de la façon suivante :

Artiste ( ) → Album ( )* →
Genre ( ) → Groupe ( )** →
Autres → Revenir à Artiste

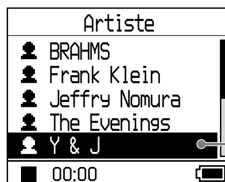


* Un titre d'album (titre d'album original) s'affiche dans les informations du CD de SonicStage.

** Dans SonicStage, un album est considéré comme un groupe.

2 Appuyez sur ↑ ou ↓ pour sélectionner un élément dans le MODE.

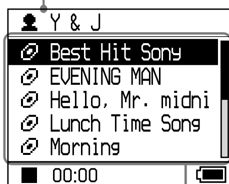
Pour démarrer la lecture, appuyez sur ►■. La lecture commence à partir de la première piste du premier album de l'artiste que vous avez sélectionné. Tous les albums des artistes répertoriés après l'artiste sélectionné sont lus dans l'ordre des numéros de piste.



Suite ⟶

3 Pour rechercher plus de pistes, appuyez sur ▶▶I.

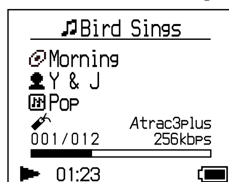
Artiste sélectionné à l'étape 2.



Les albums de l'artiste sélectionné s'affichent.

4 Appuyez sur ⬆ ou ⬇ pour sélectionner un élément, puis appuyez sur ►■.

La lecture démarre à partir de la piste sélectionnée ou de la première piste de l'élément (artiste, album, etc.) sélectionné. Toutes les pistes répertoriées après les éléments sélectionnés sont lues dans l'ordre des numéros de piste.



Pour revenir à l'affichage où vous avez démarré la lecture

Maintenez la touche MODE enfoncée.

Pour revenir à l'affichage où vous avez sélectionné un MODE

Appuyez sur MODE.

Pour revenir à la liste des pistes

Appuyez sur ⬆ ou ⬇.

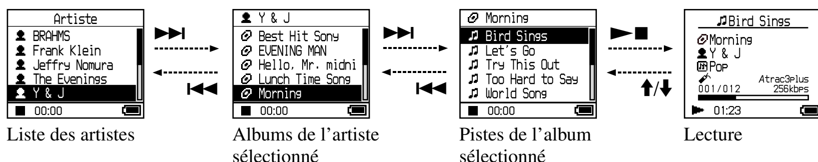
Pour arrêter la lecture lors de la sélection d'un MODE ou dans l'affichage de la liste

Maintenez la touche ►■ enfoncée.

Affichages MODE

L'affichage est différent selon le MODE.
Vous pouvez démarrer la lecture en appuyant sur ►■ dans tous les affichages.

Artiste



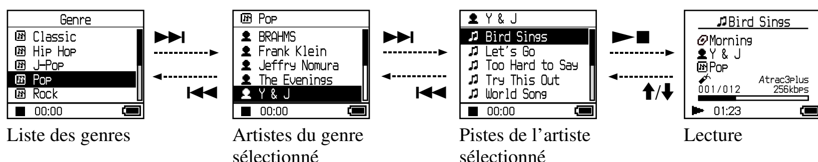
Liste des artistes — Albums de l'artiste sélectionné — Pistes de l'album sélectionné — Lecture

Album : affiche un titre d'album (titre d'album original) dans les informations du CD de SonicStage



Liste des albums — Pistes de l'album sélectionné — Lecture

Genre



Liste des genres — Artistes du genre sélectionné — Pistes de l'artiste sélectionné — Lecture

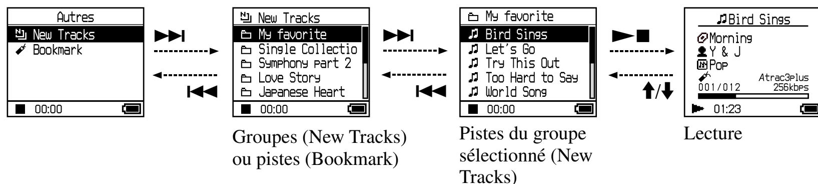
Groupe : lit les pistes des groupes d'albums créés dans SonicStage



Liste des groupes — Pistes du groupe sélectionné — Lecture

Autres

- « New Tracks » : pistes des groupes récemment transférées dans le lecteur (les 5 plus récentes)
- « Bookmark » : pistes pourvues d'un signet (pour savoir comment ajouter le signet, ☞ page 24)



Groupes (New Tracks) ou pistes (Bookmark) — Pistes du groupe sélectionné (New Tracks) — Lecture

Ajout d'un signet (Lecture de pistes pourvues de signets)

Vous pouvez lire vos pistes préférées en leur ajoutant un signet. Pour lire les pistes pourvues d'un signet, sélectionnez le MODE « Autres » (☞ page 21).

1 Pendant la lecture de la piste sur laquelle vous souhaitez ajouter un signet, maintenez la touche ↑ ou ↓ enfoncée.

Le nombre de signets (le nombre de pistes pourvues d'un signet/le nombre de signets pouvant être ajoutés) s'affiche, puis (Signet) s'allume.

2 Si vous souhaitez ajouter un signet à plusieurs pistes, répétez l'étape 1.

Il est possible d'ajouter des signets sur une centaine de pistes.

Pour lire les pistes pourvues d'un signet

1. Appuyez plusieurs fois sur MODE pour sélectionner le MODE « Autres ».
2. Appuyez sur ↑ ou ↓ pour sélectionner « Signet », puis appuyez sur ▶▶I.
   Pour lire toutes les pistes pourvues d'un signet, appuyez sur ▶■.
3. Appuyez sur ↑ ou ↓ pour sélectionner une piste, puis appuyez sur ▶■.

Pour supprimer des signets

Lors de la lecture de la piste sur laquelle vous souhaitez supprimer un signet, maintenez la touche ↑ ou ↓ enfoncée.
« Arrêt » s'affiche et disparaît de l'affichage.

Remarque

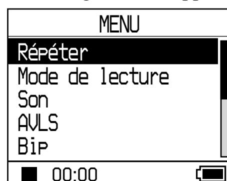
Vous pouvez ajouter ou supprimer un signet uniquement pendant la lecture.

Changement des options de lecture
(Mode de lecture)

Vous pouvez utiliser plusieurs options de lecture comme la sélection des morceaux que vous souhaitez écouter ou la lecture aléatoire des morceaux.
Pour obtenir des détails sur les options de lecture (Mode de lecture), voir ☞ page 26, 27.
Vous pouvez également lire des morceaux plusieurs fois de suite grâce aux options de lecture (Lecture répétée, ☞ page 28).

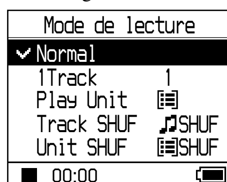
1 Appuyez sur MENU.

L'affichage MENU apparaît.



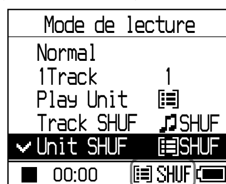
2 Appuyez sur ⬆ ou ⬇ pour sélectionner « Mode de lecture », puis appuyez sur ►■.

L'affichage Mode de lecture apparaît.



3 Appuyez sur ⬆ ou ⬇ pour sélectionner les options de lecture, puis appuyez sur ►■.

Le paramètre par défaut est « Normal » (lecture normale).



Les options de lecture s'affichent.

4 Appuyez deux fois sur MENU pour atteindre la fenêtre d'affichage de lecture, puis appuyez sur ►■.

La lecture démarre dans l'option de lecture sélectionnée.

Pour annuler la configuration

Appuyez sur MENU pour revenir à l'affichage MENU.
Maintenez la touche MODE enfoncée ou appuyez sur MENU dans l'affichage MENU pour revenir à l'affichage antérieur à l'étape **1**.

Pour revenir en lecture normale

Dans l'étape **3**, sélectionnez « Normal ».

Pour revenir à l'affichage où vous avez sélectionné un MODE

Appuyez sur MODE.

Remarque

Lorsque vous modifiez le mode de lecture, l'unité de lecture (☞ page 27) passe également à toutes les pistes enregistrées dans le lecteur.
Pour lire uniquement le mode de lecture sélectionné, sélectionnez l'élément (artiste, album, piste, etc.) dans la liste.

Suite ⟶

Options de lecture (Mode de lecture)

La plage des pistes à lire (« Unité de lecture » ☞ page 27) diffère selon le MODE (☞ page 21) sur lequel vous avez démarré la lecture.

Dans l'affichage/l'icône MENU	Explication
Normal/Pas d'icône (Lecture normale)	Toutes les pistes après la piste sélectionnée sont lues une fois dans l'ordre des numéros de piste. Lorsque vous sélectionnez un élément (album, artiste, etc.) autre qu'une piste, toutes les pistes sont lues une fois, à partir de la première piste de l'élément dans l'ordre des numéros de piste.
1 Track/1 (Lecture d'une seule piste)	La piste sélectionnée n'est lue qu'une seule fois. Lorsque vous sélectionnez un élément (album, artiste, etc.) autre qu'une piste, seule la première piste est jouée une fois.
Play Unit/ (Lecture de l'unité de lecture)	Toutes les pistes de l'unité de lecture sélectionnée sont lues une fois dans l'ordre des numéros de piste.
Track SHUF/ SHUF (Lecture aléatoire)	Toutes les pistes de l'unité de lecture sélectionnée sont lues une fois de façon aléatoire. Dans l'affichage où vous sélectionnez un MODE, toutes les pistes enregistrées sont lues une fois de façon aléatoire.
Unit SHUF/ SHUF (Lecture aléatoire de l'unité de lecture)	Toutes les pistes de l'unité de lecture sélectionnée sont lues une fois, de façon aléatoire, pour chaque unité de lecture.

Qu’est-ce qu’une « unité de lecture » ?

Tous les éléments (artiste, album, piste, etc.) de la liste, lorsque vous démarrez la lecture, sont appelés « unité de lecture ».
Lorsque vous modifiez le mode de lecture, l’unité de lecture passe également à toutes les pistes enregistrées dans le lecteur.

Pendant la lecture d’une unité de lecture

Exemple : lorsque vous sélectionnez le MODE Artiste

Artistes	Albums	Pistes
Toutes les pistes de tous les artistes constituent une unité de lecture.	Toutes les pistes de tous les albums de l’artiste « Y & J » constituent une unité de lecture.	Toutes les pistes de l’album « Morning » de l’artiste « Y & J » constituent une unité de lecture.
Si vous avez sélectionné « Play Unit » (lecture de l’unité de lecture)		
• La lecture démarre à partir des pistes de « Y & J » et s’arrête une fois que toutes les pistes de « The Evenings » ont été lues.	• La lecture démarre à partir de l’album « Morning » et s’arrête une fois que toutes les pistes de l’album « Lunch Time Song » ont été lues.	• La lecture démarre à partir de la première piste de l’album « Morning » et s’arrête une fois que toutes les pistes ont été lues.
Si vous avez sélectionné « Unit SHUF » (lecture aléatoire de l’unité de lecture)		
• La lecture est aléatoire pour tous les artistes. Les albums ou les pistes de l’artiste sont lus dans l’ordre.	• La lecture est aléatoire pour tous les albums. Les pistes de l’album sont lues dans l’ordre.	• Les pistes de l’album « Morning » sont lues de façon aléatoire.
Si vous avez sélectionné « Track SHUF » (lecture aléatoire)		
• Toutes les pistes enregistrées sont lues de façon aléatoire.	• Les pistes de tous les albums de « Y & J » sont lues de façon aléatoire.	• Les pistes de l’album « Morning » sont lues de façon aléatoire.

Pendant la lecture aléatoire

Par exemple, pour lire de façon aléatoire toutes les pistes enregistrées dans le lecteur, affichez un autre MODE que « Autres » (MODE « Artiste », etc.), puis démarrez la lecture en sélectionnant le mode de lecture « Track SHUF » (☞ page 25). Toutes les pistes enregistrées dans le lecteur sont lues une fois de façon aléatoire.



Suite

Lecture de pistes répétée (Lecture répétée)

La lecture des pistes est répétée dans les options de lecture sélectionnées ☞ page 25.

1 **Sélectionnez l'option de lecture souhaitée (☞ page 25).**

2 **Appuyez sur MENU.**

L'affichage MENU apparaît.



3 **Appuyez sur ↑ ou ↓ pour sélectionner « Répéter », puis appuyez sur ►■.**

L'affichage Répéter apparaît.



4 **Appuyez sur ↓ pour sélectionner « Marche », puis appuyez sur ►■.**



s'affiche.

5 **Appuyez deux fois sur MENU pour atteindre la fenêtre d'affichage de lecture, puis appuyez sur ►■.**

L'option de lecture en cours est répétée.

Pour répéter toutes les pistes

Sélectionnez un MODE autre que « Autres » (MODE « Artiste », etc.), puis suivez les étapes **1** à **5**.

Pour annuler la configuration

Appuyez sur MENU pour revenir à l'affichage MENU.
Maintenez la touche MODE enfoncée ou appuyez sur MENU dans l'affichage MENU pour revenir à l'affichage antérieur à l'étape **2**.

Pour revenir en lecture normale

A l'étape **4**, sélectionnez « Arrêt » dans l'affichage Répéter.

Pour revenir à l'affichage où vous avez sélectionné un MODE

Appuyez sur MODE.

Modification de la qualité sonore et des réglages

Pour obtenir des détails sur les différents éléments de réglage, voir ☞ page 30.

1 Appuyez sur MENU.

L'affichage MENU apparaît.



2 Appuyez sur ↑ ou ↓ pour sélectionner l'élément, puis appuyez sur ►■.

L'affichage permettant de régler l'élément sélectionné apparaît.

3 Appuyez sur ↑ ou ↓ pour sélectionner une option, puis appuyez sur ►■.

Pour modifier la qualité sonore

Après l'étape **3**, appuyez sur ↑ ou ↓ pour sélectionner une option (☞ page 30), puis appuyez sur ►■.
En sélectionnant « Custom1 », « Custom2 », « Custom3 » ou « Custom4 », vous pouvez personnaliser la qualité sonore (☞ page 32).

Pour revenir au premier affichage

Appuyez sur ⏮.

Pour annuler la configuration

Appuyez sur MENU pour revenir à l'affichage MENU.
Maintenez la touche MODE enfoncée ou appuyez sur MENU dans l'affichage MENU pour revenir à l'affichage antérieur à l'étape **1**.

Pour revenir à l'affichage où vous avez sélectionné un MODE

Appuyez sur MODE.

Remarque

Lorsque l'option « V-SUR » ou « Sound EQ » est sélectionnée, les réglages sonores ne sont pas appliqués aux pistes MP3. Pour modifier la qualité sonore des pistes MP3, ajustez le réglage sonore « Digital Sound Preset ».

Suite ⟶

Eléments de réglage

Elément	Options (● : paramètre par défaut)		
Son (réglage sonore)	● Arrêt		Lit les pistes en qualité sonore normale.
	V-SUR[1,2]	Studio (VS)	Recrée le son d’un studio d’enregistrement.
		Live (VL)	Recrée le son d’une salle de concert.
		Club (VC)	Recrée le son d’une discothèque.
		Arena (VA)	Recrée le son d’un stade.
	Sound EQ[1,2]	Fort (SH)	Lit les pistes en sons puissants, mettant encore plus l’accent sur les gammes hautes et basses que pour le son Pops.
		Pops (SP)	Lit les pistes en son pour données audio vocales, accentuant la gamme moyenne.
		Jazz (SJ)	Lit les pistes en sons entraînants, mettant l’accent sur les gammes hautes et basses.
		Unique (SU)	Lit les pistes en sons spéciaux, mettant encore plus l’accent sur les gammes hautes et basses que pour la gamme moyenne.
	Digital Sound Preset[2]	Custom3 (S3)	Lit les pistes avec un niveau de graves et d’aigus prédéfini (☞ page 33 pour plus d’informations).
		Custom4 (S4)	Lit les pistes avec un niveau de graves et d’aigus prédéfini (☞ page 33 pour plus d’informations).
AVLS [3] (limitation du volume)	Marche		Le volume maximum est limité afin de protéger votre ouïe.
	● Arrêt		Le volume se modifie sans limiter son niveau.
Bip (son de fonctionnement)	● Marche		Le bip sonore se fait entendre lorsque vous faites fonctionner le lecteur.
	Arrêt		Le bip sonore est désactivé.
Sortie audio (sortie audio externe)	● Ecouteurs		Sélectionnez cet élément lorsque vous branchez les écouteurs fournis.
	Line Out		Sélectionnez cet élément lorsque vous branchez d’autres périphériques, comme les haut-parleurs, avec un cordon audio (☞ page 34).
Contraste (réglage de l’affichage)	● Deuxième à partir de la droite		L’affichage est modérément lumineux. Si le lecteur est de couleur noire, le paramètre par défaut est le deuxième en partant de la gauche.
	–/+		Positionnez le curseur vers – pour un affichage plus lumineux ou vers + pour un affichage plus sombre.

[1] Les réglages sont uniquement appliqués pour la lecture des pistes audio ATRAC3plus. Lors de la lecture d’une piste MP3, les réglages ne sont pas appliqués.

[2] Les réglages sonores apparaissent dans l’affichage sous la forme de lettres entre parenthèses (☞ page 7).

[3] AVLS est l’abréviation d’Automatic Volume Limiter System (système de limitation automatique du volume).

Eléments	Options (● : paramètres par défaut)	
Rétroéclairage (rétroéclairage LCD de l'affichage)	● Auto	L'affichage s'allume pendant environ 10 secondes lorsque vous appuyez sur une touche et reste allumé pendant que vous faites défiler les titres des pistes, etc.
	10 sec	L'affichage s'allume pendant environ 10 secondes lorsque vous appuyez sur une touche. La lumière s'éteint au bout de 10 secondes environ, même si vous faites défiler les titres des pistes, etc.
	30 sec	L'affichage s'allume pendant environ 30 secondes lorsque vous appuyez sur une touche. La lumière s'éteint au bout de 30 secondes environ, même si vous faites défiler les titres des pistes, etc.
	Arrêt	L'affichage s'éteint pour économiser de l'énergie.
Inverser affichage (inversement de l'affichage)	● Positif	Les caractères et les icônes s'affichent en noir sur fond blanc.
	Négatif	Les caractères et les icônes s'affichent en blanc sur fond noir.
Langue (langue de l'affichage)	日本語	Les messages et les menus sont en japonais.
	● English	Les messages et les menus sont en anglais.
	Français	Les messages et les menus sont en français.
	Deutsch	Les messages et les menus sont en allemand.
	Italiano	Les messages et les menus sont en italien.
	Español	Les messages et les menus sont en espagnol.
	簡体中文 *	Les messages et les menus sont en chinois simplifié.
	繁體中文 *	Les messages et les menus sont en chinois traditionnel.
	한글 *	Les messages et les menus sont en coréen.

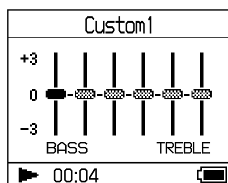
* Selon le pays où vous utilisez le lecteur, ces langues peuvent ne pas s'afficher.

Suite ⟶

Personnalisation de la qualité sonore (Sound EQ - Custom)

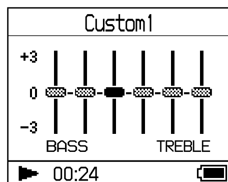
Vous pouvez régler individuellement la qualité sonore pour chacune des plages de fréquence, en vérifiant les réglages de l'affichage.

1 **Après avoir sélectionné « Son » à l'étape 2 dans la section « Modification de la qualité sonore et des réglages » (☞ page 29), sélectionnez « Custom1 » ou « Custom2 » dans « Sound EQ ».**



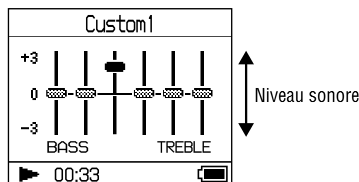
2 **Appuyez sur ⏮ ou ⏭ pour sélectionner la plage de fréquences.**

Il existe 6 plages de fréquences.



3 **Appuyez sur ⬆ ou ⬇ pour sélectionner le niveau sonore.**

Le volume sonore peut avoir sept niveaux de réglage.



4 **Répétez les étapes 2 et 3 pour régler les plages de fréquences restantes.**

5 **Appuyez sur ►■.**

L'affichage MENU apparaît.

Pour annuler la configuration

Appuyez sur MENU pour revenir à l'affichage MENU.
Maintenez la touche MODE enfoncée ou appuyez sur MENU dans l'affichage MENU pour revenir à l'affichage antérieur à l'étape **1**.

Pour revenir à l'affichage où vous avez sélectionné un MODE

Appuyez sur MODE.

Remarques

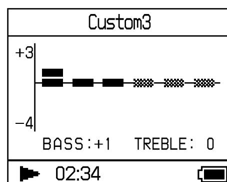
- Baissez le volume si vous constatez une distorsion du son due aux réglages lorsque vous montez le volume.
- Si vous remarquez une différence au niveau du volume sonore entre le son « Custom1 » ou « Custom2 » et les autres réglages sonores, réglez le volume en fonction de vos préférences.

Réglage de l'accentuation des aigus et des graves

(Digital Sound Preset)

Vous pouvez prédéfinir les niveaux d'aigus et de graves à votre convenance. Tout en vérifiant l'affichage, réglez les paramètres d'accentuation.

1 Après avoir sélectionné « Son » à l'étape 2 dans la section « Modification de la qualité sonore et des réglages » (☞ page 29), sélectionnez « Custom3 » ou « Custom4 » dans « Digital Sound Preset ».

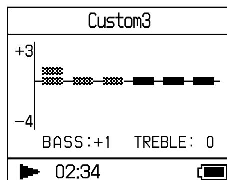


Paramètres par défaut

Qualité sonore	Custom3 (S3)	Custom4 (S4)	Arrêt (Son normal)
Bass	+1	+3	±0
Treble	±0	±0	±0

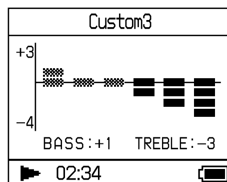
2 Appuyez sur ⏮ ou ⏭ pour sélectionner « Treble » ou « Bass ».

Vous pouvez régler le niveau des graves et des aigus.



3 Appuyez sur ↑ ou ↓ pour sélectionner le niveau sonore.

Le volume sonore peut avoir huit niveaux de réglage.



Qualité sonore	Niveau d´accentuation
Bass	-4 à +3
Treble	-4 à +3

4 Appuyez sur ►■.

L'écran MENU apparaît.

Pour annuler la configuration

Appuyez sur MENU pour revenir à l'affichage MENU.
Maintenez la touche MODE enfoncée ou appuyez sur MENU dans l'affichage MENU pour revenir à l'affichage antérieur à l'étape **1**.

Pour retourner à l'écran de sélection de MODE

Appuyez sur MODE.

Remarques

- Les niveaux de graves et d'aigus figurent respectivement sur les extrémités gauche et droite des graphiques « Custom3 » et « Custom4 ». Vous ne pouvez pas régler les niveaux intermédiaires individuellement car ceux-ci dépendent des niveaux de graves et d'aigus et sont modifiés automatiquement.
- Baissez le volume si vous constatez une distorsion du son due aux réglages lorsque vous montez le volume.
- Si vous remarquez une différence au niveau du volume sonore entre le son « Custom3 » ou « Custom4 » et les autres réglages sonores, réglez le volume en fonction de vos préférences.

Transfert de données audio vers votre ordinateur

Des données audio peuvent être retransférées vers « Ma bibliothèque » de SonicStage sur votre ordinateur.



1 **Connectez le lecteur à votre ordinateur (reportez-vous aux étapes 1 et 2 de la section « Transfert de données audio vers le lecteur », ☞ page 14).**

2 **Cliquez sur « Transfert » dans la partie droite de la fenêtre SonicStage.**

L'écran de transfert s'affiche.

3 **Sélectionnez « ATRAC Audio Device » dans la liste des destinations de transfert, dans la partie droite de la fenêtre SonicStage.**

4 **Dans la partie droite de la fenêtre SonicStage, dans la liste Network Walkman, cliquez sur les pistes que vous souhaitez transférer vers Ma bibliothèque.**

Pour transférer plusieurs pistes, maintenez la touche « Ctrl » enfoncée tout en sélectionnant les pistes. Pour transférer toutes les pistes de l'album, cliquez sur l'album.

5 **Cliquez sur [←] dans la fenêtre SonicStage.**

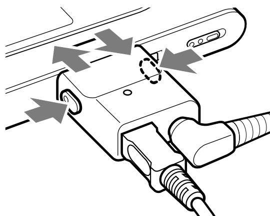
Le transfert des pistes sélectionnées à l'étape **4** commence.
Vous pouvez vérifiez l'état du transfert dans la fenêtre SonicStage.

Pour arrêter le transfert

Cliquez sur [■] dans la fenêtre SonicStage.

Pour retirer l'adaptateur USB du lecteur

Tout en appuyant sur les boutons gris situés de chaque côté, poussez l'adaptateur USB vers l'appareil, puis retirez-le.

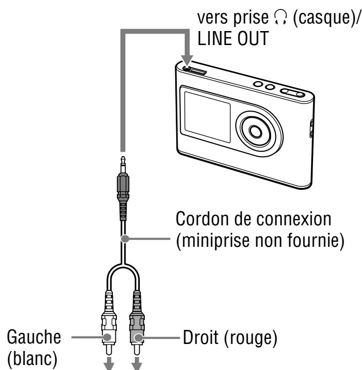


Remarques

- Les pistes transférées vers le lecteur depuis un autre ordinateur ne peuvent être transférées dans le répertoire Ma bibliothèque de votre ordinateur.
- Ne débranchez ni le câble USB ni l'adaptateur USB pendant le transfert des données. Si vous les débranchez, les données en cours de transfert peuvent être perdues.

Raccordement d'autres périphériques

Vous avez la possibilité d'écouter des pistes via une chaîne stéréo et d'enregistrer des pistes du lecteur sur un MiniDisc ou une cassette. Reportez-vous au manuel fourni avec le périphérique que vous voulez raccorder. Assurez-vous d'éteindre tous les appareils avant d'effectuer tout branchement et de vous reporter aux explications relatives au changement de paramètres ci-dessous.



Vous devez modifier le paramètre « Sortie audio » de l'affichage MENU afin que la sortie audio s'effectue par l'appareil connecté. Les réglages de « Sortie audio » sont décrits ci-dessous. Pour effectuer ces réglages, voir ☞ page 29.

Périphérique connecté	Réglage
Casque	Casque
Périphérique connecté au moyen d'un cordon de connexion	Line Out

Réglez ce paramètre sur « Line Out » lorsque vous connectez un autre appareil. Lorsque le paramètre « Line Out » est sélectionné, le volume ne peut pas être modifié et le paramètre « Son » n'est pas disponible.

Remarques

- Lorsque le casque fourni est connecté au lecteur, ne modifiez pas le paramètre « Sortie audio » sur « Line Out ». S'il est réglé sur « Line Out », le volume ne peut pas être réglé et une distorsion du son ou un son bruyant se produit.
- Baissez le volume de l'appareil connecté avant de commencer la lecture afin d'éviter d'endommager le haut-parleur connecté.

Stockage de données autres que les fichiers audio

L'Explorateur Windows vous permet de transférer des données du disque dur d'un ordinateur vers le disque dur intégré du lecteur.
Le disque dur intégré du lecteur s'affiche dans l'Explorateur Windows en tant que lecteur externe (élément de stockage amovible).

Remarques

- N'utilisez pas SonicStage alors que vous êtes en train de travailler sur le disque dur du lecteur par le biais de Windows Explorer.
- Même si des fichiers WAV et MP3 sont transférés vers le lecteur via l'Explorateur, ils ne peuvent être lus par ce dernier. Transférez-les à l'aide de SonicStage.
- Ne débranchez pas le câble USB pendant le transfert des données. Vous risqueriez d'endommager les données en cours de transfert.
- N'initialisez pas le disque dur du lecteur sur votre ordinateur.

Réinitialisation des paramètres standard

Réinitialisez tous les paramètres standard présents dans la fenêtre d'affichage MENU.

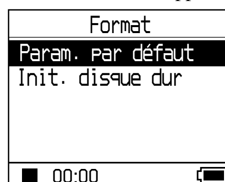
1 Appuyez sur MENU pendant que le lecteur est à l'arrêt.

L'écran MENU apparaît.



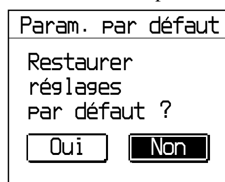
2 Appuyez sur ↑ ou ↓ pour sélectionner « Format », puis appuyez sur ►■.

L'écran FORMAT apparaît.



3 Appuyez sur ►■ tout en sélectionnant « Param. par défaut ».

L'écran « Param. par défaut » apparaît.



Suite

4 Appuyez sur ⏮ pour sélectionner « Oui », puis appuyez sur ►■.

Le message apparaît, suivi de l'écran « Format ».

Pour annuler la configuration

A l'étape **4**, sélectionnez « Non », puis appuyez sur ►■. L'écran FORMAT apparaît.
Appuyez sur MENU pour revenir à l'écran MENU.
Pour revenir à l'écran précédant l'étape **1**, maintenez la touche MODE enfoncée ou appuyez sur MENU dans la fenêtre d'affichage MENU.

Pour retourner à l'écran de sélection de MODE

Appuyez sur MODE.

Remarque

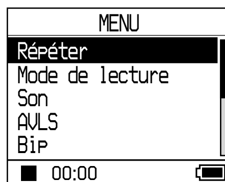
Il est impossible de réinitialiser les paramètres standard pendant la lecture.

Initialisation du disque dur

Vous avez la possibilité d'initialiser le disque dur intégré au lecteur. Si ce dernier est initialisé, toutes les données stockées, audio ou autre, seront effacées. Vérifiez bien les données stockées sur le disque dur avant de procéder à l'initialisation.
Si des pistes sont effacées lors de l'initialisation, SonicStage les reconnaît comme devant être transférées de nouveau vers l'ordinateur lorsque le lecteur est relié à ce dernier. Le nombre de transferts possible augmente alors automatiquement.

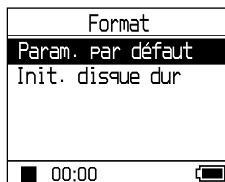
1 Appuyez sur MENU pendant que le lecteur est à l'arrêt.

L'écran MENU apparaît.



2 Appuyez sur ⬆ ou ⬇ pour sélectionner « Format », puis appuyez sur ►■.

L'écran FORMAT apparaît.

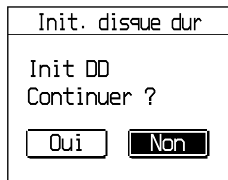


Suite ⟶

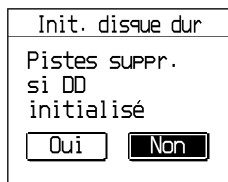
Autres fonctionnalités

3 Appuyez sur ↓ pour sélectionner « Init. disque dur », puis appuyez sur ►■.

L'écran « Init. disque dur » apparaît.



4 Appuyez sur I◄◄ pour sélectionner « Oui », puis appuyez sur ►■.



5 Appuyez sur I◄◄ pour sélectionner « Oui », puis appuyez sur ►■.

Le message apparaît, suivi de l'écran « Format ».

Pour annuler la configuration

A l'étape **5**, sélectionnez « Non », puis appuyez sur ►■. L'écran FORMAT apparaît.
Appuyez sur MENU pour revenir à l'écran MENU.
Pour revenir à l'écran précédant l'étape **1**, maintenez la touche MODE enfoncée ou appuyez sur MENU dans la fenêtre d'affichage MENU.

Pour retourner à l'écran de sélection de MODE

Appuyez sur MODE.

Remarques

- N'initialisez pas le disque dur du lecteur sur votre ordinateur.
- Il est impossible de formater le disque dur pendant la lecture.
- Toutes les données audio et tous les autres fichiers sont supprimés lorsque le lecteur est initialisé.

Remarques sur la mise au rebut de l'unité

Ce lecteur est équipé d'une batterie ion-lithium rechargeable intégrée. Si vous souhaitez mettre le lecteur au rebut, veillez à le faire correctement.

Certains pays peuvent appliquer des dispositions différentes pour l'élimination des piles qui alimentent ce produit. Veuillez consulter vos autorités locales.

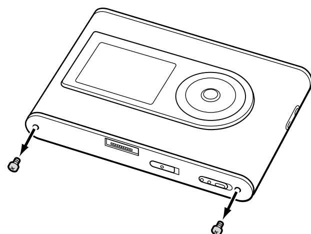
Remarques

- Ne désassemblez jamais le lecteur, sauf si vous souhaitez le mettre au rebut.
- Manipulez la partie métallique interne, et plus particulièrement les bords, avec précaution.

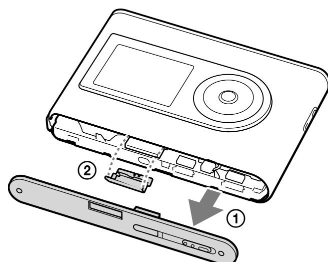
Pour retirer la batterie rechargeable intégrée

1 Faites glisser le commutateur BUILT-IN BATTERY, situé sur le dessous du lecteur, vers OFF.

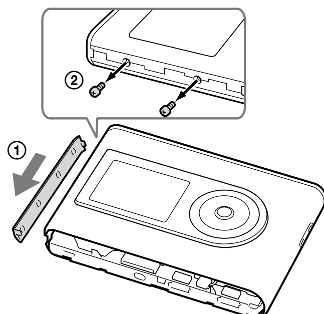
2 Retirez les deux vis du bas.



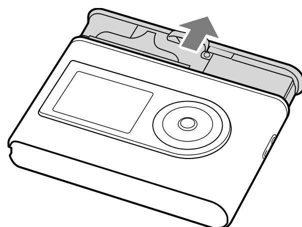
3 Retirez la plaque du bas (①) et le clapet USB (②). Utilisez des pincettes si nécessaire.



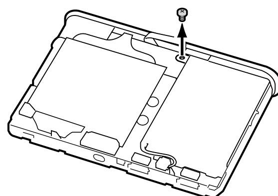
4 Faites glisser la plaque latérale (①) et retirez les deux vis (②) sur le côté du lecteur.



5 Poussez la partie interne dans le lecteur et retirez-la dans le sens indiqué ci-dessous.

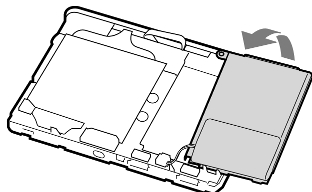


6 Retirez les vis sur le côté de la batterie.

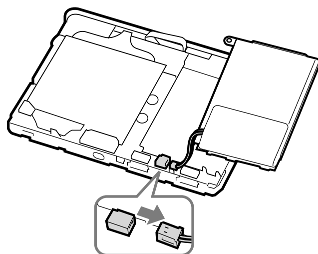


Suite

7 Retirez la batterie intégrée.



8 Tirez sur le câble de connexion entre la batterie et le lecteur afin de séparer le connecteur.



Dépannage

Les solutions suivantes vous aident à résoudre les problèmes éventuels liés à votre lecteur.

1 Placez le commutateur BUILT-IN BATTERY en position OFF, puis de nouveau sur ON. Les données ne sont pas perdues lorsqu'il est réglé sur OFF.

2 Consultez les problèmes référencés dans cette section de dépannage.

3 Si vous ne parvenez toujours pas à résoudre le problème, consultez votre revendeur Sony le plus proche.

Alimentation

Problème	Cause et/ou solution
Le témoin CHG ne s'allume pas.	→ Les bornes de l'adaptateur USB sont sales. Nettoyez-les à l'aide d'un chiffon doux et sec. → Le lecteur n'est pas connecté à l'adaptateur USB. Insérez bien l'adaptateur USB jusqu'à entendre un déclic (☞ page 8).
Le témoin CHG clignote.	→ La température ne convient pas. Chargez la batterie à température ambiante, comprise entre 5 et 35 °C (41 à 95 °F).
La durée de vie de la batterie est courte.	→ La température ambiante est inférieure à 5 °C (41 °F). Ce problème est lié aux caractéristiques de la batterie et non pas à un dysfonctionnement. → Vous n'avez pas utilisé le lecteur pendant une période prolongée. Le fait de charger puis décharger la batterie de façon répétée améliore son efficacité. → Il faut remplacer la batterie. Consultez votre revendeur Sony le plus proche. → Le temps de charge de la batterie est trop court. Une durée de 15 minutes est nécessaire pour que le lecteur puisse vérifier l'état de la batterie afin de la protéger avant de procéder à une charge rapide. Laissez la batterie se charger complètement (jusqu'à ce que le témoin CHG s'éteigne).

Suite ⟶

Son

Problème	Cause et/ou solution
Aucun son n'est audible. Des parasites sont perceptibles.	➔ Le niveau du volume est réglé au minimum. Augmentez le volume (☞ page 18). ➔ La fiche des écouteurs n'est pas branchée correctement. Connectez-la fermement à la prise 🎧 (casque)/LINE OUT (☞ page 18). ➔ La fiche des écouteurs est sale. Nettoyez-la à l'aide d'un chiffon doux et sec. ➔ Le disque dur ne contient aucune donnée audio.
Il est impossible d'augmenter le volume.	➔ Le paramètre « AVLS » est réglé sur « Marche ». Réglez-le sur « Arrêt » (☞ page 30).
Aucun son n'est transmis du canal droit des écouteurs.	➔ La fiche des écouteurs n'est pas branchée correctement. Connectez-la fermement à la prise 🎧 (casque)/LINE OUT (☞ page 18).
Il est impossible de régler le volume.	➔ Le paramètre « Sortie audio » est réglé sur « Line Out ». Utilisez la commande du volume de l'appareil connecté ou réglez le paramètre « Sortie audio » sur « Ecouteurs » afin de modifier le volume sonore (☞ page 28).
Lors de la lecture d'une piste MP3, la qualité sonore n'est pas modifiée même si l'option « V-SUR » ou « Sound EQ » du paramètre « Son » est définie.	➔ Seuls les réglages du paramètre « Digital Sound Preset » sont appliqués lors de la lecture des pistes MP3 (☞ page 30).

Utilisation/Lecture

Problème	Cause et/ou solution
Les touches ne fonctionnent pas.	➔ Les touches sont verrouillées. Faites glisser le commutateur HOLD vers l'arrière (☞ page 19). ➔ De la condensation s'est formée. Laissez le lecteur de côté pendant plusieurs heures jusqu'à ce que la condensation s'évapore. ➔ La puissance restante de la batterie est insuffisante. Chargez la batterie (☞ page 8). ➔ Lorsque le lecteur est connecté à votre ordinateur sous tension, si l'adaptateur USB est connecté au lecteur, les touches sont désactivées. Retirez l'adaptateur USB du lecteur (☞ page 9).
La lecture s'interrompt subitement.	➔ La puissance restante de la batterie est insuffisante. Chargez la batterie (☞ page 8). ➔ Si vous essayez de lire des pistes MP3 non compatibles avec ce lecteur, la lecture s'interrompt automatiquement. Appuyez sur ▶▶I pour sélectionner d'autres pistes (☞ page 19).
Le rétroéclairage n'est pas activé.	➔ « Rétroéclairage » est réglé sur « Arrêt ». Réglez-le sur « Auto », « 10 sec » ou « 30 sec » (☞ page 31).
Le symbole « □ » remplace le titre d'une piste.	➔ Ce titre comporte des caractères qui ne sont pas pris en charge par l'affichage du lecteur. Renommez-le grâce au logiciel SonicStage et en utilisant des caractères compatibles.

L'affichage s'éteint.	→ L'affichage s'éteint automatiquement si le lecteur n'est pas utilisé pendant environ 30 secondes (lorsque vous utilisez la batterie) ou pendant environ 3 minutes (lorsque vous utilisez l'adaptateur secteur) en mode d'arrêt. Lorsque vous parcourez les titres des pistes, ou autre, l'affichage s'éteint environ 30 secondes ou 3 minutes après que tous les éléments ont défilé. Vous pouvez également l'éteindre en maintenant la touche MENU enfoncée. Dans tous les cas, vous pouvez rallumer l'affichage en appuyant sur n'importe quelle touche.

Connexion à l'ordinateur/SonicStage

Problème	Cause et/ou solution
Il est impossible d'installer le logiciel SonicStage.	→ Le système d'exploitation de l'ordinateur n'est pas compatible avec le logiciel (☞ page 10). → Toutes les applications Windows ne sont pas fermées. Un dysfonctionnement peut se produire si vous procédez à l'installation alors que d'autres programmes sont en cours d'exécution. Ceci est particulièrement vrai pour les programmes nécessitant un volume important de ressources système, tels que les logiciels antivirus. → Le disque dur de votre ordinateur ne dispose pas d'un espace suffisant. Il faut au minimum 200 Mo d'espace libre. Supprimez les fichiers inutiles de votre ordinateur.
L'installation semble avoir cessé avant son terme.	→ Vérifiez si un message d'erreur s'affiche sous la fenêtre d'installation. Tout en maintenant la touche « Alt » enfoncée, appuyez sur la touche « Tab » Si un message d'erreur s'est affiché, appuyez sur la touche « Entrée ». L'installation reprendra. En l'absence de message, l'installation est toujours en cours. Patientez encore quelques instants.
La barre de progression qui s'affiche sur votre ordinateur ne bouge pas. Le témoin d'accès de votre ordinateur ne s'est pas allumé depuis quelques minutes.	→ L'installation progresse normalement. Patientez. L'installation dure au minimum 30 minutes, selon votre lecteur de CD ou votre environnement d'exploitation.
« PC Connecté » ne s'affiche pas lorsque l'ordinateur est connecté à l'aide du câble USB dédié.	→ Attendez l'authentification du logiciel SonicStage. → Une autre application est en cours d'exécution sur l'ordinateur. Patientez quelques instants avant de rebrancher le câble USB. Si vous ne parvenez toujours pas à résoudre le problème, débranchez le câble USB, redémarrez l'ordinateur et rebranchez le câble USB. → Le câble USB dédié n'est pas connecté correctement. Débranchez le câble USB, puis rebranchez-le. → Un concentrateur USB est utilisé. Un fonctionnement correct n'est pas garanti pour des connexions établies via un concentrateur USB. Connectez directement le câble USB dédié à l'ordinateur.

Suite ⟶

Problème	Cause et/ou solution
Le lecteur n'est pas reconnu par l'ordinateur lorsqu'il est connecté à celui-ci.	→ L'adaptateur USB n'est pas correctement raccordé au lecteur. Insérez bien l'adaptateur USB jusqu'à entendre un déclic (☞ page 8). → Le câble USB dédié n'est pas connecté correctement. Débranchez le câble USB, puis rebranchez-le. → Un concentrateur USB est utilisé. Un fonctionnement correct n'est pas garanti pour des connexions établies via un concentrateur USB. Connectez directement le câble USB dédié à l'ordinateur. → Le fichier du pilote du lecteur n'est pas installé. Installez à nouveau le logiciel SonicStage du lecteur à l'aide du CD-ROM fourni (☞ page 11) pour installer le pilote. → L'installation du logiciel SonicStage a échoué. Débranchez le lecteur et votre ordinateur, puis réinstallez le logiciel à l'aide du CD-ROM fourni (☞ page 11). → Faites glisser le commutateur BUILT-IN BATTERY sur ON.
Il est impossible de transférer des données audio depuis l'ordinateur vers le lecteur.	→ Le câble USB dédié n'est pas connecté correctement. Débranchez le câble USB, puis rebranchez-le. → La piste a déjà été transférée trois fois vers le lecteur. Transférez la piste vers l'ordinateur pour augmenter le nombre de transferts possible (☞ page 33), puis transférez-la à nouveau vers le lecteur. → Le disque dur du lecteur ne contient pas suffisamment d'espace libre. Transférez vers votre ordinateur toutes les pistes jugées inutiles pour libérer de l'espace (☞ page 33). → Vous avez déjà transféré plus de 65 535 pistes ou 4 096 groupes vers le disque dur du lecteur ou vous avez déjà transféré plus de 999 pistes d'un même groupe. → Il se peut que les pistes à durée ou nombre de lectures limités ne soient pas transférées en raison des restrictions imposées par les détenteurs de copyright. Pour plus d'informations sur le réglage des fichiers audio, consultez votre revendeur.
Le nombre de pistes pouvant être transférées vers le lecteur est peu élevé. (La durée d'enregistrement est courte.)	→ L'espace libre du disque dur du lecteur est insuffisant par rapport à la taille des données audio que vous tentez de transférer. Transférez toutes les pistes jugées inutiles pour libérer de l'espace (☞ page 33). → Des données autres que des données audio sont stockées sur le disque dur du lecteur. Déplacez les données qui ne sont pas des données audio vers l'ordinateur afin d'augmenter l'espace libre.
Il est impossible de transférer des données audio vers l'ordinateur depuis le lecteur.	→ Un ordinateur autre que celui utilisé pour le transfert vers le lecteur est sélectionné comme cible de transfert. Les données audio ne peuvent pas être transférées vers un ordinateur autre que celui utilisé pour effectuer le transfert vers le lecteur. → Les données audio ont été supprimées de l'ordinateur que vous avez utilisé lors du transfert vers le lecteur. Les données audio ne peuvent pas être transférées vers votre ordinateur si la piste est supprimée de l'ordinateur utilisé lors du transfert vers le lecteur.

Problème	Cause et/ou solution
Les données audio sont retransférées vers votre ordinateur et le nombre de transferts autorisés restants augmente automatiquement, de temps à autre, lorsque le lecteur est connecté à l'ordinateur.	➔ Si une piste est supprimée du lecteur à l'aide du logiciel SonicStage installé sur un ordinateur autre que celui utilisé lors du transfert vers le lecteur, la piste sera de nouveau transférée automatiquement lors de la prochaine connexion du lecteur à l'ordinateur utilisé pour le transfert vers le lecteur. Le nombre de transferts possible augmente alors automatiquement.
Le fonctionnement du lecteur est instable lorsqu'il est connecté à l'ordinateur.	➔ Un concentrateur USB ou une rallonge USB est utilisé. Un fonctionnement correct n'est pas garanti pour des connexions établies via un concentrateur USB ou une rallonge USB. Connectez directement le câble USB dédié à l'ordinateur.
Un message d'erreur stipulant qu'il est impossible d'authentifier l'appareil ou le support s'affiche sur l'écran de l'ordinateur lorsque le lecteur est connecté à l'ordinateur.	➔ Le lecteur n'est pas connecté correctement à l'ordinateur. Fermez le logiciel SonicStage et vérifiez la connexion du câble USB. Redémarrez le logiciel SonicStage.

Divers

Problème	Cause et/ou solution
Aucun bip n'est émis lors du fonctionnement du lecteur.	➔ « Bip » est réglé sur « Arrêt ». Réglez-le sur « Marche » (☞ page 30).
Une surchauffe survient sur le lecteur ou le support USB.	➔ Une surchauffe peut survenir au niveau du lecteur et de l'adaptateur USB lorsque la batterie est en charge ou juste après une charge rapide. Cela peut également se produire si vous transférez un grand nombre de pistes. Laissez le lecteur de côté pendant un moment.
Un bruit est perceptible depuis l'intérieur du lecteur. Le lecteur vibre.	➔ Lorsque le disque dur intégré du lecteur bouge, il se peut que le bruit produit par cette opération soit audible et que le lecteur vibre. Il ne s'agit pas d'un dysfonctionnement.

Messages d'erreur

Veuillez suivre les instructions ci-dessous si un message d'erreur apparaît dans l'affichage.

Message	Signification	Solution
AVLS ERREUR VOLUME	Le volume dépasse le volume maximum de la fonction AVLS.	→ Réglez « AVLS » sur « Arrêt » (☞ page 30).
SIGNET PLEIN	Le nombre de signets dépasse la limite autorisée.	→ Supprimez les signets inutiles (☞ page 24).
OPER IMPOSS. ARRETER	Le paramètre « Format » est sélectionné à partir de l'affichage MENU pendant la lecture.	→ Interrompez la lecture et sélectionnez de nouveau le paramètre « Format ».
OPER IMPOSS. A L'ARRET	Vous essayez d'ajouter un signet alors que le lecteur est à l'arrêt.	→ Ajoutez un signet pendant la lecture (☞ page 24).
LECTURE IMP CONNECTER PC	L'horloge du lecteur ne fonctionne pas correctement.	→ Connectez-vous à l'ordinateur (☞ page 14).
LECTURE IMP. ERR PISTE	Les données audio sont corrompues.	→ Transférez à nouveau les données audio vers le lecteur (☞ page 14).
LECTURE IMP. SUR CE PERIPH.	• Le lecteur n'est pas autorisé à lire cette piste. • Les pistes au nombre de lectures limité sont en cours de lecture.	→ Vous ne pouvez pas lire de piste non autorisée sur ce lecteur.
LECTURE IMP NON DISPO	Vous tentez de lire une piste à durée de lecture limitée avant ou après la période de validité.	→ Les pistes à durée de lecture limitée peuvent uniquement être lues pendant la période de lecture désignée.
CHARGE 5°C – 35°C 41F – 95F	Vous chargez le lecteur à une température ambiante dépassant la plage autorisée comprise entre 5 et 35 °C (41 et 95 °F).	→ Chargez la batterie à une température comprise entre 5 et 35 °C (41 to 95 ºF).
CONNECTER ADAP SECTEUR	• Le lecteur est connecté à l'ordinateur mais l'adaptateur secteur n'est pas connecté à la prise DC IN de l'adaptateur USB. • L'adaptateur secteur est déconnecté de l'adaptateur USB tandis que le lecteur est relié à l'ordinateur.	→ Branchez l'adaptateur secteur à l'adaptateur USB (☞ page 14).
TEMP ECRIT. 5°C – 35°C	Vous transférez des données audio vers le lecteur à une température ambiante dépassant la plage autorisée comprise entre 5 et 35 °C (41 et 95 °F).	→ La température ambiante doit être comprise entre 5 et 35°C.

Message	Signification	Solution
ERR INIT DD	• Le disque dur du lecteur n'est pas initialisé correctement. • Le disque dur du lecteur a été initialisé sur l'ordinateur. • Le disque dur du lecteur n'a pas été initialisé car il a été remplacé.	→ Initialisez à nouveau le disque dur du lecteur (☞ page 36).
HOLD	Le commutateur HOLD est en position ON.	→ Déverrouillez les commandes en faisant glisser le commutateur HOLD dans le sens opposé à la flèche (☞ page 19).
ERR. LINE OUT	Vous essayez de modifier le volume ou les paramètres du « Son », alors que le paramètre « Sortie audio » est réglé sur « Line Out ».	→ Réglez « Sortie audio » sur « Ecouteurs » (☞ page 30).
BATT FAIBLE	La batterie est épuisée.	→ Chargez la batterie (☞ page 8).
NB MAX DE GROUPES DEPASSE	Le nombre de groupes (albums, artistes, etc.) dépasse la limite autorisée (8 192).	→ Le nombre total d'éléments de la liste (à l'exception de la liste des pistes) est supérieur à 8 192. Vérifiez le MODE sélectionné et transférez toute piste inutilisée sur votre ordinateur (☞ page 33).
NON CORRESP DS SYS FICH	Les fichiers système ne correspondent pas.	→ Initialisez le disque dur du lecteur (☞ page 36), puis transférez de nouveau les données audio vers le lecteur (☞ page 14).
PAS DE BD TROUVEE	Lors de la déconnexion de l'ordinateur, aucune piste n'est transférée vers le lecteur ou bien il manque des informations de MODE.	→ Transférez les données audio vers le lecteur (☞ page 14).
0 PISTE	Aucune piste ne figure dans la liste des pistes.	→ Ouvrez une liste de pistes contenant au moins une piste. → Transférez les données audio vers le lecteur (☞ page 14).
ERR SYSTEME <N° ***> (Un numéro est indiqué entre parenthèses.)	Une erreur système est survenue.	→ Notez le numéro et consultez votre revendeur Sony le plus proche.

Spécifications

Nombre maximum de pistes enregistrables (approximatif)*

ATRAC3	ATRAC3plus	MP3
5 000 (132 kbps)	2 500 (256 kbps)	5 000 (128 kbps)
6 000 (105 kbps)	10 000 (64 kbps)	10 000 (64 kbps)
10 000 (66 kbps)	13 000 (48 kbps)	

* Lors du transfert de pistes de quatre minutes

Fréquence d'échantillonnage
44,1 kHz (ATRAC3plus), 32/44,1/48 kHz (MP3)

Technologie de compression audio
Adaptive Transform Acoustic Coding3plus (ATRAC3plus), MPEG-1 Audio Layer-3 (MP3)

Réponse en fréquence
20 - 20 000 Hz
(mesure pour signal unique pendant la lecture)

Sortie
(casque)/LINE OUT* :
Miniprise stéréo/194 mV

* La prise est utilisée pour le casque et la sortie LINE OUT.

Température ambiante
De 5 à 35 °C (41 à 95 °F)

Source d'alimentation
DC IN 6 V (de la batterie rechargeable intégrée)

Durée de vie de la batterie (lecture continue)
Format ATRAC3plus (48 Kbits/s) : Environ 30 heures
Format MP3 (128 Kbits/s) : environ 22 heure

Dimensions
Sans compter les pièces en saillie :
90 × 62,1 × 14,8 (13,8 au point le plus fin) mm
(3 5/8 × 2 1/2 × 19/32 (9/16 au point le plus fin) pouces) (L/H/P)
Avec les pièces en saillie :
90,8 × 63,4 × 15,7 mm
(3 5/8 × 2 1/2 × 5/8 pouces) (L/H/P)

Poids
Environ 130 g (4,6 on.)

Pour les utilisateurs en France
En cas de remplacement du casque/ écouteurs, référez-vous au modèle de casques/écouteurs adapté à votre appareil et indiqué ci-dessous.
MDR-E0931LP

Brevets américains et internationaux sous licence de Dolby Laboratories.

La conception et les spécifications sont susceptibles d'être modifiées sans préavis.

Index

Symboles

A

B

C

D

http://www.sony.net/

Sony Corporation

SONY®

NW-HD3

Istruzioni per l'uso

IT

Network Walkman

Portable Hard Disk Audio Player



Atrac3plus

Per passare alla sezione desiderata, fare clic in Segnalibri nel file PDF, sul titolo nel "Sommario" delle Istruzioni per l'uso o sui numeri di pagina.



ATTENZIONE

Per evitare il rischio di incendi o scosse elettriche, non esporre l'apparecchio alla pioggia o all'umidità.

Non installare l'apparecchio in uno spazio chiuso, come una libreria o un mobiletto.

Per evitare il rischio di incendi, non coprire la ventola con giornali, tovaglie, tendine, ecc. Non appoggiare candele accese sull'apparecchio.

Per evitare il pericolo di incendi o scosse elettriche, non appoggiare sull'apparecchio oggetti contenenti liquidi (ad esempio, vasi).

Nota sull'installazione

Se si utilizza l'unità in un luogo soggetto a interferenze elettrostatiche, è possibile che le informazioni di trasferimento dei brani vengano danneggiate. Di conseguenza, l'autorizzazione al trasferimento sul computer potrebbe essere negata.

Sommario

Nota per gli utenti

Sul software in dotazione

- Le leggi sul copyright proibiscono la riproduzione parziale o totale del software o del manuale d'uso o il noleggio del software senza l'autorizzazione del detentore del copyright.
- In nessun caso SONY sarà responsabile per danni finanziari o perdite economiche, inclusi reclami da parte di terzi, risultanti dall'uso del software fornito con questo lettore.
- In caso di problemi di funzionamento del software provocati da difetti di fabbricazione, SONY provvederà alla sostituzione, ma declina qualsiasi altra responsabilità.
- Il software fornito con questo lettore non può essere utilizzato con apparecchiature diverse da quelle per cui è stato progettato.
- Si fa notare che, in relazione all'impegno costante volto al miglioramento della qualità, le specifiche del software sono soggette a modifiche senza preavviso.
- Il funzionamento del lettore con software diverso da quello fornito non è coperto da garanzia.
- A seconda del tipo di testo e di caratteri, il testo visualizzato in SonicStage potrebbe non essere visualizzato correttamente sulla periferica. Ciò è dovuto a:
  - Limitazioni del lettore collegato.
  - Funzionamento anomalo del lettore.

- SonicStage e SonicStage sono marchi o marchi registrati di Sony Corporation.
- OpenMG, ATRAC3plus e i rispettivi loghi sono marchi registrati di Sony Corporation.
- Microsoft, Windows, Windows NT e Windows Media sono marchi o marchi registrati di Microsoft Corporation negli Stati Uniti e/o negli altri paesi.
- IBM e PC/AT sono marchi registrati di International Business Machines Corporation.
- Macintosh è un marchio di Apple Computer, Inc. negli Stati Uniti e/o negli altri paesi.
- Pentium è un marchio o un marchio registrato di Intel Corporation.
- Adobe e Adobe Reader sono marchi o marchi registrati di Adobe Systems Incorporated negli Stati Uniti e/o negli altri paesi.
- Brevetti degli Stati Uniti d'America e di altri Paesi concessi su licenza dai Dolby Laboratories.
- Tutti gli altri marchi e marchi registrati appartengono ai rispettivi proprietari.
- In questo manuale, marchi ™ e ® non vengono specificati.
- CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000-2003 Gracenote. Gracenote CDDB® Client Software, copyright 2000-2003 Gracenote.
  This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593 and other patents issued or pending.
  Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.

Precauzioni

Sicurezza

- Non inserire corpi estranei nella presa DC IN dell'adattatore USB.
- Accertarsi di non provocare un corto circuito dei terminali dell'adattatore USB con altri oggetti metallici.

Installazione

- Non utilizzare mai l'unità in luoghi troppo esposti alla luce, al caldo o al freddo, all'umidità o soggetti alle vibrazioni.
- Non coprire il lettore quando si utilizza l'alimentatore CA. Un surriscaldamento del lettore potrebbe provocare danni o malfunzionamenti.

Surriscaldamento

Se utilizzato a lungo, è possibile che si verifichi un surriscaldamento del lettore o dell'adattatore USB durante la carica.

Cuffie

Sicurezza nella circolazione stradale

Non utilizzare le cuffie mentre si guida, si va in bicicletta o su qualsiasi veicolo motorizzato. Tale comportamento potrebbe creare situazioni di pericolo, oltre a essere vietato dalla legge in molti paesi. Anche tenere le cuffie ad alto volume quando si cammina in strada è potenzialmente pericoloso, in particolar modo agli attraversamenti pedonali. Nelle situazioni di potenziale pericolo, prestare estrema attenzione oppure non utilizzare l'apparecchio.

Per evitare lesioni all'udito

Evitare l'uso delle cuffie o degli auricolari a volume elevato. I medici specialisti dell'udito mettono in guardia contro l'ascolto continuo, ad alto volume e per lunghi periodi. Se si avverte un ronzio nelle orecchie, ridurre il volume o spegnere il lettore.

Rispetto per gli altri

Tenere il volume a un livello moderato. Ciò consentirà di avvertire i suoni esterni e mantenere il rispetto per le persone circostanti.

Attenzione

In caso di fulmini durante l'uso del lettore, togliere immediatamente le cuffie.

Pulizia dell'unità

- Pulire la superficie del lettore con un panno morbido leggermente inumidito con acqua o con una soluzione neutra detergente.
- Pulire periodicamente lo spinotto della cuffia.

Note

- Non utilizzare nessun tipo di panno abrasivo, polvere detergente o solvente, ad esempio alcool o benzene, poiché queste sostanze potrebbero rovinare le rifiniture esterne del lettore.
- Non bagnare i terminali dell'adattatore USB o dell'adattatore USB per la registrazione.

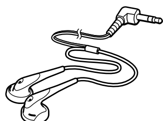
Per domande o problemi relativi al lettore, rivolgersi al rivenditore Sony più vicino.

NOTE

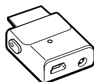
- La copia di brani musicali è consentita esclusivamente per uso privato. L'uso dei brani musicali in altri ambiti richiede l'autorizzazione dei proprietari del copyright.
- Sony non è responsabile di registrazioni/download incompleti o del danneggiamento dei dati dovuto a problemi del lettore o del computer.

Verifica degli accessori in dotazione

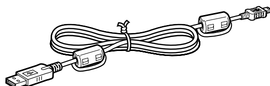
- Cuffie (1)



- Adattatore USB (1)
  (per il collegamento al cavo USB e all'alimentatore CA in dotazione)



- Cavo USB dedicato (1)



- Alimentatore CA (1)
- Borsa per trasporto (1)
- CD-ROM (1)*
  (SonicStage, PDF Istruzioni per l'uso)
- Guida rapida (1)

* Non avviare il CD-ROM su un lettore di CD audio.

Note

Quando si utilizza l'unità, attenersi alle precauzioni riportate di seguito per evitare di deformarla o causare malfunzionamenti.

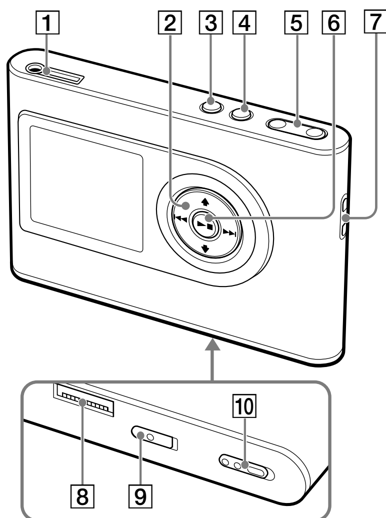
– Fare attenzione a non sedersi quando l'unità si trova nella tasca posteriore degli indumenti.



– Se l'unità con il telecomando viene riposta in una borsa con il cavo delle cuffie/auricolari avvolto intorno al dispositivo, fare attenzione a non sottoporre la borsa a urti.

Guida a parti e comandi

Lettore



1 Presa ☊ (cuffie)/LINE OUT (☞ pagina 18)

2 Tasti ↑, ↓, ⏮, ⏭ (☞ pagina 20, 21)

3 Tasto MENU (☞ pagina 25, 29)

4 Tasto MODE (☞ pagina 21)

5 Tasti VOLUME +*/– (☞ pagina 18)

6 Tasto ►■ (riproduzione/arresto) (☞ pagina 18, 20)

7 Foro per cinghia per il trasporto**

8 Connettore dell'adattatore USB (☞ pagina 8, 15)

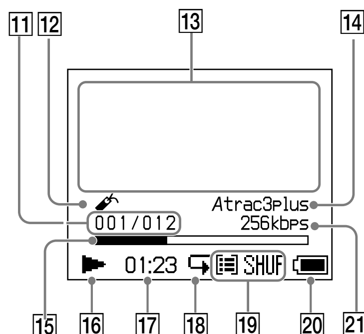
9 Interruttore BUILT-IN BATTERY (☞ pagina 8)

10 Interruttore HOLD (☞ pagina 19)

* Su questo tasto è presente un puntino per il riconoscimento al tatto.

** È possibile fissarvi la propria cinghia per il trasporto.

Display del lettore



11 Indicatore del numero di brani (☞ pagina 20)

12 Display delle informazioni (☞ pagina 20)

13 Indicatore del segnalibro (☞ pagina 24)

14 Indicateur Atrac3plus/MP3 (☞ pagina 19)

15 Barra di avanzamento della riproduzione (☞ pagina 20)

16 Indicatore di riproduzione (☞ pagina 20)

17 Tempo di riproduzione (☞ pagina 20)

18 Indicatore di ripetizione (☞ pagina 28)

19 Indicatore del modo di riproduzione (☞ pagina 25), Indicatore del suono (durante la regolazione del volume, ☞ pagina 30)

20 Indicatore della batteria (☞ pagina 9)

21 Velocità bit (☞ pagina 13)

Informazioni sul numero di serie

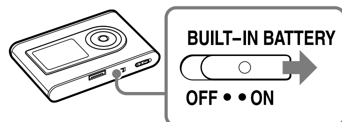
Per eseguire la registrazione, è necessario disporre del numero di serie fornito con questo lettore riportato su un'etichetta situata nella parte posteriore dell'unità.

Preparazione di una sorgente di alimentazione

Caricare la batteria agli ioni di litio ricaricabile prima di utilizzarla per la prima volta o quando è scarica.

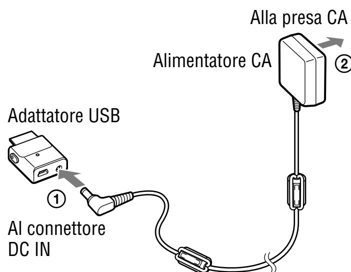
1 Far scorrere l'interruttore BUILT-IN BATTERY su ON.

La protezione della batteria incorporata ricaricabile viene sbloccata e il lettore si accende. Mantenere l'interruttore nella posizione ON.



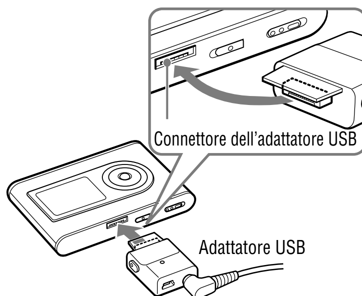
2 Collegare l'alimentatore CA all'adattatore USB.

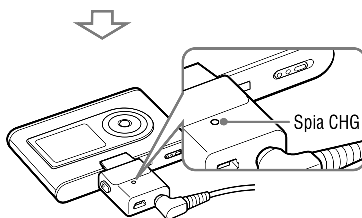
Collegare la spina DC dell'alimentatore CA alla presa DC IN dell'adattatore USB, quindi collegare la spina CA alla presa a muro.



3 Collegare l'adattatore USB al lettore.

Inserire l'adattatore USB come illustrato di seguito fino a farlo scattare in posizione.
La carica della batteria viene avviata. La spia CHG si accende sull'adattatore USB e, se il lettore è acceso, l'indicatore della batteria sul display cambia.



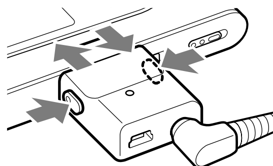


La carica è completa e la spia CHG si spegne dopo 3 ore circa*. Se il lettore è acceso viene visualizzata l'icona di un fulmine sul display.
Per eseguire una carica più rapida, spegnere il display e scollegare il cavo USB dall'adattatore USB; in questo modo, la batteria viene caricata fino all'80% in 1 ora*.

* Tempo di carica approssimativo di una batteria completamente scarica a temperatura ambiente. Quando il display è acceso, per caricare la batteria sono necessarie 5 ore. Il tempo di carica varia a seconda della carica residua e delle condizioni della batteria. Se la batteria viene caricata in un ambiente freddo, il tempo di carica aumenta.

Per rimuovere l'adattatore USB dal lettore

Mentre si premono i tasti grigi su entrambi i lati, spingere l'adattatore USB verso l'interno, quindi estrarlo.



Caricare la batteria utilizzando un collegamento USB

Accendere il computer e collegare il cavo USB (☞ pagina 14). La spia CHG si accende sull'adattatore USB e la carica della batteria viene avviata. Per caricare la batteria sono necessarie circa 5 ore. Quando il lettore è collegato all'alimentatore CA, l'alimentazione viene fornita da quest'ultimo.

Note

- Quando la batteria viene caricata utilizzando un collegamento USB e l'alimentazione del computer non è sufficiente, il tempo di carica aumenta.
- Quando la batteria viene caricata utilizzando un collegamento USB, la carica viene interrotta a seconda dell'ambiente di sistema.
- Se il lettore è collegato al computer da molto tempo durante la carica, è possibile che la carica venga interrotta per impedire che il lettore si surriscaldi. In tal caso, la spia CHG si spegne. Rimuovere l'adattatore USB dal lettore e attendere prima di avviare una nuova carica.
- Se il lettore non viene utilizzato per più di tre mesi, impostare l'interruttore BUILT-IN BATTERY su OFF per evitare che la batteria si rovini.
- Caricare la batteria a una temperatura compresa tra 5 e 35ºC.

Note sull'alimentatore CA

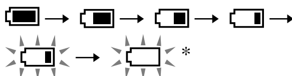
- Utilizzare esclusivamente l'alimentatore CA e l'adattatore USB in dotazione. Non utilizzare nessun altro alimentatore CA perché potrebbe causare malfunzionamenti del registratore.



- Il lettore non viene scollegato dalla sorgente di alimentazione CA (rete elettrica) fino a quando rimane collegato alla presa a muro, anche nel caso in cui il lettore stesso venga spento.
- Se si prevede di non utilizzare il lettore per un periodo di tempo prolungato, assicurarsi di scollegare l'alimentazione. Per rimuovere l'alimentatore CA dalla presa a muro, afferrare la spina, evitando di tirare il cavo.

Verifica della carica residua della batteria

La carica residua della batteria viene indicata sul display nel modo illustrato di seguito. La riduzione della sezione scura dell'indicatore segnala la progressiva diminuzione della carica residua.



* Sul display viene visualizzato "BATTERIA SCARICA" e viene emesso un segnale acustico.

Quando la carica è esaurita, caricare nuovamente la batteria.

Note

- Sul display viene visualizzata la carica residua approssimativa. Ad esempio, una sezione non indica necessariamente un quarto della carica della batteria.
- A seconda delle condizioni d'uso, l'indicazione sul display può aumentare o diminuire in base alla carica residua effettiva.

Durata della batteria (uso prolungato)

La durata della batteria in modalità di riproduzione per ATRAC3plus a 48 kbps è di 30 ore circa. La durata della batteria in modalità di riproduzione per MP3 a 128 kbps è circa di 22 ore.
La durata varia a seconda della modalità di uso del lettore.

Installazione di SonicStage sul computer

Installare SonicStage sul computer utilizzando il CD-ROM in dotazione.

Predisposizione del sistema richiesto

È necessario disporre dell'ambiente di sistema indicato di seguito.

Computer	IBM PC/AT o compatibile • Processore: Pentium II 400 MHz o superiore (consigliato Pentium III 450 MHz o superiore) • Spazio disponibile su disco rigido: 200 MB o superiore (consigliata 1,5 GB o superiore) (la quantità di spazio richiesta varia a seconda della versione di Windows in uso e del numero di file musicali memorizzati sul disco rigido) • RAM: 64 MB o superiore (consigliata 128 MB o superiore) Altri problemi: • Unità CD (con riproduzione digitale da WDM) • Scheda audio • Porta USB (USB ad alta velocità supportato)
Sistema operativo	Installati in fabbrica: Windows XP Media Center Edition 2005/Windows XP Media Center Edition 2004/ Windows XP Media Center Edition/Windows XP Professional/ Windows XP Home Edition/Windows 2000 Professional/ Windows Millennium Edition/Windows 98 Seconda Edizione
Display	65.000 colori (16 bit) o superiore, risoluzione 800 x 600 punti o superiore (consigliata 1024 x 768 punti o superiore)
Altri problemi	• Accesso Internet: per la registrazione Web, i servizi EMD e CDDB • Windows Media Player (versione 7.0 o superiore) per la riproduzione dei file WMA

Note

- SonicStage non è supportato negli ambienti elencati di seguito:
  - Sistemi operativi diversi da quelli sopra indicati
  - PC o sistemi operativi autocostruiti
  - Ambienti che siano il risultato di un aggiornamento del sistema operativo originale
  - Ambienti con avvio multiplo
  - Ambienti con più monitor
  - Macintosh
- Il funzionamento senza problemi su tutti i computer che soddisfano i requisiti di sistema non è garantito.
- Il formato NTFS di Windows XP/Windows 2000 Professional può essere utilizzato solo con le impostazioni standard (di fabbrica).
- In Windows 2000 Professional, installare Service Pack 3 o una versione successiva prima di utilizzare il software.
- Il funzionamento senza problemi delle funzioni di stand-by o sospensione del sistema non è garantito su tutti i computer.

Installazione di SonicStage

Prima di installare il software SonicStage, eseguire le verifiche elencate di seguito.

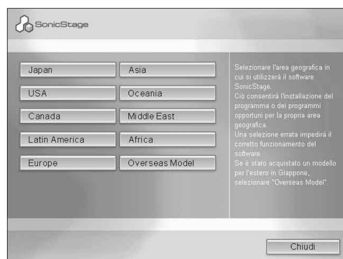
- Accertarsi di chiudere eventuali programmi antivirus: questo tipo di programma normalmente utilizza molte risorse di sistema.
- Accertarsi di installare SonicStage, utilizzando il CD-ROM in dotazione.
  - Se OpenMG Jukebox o SonicStage è già installato, il software esistente viene sovrascritto dalla nuova versione e le relative funzionalità.
  - Se SonicStage Premium, SonicStage Simple Burner o MD Simple Burner è già installato, il software esistente coesisterà con SonicStage.
  - Sarà ancora possibile usare i dati audio registrati mediante il software esistente. Per precauzione, si consiglia di eseguire il backup dei dati audio. Per eseguire il backup dei dati, vedere “Backup della Raccolta personale” – “Backup dei dati su disco” nella Guida in linea di SonicStage.

1 Accendere il computer e avviare Windows.

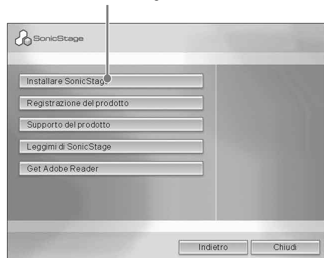
2 Inserire il CD-ROM in dotazione nella relativa unità.

Il programma di installazione si avvia automaticamente e viene visualizzata la finestra di installazione.
A seconda dell’area geografica, è possibile che venga visualizzata una finestra in cui si richiede di selezionare il proprio paese. In questo caso, seguire le istruzioni visualizzate.

3 Fare clic sull’area geografica in cui si utilizza il software SonicStage.



4 Fare clic su “Installare SonicStage”, quindi seguire le istruzioni visualizzate.



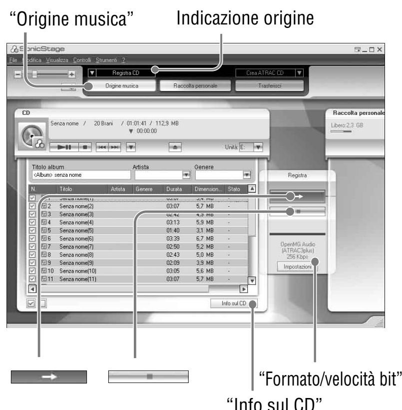
Leggere attentamente le istruzioni.
A seconda dell’area geografica, i pulsanti, eccetto “Installare SonicStage”, possono differire da quelli riportati sopra.
L’installazione potrebbe richiedere da 20 a 30 minuti, in base all’ambiente di sistema.
Accertarsi di riavviare il computer solo al termine dell’installazione.
Per eventuali problemi durante l’installazione, vedere “Risoluzione dei problemi” (☞ pagina 41).

Nota sulla disinstallazione

“OpenMG Secure Module” viene installato quando si installa SonicStage. Se si disinstalla SonicStage, non eliminare OpenMG Secure Module poiché potrebbe essere utilizzato da altri programmi.

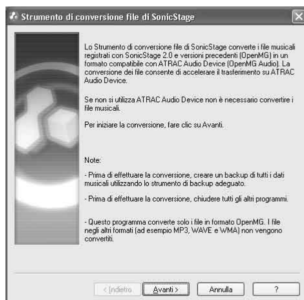
Importazione di dati audio nel computer

È possibile registrare e memorizzare brani (dati audio) da un CD audio nella “Raccolta personale” di SonicStage sul disco rigido del computer.
È possibile registrare o importare brani da altre sorgenti, ad esempio Internet o il disco rigido del computer. Per ulteriori informazioni, consultare la Guida in linea di SonicStage (☞ pagina 16).



1 Selezionare “Start” – “Tutti i programmi”* – “SonicStage” – “SonicStage.”

SonicStage viene avviato.
Se si utilizza una versione precedente di SonicStage, viene visualizzata la finestra “SonicStage file conversion tool”** quando il programma viene avviato per la prima volta dopo l’installazione. Seguire le istruzioni visualizzate nella finestra.



* “Programmi” se si utilizza Windows Millennium Edition/Windows 2000 Professional/Windows 98 Seconda Edizione

**Questo strumento consente di convertire i file audio importati sul computer con SonicStage2.0 o versioni precedenti nel formato dati migliore (OpenMG) per il lettore, in modo da trasferire i dati audio a una velocità elevata.

2 Inserire il CD audio che si desidera registrare nella relativa unità del computer.

L’origine indicata in alto a sinistra della finestra SonicStage diventa “Registra CD”.

3 **Fare clic su “Origine musica” nella finestra SonicStage.**

Il contenuto del CD audio viene visualizzato nell’elenco Origine musica. Se non è possibile ottenere automaticamente le informazioni sul CD, quali il titolo dell’album, il nome dell’artista e i titoli dei brani, connettere il computer a Internet e fare clic su “Info sul CD” nella parte destra della finestra.

4 **Se necessario, modificare il formato e la velocità bit per la registrazione del CD audio.**

Fare clic su “Formato/velocità bit” nella parte destra della finestra di SonicStage per visualizzare la finestra di dialogo “Formato di registrazione CD [Raccolta personale]”.
L’impostazione predefinita è audio OpenMG (ATRAC3plus) per il formato e 64 kbps per la velocità in bit.

5 **Fare clic su [→] nella finestra di SonicStage.**

La registrazione dei brani selezionati viene avviata.

Per interrompere la registrazione

Fare clic su [■] nella finestra di SonicStage.

Per selezionare i brani che non si desidera registrare

Prima del passaggio **5**, fare clic sul numero del brano da deselezionare ☑ nella finestra di SonicStage.

Nota

Con SonicStage, è possibile utilizzare solo CD audio con il simbolo [COMPACT DISC DIGITAL AUDIO]. Non è garantito il normale funzionamento se si utilizzano CD protetti da copia.

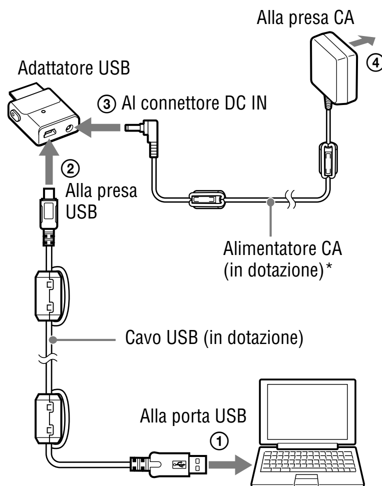
Trasferimento dei dati audio al lettore

È possibile trasferire i brani (dati audio) memorizzati nella "Raccolta personale" di SonicStage sul computer al lettore nel formato ATRAC3plus/MP3*.
I dati audio da trasferire includono informazioni quali il nome dell'artista e dell'album (nome dell'album originale) nelle informazioni sul CD.



1 **Collegare l'adattatore USB al computer e all'alimentatore CA.**

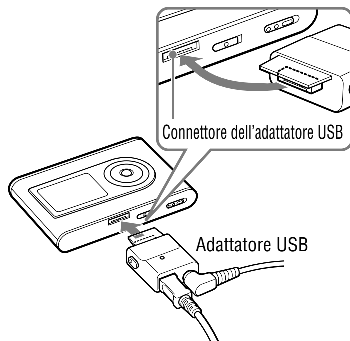
Collegare da ① a ④ come illustrato di seguito. Collegare il connettore grande del cavo USB alla porta USB del computer e quello più piccolo alla presa USB dell'adattatore.



* Durante il trasferimento di dati audio, accertarsi di collegare l'alimentatore CA all'adattatore USB. Non è possibile trasferire i dati audio se l'alimentatore e l'adattatore USB non sono collegati.

2 Collegare l'adattatore USB al lettore.

Inserire l'adattatore USB come illustrato di seguito fino a farlo scattare in posizione. "Colleg. PC" viene visualizzato sul display. La schermata di impostazione del trasferimento automatico viene visualizzata nella finestra di SonicStage. Seguire le istruzioni visualizzate nella finestra. Per ulteriori informazioni, consultare la Guida in linea di SonicStage (☞ pagina 16).



3 Fare clic su "Trasferisci" nella parte destra della finestra di SonicStage.

Viene visualizzata la schermata di trasferimento.

4 Selezionare "ATRAC Audio Device" nell'elenco delle destinazioni di trasferimento nella parte destra della finestra di SonicStage.

5 Fare clic sui brani da trasferire nell'elenco della Raccolta personale nella parte sinistra della finestra di SonicStage.

Per trasferire più di un brano, tenere premuto il tasto "Ctrl" durante la selezione. Per trasferire tutti i brani, fare clic sull'album.

6 Fare clic su [→] nella finestra di SonicStage.

Il trasferimento dei brani selezionati viene avviato.
È possibile verificare lo stato del trasferimento nella finestra di SonicStage.

Per interrompere il trasferimento

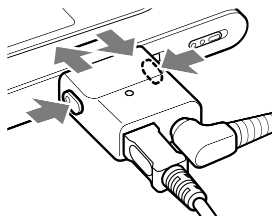
Fare clic su [■] nella finestra di SonicStage.

Note

In caso di trasferimento di dati audio, non utilizzare il lettore su superfici soggette a virbrazioni. Inoltre, non collocare il lettore in prossimità di oggetti magnetici.

Per rimuovere l'adattatore USB dal lettore

Mentre si premono i tasti grigi su entrambi i lati, spingere l'adattatore USB verso l'interno, quindi estrarlo.



Continua

Note

- Non scollegare il cavo o il connettore USB durante il trasferimento dei dati. In tal caso, i dati in fase di trasferimento potrebbero andare persi.
- Il funzionamento del lettore con un hub USB o una prolunga USB non è garantito. Collegare sempre il lettore direttamente al computer utilizzando il cavo USB in dotazione.
- Alcune periferiche USB collegate al computer possono interferire con il corretto funzionamento del lettore.
- Quando il lettore è collegato al computer, tutti tasti di controllo vengono disabilitati. Se si collega il lettore all'adattatore USB connesso al computer durante la riproduzione, il lettore si arresta e viene visualizzato "Colleg. PC" sul display del lettore.
- Se lo spazio per il trasferimento dei dati al lettore non è sufficiente, il trasferimento non viene completato correttamente.
- Durante il trasferimento, le funzioni di stand-by o sospensione del sistema non sono operative.
- A seconda del tipo di testo e del numero di caratteri, il testo inserito da SonicStage potrebbe non essere visualizzato sul lettore. Ciò dipende da alcune limitazioni del lettore.
- Il lettore potrebbe surriscaldarsi dopo il trasferimento di numerosi dati o se collegato per lungo tempo a un computer acceso. Tuttavia, ciò non è indice di un malfunzionamento. Scollegare il lettore dall'adattatore USB e non utilizzarlo per alcune ore.

Uso della Guida in linea di SonicStage

La Guida in linea di SonicStage fornisce ulteriori informazioni sull'uso di SonicStage. La Guida in linea di SonicStage consente di ricercare facilmente informazioni da un elenco di operazioni, quali l'importazione o il trasferimento di dati audio, o da un elenco di parole chiave oppure inserendo parole relative all'argomento desiderato.

1 Mentre SonicStage è in esecuzione, fare clic su "?" – "Guida in linea di SonicStage".

Viene visualizzata la Guida in linea. Nella Guida in linea di SonicStage, il lettore viene indicato come "ATRAC Audio Device".



Note

- Nella Guida in linea di SonicStage, "periferica o supporto" è il termine generico per definire il lettore.
- Attenersi alle istruzioni del fornitore di servizi Internet per quanto riguarda, ad esempio, il sistema consigliato.

Per utilizzare la Guida in linea di SonicStage

Riquadro di sinistra   Riquadro di destra

1 Fare doppio clic su " Panoramica" nel riquadro sinistro della Guida.
2 Fare clic su " Informazioni sulla Guida in linea".
  La spiegazione verrà visualizzata nel riquadro di destra.
  Se necessario, far scorrere la schermata.
  Fare clic sulle parole sottolineate per visualizzarne la spiegazione.

Per ricercare una parola all'interno della spiegazione

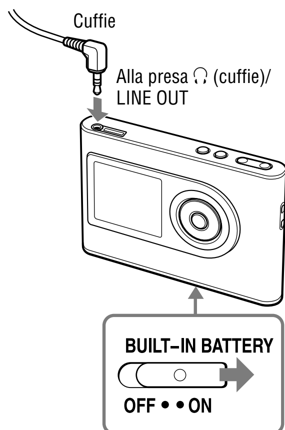
Casella di testo "Immettere la parola chiave da trovare"
"Cerca"   "Elenca argomenti"
"Visualizza"
Elenco delle parole ricercate   Una spiegazione della voce selezionata

1 Fare clic su "Cerca".
2 Inserire le parole desiderate.
3 Fare clic su "Elenca argomenti".
  Viene visualizzato l'elenco delle parole ricercate.
4 Fare clic per selezionare la voce desiderata tra quelle visualizzate.
5 Fare clic su "Visualizza".
  Viene visualizzata una spiegazione della voce selezionata.

Riproduzione

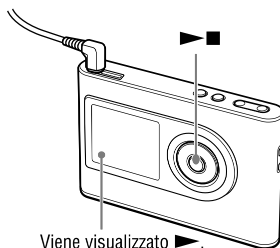
È possibile trasferire i dati audio dal computer al lettore mediante il telecomando (☞ pagina 14).
Inoltre, è possibile modificare la lingua del menu e dei messaggi sul display (☞ pagina 29).

1 **Dopo aver posizionato l'interruttore BUILT-IN BATTERY su ON (☞ pagina 8), è necessario collegare le cuffie al lettore.**

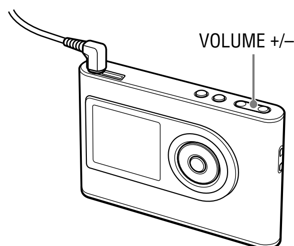


2 **Premere ►■.**

► (riproduzione) viene visualizzato nella parte inferiore sinistra del display e la riproduzione viene avviata.



3 **Regolare il volume premendo VOLUME +/–.**



Dati audio riproducibili

Questo lettore è in grado di riprodurre dati audio compressi nei formati ATRAC3plus/MP3. ATRAC3plus (Adaptive Transform Acoustic Coding3plus) è una tecnologia di compressione audio in grado di offrire altissima qualità del suono e un fattore di compressione molto elevato.
Grazie alla tecnologia ATRAC3plus, è possibile comprimere i file audio a circa 1/20 della dimensione originale a 64 kbps.
I formati file MP3 riproducibili sono i seguenti:

– MPEG-1 Audio Layer-3
– Velocità bit da 32 a 320 kbps (CBR/VBR)
– Frequenze di campionamento 32/44,1/48 kHz

Note

- È comunque possibile trasferire al lettore i file in formato MP3 non riproducibili dal lettore stesso.
- Quando si tenta di riprodurre un brano audio MP3 non riproducibile sul lettore, la riproduzione si arresta. Premere ▶▶I per selezionare altri brani.
- Quando si utilizza la batteria incorporata, se il lettore non viene utilizzato per circa 30 secondi nella modalità di arresto, il display si spegne automaticamente. Quando si scorrono i titoli dei brani, il display si spegne circa 30 secondi dopo aver terminato lo scorrimento.
- Quando si utilizza l'alimentatore CA, se il lettore non viene utilizzato per circa 3 minuti in modalità di arresto, il display si spegne automaticamente. Quando si scorrono i titoli dei brani, il display si spegne circa 3 minuti dopo aver terminato lo scorrimento.
- Se la riproduzione non si avvia, accertarsi che l'interruttore HOLD sia impostato su disattivato (☞ destra).

Blocco dei comandi (HOLD)

È possibile evitare la pressione accidentale dei tasti durante il funzionamento del lettore bloccando i comandi. Se si preme un tasto qualsiasi quando la funzione HOLD è attivata, "HOLD" lampeggia sul display.

1 Far scorrere l'interruttore HOLD nella direzione della freccia.

Per sbloccare i comandi

Far scorrere l'interruttore HOLD nella direzione opposta alla freccia.

Continua ⟶

Funzioni di riproduzione di base (riproduzione, arresto, ricerca)

Azione	Operazione
Riavviare la riproduzione dal punto di arresto	Premere ►■. La riproduzione viene avviata dal punto in cui è stata interrotta.
Interrompere la riproduzione	Premere ►■.
Trovare l'inizio del brano in ascolto	Premere una volta ⏮.
Trovare l'inizio dei brani precedenti*	Premere ripetutamente ⏮.
Trovare l'inizio del brano successivo*	Premere una volta ⏭.
Trovare l'inizio dei brani successivi*	Premere ripetutamente ⏭.
Andare indietro rapidamente	Tenere premuto ⏮.
Andare avanti rapidamente	Tenere premuto ⏭.

* Quando viene selezionata la riproduzione casuale o la riproduzione casuale di un'unità (☞ pagina 26), l'ordine di riproduzione è diverso.

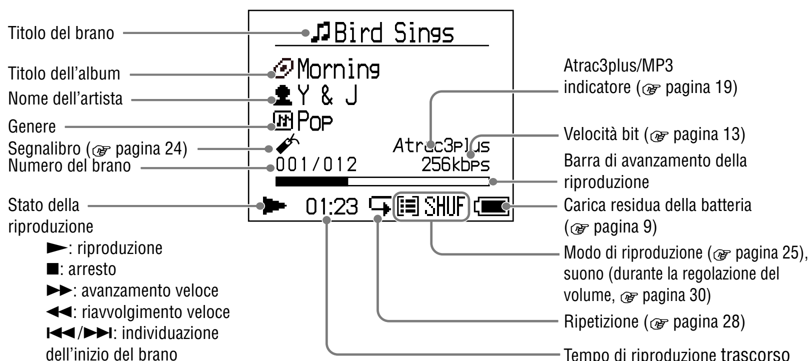
Per spegnere il lettore

Tenere premuto MENU fino quando il display si spegne.
Per accendere di nuovo il lettore, premere un tasto qualsiasi.

Verifica delle informazioni sul display

È possibile controllare i dati audio e lo stato della riproduzione sul display del lettore.

Display del lettore durante la riproduzione



Nota

È possibile visualizzare caratteri da A a Z, da a a z, le cifre da 0 a 9 e i simboli (eccetto /).

Riproduzione di brani selezionati per modo
(Artista, Album, Genere, Gruppo, ecc.)

Raggruppando i brani nel lettore in un “modo”, ad esempio per “Artista” o “Album”, è possibile selezionare i brani che si desidera ascoltare.
Esistono cinque modi di selezione dei brani; l’esempio riportato di seguito illustra le schermate del modo “Artista”.
Per ulteriori informazioni sulle schermate di ciascun modo, vedere ☞ pagina 23.
Inoltre, è possibile riprodurre ripetutamente (☞ pagina 28) oppure in ordine casuale (riproduzione casuale, ☞ pagina 26) i brani selezionati.

1 Premere MODE ripetutamente per selezionare un modo.

Ogni volta che viene premuto il tasto, il modo cambia come riportato di seguito:

Artista ( ) → Album ( )* → Genere ( ) → Gruppo ( )** → Altri → Torna ad Artista

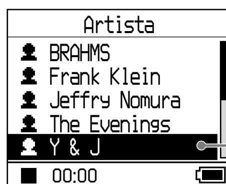


* Viene visualizzato il nome dell’album (nome dell’album originale) nelle informazioni sul CD di SonicStage.

** In SonicStage un album viene riconosciuto come gruppo.

2 Premere ↑ o ↓ per selezionare una voce.

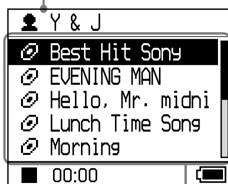
Per avviare la riproduzione, premere ►■. La riproduzione viene avviata dal primo brano del primo album dell’artista selezionato. Tutti gli album degli artisti elencati dopo l’artista selezionato vengono riprodotti in base all’ordine del numero di brano.



Continua

3 **Per ricercare i brani successivi, premere ►►I.**

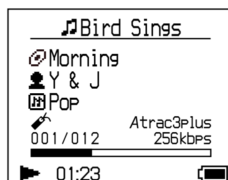
Artista selezionato nel passaggio 2.



Viene visualizzato l'album dell'artista selezionato.

4 **Premere ↑ o ↓ per selezionare una voce, quindi premere ►■.**

La riproduzione viene avviata a partire dal brano selezionato o dal primo brano della voce (artista, album e così via) selezionata. Tutti i brani elencati dopo le voci selezionate vengono riprodotti in base all'ordine del numero di brano.



Per tornare alla schermata in cui si è avviata la riproduzione

Tenere premuto MODE.

Per tornare alla schermata di selezione del modo

Premere MODE.

Per tornare all'elenco dei brani

Premere ↑ o ↓.

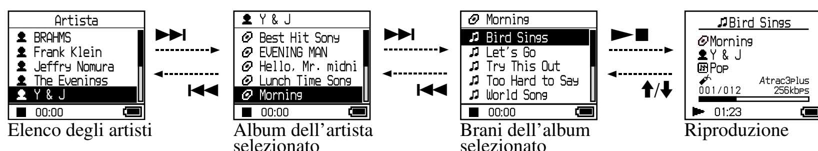
Per interrompere la riproduzione quando si seleziona il modo oppure nella schermata dell'elenco

Tenere premuto ►■.

Schermate dei modi

La schermata varia a seconda del modo visualizzato.
È possibile avviare la riproduzione premendo ►■ in qualsiasi schermata.

Artista



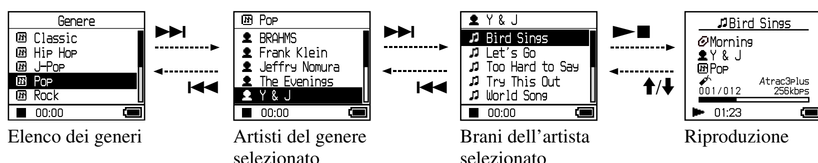
Elenco degli artisti — Album dell'artista selezionato — Brani dell'album selezionato — Riproduzione

Album: visualizzazione del nome dell'album (nome dell'album originale) nelle informazioni sul CD di SonicStage.
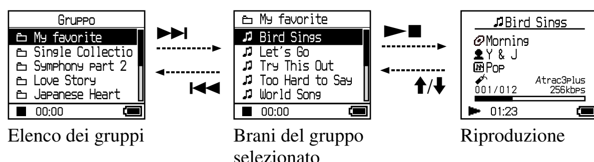


Elenco degli album — Brani dell'album selezionato — Riproduzione

Genere



Elenco dei generi — Artisti del genere selezionato — Brani dell'artista selezionato — Riproduzione

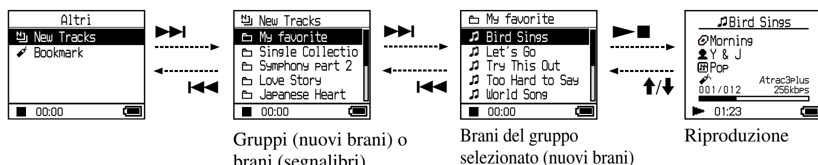
Gruppo: riproduzione dei brani nei gruppi di album creati in SonicStage



Elenco dei gruppi — Brani del gruppo selezionato — Riproduzione

Altri

- "New Tracks": brani nei gruppi recentemente trasferiti al lettore (ultime 5 volte)
- "Bookmark": brani con segnalibri (per l'aggiunta di segnalibri, ☞ pagina 24)



Gruppi (nuovi brani) o brani (segnalibri) — Brani del gruppo selezionato (nuovi brani) — Riproduzione

Continua

Aggiunta di segnalibri (riproduzione di brani con segnalibri)

È possibile riprodurre i brani preferiti aggiungendovi un segnalibro. Per riprodurre i brani con segnalibri, selezionare il modo "Altri" (☞ pagina 21).

1 Durante la riproduzione del brano a cui si desidera aggiungere il segnalibro, tenere premuto ⬆ o ⬇.

Viene visualizzato il numero di segnalibri (numero dei brani con segnalibri/numero dei segnalibri disponibili), quindi (segnalibro) si accende.

2 Se si desidera aggiungere un segnalibro a due o più brani, ripetere il passaggio 1.

È possibile aggiungere i segnalibri a 100 brani.

Per riprodurre i brani con segnalibri

1. Premere MODE ripetutamente per selezionare il modo "Altri".
2. Premere ⬆ o ⬇ per selezionare "Bookmark", quindi premere ►►I.
   Per riprodurre tutti i brani con segnalibri, premere ►■.
3. Premere ⬆ o ⬇ per selezionare un brano, quindi premere ►■.

Per rimuovere i segnalibri

Durante la riproduzione del brano da cui si desidera rimuovere il segnalibro, tenere premuto ⬆ o ⬇.
Viene visualizzato "Disattivato" e scompare dal display.

Nota

È possibile aggiungere o rimuovere un segnalibro solo durante la riproduzione.

Modifica delle opzioni di riproduzione (Modo riproduzione)

È possibile utilizzare diverse opzioni di riproduzione, come la selezione dei brani da ascoltare e la riproduzione dei brani in ordine casuale.
Per ulteriori informazioni sulle opzioni di riproduzione (Modo riproduzione), vedere ☞ pagina 26, 27.
Inoltre, è possibile riprodurre i brani ripetutamente utilizzando le opzioni di riproduzione desiderate (riproduzione ripetuta, ☞ pagina 28).

1 **Premere MENU.**

Viene visualizzata la schermata MENU.



2 **Premere ↑ o ↓ per selezionare "Modo riproduzione", quindi premere ►■.**

Viene visualizzato la schermata Modo riproduzione.



3 **Premere ↑ o ↓ per selezionare le opzioni di riproduzione, quindi premere ►■.**

L'impostazione predefinita è "Normal" (riproduzione normale).



Vengono visualizzate le opzioni di riproduzione.

4 **Premere MENU due volte per passare alla schermata di riproduzione, quindi premere ►■.**

La riproduzione viene avviata con l'opzione selezionata.

Per annullare l'impostazione

Premere MENU per tornare alla schermata MENU.
Tenere premuto MODE o premere MENU nella schermata MENU per tornare alla schermata precedente al passaggio **1**.

Per tornare alla riproduzione normale

Nel passaggio **3**, selezionare "Normal".

Per tornare alla schermata di selezione del modo

Premere MODE.

Nota

Quando si modifica il modo di riproduzione, anche l'unità di riproduzione (☞ pagina 27) viene modificata per tutti i brani registrati nel lettore. Per attivare solo il modo di riproduzione selezionato, selezionare la voce (artista, album, brano, ecc.) nell'elenco visualizzato.

Continua ⟶

Opzioni di riproduzione (Modo riproduzione)

L'insieme dei brani da riprodurre ("Unità di riproduzione" ☞ pagina 27) varia a seconda del modo (☞ pagina 21) in cui si avvia la riproduzione.

Schermata/icona MENU	Spiegazione
Normal/nessuna icona (riproduzione normale)	Tutti brani dopo il brano selezionato vengono riprodotti in base all'ordine del numero di brano. Quando si seleziona una voce (album, artista, ecc.) diversa da un brano, tutti i brani vengono riprodotti una volta a partire dal primo della voce in base all'ordine numerico.
1 Track/1 (riproduzione singola)	Il brano selezionato viene riprodotto una volta. Quando si seleziona una voce (album, artista, ecc.) diversa da un brano, viene riprodotto una volta solo il primo brano.
Play Unit/ (riproduzione di un'unità)	Tutti i brani dell'unità di riproduzione selezionata vengono riprodotti una volta in base all'ordine del numero di brano.
Track SHUF/♫ SHUF (riproduzione casuale)	Tutti i brani dell'unità di riproduzione selezionata vengono riprodotti una volta in ordine casuale. Nella schermata in cui è stata selezionato il modo, tutti i brani registrati vengono riprodotti una volta in ordine casuale.
Unit SHUF/ SHUF (riproduzione casuale di un'unita)	Tutti i brani nell'unità di riproduzione selezionata vengono riprodotti una volta in ordine casuale per ciascuna unità.

Che cos'è un'"unità di riproduzione" ?

Le voci (artista, album, brano, ecc.) nell'elenco in cui si avvia la riproduzione vengono chiamate "unità di riproduzione".
Quando si modifica il modo di riproduzione, l'unità di riproduzione viene modificata per tutti i brani registrati nel lettore.

Riproduzione di un'unità

Esempio: quando si seleziona il modo Artista

Artisti	Album	Brani
Tutti i brani di tutti gli artisti compongono un'unità di riproduzione.	Tutti i brani in tutti gli album dell'artista "Y & J" compongono un'unità di riproduzione.	Tutti i brani nell'album "Morning" dell'artista "Y & J" compongono un'unità di riproduzione.
Selezionando "Play Unit" (riproduzione di un'unità)		
• La riproduzione si avvia a partire dai brani di "Y & J" e si interrompe dopo la riproduzione di tutti i brani di "The Evenings".	• La riproduzione si avvia a partire dall'album "Morning" e si interrompe dopo la riproduzione di tutti i brani dell'album "Lunch Time Song".	• La riproduzione si avvia a partire dal primo brano dell'album "Morning" e si interrompe dopo la riproduzione di tutti i brani.
Selezionando "Unit SHUF" (riproduzione casuale di un'unità)		
• La riproduzione avviene in ordine casuale per ciascun artista. Gli album o i brani dell'artista vengono riprodotti in ordine.	• La riproduzione avviene in ordine casuale per ciascun album. I brani dell'album vengono riprodotti in ordine.	• I brani dell'album "Morning" vengono riprodotti in ordine casuale.
Selezionando "Track SHUF" (riproduzione casuale)		
• Tutti i brani registrati vengono riprodotti in ordine casuale.	• I brani in tutti gli album di "Y & J" vengono riprodotti in ordine casuale.	• I brani dell'album "Morning" vengono riprodotti in ordine casuale.

Riproduzione casuale

Ad esempio, per riprodurre tutti i brani registrati nel lettore in ordine casuale, aprire una schermata di un modo diverso da "Altri" ("Artista", ecc.) e avviare la riproduzione selezionando "Track SHUF" come Modo riproduzione (☞ pagina 25). Tutti i brani registrati nel lettore vengono riprodotti una volta in ordine casuale.



Nell'elenco dell'artista, tutti i brani registrati vengono riprodotti in ordine casuale.

Continua

Riproduzione ripetuta di brani (riproduzione ripetuta)

La riproduzione dei brani viene ripetuta nelle opzioni di riproduzione selezionate a ☞ pagina 25.

1 Selezionare l'opzione di riproduzione che si desidera ripetere (☞ pagina 25).

2 Premere MENU.

Viene visualizzata la schermata MENU.



3 Premere ↑ o ↓ per selezionare "Ripeti", quindi premere ►■.

Viene visualizzata la schermata Ripeti.



4 Premere ↓ per selezionare "Attivato", quindi premere ►■.



5 Premere MENU due volte per passare alla schermata di riproduzione, quindi premere ►■.

Viene ripetuta l'opzione di riproduzione corrente.

Per ripetere tutti i brani

Selezionare un modo diverso da "Altri" ("Artista", ecc.), quindi eseguire i passaggi da **1** a **5**.

Per annullare l'impostazione

Premere MENU per tornare alla schermata MENU.
Tenere premuto MODE o premere MENU nella schermata MENU per tornare alla schermata precedente al passaggio **2**.

Per tornare alla riproduzione normale

Durante il passaggio **4**, selezionare "Disattivato" nella schermata Ripeti.

Per tornare alla schermata di selezione del modo

Premere MODE.

Modifica delle impostazioni e della qualità del suono

Per ulteriori informazioni sulle diverse voci di impostazione, vedere ☞ pagina 30.

1 Premere MENU.

Viene visualizzata la schermata MENU.



2 Premere ↑ o ↓ per selezionare la voce, quindi premere ►■.

Viene visualizzata la schermata dell'impostazione della voce.

3 Premere ↑ o ↓ per selezionare un'opzione, quindi premere ►■.

Per modificare la qualità del suono

Dopo il passaggio **3**, premere ↑ o ↓ per selezionare un'opzione (☞ pagina 30), quindi premere ►■.
Quando si seleziona "Custom1", "Custom2", "Custom3" o "Custom4", è possibile personalizzare la qualità del suono (☞ pagina 32).

Per tornare alla schermata precedente

Premere ⏮.

Per annullare l'impostazione

Premere MENU per tornare alla schermata MENU.
Tenere premuto MODE o premere MENU nella schermata MENU per tornare alla schermata precedente al passaggio **1**.

Per tornare alla schermata di selezione del modo

Premere MODE.

Nota

Quando viene selezionato "V-SUR" o "Sound EQ", le impostazioni del suono non sono attive per i brani MP3. Per modificare la qualità del suono dei brani MP3, è necessario regolare l'impostazione "Digital Sound Preset".

Continua ⟶

Impostazione delle voci

Voce	Opzioni (●: impostazione predefinita)		
Suono (impostazione del suono)	● Disattivato		Riproduce i brani con suono di qualità normale.
	V-SUR [1] [2]	Studio (VS)	Ricrea il suono di uno studio di registrazione.
		Live (VL)	Ricrea il suono di una sala per concerti.
		Club (VC)	Ricrea il suono di una sala da ballo.
		Arena (VA)	Ricrea il suono di uno stadio.
	Sound EQ [1] [2]	Heavy (SH)	Riproduzione di brani con suoni potenti, ulteriore intensificazione delle gamme alte e basse rispetto all'opzione del suono pop.
		Pops (SP)	Riproduzione di brani con suoni vocali, intensificazione della gamma audio media.
		Jazz (SJ)	Riproduzione con suoni dinamici, intensificazione della gamma audio alta e bassa.
		Unique (SU)	Riproduzione di brani con suoni speciali, intensificazione maggiore della gamma audio alta e bassa rispetto a quella media.
		Custom1 (S1)	Riproduzione di brani con suono personalizzato (☞ pagina 32 per ulteriori informazioni).
		Custom2 (S2)	Riproduzione di brani con suono personalizzato (☞ pagina 32 per ulteriori informazioni).
	Digital Sound Preset [2]	Custom3 (S3)	Riproduzione di brani con livelli di bassi e alti preimpostati (☞ pagina 33 per ulteriori informazioni).
		Custom4 (S4)	Riproduzione di brani con livelli di bassi e alti preimpostati (☞ pagina 33 per ulteriori informazioni).
AVLS [3] (limitazione del volume)	Attivato		Il volume massimo viene limitato per proteggere l'udito.
	● Disattivato		Il volume viene regolato senza limitarne il livello.
Segnale acustico (segnale acustico di funzionamento)	● Attivato		Il segnale acustico viene emesso quando si aziona il lettore.
	Disattivato		Il segnale acustico viene disattivato.
Audio out (uscita audio esterna)	● Cuffie		Selezionare questa opzione quando si collegano le cuffie in dotazione.
	Line out		Selezionare questa opzione quando si collegano altre periferiche, ad esempio gli altoparlanti con cavo audio (☞ pagina 34).
Contrasto (regolazione del display)	● Seconda da destra		Il display è poco illuminato. Se il lettore è di colore nero, l'impostazione predefinita è la seconda da sinistra.
	da – a +		Impostare verso – per illuminare maggiormente il display e verso + per renderlo meno luminoso.

1)Le impostazioni sono attive solo durante la riproduzione di brani audio ATRAC3plus. Durante la riproduzione di brani audio MP3, le impostazioni non sono attive.

2)Le impostazioni audio vengono visualizzate nel display sotto forma di lettere tra parentesi (☞ pagina 7).

3)AVLS è un'abbreviazione di Automatic Volume Limiter System (Sistema di regolazione automatica del volume).

Voci	Opzioni (●: impostazioni predefinite)	
Retroilluminazione (retroilluminazione LCD del display)	● Automatico	Il display si illumina per circa 10 secondi quando si preme un tasto e resta acceso durante lo scorrimento dei titoli dei brani e così via.
	10 sec	Il display si illumina per circa 10 secondi quando si preme un tasto e si spegne dopo 10 secondi anche durante lo scorrimento dei titoli dei brani e così via.
	30 sec	Il display si illumina per circa 30 secondi quando si preme un tasto e si spegne dopo 30 secondi anche durante lo scorrimento dei titoli dei brani e così via.
	Disattivato	Il display si spegne per risparmiare energia.
Display in negativo (visualizzazione inversa del display)	● Positivo	I caratteri e le icone vengono visualizzati in nero e lo sfondo in bianco.
	Negativo	I caratteri e le icone vengono visualizzati in bianco e lo sfondo in nero.
Lingua (lingua del display)	日本語	I messaggi e i menu vengono visualizzati in giapponese.
	● English	I messaggi e i menu vengono visualizzati in inglese.
	Français	I messaggi e i menu vengono visualizzati in francese.
	Deutsch	I messaggi e i menu vengono visualizzati in tedesco.
	Italiano	I messaggi e i menu vengono visualizzati in italiano.
	Español	I messaggi e i menu vengono visualizzati in spagnolo.
	简体中文 *	I messaggi e i menu vengono visualizzati in cinese semplificato.
	繁體中文 *	I messaggi e i menu vengono visualizzati in cinese tradizionale.
	한글 *	I messaggi e i menu vengono visualizzati in coreano.

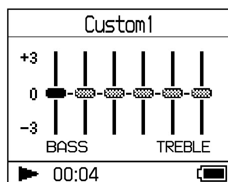
* Queste lingue non vengono visualizzate a seconda del paese in cui si utilizza il lettore.

Continua

Personalizzazione della qualità del suono
(Sound EQ - Custom)

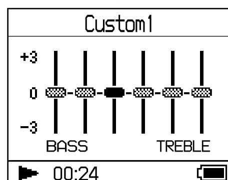
È possibile regolare la qualità del suono per ciascuna gamma di frequenza, selezionando le impostazioni sul display.

1 Dopo aver selezionato “Suono” nel passaggio 2 in “Modifica delle impostazioni e della qualità del suono” (☞ pagina 29), selezionare “Custom 1” o “Custom 2” in “Sound EQ.”



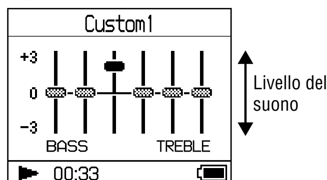
2 Premere ⏮ o ⏭ per selezionare la gamma di frequenza.

Esistono sei gamme di frequenza.



3 Premere ↑ o ↓ per selezionare il livello del suono.

È possibile regolare il suono su 7 livelli.



4 Ripetere i passaggi 2 e 3 per eseguire le regolazioni per le altre gamme di frequenza.

5 Premere ►■.

Viene visualizzata la schermata MENU.

Per annullare l’impostazione

Premere MENU per tornare alla schermata MENU.
Tenere premuto MODE o premere MENU nella schermata MENU per tornare alla schermata precedente al passaggio **1**.

Per tornare alla schermata di selezione del modo

Premere MODE.

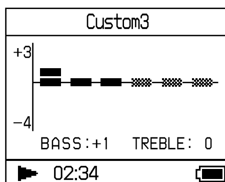
Note

- Se in base alle impostazioni audio configurate il suono risulta distorto quando si alza il volume, abbassare il volume.
- Se si percepisce una differenza di volume tra l’impostazione “Custom 1” o “Custom 2” e le altre impostazioni, regolare il volume nel modo desiderato.

Regolazione di alti e bassi (Digital Sound Preset)

È possibile preimpostare i livelli di alti e bassi secondo le proprie preferenze. Mentre si verifica il display, è possibile regolare le impostazioni di intensificazione.

1 **Dopo aver selezionato "Suono" nel passaggio 2 della sezione "Modifica delle impostazioni e della qualità del suono" (☞ pagina 29), selezionare "Custom3" o "Custom4" in "Digital Sound Preset".**

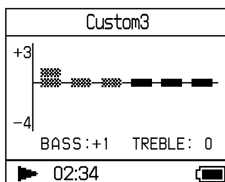


Impostazioni predefinite

Qualità del suono	Custom3 (S3)	Custom4 (S4)	OFF (SUONO NORMALE)
Bass	+1	+3	±0
Treble	±0	±0	±0

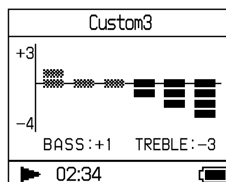
2 **Premere ⏮ o ⏭ per selezionare "Treble" o "Bass".**

È possibile regolare la qualità del suono degli alti e dei bassi.



3 **Premere ↑ o ↓ per selezionare il livello del suono.**

È possibile regolare il suono su otto livelli.



Qualità del suono	Livello di intensificazione
Bass	da -4 a +3
Treble	da -4 a +3

4 **Premere ►■.**

Viene visualizzata la schermata MENU.

Per annullare l'impostazione

Premere MENU per tornare alla schermata MENU.
Tenere premuto MODE o premere MENU nella schermata MENU per tornare alla schermata precedente al passaggio **1**.

Per tornare alla schermata di selezione del modo

Premere MODE.

Nota

- I livelli di alti e bassi vengono visualizzati alle estremità destra e sinistra dei grafici di "Custom3" o "Custom4". Non è possibile regolare singolarmente i livelli intermedi poiché dipendono dai livelli di alti e bassi e vengono modificati automaticamente.
- Se in base alle impostazioni audio configurate il suono risulta distorto quando si alza il volume, abbassare il volume.
- Se si percepisce una differenza di volume tra l'impostazione "Custom3" o "Custom4" e le altre impostazioni, regolare il volume nel modo desiderato.

Trasferimento di dati audio al computer

È possibile trasferire i dati audio di nuovo alla “Raccolta personale” di SonicStage sul computer.



1 Collegare il lettore al computer (vedere passaggi 1 e 2 in “Trasferimento dei dati audio al lettore”, ☞ pagina 14).

2 Fare clic su “Trasferisci” nella parte destra della finestra di SonicStage.

Viene visualizzata la schermata di trasferimento.

3 Selezionare “ATRAC Audio Device” nell’elenco delle destinazioni di trasferimento nella parte destra della finestra di SonicStage.

4 Fare clic sui brani da trasferire alla Raccolta personale nell’elenco Network Walkman nella parte destra della finestra di SonicStage.

Per trasferire più di un brano, tenere premuto il tasto “Ctrl” durante la selezione dei brani. Per trasferire tutti i brani, fare clic sull’album.

5 Fare clic su [←] nella finestra di SonicStage.

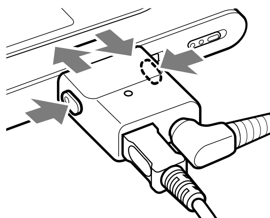
In questo modo si avvia il trasferimento dei brani selezionati al passaggio **4**.
È possibile verificare lo stato del trasferimento nella finestra di SonicStage.

Per interrompere il trasferimento

Fare clic su [■] nella finestra di SonicStage.

Per rimuovere l’adattatore USB dal lettore

Estrarre l’adattatore USB premendo i tasti grigi situati ai lati.

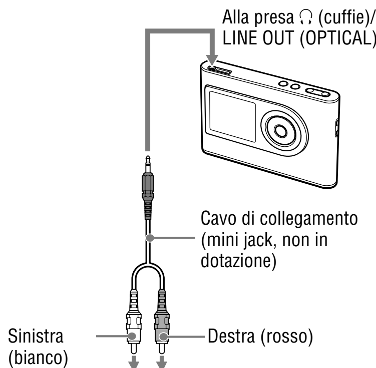


Note

- Non è possibile trasferire alla Raccolta personale sul computer i brani già trasferiti al lettore da un altro computer.
- Non scollegare il cavo USB o l’adattatore USB durante il trasferimento dei dati. In tal caso, i dati in fase di trasferimento potrebbero andare persi.

Collegamento di altre periferiche

È possibile ascoltare i brani sul lettore tramite un impianto stereo e registrarli su un MiniDisc o una cassetta. Consultare il manuale d'uso fornito con la periferica che si desidera collegare.
Accertarsi di spegnere tutte le periferiche prima di effettuare i collegamenti e modificare le impostazioni descritte di seguito.



È necessario modificare l'impostazione di "Audio out" nella schermata MENU perché il suono venga emesso sulla periferica collegata. Le impostazioni di "Audio out" sono illustrate di seguito. Per configurare tali impostazioni, vedere ☞ pagina 29 e 31.

Periferica collegata	Impostazione
Cuffie	CUFFIE
Periferica collegata tramite il cavo di collegamento	Line out

Quando si collega un'altra periferica, impostarla su "Line out". Quando l'impostazione è "Line out", non è possibile regolare il volume e le impostazioni "Suono" non sono disponibili.

Note

- Quando le cuffie in dotazione sono collegate al lettore, non è necessario impostare "Audio out" su "Line out." Se l'impostazione è "Line out", non è possibile regolare il volume e il suono sarà distorto e disturbato.
- Prima di avviare la riproduzione di un CD, abbassare il volume della periferica collegata per evitare di danneggiare il diffusore collegato.

Memorizzazione di dati diversi da file audio

È possibile trasferire i dati dal disco rigido del computer al disco rigido incorporato del lettore utilizzando Esplora risorse.
Il disco rigido incorporato del lettore viene visualizzato in Esplora risorse come un'unità esterna (unità di memorizzazione rimovibile).

Note

- Non utilizzare SonicStage durante l'uso del disco rigido del lettore con Esplora risorse.
- Se i file WAV e MP3 vengono trasferiti al lettore utilizzando Esplora risorse, non è possibile riprodurli. Trasferirli utilizzando SonicStage.
- Non scollegare il cavo USB durante il trasferimento dei dati. I dati in fase di trasferimento potrebbero andare persi.
- Non inizializzare il disco rigido del lettore sul computer.

Ripristino delle impostazioni di fabbrica

È possibile ripristinare le impostazioni di fabbrica nella schermata MENU.

1 Nella modalità di arresto, premere MENU.

Viene visualizzata la schermata MENU.



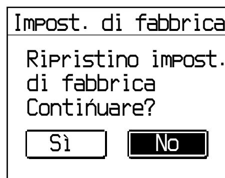
2 Premere ⬆ o ⬇ per selezionare "Formattazione", quindi premere ►■.

Viene visualizzata la schermata Formattazione.



3 Premere ►■ mentre si seleziona "Impost. di fabbrica".

Viene visualizzata la schermata Impost. di fabbrica.



Continua

4 Premere ↓ per selezionare “Sì”, quindi premere ►■.

Viene visualizzato il messaggio e la schermata Formattazione.

Per annullare la configurazione

Nel passaggio **4**, selezionare “No”, quindi premere ►■. Viene visualizzata la schermata Formattazione.
Premere MENU per tornare alla schermata relativa.
Tenere premuto MODE o premere MENU nella schermata MENU per tornare alla schermata precedente al passaggio **1**.

Per tornare alla schermata di selezione del modo

Premere MODE.

Nota

Non è possibile ripristinare le impostazioni di fabbrica durante la riproduzione.

Inizializzazione del disco rigido

È possibile inizializzare il disco rigido incorporato del lettore. Se il disco rigido è inizializzato, tutti i dati audio e gli altri dati memorizzati vengono eliminati. Accertarsi di controllare i dati contenuti nel disco rigido prima di avviare l’inizializzazione.
Se i brani vengono eliminati durante l’inizializzazione, SonicStage li riconosce come brani da trasferire di nuovo al computer quando il lettore viene collegato. Pertanto, il numero restante degli elementi da trasferire aumenta automaticamente.

1 Nella modalità di arresto, premere MENU.

Viene visualizzata la schermata MENU.



2 Premere ↑ o ↓ per selezionare “Formattazione”, quindi premere ►■.

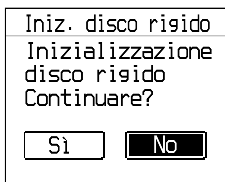
Viene visualizzata la schermata Formattazione.



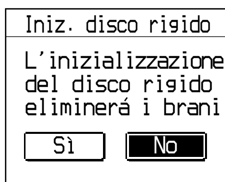
Continua

3 Premere ↓ per selezionare "Iniz. disco rigido", quindi premere ►■.

Viene visualizzata la schermata Iniz. disco rigido.



4 Premere ↓ per selezionare "Sì", quindi premere ►■.



5 Premere ↓ per selezionare "Sì", quindi premere ►■.

Viene visualizzato il messaggio e la schermata Formattazione.

Per annullare la configurazione

Nel passaggio **5**, selezionare "No", quindi premere ►■. Viene visualizzata la schermata Formattazione.
Premere MENU per tornare alla schermata MENU.
Tenere premuto MODE o premere MENU nella schermata MENU per tornare alla schermata precedente al passaggio **1**.

Per tornare alla schermata di selezione del modo

Premere MODE.

Note

- Non inizializzare il disco rigido del lettore sul computer.
- Non è possibile formattare il disco rigido durante la riproduzione.
- Se il lettore viene inizializzato, tutti i dati audio e gli altri file vengono eliminati.

Note sullo smaltimento dell'unità

Il lettore dispone di una batteria ricaricabile agli ioni di litio incorporata. Attenersi alle disposizioni che regolano lo smaltimento del lettore.

In alcuni paesi potrebbero essere in vigore norme specifiche per lo smaltimento delle batterie realizzate per alimentare questo apparecchio.
Consultare le autorità competenti.

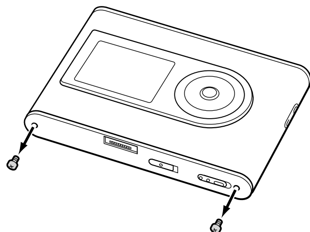
Note

- Non smontare mai il lettore eccetto durante lo smaltimento.
- Maneggiare la parte metallica interna con cura, in particolare il bordo.

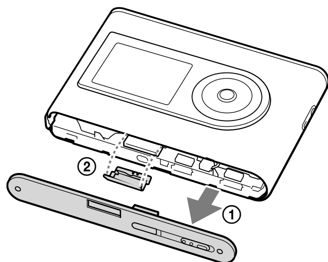
Per rimuovere la batteria ricaricabile incorporata

1 Far scorrere l'interruttore BUILT-IN BATTERY nella parte inferiore del lettore su OFF.

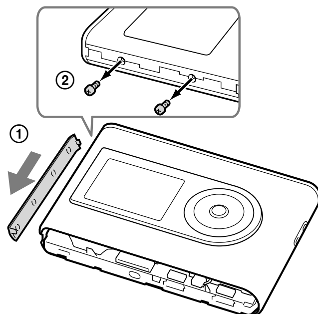
2 Rimuovere le due viti sulla parte inferiore.



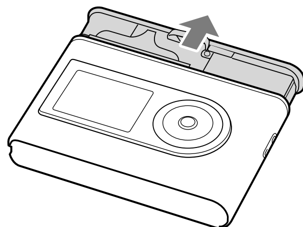
3 Rimuovere la mascherina sulla parte inferiore (①) e il supporto USB (②). Se necessario, utilizzare delle pinze.



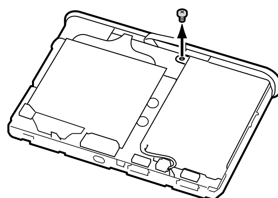
4 Fare scorrere la parte laterale (①) e rimuovere le due viti (②) situate ai lati del lettore.



5 Inserire la parte inferiore nel lettore ed estrarre la porzione interna del lettore nella direzione della freccia.

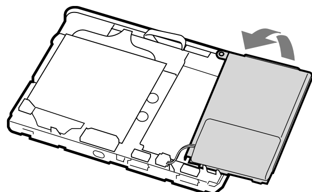


6 Rimuovere la vite sul lato della batteria.

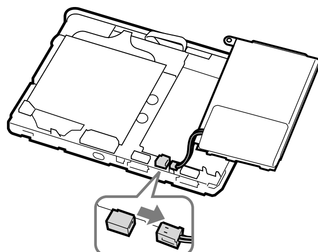


Continua

7 Rimuovere la batteria incorporata.



8 Tirare il cavo di collegamento tra la batteria e il lettore per separare il connettore.



Risoluzione dei problemi

Se si verificano problemi con il lettore, provare a eseguire le operazioni riportate di seguito.

1. Impostare l'interruttore BUILT-IN BATTERY su OFF e di nuovo su ON. Spostando l'interruttore su OFF, i dati non vengono persi.
2. Verificare i sintomi in "Risoluzione dei problemi".
3. Se il problema persiste, contattare il rivenditore Sony più vicino.

Alimentazione

Sintomo	Causa e/o azione correttiva
La spia CHG non si accende.	➔ I terminali dell'adattatore USB sono sporchi. Pulirli con un panno morbido e asciutto. ➔ Il lettore non è collegato all'adattatore USB. Inserire l'adattatore USB fino a farlo scattare in posizione (☞ pagina 8).
La spia CHG lampeggia.	➔ La temperatura non è appropriata. Caricare la batteria a una temperatura compresa tra 5 e 35ºC.
La durata della batteria è breve.	➔ La temperatura di funzionamento è inferiore ai 5°C. Ciò è dovuto alle caratteristiche della batteria e non a un malfunzionamento. ➔ Il lettore non è stato utilizzato per un lungo periodo di tempo. L'efficienza della batteria viene migliorata da cariche e scariche ripetute. ➔ È necessario sostituire la batteria. Contattare il rivenditore Sony più vicino. ➔ La durata della carica non è sufficiente. Il lettore esegue una verifica della durata di 15 minuti delle condizioni della batteria, per proteggerla prima di avviare una ricarica rapida. Caricare completamente la batteria fino a quando la spia CHG si spegne.

Continua ⟶

Suono

Sintomo	Causa e/o azione correttiva
Non viene emesso alcun suono. Viene emesso rumore.	→ Il volume è impostato su zero. Alzare il volume (☞ pagina 18). → Le cuffie non sono collegate correttamente. Collegarle saldamente alla presa 🎧 (cuffie)/LINE OUT (☞ pagina 18). → Lo spinotto delle cuffie è sporco. Pulirlo con un panno morbido e asciutto. → Nel disco rigido non sono stati memorizzati dati audio.
Il volume non aumenta.	→ "AVLS" è impostato su "Attivato". Impostarlo su "Disattivato" (☞ pagina 30).
Non viene emesso alcun suono dal canale destro delle cuffie.	→ Le cuffie non sono collegate correttamente. Collegarle saldamente alla presa 🎧 (cuffie)/LINE OUT (☞ pagina 18).
Non è possibile regolare il volume.	→ "Audio out" è impostato su "Line out". Regolare il volume utilizzando l'apposito controllo sulla periferica collegata o impostare "Audio out" su "Cuffie" (☞ pagina 30).
Quando si utilizza il lettore con un sistema stereo collegato, il suono è distorto o disturbato.	→ "Audio out" è impostato su "Cuffie". Impostarlo su "Line out" (☞ pagina 30).
Durante la riproduzione di brani audio MP3, il suono non cambia anche se vengono impostate le funzioni "V-SUR" e "SOUND EQ" di "Suono".	→ Solo le impostazioni di "Digital Sound Preset" sono attive durante la riproduzione di un brano audio MP3 (☞ pagina 30).

Funzionamento/Riproduzione

Sintomo	Causa e/o azione correttiva
I tasti non funzionano.	→ I tasti sono bloccati. Far scorrere indietro l'interruttore HOLD (☞ pagina 19). → Si è formata della condensa. Non utilizzare il lettore per alcune ore finché la condensa non è evaporata. → La carica residua della batteria non è sufficiente. Caricare la batteria (☞ pagina 8). → Quando il lettore è collegato al computer acceso, se l'adattatore USB è collegato al lettore i tasti sono disabilitati. Rimuovere l'adattatore USB dal lettore (☞ pagina 9).
La riproduzione si è interrotta all'improvviso.	→ La carica residua della batteria non è sufficiente. Caricare la batteria (☞ pagina 8). → Quando si tenta di riprodurre un brano audio MP3 non riproducibile su questo lettore, la riproduzione si arresta. Premere ▶▶I per selezionare altri brani (☞ pagina 19).
La retroilluminazione non è accesa.	→ "Retroilluminazione" è impostato su "Disattivato". Impostarlo su "Automatico", "10 sec" o "30 sec" (☞ pagina 31).
"□" viene visualizzato al posto di un titolo.	→ Sono presenti caratteri che non possono essere visualizzati sul lettore. Utilizzare il software SonicStage per modificare il titolo con caratteri appropriati.

Il display si spegne.	→ Il display si spegne automaticamente quando non vengono eseguite operazioni per circa 30 secondi (con la batteria) o 3 minuti (con l'alimentatore CA) nella modalità di arresto. Quando si scorrono i titoli dei brani, il display si spegne circa 30 secondi o 3 minuti dopo aver terminato lo scorrimento. Inoltre, il display si spegne quando si tiene premuto MENU. In tutti i casi, premere un tasto qualsiasi per illuminare di nuovo il display.

Collegamento al computer/SonicStage

Sintomo	Causa e/o azione correttiva
Non è possibile installare il software SonicStage.	→ Viene utilizzato un sistema operativo non compatibile con il software (☞ pagina 10). → Non sono state chiuse tutte le applicazioni di Windows. Se si avvia l'installazione mentre sono in esecuzione altri programmi può verificarsi un malfunzionamento. Ciò è valido in modo particolare per i programmi che richiedono molte risorse di sistema, come gli antivirus. → La quantità di spazio disponibile sul disco rigido non è sufficiente. È necessario disporre almeno di 200 MB di spazio. Eliminare i file non necessari dal computer.
L'installazione si blocca prima del completamento.	→ Verificare l'eventuale presenza di un messaggio di errore sotto la finestra di installazione. Premere il tasto "Tab" tenendo premuto il tasto "Alt". Se è stato visualizzato un messaggio di errore, premere il tasto "Invio". L'installazione riprenderà. Se non è presente alcun messaggio di errore, l'installazione è ancora in corso. Attendere ancora.
L'indicatore di avanzamento sul display del computer è fermo. La spia di accesso del computer non si è accesa per alcuni minuti.	→ L'installazione sta procedendo normalmente. Attendere. L'installazione potrebbe richiedere 30 minuti o più, in base all'unità CD o all'ambiente di sistema.
"Colleg. PC" non viene visualizzato durante il collegamento al computer con il cavo USB.	→ Attendere l'autenticazione del software SonicStage. → Un'altra applicazione è in esecuzione sul computer. Attendere e ricollegare il cavo USB. Se il problema persiste, scollegare il cavo USB, riavviare il computer e ricollegare il cavo USB. → Il cavo USB non è collegato correttamente. Scollegare il cavo USB, quindi ricollegarlo. → Viene utilizzato un hub USB. Il collegamento tramite hub USB non è garantito. Collegare il cavo USB direttamente al computer.

Continua ⟶

Sintomo	Causa e/o azione correttiva
Il lettore non viene riconosciuto dal computer quando è collegato.	→ L’adattatore USB non è collegato correttamente al lettore. Inserire l’adattatore USB fino a farlo scattare in posizione (☞ pagina 8). → Il cavo USB non è collegato correttamente. Scollegare il cavo USB, quindi ricollegarlo. → Viene utilizzato un hub USB. Il collegamento tramite hub USB non è garantito. Collegare il cavo USB direttamente al computer. → Il file del driver per il lettore non è stato installato. Reinstallare il software SonicStage per il lettore utilizzando il CD-ROM in dotazione (☞ pagina 11) per installare anche il driver. → L’installazione del software SonicStage non è riuscita. Scollegare il lettore e il computer, quindi reinstallare il software utilizzando il CD-ROM in dotazione (☞ pagina 11). → Far scorrere l’interruttore BUILT-IN BATTERY su ON.
I dati audio non possono essere trasferiti dal computer al lettore.	→ Il cavo USB non è collegato correttamente. Scollegare il cavo USB, quindi ricollegarlo. → Il brano è già stato trasferito al lettore tre volte. Trasferire di nuovo il brano al computer per aumentare il numero degli elementi trasferibili (☞ pagina 33), quindi trasferirlo di nuovo al lettore. → Lo spazio disponibile sul disco rigido del lettore non è sufficiente. Trasferire di nuovo i brani non necessari al computer per aumentare lo spazio libero (☞ pagina 33). → Sono stati già trasferiti oltre 65.535 brani o più di 4.096 gruppi al disco rigido del lettore oppure sono stati già trasferiti più di 999 brani per un gruppo. → Non è possibile trasferire i brani con un periodo o un numero di riproduzioni limitato a causa delle restrizioni disposte dai proprietari del copyright. Per ulteriori informazioni sulle impostazioni per ciascun file audio, contattare il distributore.
Il numero di brani trasferibili al lettore è limitato (il tempo di registrazione disponibile è breve).	→ Lo spazio libero nel disco rigido del lettore non è sufficiente per le dimensioni dei dati audio da trasferire. Trasferire di nuovo i brani non necessari per aumentare lo spazio libero (☞ pagina 33). → I dati diversi da quelli audio vengono memorizzati nel disco rigido del lettore. Spostare i dati diversi da quelli audio al computer per aumentare lo spazio libero.
Non è possibile trasferire di nuovo i dati audio al computer dal lettore.	→ Un computer diverso da quello utilizzato per il trasferimento al lettore viene selezionato come destinazione del trasferimento. Non è possibile trasferire di nuovo i dati audio a un computer diverso da quello utilizzato per il trasferimento al lettore. → I dati audio sono stati eliminati dal computer utilizzato per il trasferimento al lettore. Non è possibile trasferire di nuovo i dati audio al computer se il brano è stato eliminato dal computer utilizzato per il trasferimento.

Sintomo	Causa e/o azione correttiva
I dati audio vengono trasferiti di nuovo al computer e il numero degli elementi trasferibili aumenta automaticamente quando il lettore è collegato al computer.	➔ Se un brano viene eliminato dal lettore utilizzando il software SonicStage installato su un computer diverso da quello utilizzato per il trasferimento al lettore, il brano viene automaticamente trasferito quando il lettore viene collegato al computer utilizzato per il trasferimento. Pertanto, il numero degli elementi da trasferire aumenta automaticamente.
Il lettore non funziona correttamente quando è collegato al computer.	➔ Viene utilizzato un hub USB o una prolunga USB. Il collegamento tramite hub USB o prolunga USB non è garantito. Collegare il cavo USB direttamente al computer.
Il messaggio “Autenticazione periferica/supporto non riuscita” viene visualizzato quando il lettore è collegato al computer.	➔ Il lettore non è collegato correttamente al computer. Chiudere il software SonicStage e verificare il collegamento del cavo USB. Riavviare il software SonicStage.

Altri problemi

Sintomo	Causa e/o azione correttiva
Non viene emesso alcun segnale acustico durante l’uso del lettore.	➔ “Segnale acustico” è impostato su “Disattivato”. Impostarlo su “Attivato” (☞ pagina 30).
Il lettore o l’adattatore USB si surriscalda.	➔ Il lettore e l’adattatore USB potrebbero surriscaldarsi durante e subito dopo la carica a causa di una carica rapida. Inoltre, il lettore e l’adattatore USB potrebbero surriscaldarsi durante il trasferimento di numerosi brani. Non utilizzare il lettore per qualche ora.
Viene emesso un suono dall’interno del lettore. Il lettore vibra.	➔ È possibile che durante il funzionamento del disco rigido venga emesso un suono e che il lettore vibri. Tale rumore non è indice di alcun malfunzionamento.

Messaggi di errore

Se viene visualizzato un messaggio di errore sul display, attenersi alle istruzioni riportate di seguito.

Messaggio	Significato	Corrective action
AVLS VOLUME NON DISPONIBILE	Il livello supera il volume massimo di AVLS.	→ Impostare "AVLS" su "Disattivato" (☞ pagina 30).
SEGNALIBRI PIENI	Il numero di segnalibri supera il limite massimo.	→ Rimuovere i segnalibri non necessari (☞ pagina 24).
IMPOSSIBILE ESEGUIRE STOP	L'opzione "Formattazione" della schermata MENU è selezionata durante la riproduzione.	→ Interrompere la riproduzione e selezionare di nuovo "Formattazione".
IMPOSSIBILE ESEGUIRE SE INTERROTTO	Si tenta di aggiungere un segnalibro quando il lettore è in modalità di arresto.	→ Aggiungere il segnalibro durante la riproduzione (☞ pagina 24).
NO RIPRODUZ. COLLEGARE A PC	L'orologio del lettore non funziona	→ Eseguire il collegamento al computer (☞ pagina 14).
IMPOSSIBILE RIPRODURRE ERRORE DISCO	I dati audio sono danneggiati.	→ Trasferire di nuovo i dati audio al lettore (☞ pagina 14).
IMPOSSIBILE RIPRODURRE QUESTO BRANO	• Non è consentito riprodurre il brano sul lettore. • È in corso la riproduzione di brani con un numero di riproduzioni limitato.	→ Non è possibile riprodurre brani la cui riproduzione sul lettore non è autorizzata.
RIPRODUZIONE NON DISPONIBILE	Si sta tentando di riprodurre un brano prima o dopo il periodo consentito per la riproduzione.	→ È possibile riprodurre i brani con un periodo di riproduzione limitato solo entro il limite di tempo concesso.
IN CARICA 5°C – 35°C	La carica avviene a una temperatura non compresa tra 5 e 35°C.	→ Eseguire la carica a una temperatura compresa tra 5 e 35°C.
COLLEGARE ADATTATORE CA	• Il lettore è collegato al computer ma l'alimentatore CA non è collegato alla presa DC IN dell'adattatore USB. • L'alimentatore CA è scollegato dall'adattatore USB mentre il lettore è collegato al computer.	→ Collegare l'alimentatore CA all'adattatore USB (☞ pagina 14).
SCRITTURA DISCO RIGIDO 5°C – 35°C	Il trasferimento dei dati audio avviene a una temperatura non compresa tra 5 e 35°C.	→ Eseguire questa operazione a una temperatura compresa tra 5 e 35°C.

Messaggio	Significato	Corrective action
INIZIALIZ. DISCO RIGIDO NON CORRETTA	• Il disco rigido del lettore non è stato inizializzato correttamente. • Il disco rigido del lettore è stato inizializzato sul computer. • Il disco rigido del lettore non è stato inizializzato perché è stato cambiato.	→ Inizializzare di nuovo il disco rigido del lettore (☞ pagina 36).
HOLD	L'interruttore HOLD è impostato su ON.	→ Sbloccare i comandi facendo scorrere l'interruttore HOLD nella direzione opposta alla freccia (☞ pagina 19).
IMPOSSIBILE ESEGUIRE IN LINE OUT	Quando "Audio out" è impostato su "Line out", si tenta di modificare il livello volume o l'impostazione di "Suono".	→ Impostare "Audio out" su "Cuffie" (☞ pagina 30).
BATTERIA SCARICA	La batteria è scarica.	→ Caricare la batteria (☞ pagina 8).
N. MAX GRUPPI SUPERATO	Il numero massimo (8.192) di gruppi consentiti (album, artisti, ecc.) è stato superato.	→ Il numero totale di voci nell'elenco (tranne l'elenco dei brani) supera 8.192. Verificare il modo in uso e trasferire di nuovo tutti i brani non necessari al computer (☞ pagina 33).
FILE DI SISTEMA NON CORRISP.	I file di sistema non corrispondono.	→ Inizializzare il disco rigido del lettore (☞ pagina 36) e trasferire di nuovo i dati audio al lettore (☞ pagina 14).
NESSUN DATABASE TROVATO	Quando si esegue la disconnessione dal computer, non ci sono brani trasferiti al lettore o mancano le informazioni relative al modo.	→ Trasferire i dati audio al lettore (☞ pagina 14).
NESSUN BRANO	Non ci sono brani nell'elenco.	→ Passare all'elenco contenente brani. → Trasferire i dati audio al lettore (☞ pagina 14).
ERRORE DI SISTEMA <N. ***> (il numero viene visualizzato tra parentesi)	Si è verificato un errore di sistema.	→ Annotare il numero e contattare il rivenditore Sony più vicino.

Caratteristiche tecniche

Numero massimo di brani registrabili (approssimativo)*

ATRAC3	ATRAC3plus	MP3
5 000 (132 kbps)	2 500 (256 kbps)	5 000 (128 kbps)
6 000 (105 kbps)	10 000 (64 kbps)	10 000 (64 kbps)
10 000 (66 kbps)	13 000 (48 kbps)	

* Trasferimento di brani della durata di quattro minuti

Frequenza di campionamento

44,1 kHz (ATRAC3plus), 32/44,1/48 kHz (MP3)

Tecnologia di compressione audio

ATRAC3plus (Adaptive Transform Acoustic Coding 3 plus) (ATRAC3plus), MPEG-1 Audio Layer-3 (MP3)

Risposta in frequenza

20 - 20 000 Hz
(misurazione segnale singolo durante la riproduzione)

Uscita

(cuffie)/LINE OUT* :
minipresa stereo /194 mV

* La presa viene utilizzata sia per le cuffie che per l'uscita LINE OUT.

Temperatura di funzionamento

5 - 35ºC

Alimentazione

DC IN 6 V (da batteria ricaricabile incorporata)

Durata batteria (riproduzione continua)

Formato ATRAC3plus (48 kbps): circa 30 ore

Formato MP3 (128 kbps): circa 22 ore

Dimensioni

Parti sporgenti non incluse:
90 × 62,1 × 14,8 (nella parte più sottile 13,8) mm (l/a/p)

Parti sporgenti incluse:
90,8 × 63,4 × 15,7 mm (l/a/p)

Peso

Circa 130 g

Brevetti degli Stati Uniti d'America e di altri Paesi concessi su licenza dai Dolby Laboratories.

Il design e le caratteristiche tecniche sono soggetti a modifiche senza preavviso.

Indice

Simboli

A

B

C

http://www.sony.net/

Sony Corporation

SONY®

NW-HD3

Manual de Instrucciones **ES**

Network Walkman

Portable Hard Disk Audio Player



Atrac3plus

Para ir a la sección que desea leer, haga clic en el título en los marcadores del PDF, en el título en la sección "Contenidos" del manual de instrucciones o en el número de página en las frases.



REPRODUCTOR DE AUDIO DE DISCO DURO PORTÁTIL

POR FAVOR LEA DETALLADAMENTE ESTE MANUAL DE INSTRUCCIONES ANTES DE CONECTAR Y OPERAR ESTE EQUIPO.

RECUERDE QUE UN MAL USO DE SU APARATO PODRÍA ANULAR LA GARANTÍA.

ADVERTENCIA

Para evitar el riesgo de incendios o electrocución, no exponga la unidad a la lluvia o a la humedad.

No instale el aparato en un espacio cerrado, como una estantería para libros o un armario empotrado.

Para evitar incendios, no cubra la ventilación del aparato con periódicos, manteles, cortinas, etc. No coloque velas encendidas sobre el aparato.

Para evitar el riesgo de incendios o descargas eléctricas, no coloque recipientes llenos de líquido, como jarrones, sobre el aparato.

Nota acerca de la instalación
Si utiliza la unidad en un lugar sujeto a ruido estático o eléctrico, puede que las pistas que estén transfiriendo información resulten dañadas. Esto impedirá que la autorización de transferencia se realice correctamente en su ordenador.

Contenidos

Aviso a los usuarios

Sobre el software suministrado

- Las leyes de copyright prohíben copiar el software o el manual que lo acompaña, ya sea en parte o en su totalidad, y arrendar el software sin el permiso del propietario del copyright.
- En ningún caso SONY será responsable de ningún problema financiero o de las pérdidas de beneficios, incluyendo las reclamaciones realizadas por terceras partes, que provengan del uso del software que se suministra con este reproductor.
- En el caso de que haya problemas con este software debido a una fabricación defectuosa, SONY se encargará de sustituirlo. No obstante, SONY sólo asume esa responsabilidad.
- El software suministrado con este reproductor no se puede utilizar con equipos distintos a los designados.
- Tenga en cuenta que, debido a los continuos esfuerzos para mejorar la calidad, las especificaciones del software pueden cambiar sin previo aviso.
- Si utiliza este reproductor con software diferente al proporcionado no lo cubrirá la garantía.
- En función del tipo de texto y los caracteres, es posible que el texto de SonicStage no se muestre correctamente en el dispositivo. Esto se debe a:
  - La capacidad del reproductor conectado.
  - Que el reproductor no funcione normalmente.

- SonicStage y el logotipo de SonicStage son marcas comerciales o marcas comerciales registradas de Sony Corporation.
- OpenMG, ATRAC3plus y sus logotipos son marcas comerciales de Sony Corporation.
- Microsoft, Windows, Windows NT y Windows Media son marcas comerciales o marcas comerciales registradas de Microsoft Corporation en Estados Unidos y en otros países.
- IBM y PC/AT son marcas comerciales registradas de International Business Machines Corporation.
- Macintosh es una marca comercial de Apple Computer, Inc. en Estados Unidos y en otros países.
- Pentium es una marca comercial o marca comercial registrada de Intel Corporation.
- Adobe y Adobe Reader son marcas comerciales o marcas comerciales registradas de Adobe Systems Incorporated en Estados Unidos y en otros países.
- Patentes de los EE.UU. y otros países usados con licencia de Dolby Laboratories.
- Todas las demás marcas comerciales y marcas comerciales registradas son marcas comerciales o marcas comerciales registradas de sus respectivos propietarios.
- En este manual no se especifican las marcas ™ y ®.
- CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000-2003 Gracenote.
  Gracenote CDDB® Client software, copyright 2000-2003 Gracenote.
  This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593, and other patents issued or pending.
  Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.

Precauciones

Seguridad

- No ponga objetos extraños en la toma DC IN o en el adaptador USB.
- Asegúrese de no provocar un cortocircuito en las terminales del adaptador USB con otros objetos metálicos.

Instalación

- Nunca use el reproductor en lugares expuestos a condiciones extremas de luz, temperatura, humedad o vibraciones.
- Nunca envuelva el reproductor con ningún material mientras esté en funcionamiento con el adaptador de alimentación de ca. El calor acumulado en el reproductor podría hacer que no funcionara bien o causar una avería.

Acumulación de calor

El reproductor o adaptador USB se puede calentar mientras se realiza la carga si se utiliza durante un período prolongado de tiempo.

Auriculares

Seguridad en carretera

No utilice auriculares mientras conduce, monta en bicicleta o maneja cualquier vehículo motorizado. En muchos países es ilegal y puede provocar un accidente de tráfico. Igualmente, puede ser potencialmente peligroso escuchar la reproducción a un volumen alto mientras camina, especialmente en los pasos de peatones. Preste especial atención o deje de utilizarlos en situaciones potencialmente peligrosas.

Prevención de daños a los oídos

Evite emplear los auriculares a un volumen alto. Los expertos en audición desaconsejan el uso continuo a un volumen alto. Si nota pitidos o zumbidos en los oídos, reduzca el volumen o interrumpa la audición.

Respeto a los demás

Mantenga el volumen en un nivel moderado. De esta forma, podrá escuchar los sonidos del exterior y será considerado con la gente que le rodea.

Advertencia

Si se produce un rayo mientras utiliza el reproductor, quítese los auriculares inmediatamente.

Limpieza

- Limpie el estuche del reproductor con un paño suave ligeramente humedecido con agua o con una solución de detergente neutro.
- Limpie el enchufe de los auriculares de forma periódica.

Notas

- No use ningún tipo de estropajo abrasivo, detergente concentrado o disolvente, como alcohol o benceno, ya que podría deteriorar el acabado del estuche.
- Asegúrese de que no entre agua en el adaptador USB o el adaptador de grabación USB, en la parte en la que se conecta.

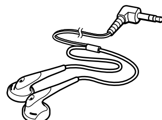
Si tiene problemas o dudas sobre el reproductor, póngase en contacto con el proveedor Sony más cercano.

NOTAS

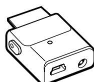
- La música grabada está limitada al uso privado. La utilización de la música fuera de este límite requiere el permiso de los propietarios del copyright.
- Sony no se hace responsable de las descargas o grabaciones incompletas o de los datos dañados por problemas relacionados con el reproductor o el ordenador.

Comprobación de los accesorios suministrados

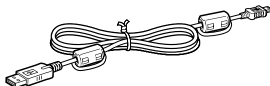
- Auriculares (1)



- Adaptador USB (1)
  (Para conectar al cable USB y al adaptador de alimentación de ca suministrados)



- Cable USB dedicado (1)



- Adaptador de alimentación de ca (1)
- Bolsa de transporte (1)
- CD-ROM (1)*
  (SonicStage, PDF del manual de instrucciones)
- Guía de inicio rápido (1)

* No reproduzca este CD-ROM en un reproductor de CD de audio.

Notas

Al utilizar esta unidad, no olvide seguir las precauciones que se indican a continuación para evitar combar la caja o un funcionamiento incorrecto de la unidad.

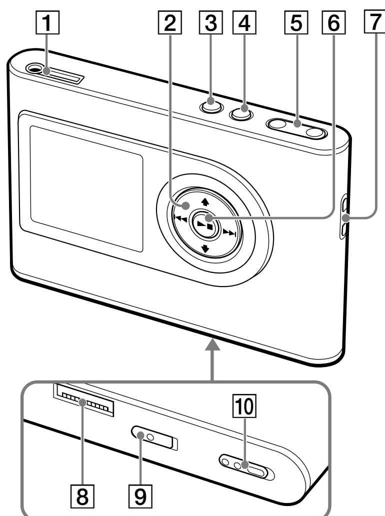
– Asegúrese de no sentarse con la unidad en el bolsillo de atrás.



– Asegúrese de no introducir la unidad en una bolsa con el mando a distancia o el cable de los auriculares/cascos enrollado en ella y someter la bolsa a fuertes impactos.

Guía de componentes y controles

Reproductor



1 Toma 🎧 (auriculares)/LINE OUT (☞ página 18)

2 Botones ↑, ↓, ⏮, ⏭ (☞ páginas 20, 21)

3 Botón MENU (☞ páginas 25, 29)

4 Botón MODE (☞ página 21)

5 Botones VOLUME +*/– (☞ página 18)

6 Botón ►■ (reproducción/parada) (☞ páginas 18, 20)

7 Orificio para la correa de mano**

8 Conector de adaptador USB (☞ páginas 8, 15)

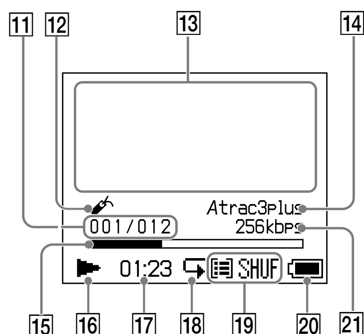
9 Interruptor BUILT-IN BATTERY (☞ página 8)

10 Interruptor HOLD (☞ página 19)

* Este botón dispone de un punto táctil.

** Puede colocar su propia correa de mano.

Pantalla del reproductor



11 Indicador de número de pista (☞ página 20)

12 Pantalla de información de caracteres (☞ página 20)

13 Indicador de marcador (☞ página 24)

14 Indicador Atrac3plus/MP3 (☞ página 19)

15 Barra de progreso de la reproducción (☞ página 20)

16 Indicador de reproducción (☞ página 20)

17 Tiempo de reproducción (☞ página 20)

18 Indicador de repetición (☞ página 28)

19 Indicador de modo de reproducción (☞ página 25), indicador de sonido (al ajustar el sonido, ☞ página 30)

20 Indicador de las pilas (☞ página 9)

21 Velocidad de bits (☞ página 13)

Acerca del número de serie

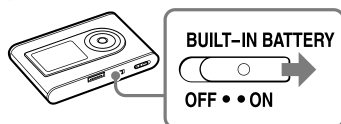
El número de serie de este reproductor es necesario para el registro del cliente.
El número se encuentra en una etiqueta en la parte posterior del reproductor.

Preparación de la fuente de alimentación

Cargue la pila recargable incorporada de ion-litio antes de utilizarla por primera vez o cuando se haya agotado.

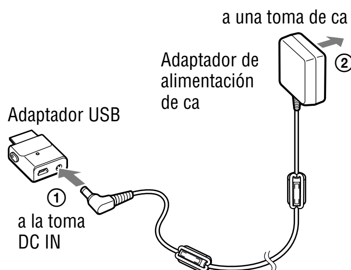
1 Deslice el interruptor BUILT-IN BATTERY a ON.

Se libera la protección de la pila recargable incorporada de ion-litio y se proporciona la alimentación al reproductor. Mantenga el interruptor en la posición ON.



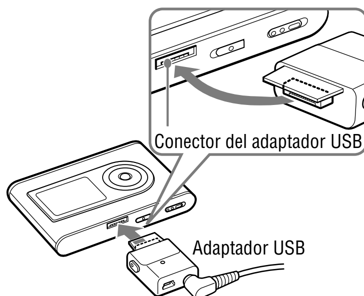
2 Conecte el adaptador de alimentación de ca al adaptador USB.

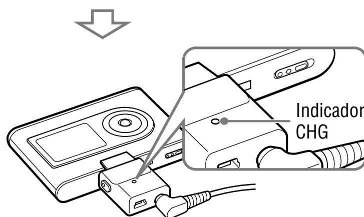
Conecte el enchufe de cc del adaptador de alimentación de ca a la toma DC IN del adaptador USB y, a continuación, conecte el enchufe de ca a una toma de pared.



3 Conecte el adaptador USB al reproductor.

Inserte el adaptador USB como se muestra más abajo hasta que encaje en su lugar con un clic.
En este momento, se iniciará la carga de la pila. El indicador CHG se ilumina en el adaptador USB y, si el reproductor está encendido, el indicador de las pilas de la pantalla cambia.



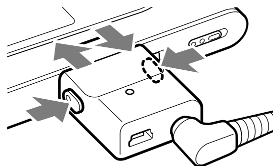


La carga se completa y el indicador CHG se apaga en aproximadamente 3 h (hora)*. La marca de encendido se ilumina si el reproductor está encendido.
Para que se cargue más rápido apague la pantalla y desconecte el cable USB del adaptador USB y en 1 h (hora)* aproximadamente se habrá completado el 80% de la carga.

* Tiempo de carga aproximado para una pila vacía en condiciones de temperatura ambiente. Si la pantalla está encendida, se tardan aproximadamente 5 h (hora) para completar la carga. El tiempo de carga variará en función de la energía restante y el estado de la pila. Si la pila se carga en condiciones de baja temperatura, el tiempo de carga será mayor.

Para retirar el adaptador USB del reproductor

Mientras pulsa los botones grises de ambos lados, presione el adaptador USB hacia dentro y, a continuación, desconéctelo.



Carga de la pila mediante una conexión USB

Encienda el ordenador y conecte el cable USB al mismo (☞ página 14). El indicador CHG se ilumina en el adaptador USB y comienza la carga de la pila. Se tardan aproximadamente 5 h (hora) para completar la carga. Cuando el reproductor está conectado al adaptador de alimentación de ca, la alimentación se obtiene de dicho adaptador.

Notas

- Este tiempo puede aumentar si, al cargar la pila mediante una conexión USB, la alimentación del ordenador resulta insuficiente.
- En función del entorno de sistema, la carga de la pila se detendrá si se lleva a cabo mediante una conexión USB.
- Si el reproductor se conecta al ordenador durante un período prolongado mientras se realiza la carga, ésta se puede detener para evitar que la temperatura del reproductor aumente demasiado. En ese caso, el indicador CHG se apaga. Retire el adaptador USB del reproductor y comience la carga de nuevo después de un tiempo.
- Si no va a utilizar el reproductor en los próximos tres meses, coloque el interruptor BUILT-IN BATTERY en posición OFF para evitar que la pila se descargue.
- Cargue la pila a temperatura ambiente de 5 a 35 ºC.

Notas sobre el adaptador de alimentación de ca

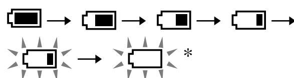
- Utilice sólo el adaptador de alimentación de ca y el adaptador USB suministrados con el reproductor. No use ningún otro adaptador de alimentación de ca ya que el reproductor se podría averiar.



- Incluso aunque el reproductor se haya apagado, permanece conectado a la fuente de alimentación de ca (toma de corriente) mientras esté enchufado a la toma de pared.
- Si no va a usar el reproductor durante un período prolongado, asegúrese de desconectarlo de la alimentación. Para extraer el adaptador de alimentación de ca de la toma de pared, sujete siempre el enchufe: no tire nunca del cable.

Comprobación de la energía de la pila

La pantalla indica la energía que queda en la pila. Según se agota la pila, el indicador negro va disminuyendo.



* La indicación “BATERÍA BAJA” aparece en la pantalla y suena un pitido.

Recargue la pila cuando se haya agotado.

Notas

- La pantalla muestra la energía restante aproximada de la pila. Por ejemplo, una barra no siempre indica que queda una cuarta parte de la energía de la pila.
- Dependiendo de las condiciones de funcionamiento, la pantalla puede aumentar o disminuir en relación a la energía restante real.

Duración de la pila (uso continuado)

El tiempo de reproducción en formato ATRAC3plus a 48 kbps es de 30 h (hora) aproximadamente. El tiempo de reproducción en formato MP3 a 128 kbps es de 22 h (hora) aproximadamente. El tiempo varía en función de cómo se esté utilizando el reproductor.

Instalación de SonicStage en su ordenador

Instale SonicStage en su ordenador mediante el CD-ROM suministrado.

Preparación del sistema necesario

Es necesario el entorno de sistema siguiente.

Ordenador	IBM PC/AT o Compatible	
	• CPU: Pentium II 400 MHz o superior (se recomienda Pentium III 450 MHz o superior) • Espacio en la unidad de disco duro: 200 MB o más (se recomienda 1,5 GB o más) (La cantidad de espacio variará según la versión de Windows y el número de archivos de música almacenados en el disco duro) • RAM: 64 MB o más (se recomienda 128 MB o más)	
	Otros	• Unidad de CD (que admita reproducción digital por WDM) • Tarjeta de sonido • Puerto USB (admite USB de alta velocidad)
Sistema operativo	Instalado de fábrica: Windows XP Media Center Edition 2005/Windows XP Media Center Edition 2004/ Windows XP Media Center Edition/Windows XP Professional/ Windows XP Home Edition/Windows 2000 Professional/ Windows Millennium Edition/Windows 98 Second Edition	
Pantalla	Color de alta densidad (16 bits) o superior, 800 × 600 puntos o superior (se recomienda 1024 × 768 puntos o más)	
Otros	• Acceso a Internet: para registro de Web, servicios EMD y CDDB • Windows Media Player (versión 7,0 o posterior) instalada para reproducir archivos WMA	

Notas

- Los siguientes entornos no admiten SonicStage:
  - Sistemas operativos distintos de los especificados arriba
  - Ordenadores o sistemas operativos de creación propia
  - Un entorno que sea una actualización del sistema operativo original instalado por el fabricante
  - Entorno de inicio múltiple
  - Entorno multimonitor
  - Macintosh
- El hecho de que un ordenador cumpla los requisitos del sistema no significa que el reproductor vaya a funcionar correctamente.
- El formato NTFS de Windows XP/Windows 2000 Professional sólo se puede utilizar con los ajustes estándar (de fábrica).
- Para los usuarios de Windows 2000 Professional, es necesario instalar el Service Pack 3, o una versión posterior, antes de utilizar el software.
- Tampoco se garantiza el funcionamiento correcto de la función de suspensión, apagado o hibernación en los ordenadores.

Instalación de SonicStage

Antes de instalar el software SonicStage compruebe lo siguiente.

- Asegúrese de cerrar todos los programas, incluidos los de detección de virus, ya que éstos suelen necesitar gran cantidad de recursos del sistema.
- Asegúrese de utilizar el CD-ROM suministrado para instalar SonicStage.
  - Si OpenMG Jukebox o SonicStage ya están instalados, la nueva versión del software y sus nuevas funciones sobrescribirán la versión anterior.
  - Si SonicStage Premium, SonicStage Simple Burner o MD Simple Burner ya están instalados, SonicStage coexistirá con ellos.
  - Aún podrá utilizar los datos de audio grabados con el software anterior. Como precaución, se recomienda realizar copias de seguridad de los datos de audio. Para realizar copias de seguridad de los datos, consulte “Copia de seguridad de Mi biblioteca” – “Copia de seguridad de datos en un disco” en la ayuda de SonicStage.

1 **Encienda el ordenador e inicie Windows.**

2 **Inserte el CD-ROM suministrado en la unidad de CD del ordenador.**

El programa de instalación se inicia automáticamente y aparece la ventana de instalación.
Según la zona geográfica, puede aparecer una ventana que le pida seleccionar su país. En este caso, siga las instrucciones que aparecen.

3 **Haga clic en la región en la que va a utilizar el software SonicStage.**



4 **Haga clic en “Instalar SonicStage” y, a continuación, siga las instrucciones que aparecen.**



Lea las instrucciones atentamente.
Según la zona geográfica, puede que los botones que no pertenezcan a “Instalar SonicStage” sean diferentes a los que aparecen en la ilustración anterior.
La instalación puede tardar de 20 a 30 min (minuto), dependiendo del entorno del sistema.
Asegúrese de que reinicia el ordenador sólo cuando haya terminado la instalación.
Si se produce algún problema durante la instalación, consulte “Solución de problemas” (☞ página 41).

Nota acerca de la desinstalación

“OpenMG Secure Module” se instala al instalar SonicStage. Si desinstala SonicStage, no borre OpenMG Secure Module ya que puede que otro software lo utilice.

Importación de datos de audio al ordenador

Grabe y almacene datos de audio de un CD de audio en "Mi biblioteca" de SonicStage, en el disco duro del ordenador.
Puede grabar o importar pistas de otras fuentes como Internet o el disco duro del ordenador. Consulte la Ayuda de SonicStage para obtener más información (☞ página 16).



1 **Seleccione "Inicio", "Todos los programas"*, "SonicStage", "SonicStage".**

Se inicia SonicStage.
Si utiliza una versión anterior de SonicStage, aparece la ventana "SonicStage file conversion tool"** al iniciar SonicStage la primera vez después de la instalación. Siga las instrucciones de la ventana.



* "Programas"en el caso de Windows Millennium Edition/Windows 2000/ Windows 98 Second Edition

**Con esta herramienta puede convertir los archivos de audio importados con SonicStage2.0 o con una versión anterior al formato de datos óptimo (OpenMG) para este reproductor y, así, transferir datos de audio al reproductor a alta velocidad.

2 **Inserte el CD de audio que desee grabar en la unidad de CD del ordenador.**

La indicación de fuente de la parte superior izquierda de la pantalla cambia a "Grabar un CD".

3 **Haga clic en "Fuente de música" en la ventana de SonicStage.**

El contenido del CD de audio aparece en la lista de fuente de música. Si no se han podido obtener automáticamente los datos del CD como el título de álbum, el nombre del artista o los títulos de las pistas, conecte el ordenador a Internet y haga clic en "Información del CD" en la parte derecha de la ventana.

4 **Si es necesario, cambie el formato y la velocidad de bits para la grabación del CD de audio.**

Haga clic en "Configuración" en la parte derecha de la ventana de SonicStage para que se muestre el cuadro de diálogo "Formato de grabación del CD [Mi biblioteca]".
Los ajustes predeterminados son OpenMG Audio (ATRAC3plus) para el formato y 64 kbps para la velocidad de bits.

5 **Haga clic en [→] en la ventana de SonicStage.**

Se inicia la grabación de las pistas seleccionadas.

Para detener la grabación

Haga clic en [■] en la ventana de SonicStage.

Para seleccionar las pistas que no desea grabar

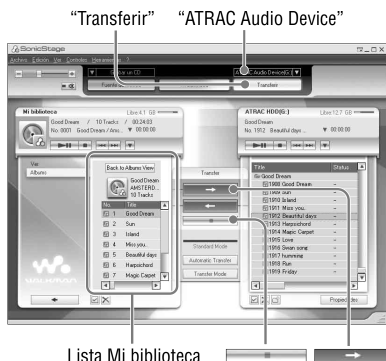
Antes del paso **5**, haga clic en el número de pista para eliminar la selección de la casilla ☑ en la ventana de SonicStage.

Nota

Con el software SonicStage sólo se pueden utilizar los CD de audio que llevan la marca COMPACT DISC DIGITAL AUDIO. No garantizamos un funcionamiento normal en el caso de los CD protegidos contra copia.

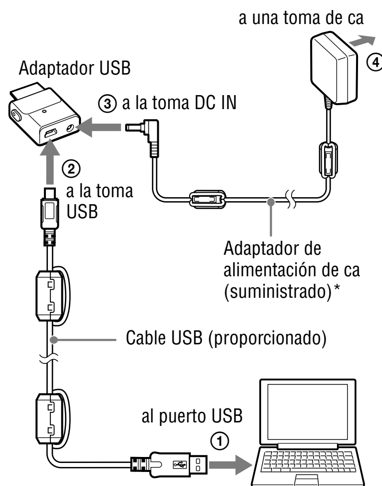
Transferencia de datos de audio al reproductor

Esta sección explica cómo transferir las pistas (datos de audio) almacenadas en "Mi biblioteca" de SonicStage del ordenador al reproductor en formato ATRAC3plus/MP3*. Los datos de audio que se transfieren incluyen información como el nombre del artista y el nombre del álbum (nombre original del álbum) en la información del CD.



1 **Conecte el adaptador USB al ordenador y al adaptador de alimentación de ca.**

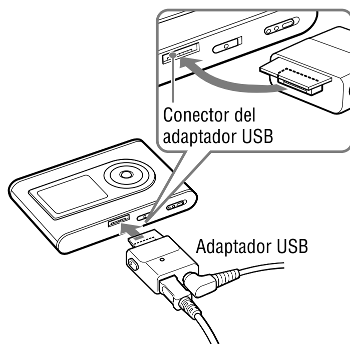
Siga las instrucciones de conexión del ① al ④ como se muestra a continuación. Conecte el conector grande del cable USB a un puerto USB del ordenador y el pequeño a la toma USB del adaptador USB.



* Asegúrese de conectar el adaptador de alimentación de ca al adaptador USB cuando transfiera datos de audio. No podrá transferir datos de audio si no están conectados.

2 Conecte el adaptador USB al reproductor.

Inserte el adaptador USB como se muestra a continuación hasta que encaje en su lugar con un clic.
Aparece “Conexión PC” en la pantalla.
La pantalla de configuración para la transferencia automática aparece en la ventana de SonicStage. Siga las instrucciones de la ventana. Para obtener más información, consulte la Ayuda de SonicStage (☞ página 16).



3 Haga clic en “Transferir” en la parte derecha de la ventana de SonicStage.

Se cambia a la ventana de transferencia.

4 Seleccione “ATRAC Audio Device” de la lista de destino de transferencia en la parte derecha de la ventana de SonicStage.

5 Haga clic en las pistas que desea transferir en la lista Mi biblioteca en la parte izquierda de la ventana de SonicStage.

Para transferir más de una pista, mantenga pulsada la tecla “Ctrl” mientras selecciona las pistas. Para transferir todas las pistas del álbum, haga clic en el álbum.

6 Haga clic en [→] en la ventana de SonicStage.

Se inicia la transferencia de las pistas seleccionadas.
Puede comprobar el estado de la transferencia en la ventana de SonicStage.

Para detener la transferencia

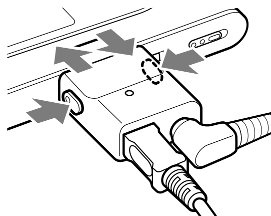
Haga clic en [■] en la ventana de SonicStage.

Notas

No utilice el reproductor en lugares donde esté sujeto a vibraciones mientras se transfieren datos de audio. Tampoco coloque el reproductor cerca de objetos magnéticos.

Para retirar el adaptador USB del reproductor

Mientras pulsa los botones grises de ambos lados, presione el adaptador USB hacia dentro y, a continuación, desconéctelo.



continúa ⟶

Notas

- No desconecte el cable USB ni el conector USB mientras se estén transfiriendo datos. Si lo hace, puede que los datos que se estén transfiriendo se destruyan.
- No se garantiza el uso de este reproductor con un concentrador USB o con un cable alargador USB. Conecte siempre el reproductor al ordenador con el cable USB suministrado.
- Algunos dispositivos USB conectados al ordenador pueden interferir con el funcionamiento correcto del reproductor.
- Mientras está conectado al ordenador, todos los botones de control del reproductor están desactivados. Si coloca el reproductor en el adaptador USB conectado al ordenador durante la reproducción, ésta se detiene y aparece la indicación “Conexión PC” en la pantalla.
- Si no hay espacio libre suficiente en el reproductor para los datos de audio que se van a transferir, la transferencia no se producirá.
- Las funciones de suspensión, apagado e hibernación del sistema no funcionarán durante la transferencia.
- Según el tipo de texto y el número de caracteres, puede que el texto introducido por SonicStage no se muestre en el reproductor. Esto se debe a las limitaciones del reproductor.
- El reproductor se puede calentar si lo conecta por un tiempo a un ordenador encendido o después de transferir una gran cantidad de datos al mismo. No se trata, sin embargo, de un funcionamiento incorrecto. Desconecte el reproductor del adaptador USB y retírelo durante un momento.

Uso de la Ayuda de SonicStage

La Ayuda de SonicStage proporciona más información sobre cómo utilizar SonicStage. La Ayuda de SonicStage permite buscar información fácilmente a partir de una lista de operaciones, como “Importación de datos de audio” o “Transferencia de datos de audio”, a partir de una exhaustiva lista de palabras clave o escribiendo palabras que pueden llevarle a las explicaciones adecuadas.

1 Haga clic en “Ayuda”, “Ayuda de SonicStage” mientras SonicStage se esté ejecutando.

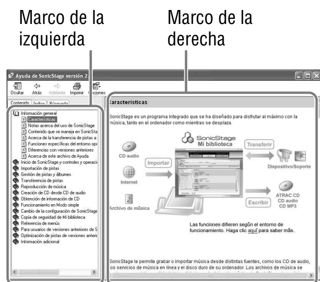
La Ayuda aparece.
En la Ayuda de SonicStage el reproductor se describe como “ATRAC Audio Device”.



Notas

- En la Ayuda de SonicStage, “Dispositivos/soportes” es el término general para este reproductor.
- Siga las instrucciones de su proveedor de servicios de Internet en relación a cuestiones como el sistema recomendado.

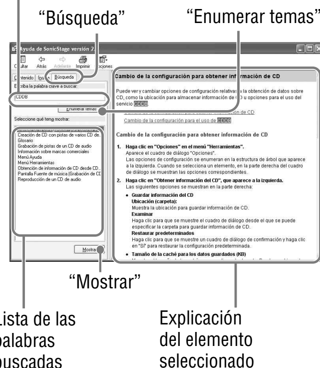
Introducción a la Ayuda de SonicStage



1 Haga doble clic en " Información general" en el marco de la izquierda de la Ayuda de SonicStage.

2 Haga clic en " Acerca de este archivo de Ayuda".
La explicación aparecerá en el marco del lado derecho.
Desplace la pantalla si es necesario.
Haga clic en las palabras subrayadas para consultar sus explicaciones.

Para buscar una palabra dentro de una explicación



1 Haga clic en "Búsqueda".

2 Escriba las palabras.

3 Haga clic en "Enumerar temas".
Se mostrará una lista de las palabras buscadas.

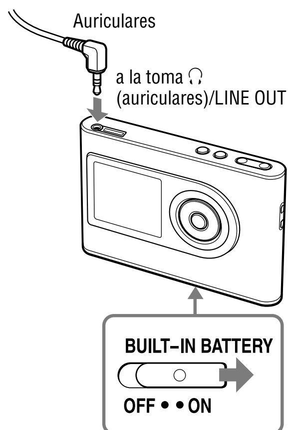
4 Haga clic para seleccionar el elemento deseado de los que se muestran.

5 Haga clic en "Mostrar".
Se mostrará una explicación del elemento seleccionado.

Reproducción

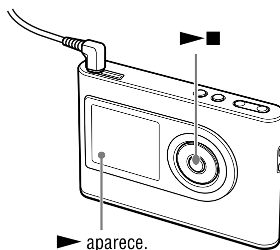
Transfiera datos de audio del ordenador al reproductor en primer lugar (☞ página 14). Puede cambiar el menú y los mensajes de la pantalla para que se muestren en su idioma (☞ página 29).

1 Después de ajustar el interruptor BUILT-IN BATTERY en ON (☞ página 8), conecte los auriculares al reproductor.

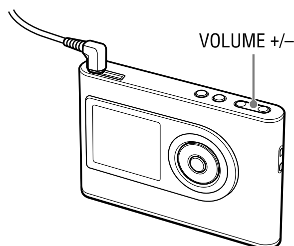


2 Pulse ►■.

► (reproducción) aparece en la parte inferior izquierda de la pantalla y el reproductor inicia la reproducción.



3 Ajuste el volumen pulsando VOLUME +/–.



Datos de audio reproducibles

Este reproductor puede reproducir datos de audio comprimidos en los formatos ATRAC3plus/MP3.
ATRAC3plus (Adaptive Transform Acoustic Coding3plus) es una tecnología de compresión de audio que cumple con la demanda de un nivel de compresión y una calidad del sonido elevados.
ATRAC3plus permite comprimir archivos de audio hasta aproximadamente 1/20 de su tamaño original a 64 kbps.
Los formatos de archivo MP3 que se pueden reproducir son:

– MPEG-1 Audio Layer-3
– Velocidad de bits de 32 a 320 kbps (CBR/VBR)
– Frecuencias de muestreo 32/44,1/48 kHz

Notas

- Los archivos en formato MP3 que no se pueden reproducir en el reproductor sí se pueden transferir al mismo.
- La reproducción se detendrá si se intenta reproducir una pista de audio MP3 incompatible con el reproductor. Pulse ▶▶I para seleccionar otras pistas.
- Al usar la pila incorporada, si no se utiliza el reproductor durante unos 30 s (segundo) mientras está en el modo de parada, la pantalla se desconectará automáticamente. Cuando los títulos de las pistas se estén desplazando, etc., la pantalla se apagará unos 30 s (segundo) después de que el desplazamiento termine.
- Al usar el adaptador de alimentación de ca, si no se utiliza el reproductor durante unos 3 min (minuto) mientras está en el modo de parada, la pantalla se apagará automáticamente. Cuando los títulos de las pistas se estén desplazando, etc., la pantalla se apagará unos 3 min (minuto) después de que el desplazamiento termine.
- Si la reproducción no se inicia, asegúrese de que el interruptor HOLD está ajustado en OFF (☞ derecha).

Bloqueo de los controles (HOLD)

Mediante el bloqueo de los controles, puede evitar que éstos se pulsen accidentalmente cuando se trasporta el reproductor.
"BLOQUEO" parpadea en la pantalla si pulsa cualquier botón cuando la función HOLD está activada.

1 Deslice el interruptor HOLD en la dirección de la flecha.

Para desbloquear los controles

Deslice el interruptor HOLD en dirección contraria a la flecha.

continúa ⟶

Funciones básicas de reproducción (Reproducción, parada, búsqueda)

Para	Operación
Reproducir desde un punto en el que se detuvo la reproducción anteriormente	Pulse ►■. La reproducción se inicia desde el punto en que se detuvo.
Parar la reproducción	Pulse ►■.
Localizar el inicio de la pista actual	Pulse I◄◄ una vez.
Localizar el inicio de las pistas anteriores*	Pulse I◄◄ repetidamente.
Localizar el inicio de la pista siguiente*	Pulse ►►I una vez.
Localizar el inicio de las pistas sucesivas*	Pulse ►►I repetidamente.
Retroceder rápidamente	Mantenga pulsado I◄◄.
Avanzar rápidamente	Mantenga pulsado ►►I.

* Si se selecciona la reproducción aleatoria o la reproducción aleatoria de unidades (☞ página 26), el orden de reproducción varía.

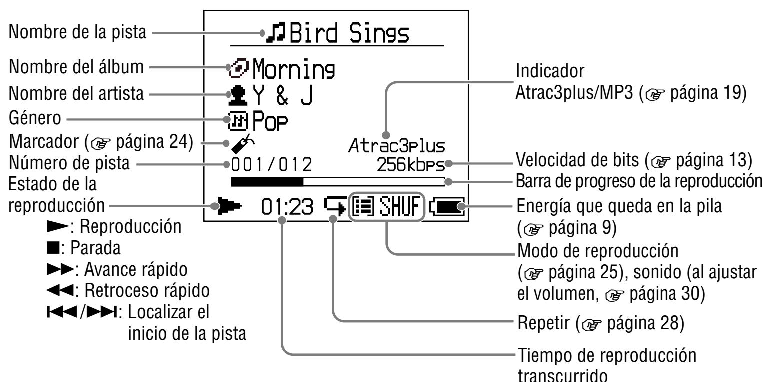
Para apagar el reproductor

Mantenga pulsado MENU hasta que la pantalla desaparezca.
Para encender de nuevo el reproductor, pulse cualquier botón.

Comprobación de la información de la pantalla

Puede comprobar los datos de audio y el estado de la reproducción en la pantalla del reproductor.

Pantalla del reproductor durante la reproducción



Nota

Se pueden mostrar los caracteres de A a Z, de a a z, de 0 a 9 y símbolos (excepto /).

Reproducción de pistas seleccionadas mediante MODE
(Artista, Álbum, Género, Grupo, etc.)

Mediante la agrupación de las pistas en el reproductor en un ajuste de "MODE", como "Artista" o "Álbum", puede seleccionar las pistas que desee escuchar.
Existen cinco ajustes de MODE. En los siguientes pasos se utilizan las pantallas del ajuste "Artista" de MODE como ejemplo.
Para obtener más información acerca de las pantallas de cada ajuste de MODE, consulte la ☞ página 23.
También puede reproducir las pistas seleccionadas de forma repetida (☞ página 28) o aleatoriamente (reproducción aleatoria, ☞ página 26).

1 Pulse MODE repetidamente para seleccionar un ajuste de MODE.

Cada vez que pulse el botón, la pantalla cambiará el ajuste de MODE como se indica a continuación:

Artista ( ) → Álbum ( )* →
Género ( ) → Grupo ( )** →
Otros → Vuelta a Artista

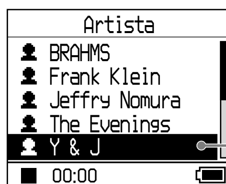


* Aparece un nombre de álbum (nombre de álbum original) en la información del CD de SonicStage.

** En SonicStage un álbum se reconoce como un grupo.

2 Pulse ↑ o ↓ para seleccionar un elemento del ajuste de MODE.

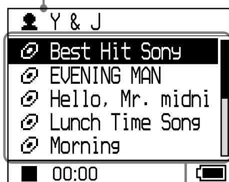
Para iniciar la reproducción, pulse ►■. La reproducción se inicia desde la primera pista del primer álbum del artista seleccionado. Todos los álbumes de los artistas mostrados tras el artista seleccionado se reproducen en el orden de número de pista.



continúa

3 **Para buscar más pistas, pulse ►►I.**

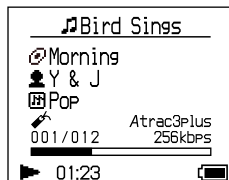
Artista seleccionado en el paso 2.



Aparecen los álbumes del artista seleccionado.

4 **Pulse ↑ o ↓ para seleccionar un elemento y, a continuación, pulse ►■.**

La reproducción se inicia desde la pista seleccionada o la primera pista del elemento seleccionado (artista, álbum, etc.). Todas las pistas mostradas tras los elementos seleccionados se reproducen en el orden de número de pista.



Para volver a la pantalla de inicio de la reproducción

Mantenga pulsado MODE.

Para volver a la pantalla de selección de un ajuste de MODE

Pulse MODE.

Para volver a la lista de pistas

Pulse ↑ o ↓.

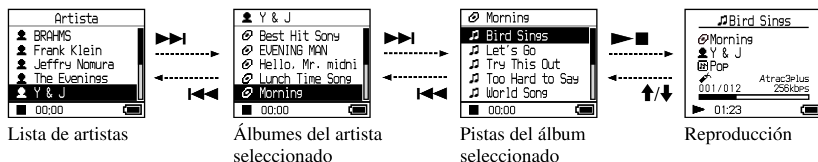
Para parar la reproducción al seleccionar un ajuste de MODE o en la pantalla de lista

Mantenga pulsado ►■.

Pantallas de MODE

La pantalla varía en función del ajuste de MODE.
Puede iniciar la reproducción pulsando ►■ en todas las pantallas.

Artista



Lista de artistas

Álbumes del artista seleccionado

Pistas del álbum seleccionado

Reproducción

Álbum: visualización de un nombre de álbum (nombre de álbum original) en la información del CD de SonicStage

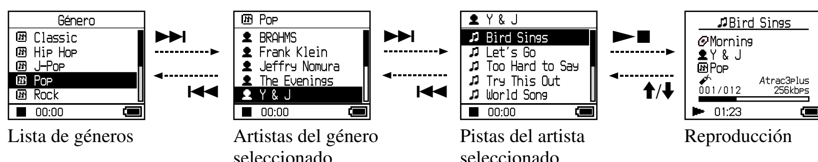


Lista de álbumes

Pistas del álbum seleccionado

Reproducción

Género



Lista de géneros

Artistas del género seleccionado

Pistas del artista seleccionado

Reproducción

Grupo: reproducción de pistas en los grupos de álbumes creados en SonicStage



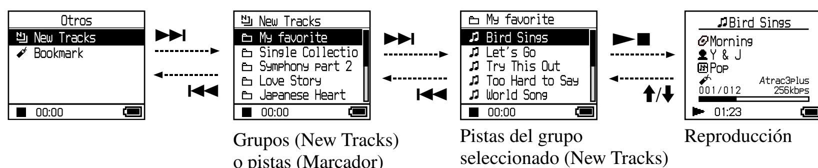
Lista de grupos

Pistas del grupo seleccionado

Reproducción

Otros

- "New Tracks": Pistas de grupos transferidos recientemente al reproductor (las últimas 5 veces)
- "Marcador": Pistas marcadas (para obtener información sobre cómo añadir un marcador, consulte la ☞ página 24)



Grupos (New Tracks) o pistas (Marcador)

Pistas del grupo seleccionado (New Tracks)

Reproducción

continúa

Adición de un marcador (Reproducción de pista con marcador)

Puede reproducir sus pistas favoritas añadiéndoles un marcador. Para reproducir pistas marcadas, seleccione el ajuste "Otros" de MODE (☞ página 21).

1 Durante la reproducción de la pista en la que desea añadir un marcador, mantenga pulsado ⬆ o ⬇.

Aparece el número de marcadores (número de pistas marcadas/número de marcadores posibles) y, a continuación, ✐ (marcador) se ilumina.

2 Si desea añadir un marcador a dos o más pistas, repita el paso 1.

Puede añadir marcadores hasta un máximo de 100 pistas.

Para reproducir las pistas marcadas

1 Pulse MODE repetidamente para seleccionar el ajuste "Otros" de MODE.
2 Pulse ⬆ o ⬇ para seleccionar "Marcador" y, a continuación, pulse ▶▶I.
Para reproducir todas las pistas marcadas, pulse ▶■.
3 Pulse ⬆ o ⬇ para seleccionar una pista y, a continuación, pulse ▶■.

Para eliminar marcadores

Durante la reproducción de la pista de la que desea eliminar un marcador, mantenga pulsado ⬆ o ⬇.

Aparecerá "Desconexión" y desaparecerá de la pantalla.

Nota

Sólo puede añadir o eliminar un marcador durante la reproducción.

Cambio de las opciones de reproducción (Modo de reproducción)

Puede utilizar varias opciones de reproducción, como seleccionar las canciones que desea escuchar y reproducir los temas en orden aleatorio.
Para obtener más información acerca de las opciones de reproducción (Modo de reproducción), consulte las ☞ páginas 26 y 27.
También puede reproducir canciones repetidamente utilizando las opciones de reproducción que elija (reproducción repetida, ☞ página 28).

1 **Pulse MENU.**

Aparecerá la pantalla MENÚ.



2 **Pulse ↑ o ↓ para seleccionar "Modo de reproducción" y, a continuación, pulse ►■.**

Aparecerá la pantalla Modo de reproducción.



3 **Pulse ↑ o ↓ para seleccionar las opciones de reproducción y, a continuación, pulse ►■.**

El ajuste predeterminado es "Normal" (reproducción normal).



Aparecen las opciones de reproducción.

4 **Pulse MENU dos veces para ir a la pantalla de reproducción y, a continuación, pulse ►■.**

La reproducción se inicia en la opción de reproducción seleccionada.

Para cancelar el ajuste

Pulse MENU para volver a la pantalla MENÚ.
Mantenga pulsado MODE o pulse MENU en la pantalla MENÚ para volver a la pantalla anterior al paso **1**.

Para volver a la reproducción normal

En el paso **3**, seleccione "Normal".

Para volver a la pantalla de selección de un ajuste de MODE

Pulse MODE.

Nota

Al cambiar el modo de reproducción, la unidad de reproducción (☞ página 27) también cambia para todas las pistas grabadas en el reproductor.
Para reproducir sólo el modo de reproducción seleccionado, seleccione el elemento (artista, álbum, pista, etc.) en la pantalla de lista.

continúa

Opciones de reproducción (Modo de reproducción)

Un rango de pistas que se desean reproducir (“Unidad de reproducción” ☞ página 27) varía en función del ajuste de MODE (☞ página 21) en el que se inicie la reproducción.

En la pantalla MENÚ/icono	Explicación
Normal/Sin icono (Reproducción normal)	Todas las pistas tras la pista seleccionada se reproducen una vez en el orden de número de pista. Al seleccionar un elemento (álbum, artista, etc.) distinto de una pista, todas las pistas se reproducen una vez a partir de la primera pista del elemento en el orden de número de pista.
1 Track/1 (Reproducción única)	Se reproduce una vez la pista seleccionada. Al seleccionar un elemento (álbum, artista, etc.) distinto de una pista, sólo se reproduce la primera pista una vez.
Play Unit/ (Reproducción de unidades de reproducción)	Todas las pistas de la unidad de reproducción seleccionada se reproducen una vez en el orden de número de pista.
Track SHUF/♫ SHUF (Reproducción aleatoria)	Todas las pistas de la unidad de reproducción seleccionada se reproducen una vez en orden aleatorio. En la pantalla en la que se selecciona un ajuste de MODE, todas las pistas grabadas se reproducen una vez en orden aleatorio.
Unit SHUF/ SHUF (Reproducción aleatoria de unidades de reproducción)	Todas las pistas de la unidad de reproducción seleccionada se reproducen una vez en orden aleatorio para cada unidad de reproducción.

Qué es una “Play unit” (unidad de reproducción)

Se llama “unidad de reproducción” a todos los elementos (un artista, un álbum, una pista, etc.) incluidos en la lista cuando se inicia la reproducción.
Al cambiar el modo de reproducción, la unidad de reproducción cambia para todas las pistas grabadas en el reproductor.

Reproducción de una unidad de reproducción

Ejemplo: Al seleccionar el ajuste Artista de MODE

Artistas	Álbumes	Pistas
Todas las pistas de todos los artistas forman una unidad de reproducción.	Todas las pistas de todos los álbumes del artista “Y & J” forman una unidad de reproducción.	Todas las pistas del álbum “Morning” del artista “Y & J” forman una unidad de reproducción.
Al seleccionar “Play Unit” (Reproducción de unidades de reproducción)		
• La reproducción se inicia en las pistas de “Y & J” y se detiene después de reproducir todas las pistas de “The Evenings”.	• La reproducción se inicia en el álbum “Morning” y se detiene después de reproducir todas las pistas del álbum “Lunch Time Song”.	• La reproducción se inicia en la primera pista del álbum “Morning” y se detiene después de reproducir todas las pistas.
Al seleccionar “Unit SHUF” (Reproducción aleatoria de unidades)		
• La reproducción se realiza en orden aleatorio para cada artista. Los álbumes o pistas del artista se reproducen en orden.	• La reproducción se realiza en orden aleatorio para cada álbum. Las pistas del álbum se reproducen en orden.	• Las pistas del álbum “Morning” se reproducen en orden aleatorio.
Al seleccionar “Track SHUF” (Reproducción aleatoria)		
• Todas las pistas grabadas se reproducen en orden aleatorio.	• Las pistas de todos los álbumes de “Y & J” se reproducen en orden aleatorio.	• Las pistas del álbum “Morning” se reproducen en orden aleatorio.

Reproducción aleatoria

Por ejemplo, para reproducir aleatoriamente todas las pistas grabadas en el reproductor, elija un ajuste de MODE distinto de “Otros” (ajuste “Artista” de MODE, etc.) y, a continuación, inicie la reproducción seleccionando “Track SHUF” como modo de reproducción (☞ página 25). Todas las pistas grabadas en el reproductor se reproducen una vez en orden aleatorio.



En la lista del artista, todas las pistas grabadas se reproducen en orden aleatorio.

continúa

Reproducción de pistas de forma repetida (Reproducción repetida)

La reproducción de pistas se repite en las opciones de reproducción seleccionadas en la ☞ página 25.

1 Seleccione la opción de reproducción que desea repetir (☞ página 25).

2 Pulse MENU.

Aparecerá la pantalla MENÚ.



3 Pulse ↑ o ↓ para seleccionar "Repetir" y, a continuación, pulse ►■.

Aparecerá la pantalla Repetir.



4 Pulse ↓ para seleccionar "Conexión" y, a continuación, pulse ►■.



5 Pulse MENU dos veces para ir a la pantalla de reproducción y, a continuación, pulse ►■.

La opción de reproducción actual se repetirá.

Para repetir todas las pistas

Seleccione un ajuste de MODE distinto de "Otros" (ajuste "Artista" de MODE, etc.) y, a continuación, siga los pasos del **1** al **5**.

Para cancelar el ajuste

Pulse MENU para volver a la pantalla MENÚ.
Mantenga pulsado MODE o pulse MENU en la pantalla MENÚ para volver a la pantalla anterior al paso **2**.

Para volver a la reproducción normal

En el paso **4**, seleccione "Desconexión" en la pantalla Repetir.

Para volver a la pantalla de selección de un ajuste de MODE

Pulse MODE.

Cambio de ajustes y calidad del sonido

Para obtener más información acerca de los diversos elementos de ajuste, consulte la ☞ página 30.

1 Pulse MENU.

Aparecerá la pantalla MENÚ.



2 Pulse ↑ o ↓ para seleccionar el elemento y, a continuación, pulse ►■.

Aparecerá la pantalla para ajustar el elemento seleccionado.

3 Pulse ↑ o ↓ para seleccionar una opción y, a continuación, pulse ►■.

Para cambiar la calidad del sonido

Después del paso **3**, pulse ↑ o ↓ para seleccionar una opción (☞ página 30) y, a continuación, pulse ►■.
Al seleccionar "Custom1", "Custom2", "Custom3" o "Custom4", puede personalizar la calidad del sonido (☞ página 32).

Para volver a la pantalla anterior

Pulse ⏮.

Para cancelar el ajuste

Pulse MENU para volver a la pantalla MENÚ.
Mantenga pulsado MODE o pulse MENU en la pantalla MENÚ para volver a la pantalla anterior al paso **1**.

Para volver a la pantalla de selección de un ajuste de MODE

Pulse MODE.

Nota

Al seleccionar "V-SUR" o "Sound EQ", los ajustes de sonido no funcionan con pistas MP3. Para cambiar la calidad de sonido de dichas pistas, defina el ajuste "Digital Sound Preset".

continúa ⟶

Elementos de ajuste

Elemento	Opciones (●: Ajuste predeterminado)		
Sonido (Ajuste de sonido)	● Desconexión		Reproduce pistas con calidad de sonido normal.
	V-SUR [1) 2)]	Studio (VS)	Recrea el sonido de un estudio de grabación.
		Live (VL)	Recrea el sonido de una sala de conciertos.
		Club (VC)	Recrea el sonido de una pista de baile.
		Arena (VA)	Recrea el sonido de un estadio.
	Sonido EQ [1) 2)]	Heavy (SH)	Reproduce pistas con sonidos potentes, potenciando aún más el audio de margen bajo y alto en comparación con el sonido Pops.
		Pops (SP)	Reproduce pistas con sonidos vocales, potenciando el audio de margen medio.
		Jazz (SJ)	Reproduce pistas con sonidos vivaces, potenciando el audio de margen bajo y alto.
		Unique (SU)	Reproduce pistas con sonidos especiales, potenciando el audio de margen bajo y alto más que el de margen medio.
		Custom1 (S1)	Reproduce pistas con sonido personalizado (consulte la ☞ página 32 para obtener más información).
		Custom2 (S2)	Reproduce pistas con sonido personalizado (consulte la ☞ página 32 para obtener más información).
	Digital Sound Preset [2)]	Custom3 (S3)	Reproduce pistas con sonido de graves y agudos preestablecido (consulte la ☞ página 33 para obtener más información).
		Custom4 (S4)	Reproduce pistas con sonido de graves y agudos preestablecido (consulte la ☞ página 33 para obtener más información).
AVLS [3)] (Limitación del volumen)	Conexión		El volumen máximo se limita para proporcionar protección auditiva.
	● Desconexión		El volumen cambia sin limitar el nivel.
Pitido (Sonido de manejo del reproductor)	● Conexión		El pitido suena cuando se maneja el reproductor.
	Desconexión		El pitido está desactivado.
Salida audio (Salida de audio externo)	● Auricular		Seleccione este elemento cuando conecte los auriculares suministrados.
	Salida de línea		Seleccione este elemento cuando conecte otros dispositivos como altavoces con un cable de audio (☞ página 34).
Contraste (Ajuste de la pantalla)	● Segundo por la derecha		La pantalla tiene un brillo moderado. Si el color principal del reproductor es negro, el ajuste predeterminado es el segundo por la izquierda.
	– a +		Defina este elemento hacia el signo – para que la pantalla aparezca más clara y hacia el signo + para que aparezca más oscura.

1)Los ajustes sólo funcionan al reproducir pistas de audio en formato ATRAC3plus. Al reproducir una pista de audio en formato MP3, no funcionan.

2)Los ajustes de sonido aparecen en la pantalla como letras entre paréntesis (☞ página 7).

3)AVLS son las siglas de Automatic Volume Limiter System (Sistema de limitación automática del volumen).

Elementos	Opciones (●: Ajustes predeterminados)	
Luz de fondo (Luz de fondo LCD de la pantalla)	● Auto	La pantalla se ilumina durante unos 10 s (segundo) al pulsar un botón y se mantiene iluminada mientras se desplaza por los títulos de pistas, etc.
	10 s	La pantalla se ilumina durante unos 10 s (segundo) al pulsar un botón. La iluminación se apaga unos 10 s (segundo) después aunque se esté desplazando por los títulos de pistas, etc.
	30 s	La pantalla se ilumina durante unos 30 s (segundo) al pulsar un botón. La iluminación se apaga unos 30 s (segundo) después aunque se esté desplazando por los títulos de pistas, etc.
	Desconexión	La pantalla se apaga para ahorrar energía.
Invertir pantalla (Inversión de la pantalla)	● Positivo	Los caracteres e iconos aparecen en negro sobre fondo blanco.
	Negativo	Los caracteres e iconos aparecen en blanco sobre fondo negro.
Idioma (Idioma de la pantalla)	日本語	Los mensajes y los menús se muestran en japonés.
	● English	Los mensajes y los menús se muestran en inglés.
	Français	Los mensajes y los menús se muestran en francés.
	Deutsch	Los mensajes y los menús se muestran en alemán.
	Italiano	Los mensajes y los menús se muestran en italiano.
	Español	Los mensajes y los menús se muestran en español.
	簡体中文 *	Los mensajes y los menús se muestran en chino simplificado.
	繁體中文 *	Los mensajes y los menús se muestran en chino tradicional.
	한글 *	Los mensajes y los menús se muestran en coreano.

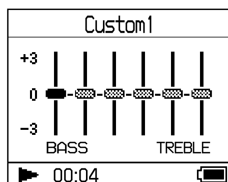
* Estos idiomas no se muestran en función del país en el que se utilice el reproductor.

continúa

Personalización de la calidad del sonido (Sound EQ - Custom)

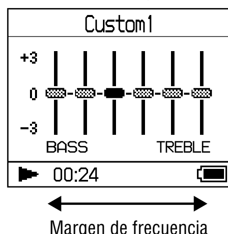
Puede ajustar la calidad del sonido para cada margen de frecuencia manualmente y comprobar los ajustes en pantalla.

1 **Después de seleccionar "Sonido" en el paso 2 de "Cambio de ajustes y calidad del sonido" (☞ página 29), seleccione "Custom 1" o "Custom 2" de "Sound EQ".**



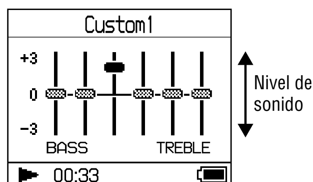
2 **Pulse ⏮ o ⏭ para seleccionar el margen de frecuencias.**

Existen seis márgenes de frecuencias.



3 **Pulse ↑ o ↓ para seleccionar el nivel de sonido.**

El nivel de sonido se puede ajustar en siete niveles.



4 **Repita los pasos 2 y 3 para realizar los ajustes para el resto de márgenes de frecuencias.**

5 **Pulse ►■.**

Aparecerá la pantalla MENÚ.

Para cancelar el ajuste

Pulse MENU para volver a la pantalla MENÚ.
Mantenga pulsado MODE o pulse MENU en la pantalla MENÚ para volver a la pantalla anterior al paso **1**.

Para volver a la pantalla de selección de un ajuste de MODE

Pulse MODE.

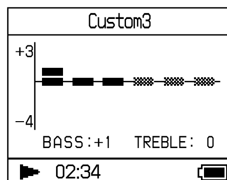
Notas

- Si al elevar el volumen el sonido está distorsionado debido a los ajustes que haya establecido, baje el volumen.
- Si observa una diferencia entre el ajuste de sonido "Custom 1" o "Custom 2" y otros ajustes, ajuste el volumen según sus preferencias.

Potenciación de agudos y graves (Digital Sound Preset)

Puede presintonizar los niveles de agudos y graves a su gusto. Al comprobar la pantalla, realice los ajustes de potenciación.

1 Tras seleccionar "Sonido" en el paso 2 de "Cambio de ajustes y calidad del sonido" (☞ página 29), seleccione "Custom3" o "Custom4" de "Digital Sound Preset".

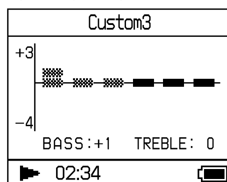


Ajustes predeterminados

Calidad del sonido	Custom3 (S3)	Custom4 (S4)	DESCONEXIÓN (SONIDO NORMAL)
Bass	+1	+3	±0
Treble	±0	±0	±0

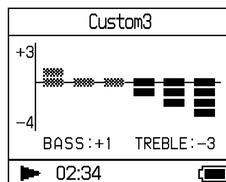
2 Pulse ⏮ o ⏭ para seleccionar "Treble" o "Bass".

Puede ajustar la calidad del sonido de los agudos y los graves.



3 Pulse ↑ o ↓ para seleccionar el nivel de sonido.

El nivel de sonido se puede ajustar en ocho niveles.



Calidad de sonido	Nivel de potenciación
Bass	-4 to +3
Treble	-4 to +3

4 Pulse ►■.

Aparece la pantalla MENÚ.

Para cancelar la configuración

Pulse MENU para volver a la pantalla MENÚ. Mantenga pulsado MODE o pulse MENU en la pantalla MENÚ para volver a la pantalla anterior al paso 1.

Para volver a la pantalla donde seleccionar un ajuste de MODE

Pulse MODE.

Notas

- Aparecen los niveles de sonido de agudos y graves en los extremos derecho e izquierdo del gráfico "Custom3" o "Custom4". Los niveles intermedios no se pueden ajustar de forma independiente porque están vinculados a los niveles de agudos y bajos y cambian de forma automática.
- Si al elevar el volumen el sonido está distorsionado debido a los ajustes que haya establecido, baje el volumen.
- Si observa diferencias entre el ajuste de sonido "Custom3" o "Custom4" y otros ajustes, ajuste el volumen según sus preferencias.

Transferencia de datos de audio al ordenador

Puede volver a transferir los datos de audio a “Mi biblioteca” de SonicStage en el ordenador.



1 **Conecte el reproductor al ordenador (consulte los pasos 1 y 2 de “Transferencia de datos de audio al reproductor” ☞ página 14).**

2 **Haga clic en “Transferir” en la parte derecha de la ventana de SonicStage.**

Se cambia a la ventana de transferencia.

3 **Seleccione “Dispositivo de audio ATRAC” de la lista de destino de transferencia en la parte derecha de la ventana de SonicStage.**

4 **Haga clic en las pistas que desea transferir a Mi biblioteca en la lista de Network Walkman en la parte derecha de la ventana de SonicStage.**

Para transferir más de una pista, mantenga pulsada la tecla “Ctrl” mientras selecciona las pistas. Para transferir todas las pistas del álbum, haga clic en el álbum.

5 **Haga clic en [←] en la ventana de SonicStage.**

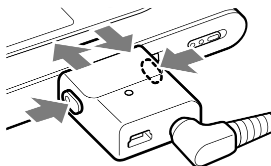
Se inicia la transferencia de las pistas seleccionadas en el paso **4**.
Puede comprobar el estado de la transferencia en la ventana de Sonic Stage.

Para detener la transferencia

Haga click en [■] en la ventana de SonicStage.

Para retirar el adaptador USB del reproductor

Mientras pulsa los botones grises de ambos lados, presione el adaptador USB hacia dentro y, a continuación, desconéctelo.

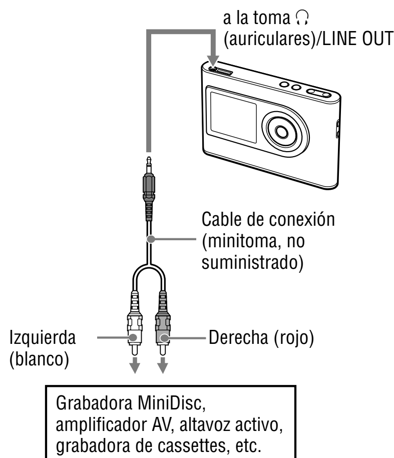


Notas

- Las pistas transferidas al reproductor desde otro ordenador no pueden transferirse a Mi biblioteca, en el ordenador.
- No desconecte el cable USB ni el adaptador USB mientras se estén transfiriendo datos. Si lo hace, puede que los datos que se estén transfiriendo se destruyan.

Conexión de otros dispositivos

Puede escuchar las pistas a través de un sistema estéreo y grabar las pistas del reproductor en un MiniDisc o una cinta de cassette. Consulte el manual de instrucciones suministrado con el dispositivo que desea conectar.
Asegúrese de desconectar todos los dispositivos antes de realizar las conexiones y modificar los ajustes abajo descritos.



Debe cambiar el ajuste de "Salida audio" en la pantalla MENÚ para que el sonido salga a través del dispositivo conectado. Los ajustes de "Salida audio" se muestran a continuación. Para realizar los ajustes, consulte la ☞ página 29.

Dispositivo conectado	Ajuste
Auriculares	Auricular
Dispositivo conectado utilizando el cable de conexión	Salida de línea

Cuando conecte otro dispositivo, ajústelo en "Salida de línea". Si está ajustado en "Salida de línea" no podrá modificar el volumen y los ajustes de "Sonido" no estarán disponibles ni funcionarán.

Notas

- Si tiene conectado el auricular suministrado, no ajuste "Salida audio" en "Salida de línea". Si está ajustado en "Salida de línea" no podrá modificar el volumen y el sonido se emitirá distorsionado y con ruido.
- Antes de la reproducción, baje el volumen del dispositivo conectado para evitar dañar el altavoz.

Almacenamiento de otro tipo de datos

Puede transferir datos desde el disco duro de un ordenador al disco duro incorporado de este reproductor mediante el Explorador de Windows.
El disco duro incorporado del reproductor se muestra en el Explorador de Windows como una unidad externa (como almacenamiento extraíble).

Notas

- No utilice SonicStage mientras tenga en funcionamiento el disco duro del reproductor en el Explorador de Windows.
- Si transfiere archivos WAV y MP3 al reproductor mediante el Explorador, no se podrán reproducir. Realice la transferencia con el software SonicStage.
- No desconecte el cable USB mientras se estén transfiriendo datos. Estos podrían destruirse.
- No inicialice el disco duro del reproductor en el ordenador.

Restablecimiento de los ajuste de fábrica

Vuelva a establecer todos los ajustes de fábrica en la pantalla MENÚ.

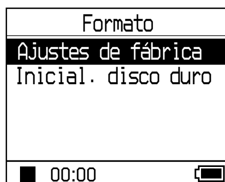
1 Pulse MENU mientras que el reproductor está detenido.

Aparece la pantalla MENÚ.



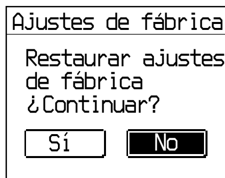
2 Pulse ↑ o ↓ para seleccionar "Formato" y, a continuación, pulse ►■.

Aparece la pantalla Formato.



3 Pulse ►■ mientras selecciona "Ajustes de fábrica"

Aparece la pantalla Ajustes de fábrica.



continúa

4 Pulse ⏮ para seleccionar "Sí" y, a continuación pulse ►■.

Aparece el mensaje y, a continuación, aparece la pantalla Formato.

Para cancelar la configuración

En el paso **4**, seleccione "No" y, a continuación, pulse ►■. Aparece la pantalla Formato.
Pulse MENU para volver a la pantalla MENÚ.
Mantenga pulsado MODE o pulse MENU en la pantalla MENÚ para volver a la pantalla anterior al paso **1**.

Para volver a la pantalla donde seleccionar un ajuste de MODE

Pulse MODE.

Nota

No puede restablecer los ajustes de fábrica durante la reproducción.

Inicializar el disco duro

Puede inicializar el disco duro incorporado del reproductor. Si inicializa el disco duro se borrarán todos los datos que tenga almacenados. Asegúrese de verificar los datos almacenados en el disco duro antes de inicializarlo.
Si se borran las pistas al inicializar, SonicStage las reconoce como pistas para transferir de nuevo al ordenador en el caso de que el reproductor esté conectado al ordenador. Por tanto, el recuento de transferencias restantes se incrementa automáticamente.

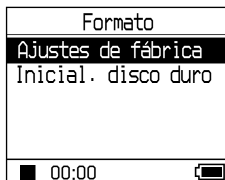
1 Pulse MENU mientras que el reproductor está detenido.

Aparece la pantalla MENÚ.



2 Pulse ↑ o ↓ para seleccionar "Formato" y, a continuación, pulse ►■.

Aparece la pantalla Formato.

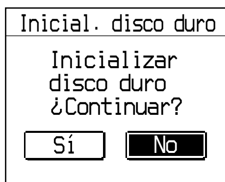


continúa

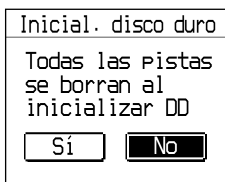
Otras funciones

3 **Pulse ↓ para seleccionar "Inicial. disco duro" y, a continuación, pulse ►■.**

Aparece la pantalla Inicial. disco duro.



4 **Pulse I◄◄ para seleccionar "Sí" y, a continuación pulse ►■.**



5 **Pulse I◄◄ para seleccionar "Sí" y, a continuación, pulse ►■.**

Aparece el mensaje y, a continuación, aparece la pantalla Formato.

Para cancelar la configuración

En el paso **5**, seleccione "No" y, a continuación pulse ►■. Aparece la pantalla Formato.
Pulse MENU para volver a la pantalla MENÚ.
Mantenga pulsado MODE o pulse MENU en la pantalla MENÚ para volver a la pantalla anterior al paso **1**.

Para volver a la pantalla donde seleccionar un ajuste de MODE

Pulse MODE.

Notas

- No inicialice el disco duro del reproductor en el ordenador.
- No puede formatear el disco duro durante la reproducción.
- Si inicializa el disco duro se eliminan todos los datos de audio y los archivos que no son de audio del reproductor.

Notas para desechar la unidad

Este reproductor dispone de una pila recargable incorporada de ion-litio. Cuando decida cambiarla, asegúrese de desecharla correctamente.

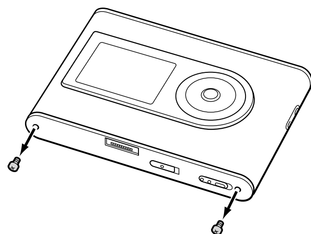
En algunos países se regula la eliminación de las pilas como las que sirven para suministrar energía a este producto. Obtendrá más información de las autoridades locales.

Notas

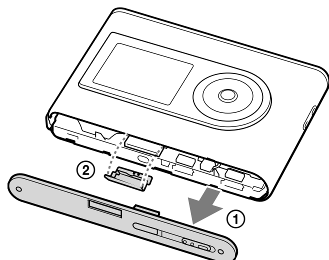
- No desarme nunca el reproductor salvo que vaya a desecharlo.
- Tenga cuidado al manipular la parte metálica interior, especialmente el borde.

Para extraer la pila recargable incorporada

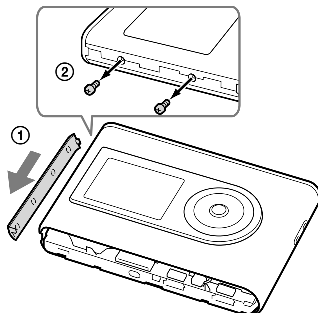
1. Deslice el interruptor BUILT-IN BATTERY en la parte inferior del reproductor a OFF.
2. Retire los dos tornillos de la parte inferior.



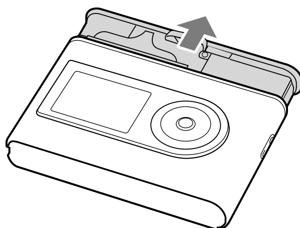
3. Retire la placa de la parte inferior (①) y la pestaña USB (②). Si es necesario, utilice herramientas (como pinzas).



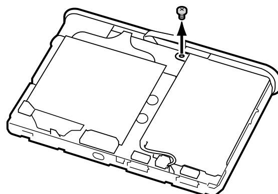
4. Deslice la parte lateral (①) y retire los dos tornillos (②) del lateral de este reproductor.



5. Presione con el dedo la parte inferior hacia dentro del reproductor y extraiga el interior del reproductor en la dirección de la flecha que se muestra a continuación.

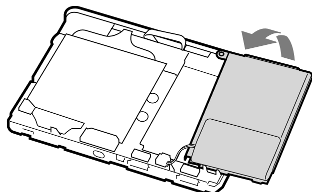


6. Retire el tornillo del lateral de la pila.

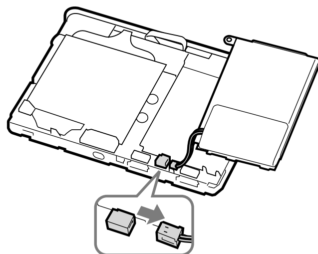


continúa

7 Extraiga la pila incorporada.



8 Tire del cable de conexión entre la pila y el reproductor para separar el conector.



Solución de problemas

Si experimenta algún problema con el reproductor, pruebe una de las soluciones siguientes.

1 Ajuste el interruptor BUILT-IN BATTERY en OFF y, a continuación, ajústelo en ON de nuevo. Los datos no se pierden al ajustarlo en OFF.

2 Compruebe el problema en “Solución de problemas”.

3 Si persiste el problema, póngase en contacto con el proveedor Sony más próximo.

Alimentación

Síntoma	Causa y/o medida correctiva
El indicador CHG no se ilumina.	→ Los terminales del adaptador USB están sucios. Límpielos con un paño suave y seco. → El reproductor no está conectado al adaptador USB. Inserte hasta el fondo el adaptador USB hasta que encaje con un clic (☞ página 8).
El indicador CHG parpadea.	→ La temperatura no es la apropiada. Cargue la pila a una temperatura ambiente de 5 a 35 ºC.
La duración de la pila es corta.	→ La temperatura de funcionamiento es menor a 5 °C. Esto se debe a las características de la pila y no se trata de un funcionamiento incorrecto. → No ha utilizado el reproductor durante un período prolongado de tiempo. Si carga y descarga repetidamente la pila, mejorará la eficacia de la misma. → Necesita sustituir la pila. Consulte con su distribuidor Sony más próximo. → El tiempo de carga de la pila no es suficiente. El reproductor necesita 15 m (minuto) para comprobar el estado de la pila y protegerla antes de que se inicie una recarga rápida. Continúe cargando la batería hasta que se complete (hasta que el indicador CHG se apague).

continúa

Sonido

Síntoma	Causa y/o medida correctiva
No hay sonido. Se oye ruido.	➔ El nivel de volumen está ajustado en cero. Suba el volumen (☞ página 18). ➔ El auricular no está conectado correctamente. Conéctelo firmemente a la toma 🎧 (auriculares)/LINE OUT (☞ página 18). ➔ La toma del auricular está sucia. Limpie la toma del auricular con un paño seco. ➔ No se ha almacenado ningún dato de audio en el disco duro.
El volumen no se puede subir.	➔ "AVLS" se ha ajustado en "Conexión". Ajústelo en "Desconexión" (☞ página 30).
No hay sonido en el canal derecho de los auriculares.	➔ El auricular no está conectado correctamente. Conéctelo firmemente a la toma 🎧 (auriculares)/LINE OUT (☞ página 18).
El volumen no se puede ajustar.	➔ "Salida audio" se ha ajustado en "Salida de línea". Ajuste el volumen utilizando el control de volumen del dispositivo conectado, o ajuste "Salida audio" en "Auricular" (☞ página 30).
Si utiliza el reproductor con un sistema estéreo conectado, el sonido se emite distorsionado o con ruido.	➔ "Salida audio" se ha ajustado en "Auricular". Ajústelo en "Salida de línea" (☞ página 30).
Al reproducir una pista de audio MP3, el sonido no cambia aunque se ajusten "V-SUR" y "SOUND EQ" en "Sonido".	➔ Al reproducir este tipo de pistas, sólo funcionan los ajustes de "Digital Sound Preset" (☞ página 30).

Funcionamiento/reproducción

Síntoma	Causa y/o medida correctiva
Los botones no funcionan.	➔ Los botones están bloqueados. Deslice el interruptor HOLD en dirección contraria (☞ página 19). ➔ Se ha producido condensación de humedad. No utilice el reproductor durante unas horas hasta que la humedad se haya evaporado. ➔ La energía restante de la pila no es suficiente. Cargue la pila (☞ página 8). ➔ El funcionamiento de los botones se desactiva si el reproductor está conectado a un ordenador encendido mediante el adaptador USB. Retire el adaptador USB del reproductor (☞ página 9).
La reproducción se ha detenido de forma repentina.	➔ La energía restante de la pila no es suficiente. Cargue la pila (☞ página 8). ➔ La reproducción se detendrá si se intenta reproducir una pista de audio MP3 incompatible con el reproductor. Pulse ▶▶❙ para seleccionar otras pistas (☞ página 19).
La luz de fondo no está encendida.	➔ "Luz de fondo" se ha ajustado en "Desconexión". Ajústelo en "Auto," "10 s" o "30 s" (☞ página 31).
Se muestra "□" como título.	➔ Se trata de caracteres que no se pueden mostrar en el reproductor. Utilice el software SonicStage para cambiar el nombre del título con los caracteres adecuados.

La pantalla se apaga.	→ La pantalla se apaga automáticamente si no se utiliza el reproductor durante 30 s (segundo) aproximadamente (si se utiliza la pila) o 3 min (minuto) aproximadamente (si se utiliza el adaptador de alimentación de ca) en el modo parada. Al desplazarse por los títulos de pista, etc., la pantalla se apaga durante unos 30 s (segundo) o 3 min (minuto) una vez que se ha finalizado el desplazamiento. La pantalla también se apaga si mantiene pulsado el botón MENU. En cualquiera de los casos, pulse un botón para que la pantalla se encienda de nuevo.

Conexión con el ordenador/SonicStage

Síntoma	Causa y/o medida correctiva
No se puede instalar el software SonicStage.	→ Se está utilizando un sistema operativo que no es compatible con el software (☞ página 10). → No se han cerrado todas las aplicaciones de Windows. Si inicia la instalación mientras se están ejecutando otros programas, puede provocar un funcionamiento incorrecto. Esto suele ocurrir con programas que necesitan gran cantidad de recursos del sistema, como, por ejemplo, los programas de detección de virus. → No hay espacio suficiente en el disco duro del ordenador. Se necesita un mínimo de 200 MB de espacio libre. Elimine los archivos innecesarios del ordenador.
La instalación parece haberse parado antes de terminar.	→ Compruebe si ha aparecido algún mensaje de error detrás de la ventana de instalación. Pulse la tecla “Tabulador” mientras mantiene pulsada la tecla “Alt”. Si aparece un mensaje de error, pulse la tecla “Intro”. Se reanudará la instalación. Si no aparece ningún mensaje, la instalación sigue en curso. Espere un momento.
La barra de progreso de la pantalla del ordenador no se mueve. El indicador de acceso del ordenador no se enciende desde hace unos minutos.	→ La instalación continúa con normalidad. Espere unos instantes. La instalación puede tardar 30 min (minuto) o más, dependiendo de la unidad de CD o del entorno del sistema.
Al conectar el cable USB al ordenador no aparece el mensaje “Conexión PC”.	→ Espere a que se autentifique el software SonicStage. → Se está ejecutando otra aplicación en el ordenador. Espere un momento y vuelva a conectar el cable USB. Si el problema persiste, desconecte el cable USB, reinicie el ordenador y, a continuación, vuelva a conectar el cable USB. → El cable USB no se ha conectado correctamente. Desconecte el cable USB y, a continuación, vuelva a conectarlo. → Se utiliza un concentrador USB. No se garantiza la conexión a través de un concentrador USB. Conecte el cable USB directamente al ordenador.

continúa

Síntoma	Causa y/o medida correctiva
Al conectar el reproductor al ordenador, éste último no lo reconoce.	→ El adaptador USB no está conectado correctamente al ordenador. Inserte hasta el fondo el adaptador USB hasta que encaje con un clic (☞ página 8). → El cable USB no se ha conectado correctamente. Desconecte el cable USB y, a continuación, vuelva a conectarlo. → Se utiliza un concentrador USB. No se garantiza la conexión a través de un concentrador USB. Conecte el cable USB directamente al ordenador. → No se ha instalado el archivo del controlador del reproductor. Vuelva a instalar el software SonicStage del reproductor mediante el CD-ROM suministrado (☞ página 11) para, así, instalar también el controlador. → No se ha podido instalar el software SonicStage. Desconecte el reproductor y el ordenador y, a continuación, vuelva a instalar el software de nuevo mediante el CD-ROM suministrado (☞ página 11). → Deslice el interruptor BUILT-IN BATTERY a ON.
No se pueden transferir datos de audio desde el ordenador al reproductor.	→ El cable USB no se ha conectado correctamente. Desconecte el cable USB y, a continuación, vuelva a conectarlo. → Ya se ha transferido la pista tres veces al reproductor. Vuelva a transferir la pista al ordenador para aumentar la cantidad de transferencia (☞ página 33) y, a continuación, vuelva a transferirla al reproductor. → No hay espacio libre suficiente en el disco duro del reproductor. Vuelva a transferir las pistas innecesarias al ordenador para aumentar el espacio libre (☞ página 33). → Ya ha transferido al disco duro del reproductor más de 65 535 pistas en más de 4 096 grupos, o ha transferido más de 999 pistas en un grupo. → Es posible que no se puedan transferir ciertas pistas con un período de reproducción o con un número de reproducciones limitado debido a restricciones de los propietarios del copyright. Para obtener más información acerca de los ajustes de cada archivo de audio, póngase en contacto con el distribuidor.
No se pueden transferir muchas pistas al reproductor. (El tiempo de grabación disponible es corto).	→ El espacio libre disponible en el disco duro del reproductor no es suficiente para el tamaño de datos de audio que está intentando transferir. Vuelva a transferir las pistas innecesarias al ordenador para aumentar el espacio libre (☞ página 33). → Se han almacenado datos que no son de audio en el disco duro del reproductor. Transfiera los datos que no son de audio al ordenador para aumentar el espacio libre.
No se pueden volver a transferir los datos de audio del reproductor al ordenador.	→ Se está utilizando un ordenador diferente al utilizado en la transferencia del ordenador al reproductor. No puede volver a transferir los datos de audio a otro ordenador que no sea el utilizado en la transferencia al reproductor. → Se han eliminado los datos de audio del ordenador que utilizó para la transferencia al reproductor. No se pueden volver a transferir los datos de audio al ordenador si se ha eliminado la pista en el ordenador utilizado para la transferencia al reproductor.

Síntoma	Causa y/o medida correctiva
Los datos de audio se vuelven a transferir al ordenador y el recuento de transferencias restantes aumenta ocasionalmente sin realizar ninguna operación si el reproductor está conectado al ordenador.	→ Si se elimina una pista del reproductor mediante el software SonicStage instalado en un ordenador diferente al utilizado para la transferencia al reproductor, la pista se volverá a transferir al reproductor automáticamente una vez que éste se conecte al ordenador que se utilizó para realizar la transferencia al reproductor. Por tanto, el recuento de transferencias restantes se incrementa automáticamente.
El funcionamiento del reproductor se vuelve inestable mientras que se conecta al ordenador.	→ Se está utilizando un concentrador USB o un cable alargador USB. No se garantiza la conexión a través de un concentrador USB o un alargador USB. Conecte el cable USB directamente al ordenador.
En la pantalla del ordenador se muestra el mensaje "Failed to authenticate Device/Media." cuando el reproductor está conectado al ordenador.	→ El reproductor no está conectado correctamente al ordenador. Salga del software SonicStage y verifique la conexión del cable USB. Reinicie el software SonicStage.

Otros

Síntoma	Causa y/o medida correctiva
No se produce ningún pitido al poner el reproductor en funcionamiento.	→ "Pitido" se ha ajustado en "Desconexión". Ajústelo en "Conexión" (☞ página 30).
El reproductor o el adaptador USB se calientan.	→ El reproductor y el adaptador USB se pueden calentar al realizar la carga de la pila y justo después de la carga si ésta ha sido rápida. Además, el reproductor y el adaptador USB también se pueden calentar si se transfiere un gran número de pistas. No utilice el reproductor durante un tiempo.
Se oye el sonido desde el interior del reproductor. El reproductor vibra.	→ Cuando se mueve el disco duro incorporado del reproductor, se puede oír el sonido de funcionamiento y se produce la vibración del reproductor. No se trata de un funcionamiento incorrecto.

Mensajes de error

Siga las instrucciones que se indican a continuación si aparece un mensaje de error en la pantalla.

Mensaje	Significado	Causa y/o medida correctiva
AVLS SIN OPERACIÓN VOLUMEN	El volumen supera el volumen máximo de AVLS.	→ Ajuste "AVLS" en "Desconexión" (☞ página 30).
MARCADORES COMPLETOS	El número de marcadores es superior al límite.	→ Retire los marcadores innecesarios (☞ página 24).
IMPOSIBLE OPERAR DETENER	Durante la reproducción se ha seleccionado "Formato" en la pantalla MENÚ.	→ Detenga la reproducción y seleccione "Formato" de nuevo.
IMPOSIBLE OPERAR SI DETENIDO	Se está intentando añadir un marcador con el reproductor parado.	→ Añada un marcador durante la reproducción (☞ página 24).
IMPOSIBLE REPRODUCIR CONECTAR PC	El reloj del reproductor no funciona.	→ Conéctese al ordenador (☞ página 14).
IMPOSIBLE REPRODUCIR ERROR DE PISTA	Los datos de audio están dañados.	→ Vuelva a transferir los datos de audio al reproductor (☞ página 14).
IMPOSIBLE REPRODUCIR EN DISPOSIT.	• No está permitido reproducir la pista en el reproductor. • Se están reproduciendo pistas con un número de reproducciones limitado.	→ No puede reproducir pistas sin permiso en el reproductor.
NO DISPONIB. REPRODUCCIÓN	Se está intentando reproducir una pista antes o después de su período de reproducción limitado.	→ Las pistas con un tiempo de reproducción limitado sólo se pueden reproducir dentro del período de reproducción especificado.
CARGA 5°C – 35°C	Se está cargando el reproductor a una temperatura ambiente fuera del rango de 5 a 35 °C.	→ Cárguelo a una temperatura ambiente de 5 a 35 °C.
CONECTAR ADAPTADOR DE ALIMENT. CA	• El reproductor está conectado al ordenador pero el adaptador de alimentación de ca no está conectado a la toma DC IN del adaptador USB. • El adaptador de alimentación de ca está desconectado del adaptador USB mientras que el reproductor está conectado al ordenador.	→ Conecte el adaptador de alimentación de ca al adaptador USB (☞ página 14).
ESCRITURA EN DISCO DURO 5°C – 35°C	Se están transfiriendo datos de audio al reproductor a una temperatura ambiente fuera del rango de 5 a 35 °C.	→ Hágalo funcionar a una temperatura ambiente de 5 a 35 °C.

Mensaje	Significado	Causa y/o medida correctiva
ERROR AL INICIALIZAR DISCO DURO	• El disco duro del reproductor no se ha inicializado correctamente. • El disco duro del reproductor se inicializó en el ordenador. • No se ha inicializado el disco duro del reproductor porque se cambió.	→ Inicialice el disco duro del reproductor de nuevo (☞ página 36).
BLOQUEO	El interruptor HOLD está ajustado en ON.	→ Desbloquee los controles deslizando el interruptor HOLD en dirección contraria a la de la flecha (☞ página 19).
SALIDA LÍNEA SIN OPERAC.	Está intentando cambiar el volumen o el ajuste de “Sonido” con “Salida audio” ajustado en “Salida de línea”.	→ Ajuste “Salida audio” en “Auricular” (☞ página 30).
BATERÍA BAJA	Se ha agotado la energía de la pila.	→ Cargue la pila (☞ página 8).
Nº MÁX. DE GRUPOS SUPERADO	El número de grupos (álbumes, artistas, etc.) ha superado el límite (8.192).	→ El número total de elementos de la pantalla de lista (salvo la lista de pistas) supera los 8.192. Compruebe el ajuste de MODE y vuelva a transferir todas las pistas innecesarias al ordenador (☞ página 33).
ARCHIV. SIS. NO COINCIDEN	Los archivos de sistema no coinciden.	→ Inicialice el disco duro del reproductor (☞ página 36) y vuelva a transferir los datos de audio al reproductor (☞ página 14).
BASE DE DATOS NO ENCONTRADA	Al desconectar el ordenador, no se han transferido las pistas al reproductor o falta la información del ajuste de MODE.	→ Transfiera los datos de audio al reproductor (☞ página 14).
SIN PISTAS	No hay pistas en la lista de pistas.	→ Vaya a una lista de pistas que contenga pistas. → Transfiera los datos de audio al reproductor (☞ página 14).
ERROR DE SISTEMA <Nº ***> (El número aparece entre paréntesis)	Se ha producido un error de sistema.	→ Anote el número y póngase en contacto con el proveedor Sony más próximo.

Especificaciones

Número máximo de pistas grabables (aprox.)*

ATRAC3	ATRAC3plus	MP3
5 000 (132 kbps)	2 500 (256 kbps)	5 000 (128 kbps)
6 000 (105 kbps)	10 000 (64 kbps)	10 000 (64 kbps)
10 000 (66 kbps)	13 000 (48 kbps)	

* Si transfiere pistas de cuatro minutos

Frecuencia de muestreo

44,1 kHz (ATRAC3plus), 32/44,1/48 kHz (MP3)

Tecnología de compresión de audio

(ATRAC3plus), MPEG-1 Audio Layer-3 (MP3)
(Adaptive Transform Acoustic Coding 3 plus)

Respuesta en frecuencia

20 a 20 000 Hz
(medición de señal sencilla durante la reproducción)

Salida

🎧 (auriculares)/LINE OUT*:
Minitoma estéreo/194 mV

* La toma se utiliza tanto para los auriculares como para LINE OUT.

Temperatura de funcionamiento

5 a 35 ºC

Fuente de alimentación

Pila recargable:
cc 3,7V 760mAh (1 Bateria recargable de iones de litio)

Adaptador de corriente de ca (toma DC IN 6V):
120V, 60Hz 7W (Modelos para EE.UU. y México)

Duración de la pila (reproducción continuada)

Formato ATRAC3plus (48 kbps): Aprox. 30 h (hora)

Formato MP3 (128 kbps): Aprox. 22 h (hora)

Dimensiones

Sin incluir las partes externas:
90,0 × 62,1 × 14,8 (13,8 la parte más fina) mm (an./al./prf.)

Incluyendo partes externas:
90,8 × 63,4 × 15,7 mm (an./al./prf.)

Peso

Aprox. 130 g

Patentes de los EE.UU. y otros países usados con licencia de Dolby Laboratories.

Diseño y especificaciones sujetos a cambios sin previo aviso.

Índice

http://www.sony.net/

Sony Corporation

SONY®

NW-HD3

Bedienungsanleitung **DE**

Network Walkman

Portable Hard Disk Audio Player



Atrac3plus

Um zum gewünschten Abschnitt zu gelangen, klicken Sie in den PDF-Lesezeichen oder im Inhaltsverzeichnis der Bedienungsanleitung auf den gewünschten Titel oder auf die entsprechende Seite im Text.



Achtung

Um Feuergefahr und die Gefahr eines elektrischen Schlags zu vermeiden, setzen Sie das Gerät weder Regen noch sonstiger Feuchtigkeit aus.

Stellen Sie das Gerät nicht in ein geschlossenes Regal oder in einen geschlossenen Schrank.

Achten Sie darauf, dass die Ventilationsöffnungen des Geräts nicht durch ein Tuch, Vorhänge usw. blockiert werden, da sonst Feuergefahr besteht. Stellen Sie auch keine brennenden Kerzen auf das Gerät.

Um Feuergefahr und die Gefahr eines elektrischen Schlags zu vermeiden, stellen Sie keine Gefäße mit Flüssigkeiten darin, wie z. B. Vasen, auf das Gerät.

Hinweise zur Aufstellung
Wenn Sie das Gerät an einem Ort verwenden, an dem es statischen oder elektrischen Störungen ausgesetzt ist, werden die Übertragungsinformationen der Titel möglicherweise beschädigt. Dies kann eine Übertragungsautorisierung auf dem Computer verhindern.

Für Kunden in Deutschland

Entsorgungshinweis: Bitte werfen Sie nur entladene Batterien in die Sammelboxen beim Handel oder den Kommunen. Entladen sind Batterien in der Regel dann, wenn das Gerät abschaltet und signalisiert „Batterie leer“ oder nach längerer Gebrauchsdauer der Batterien „nicht mehr einwandfrei funktioniert“. Um sicherzugehen, kleben Sie die Batteriepole z.B. mit einem Klebestreifen ab oder geben Sie die Batterien einzeln in einen Plastikbeutel.

Inhaltsverzeichnis

Hinweise für Benutzer

Zur mitgelieferten Software

- Copyright-Gesetze untersagen die teilweise oder vollständige Reproduktion der Software und des zugehörigen Handbuchs ebenso wie die Vermietung der Software ohne Zustimmung des Copyright-Inhabers.
- SONY übernimmt unter keinen Umständen die Gewährleistung für jedweden finanziellen Schaden oder Gewinnverluste, Forderungen von Dritten eingeschlossen, die sich aus der Verwendung der im Lieferumfang dieses Players enthaltenen Software ergeben.
- Sollten beim Einsatz dieser Software Probleme auftreten, die auf einen Produktionsfehler zurückzuführen sind, ersetzt SONY die Software. Darüber hinaus übernimmt SONY jedoch keine weitere Gewährleistungspflicht.
- Die im Lieferumfang dieses Players enthaltene Software kann nur für die Geräte verwendet werden, die auf die Verwendung dieser Software ausgelegt sind.
- Beachten Sie, dass sich die Spezifikationen der Software ohne Vorankündigung ändern können, da wir stets bemüht sind, die Qualität unserer Software zu verbessern.
- Für die Verwendung dieses Players in Kombination mit einer anderen als der im Lieferumfang enthaltenen Software wird keine Gewährleistung übernommen.
- Je nach Art und verwendeten Zeichen des in SonicStage angezeigten Textes kann dieser möglicherweise nicht korrekt im Gerät angezeigt werden.
  Dies kann folgende Gründe haben:
  - Die Anzeigemöglichkeiten des angeschlossenen Geräts sind eingeschränkt.
  - Der Player funktioniert nicht ordnungsgemäß.

- SonicStage und das SonicStage-Logo sind Warenzeichen oder eingetragene Warenzeichen der Sony Corporation.
- OpenMG, ATRAC3plus und ihre Logos sind Warenzeichen der Sony Corporation.
- Microsoft, Windows, Windows NT und Windows Media sind Warenzeichen oder eingetragene Warenzeichen der Microsoft Corporation in den USA und/oder anderen Ländern.
- IBM und PC/AT sind eingetragene Warenzeichen der International Business Machines Corporation.
- Macintosh ist ein Warenzeichen von Apple Computer, Inc. in den USA und/oder anderen Ländern.
- Pentium ist ein Warenzeichen oder eingetragenes Warenzeichen der Intel Corporation.
- Adobe und Adobe Reader sind Warenzeichen oder eingetragene Warenzeichen von Adobe Systems Incorporated in den USA und/oder anderen Ländern.
- US-amerikanische Patente und Patente anderer Länder lizenziert von Dolby Laboratories.
- Alle anderen Warenzeichen und eingetragenen Warenzeichen sind Warenzeichen oder eingetragene Warenzeichen der entsprechenden Eigentümer.
- ™ und ®-Zeichen werden in diesem Handbuch nicht angeführt.
- CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000-2003 Gracenote. Gracenote CDDB® Client Software, copyright 2000-2003 Gracenote.
  This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593 and other patents issued or pending.
  Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.

Sicherheitsmaßnahmen

Sicherheit

- Stecken Sie keine Fremdkörper in die Buchse DC IN 3V des USB-Adapters.
- Verursachen Sie an den Anschlüssen des USB-Adapters keinen Kurzschluss mit anderen Metallgegenständen.

Aufstellung

- Verwenden Sie den Player niemals an Orten, an denen er extremen Licht- oder Temperaturverhältnissen, Feuchtigkeit oder Erschütterungen ausgesetzt ist.
- Wickeln Sie den Player niemals ein, wenn er mit dem Netzteil verwendet wird. Wärmestau im Player kann zu Funktionsstörungen oder Beschädigung führen.

Wärmestau

Wenn der Player über längere Zeit verwendet wird, kann es im Player oder USB-Adapter während des Ladevorgagns zu einem Wärmestau kommen.

Kopfhörer

Verkehrssicherheit

Verwenden Sie die Kopfhörer nicht beim Autofahren, Radfahren, oder wenn Sie ein anderes motorisiertes Fahrzeug führen. Dies könnte zu gefährlichen Verkehrssituationen führen und ist in vielen Regionen verboten. Es kann auch gefährlich sein, den Player als Fußgänger, insbesondere beim Überqueren der Straße, mit hoher Lautstärke zu betreiben. In möglicherweise gefährlichen Situationen sollten Sie äußerst vorsichtig sein oder die Kopf-/Ohrhörer vorübergehend abnehmen.

Vermeiden von Hörschäden

Vermeiden Sie es, die Kopfhörer mit hoher Lautstärke zu verwenden. Gehörspezialisten warnen vor ständiger oder lange anhaltender Wiedergabe bei hoher Lautstärke. Wenn Sie Ohrgeräusche wahrnehmen, verringern Sie die Lautstärke, oder verzichten Sie ganz auf Kopf-/Ohrhörer.

Rücksicht auf andere

Senken Sie die Lautstärke auf ein vernünftiges Maß. Dadurch können Sie noch Geräusche von außen wahrnehmen und Rücksicht auf die Menschen in Ihrer Umgebung nehmen.

Achtung

Verwenden Sie die Kopfhörer nicht bei Blitzschlag in der Umgebung.

Reinigung

- Reinigen Sie das Playergehäuse mit einem weichen, leicht mit Wasser oder einem milden Reinigungsmittel angefeuchteten Tuch.
- Reinigen Sie den Kopfhörerstecker regelmäßig.

Hinweise

- Verwenden Sie keinerlei Scheuerschwämme bzw. -pulver oder Lösungsmittel wie Alkohol oder Benzin, da sie die Gehäuseoberfläche angreifen können.
- Stellen Sie sicher, dass kein Wasser an den Anschlüssen in den USB-Adapter oder den Aufnahme-USB-Adapter eintritt.

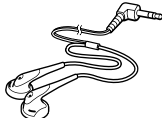
Falls Sie Fragen zu oder Probleme mit dem Player haben, wenden Sie sich an Ihren nächstgelegenen Sony-Fachhändler.

HINWEISE

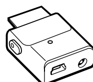
- Die aufgenommene Musik ist ausschließlich für die private Verwendung vorgesehen. Für eine Verwendung, die über die private Verwendung hinausgeht, ist die Erlaubnis der geistigen Eigentümer der Musik erforderlich.
- Sony übernimmt keine Verantwortung dafür, wenn Daten aufgrund eines Fehlers im Computer oder Player beschädigt bzw. nicht vollständig aufgenommen/ heruntergeladen werden.

Überprüfen der mitgelieferten Zubehörteile

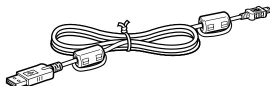
- Kopfhörer (1)



- USB-Adapter (1)
  (Zum Anschließen an das mitgelieferte USB-Kabel und das mitgelieferte Netzteil)



- Dediziertes USB-Kabel (1)



- Netzteil (1)
- Tragetasche (1)
- CD-ROM (1) *
  (SonicStage, PDF-Datei der Bedienungsanleitung)
- Kurzanleitung (1)

* Geben Sie diese CD-ROM nicht in einem Audio-CD-Player wieder.

Hinweise

Befolgen Sie bei Verwendung dieses Geräts stets die folgenden Vorsichtsmaßnahmen, um Verformungen des Gehäuses oder Fehlfunktionen des Geräts zu vermeiden.

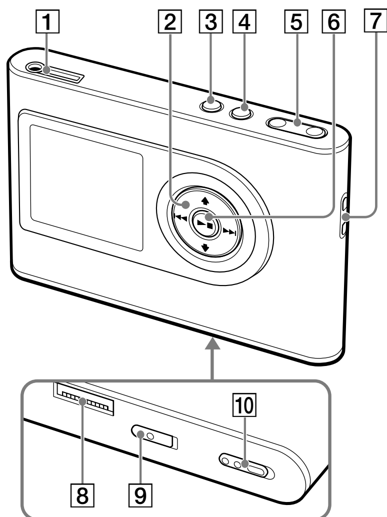
– Achten Sie darauf, dass Sie sich nicht mit dem Gerät in der Hosentasche hinsetzen.



– Stellen Sie sicher, dass Sie das Gerät nicht mit der Fernsteuerung oder dem Kopf-/Ohrhörerkabel um das Gerät gewickelt in eine Tasche stecken, die Stößen o.ä. ausgesetzt wird.

Erläuterungen zu Komponenten und Reglern

Player



1 Buchse ♫ (Kopfhörer)/LINE OUT (☞ Seite 18)

2 Tasten ↑, ↓, ⏮, ⏭ (☞ Seite 20, 21)

3 Taste MENU (☞ Seite 25, 29)

4 Taste MODE (☞ Seite 21)

5 Tasten VOLUME +*/– (☞ Seite 18)

6 Taste ►■ (Wiedergabe/Stopp) (☞ Seite 18, 20)

7 Vertiefung für Tragschlaufe**

8 Anschluss für USB-Adapter (☞ Seite 8, 15)

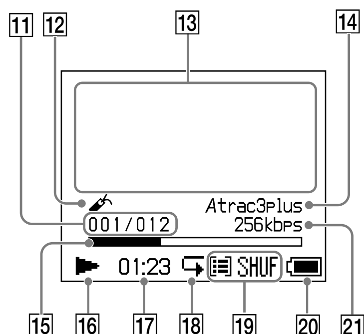
9 Schalter BUILT-IN BATTERY (☞ Seite 8)

10 Schalter HOLD (☞ Seite 19)

* Diese Taste verfügt über einen Tastpunkt.

** Sie können hier eine beliebige Tragschlaufe befestigen.

Display des Players



11 Titelnummeranzeige (☞ Seite 20)

12 Zeichenanzeige (☞ Seite 20)

13 Lesezeichenanzeige (☞ Seite 24)

14 Atrac3plus/MP3-Anzeige (☞ Seite 19)

15 Wiedergabe-Anzeigeleiste (☞ Seite 20)

16 Wiedergabeanzeige (☞ Seite 20)

17 Wiedergabedauer (☞ Seite 20)

18 Wiederholungsanzeige (☞ Seite 28)

19 Wiedergabemodusanzeige (☞ Seite 25), Klanganzeige (bei Einstellen der Lautstärke, ☞ Seite 30)

20 Batterieanzeige (☞ Seite 9)

21 Bitrate (☞ Seite 13)

Hinweis zur Seriennummer

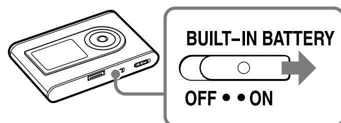
Die Seriennummer dieses Players wird zur Kundenregistrierung benötigt. Die Nummer befindet sich auf einem Etikett auf der Rückseite des Players.

Herstellen der Stromversorgung

Laden Sie den eingebauten Lithium-Ion-Akku vor der ersten Verwendung bzw. wenn er entladen ist.

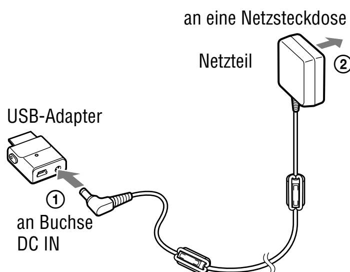
1 Schieben Sie den Schalter BUILT-IN BATTERY auf ON.

Die Sperre des eingebauten Akkus wird aufgehoben, und der Player wird mit Strom versorgt. Achten Sie darauf, dass die Schalterposition ON beibehalten wird.



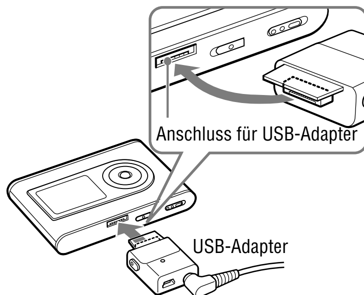
2 Schließen Sie das Netzteil an den USB-Adapter an.

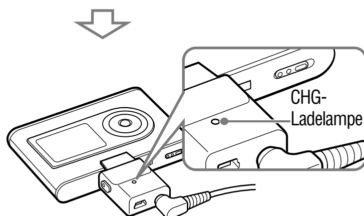
Schließen Sie den DC-Stecker des Netzteils an die Buchse DC IN des USB-Adapters an, und schließen Sie den AC-Stecker dann an eine Netzsteckdose an.



3 Schließen Sie den USB-Adapter an den Player an.

Stecken Sie den USB-Adapter, wie in der Abbildung gezeigt, in den Anschluss, bis er einrastet.
Der Ladevorgang beginnt. Die CHG-Ladelampe leuchtet auf dem USB-Adapter auf, und wenn der Player eingeschaltet ist, ändert sich die Batterieanzeige im Display.



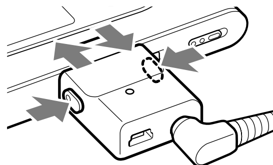


Der Ladevorgang ist nach etwa 3 Stunden beendet, und die CHG-Ladelampe erlischt*. Das Blitzsymbol leuchtet im Display auf, wenn der Player eingeschaltet ist.
Schalten Sie zum schnellen Laden das Display aus, und lösen Sie das USB-Kabel vom USB-Adapter. Die Ladezeit beträgt dann ca. 1 Stunde, und der Akku ist danach zu 80 % geladen.

* Dies ist die ungefähre Ladezeit eines entladenen Akkus bei Zimmertemperatur. Wenn das Display eingeschaltet ist, beträgt die Ladezeit ca. 5 Stunden. Die Ladezeit variiert je nach Restladung und dem Akkuzustand. Wenn der Akku bei niedrigen Temperaturen geladen wird, dauert der Ladevorgang länger.

So lösen Sie den USB-Adapter vom Player

Drücken Sie den USB-Adapter in den Anschluss, während Sie die grauen Tasten an beiden Seiten des USB-Adapters gedrückt halten, und ziehen Sie ihn dann heraus.



Laden eines Akkus über eine USB-Verbindung

Schalten Sie den Computer ein, und schließen Sie das USB-Kabel an den Computer an (☞ Seite 14). Die CHG-Ladelampe leuchtet auf dem USB-Adapter auf, und der Ladevorgang beginnt. Die Ladedauer beträgt ca. 5 Stunden. Wenn der Player an das Netzteil angeschlossen ist, erfolgt die Stromzufuhr über das Netzteil.

Hinweise

- Wenn Sie den Akku über eine USB-Verbindung laden und die Stromversorgung des Computers nicht ausreichend ist, dauert der Ladevorgang länger.
- Wenn Sie den Akku über eine USB-Verbindung laden, wird der Ladevorgang möglicherweise abgebrochen. Dies hängt von der Systemumgebung Ihres Computers ab.
- Wenn der Player während des Ladevorgangs längere Zeit an den Computer angeschlossen ist, wird der Ladevorgang möglicherweise abgebrochen, damit eine übermäßige Hitzeentwicklung im Player vermieden wird. In diesem Fall erlischt die CHG-Ladelampe. Lösen Sie den USB-Adapter vom Player, und beginnen Sie den Ladevorgang nach einer Weile erneut.
- Wenn der Player mindestens drei Monate nicht verwendet wird, stellen Sie den Schalter BUILT-IN BATTERY auf OFF, um eine Entladung des Akkus zu vermeiden.
- Laden Sie den Akku bei einer Temperatur zwischen 5 und 35 ºC.

Hinweise zum Netzteil

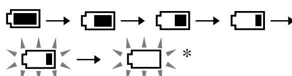
- Verwenden Sie ausschließlich das Netzteil und den USB-Adapter, die im Lieferumfang des Players enthalten sind. Verwenden Sie kein anderes Netzteil, da dies Funktionsstörungen des Players hervorrufen könnte.



- Der Player bleibt mit dem Stromnetz verbunden, solange er an die Netzsteckdose angeschlossen ist, auch wenn er ausgeschaltet wurde.
- Wenn Sie den Player längere Zeit nicht verwenden, muss er von der Stromversorgung getrennt werden. Ziehen Sie das Netzteil immer am Stecker aus der Netzsteckdose, niemals am Kabel.

Überprüfen der Restladung der Batterie

Die Restladung der Batterie wird im Display angezeigt. Wenn die Restladung der Batterie geringer wird, nimmt die Anzahl der schwarzen Bereiche in der Anzeige ab.



* „BATTERIE SCHWACH“ wird im Display angezeigt, und ein Signal ertönt.

Wenn der Akku entladen ist, laden Sie ihn erneut.

Hinweise

- Die Anzeige zeigt den ungefähren Ladestatus der Batterien an. So entspricht ein Bereich nicht unbedingt einem Viertel der Batterieladung.
- Je nach Betriebsbedingungen vermehrt oder verringert sich die Anzahl der Bereiche in der Anzeige entsprechend der tatsächlichen Restladung.

Akkulebensdauer (ununterbrochener Betrieb)

Die Wiedergabedauer im ATRAC3plus-Format (48 Kbit/s) beträgt ca. 30 Stunden. Die Wiedergabedauer im MP3-Format (128 Kbit/s) beträgt ca. 22 Stunden.
Die Dauer hängt von der Verwendung des Players ab.

Installieren von SonicStage auf dem Computer

Installieren Sie SonicStage von der mitgelieferten CD-ROM auf Ihrem Computer.

Herstellen der erforderlichen Systemvoraussetzungen

Die folgende Systemumgebung ist erforderlich.

Computer	IBM PC/AT oder kompatibel	
	• CPU: Pentium II 400 MHz oder höher (Empfehlung: Pentium III 450 MHz oder höher) • Festplattenspeicher: 200 MB oder mehr (Empfehlung: 1,5 GB oder mehr) (Der erforderliche Speicherplatz hängt von der Windows-Version und der Anzahl der auf der Festplatte gespeicherten Musikdateien ab.) • RAM: 64 MB oder mehr (Empfehlung: 128 MB oder mehr)	
	Andere	• CD-Laufwerk (mit Möglichkeit der digitalen Wiedergabe gemäß WDM) • Soundboard • USB-Anschluss (Hi-Speed USB wird unterstützt.)
Betriebssystem	Werkseitig vorinstalliert: Windows XP Media Center Edition 2005/Windows XP Media Center Edition 2004/ Windows XP Media Center Edition/Windows XP Professional/Windows XP Home Edition/Windows 2000 Professional/ Windows Millennium Edition/Windows 98 Second Edition	
Display	High Color (16 Bit) oder höher, 800 x 600 Bildpunkte oder mehr (Empfehlung: 1024 x 768 Bildpunkte oder mehr)	
Andere	• Internetzugang: Für Webregistrierung, EMD-Services und CDDB • Windows Media Player (Version 7.0 oder höher) für die Wiedergabe von WMA-Dateien	

Hinweise

- SonicStage wird von folgenden Umgebungen nicht unterstützt:
  - Andere Betriebssysteme als die oben angegebenen
  - Individuell zusammengestellte PCs oder selbst programmierte Betriebssysteme
  - Eine Umgebung, die ein Upgrade des ursprünglich vom Hersteller bereitgestellten Betriebssystems darstellt
  - Multi-Boot-Umgebung
  - Multi-Monitor-Umgebung
  - Macintosh
- Wir können nicht garantieren, dass die Software auf allen Computern, die den Systemanforderungen genügen, fehlerfrei ausgeführt wird.
- Das NTFS-Format unter Windows XP/Windows 2000 Professional kann nur mit den vorgegebenen (werkseitigen) Einstellungen verwendet werden.
- Für Benutzer von Windows 2000 Professional: Installieren Sie Service Pack 3 oder höher, bevor Sie die Software verwenden.
- Wir können nicht garantieren, dass die Stromspar-, Standby- und Ruhezustandfunktionen auf allen Computern fehlerfrei ausgeführt werden können.

Installieren von SonicStage

Prüfen Sie die folgenden Punkte, bevor Sie die Software SonicStage installieren.

- Stellen Sie sicher, dass Sie alle anderen Anwendungen einschließlich Virenschutzprogramme beenden, da solche Softwareprogramme die Systemressourcen in der Regel stark beanspruchen.
- Verwenden Sie zur Installation von SonicStage ausschließlich die mitgelieferte CD-ROM.
  – Wenn OpenMG Jukebox oder SonicStage bereits installiert ist, wird die vorhandene Software mit der neuen Version und den neuen Funktionen überschrieben.
  – Wenn SonicStage Premium, SonicStage Simple Burner oder MD Simple Burner bereits installiert ist, bleibt die vorhandene Software unverändert neben SonicStage bestehen.
  – Audiodaten, die von der älteren Softwareversion registriert wurden, können Sie nach wie vor verwenden. Wir empfehlen, Ihre Audiodaten vorsichtshalber zu sichern. Weitere Informationen zum Sichern der Daten finden Sie in der SonicStage-Hilfe unter „Sichern der Eigenen Bibliothek“ – „Sichern von Daten auf einer Disk“.

1 Schalten Sie den Computer ein, und starten Sie Windows.

2 Legen Sie die mitgelieferte CD-ROM in das CD-Laufwerk des Computers ein.

Das Setupprogramm wird automatisch gestartet, und das Installationsfenster wird angezeigt.
Je nach Region wird möglicherweise ein Fenster angezeigt, in dem Sie dazu aufgefordert werden, Ihr Land auszuwählen. Befolgen Sie in diesem Fall die angezeigten Anweisungen.

3 Klicken Sie auf die Region, in der Sie die Software SonicStage verwenden werden.



4 Klicken Sie auf „SonicStage installieren“, und befolgen Sie die angezeigten Anweisungen.

„SonicStage installieren“



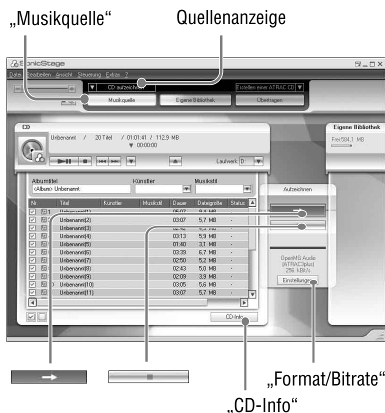
Lesen Sie die Anweisungen sorgfältig.
Je nach Region stimmen die angezeigten Schaltflächen (mit Ausnahme von „SonicStage installieren“) möglicherweise nicht mit der Abbildung oben überein.
Die Installation kann je nach Systemumgebung 20 bis 30 Minuten dauern.
Der Computer darf erst nach Abschluss der Installation neu gestartet werden.
Traten während der Installation Probleme auf, finden Sie unter „Fehlerbehebung“ (☞ Seite 41) Lösungsvorschläge.

Hinweis zur Deinstallation

„OpenMG Secure Module“ wird gleichzeitig mit SonicStage installiert. Wenn Sie SonicStage deinstallieren, löschen Sie OpenMG Secure Module nicht, da das Programm möglicherweise von anderen Anwendungen verwendet wird.

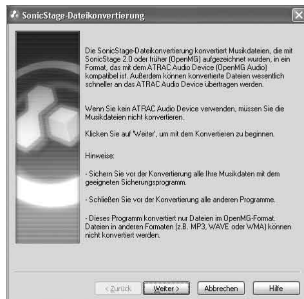
Importieren von Audiodaten auf Ihren Computer

Sie können Titel (Audiodaten) von einer Audio-CD auf die Festplatte des Computers aufzeichnen und in SonicStage in der Liste „Eigene Bibliothek“ speichern.
Sie können Titel auch von anderen Quellen aufzeichnen oder importieren (z.B. aus dem Internet oder von der Festplatte des Computers). Weitere Informationen finden Sie in der SonicStage-Hilfe (☞ Seite 16).



1 Wählen Sie „Start“ – „Alle Programme“* – „SonicStage“ – „SonicStage“.

SonicStage wird gestartet.
Wenn Sie eine frühere Version von SonicStage verwenden, wird das Fenster „SonicStage file conversion tool“** angezeigt, wenn Sie SonicStage zum ersten Mal nach der Installation ausführen. Befolgen Sie die Anweisungen im Fenster.



* „Programme“ bei Windows Millennium Edition/Windows 2000 Professional/ Windows 98 Second Edition

**Dieses Tool konvertiert Audiodaten, die mit SonicStage2.0 oder einer früheren Version in den Computer importiert wurden, in das für diesen Player optimale Datenformat (OpenMG), damit die Audiodaten mit höherer Geschwindigkeit an den Player übertragen werden können.

2 Legen Sie die Audio-CD, von der Sie Audiodaten aufzeichnen möchten, in das CD-Laufwerk ein.

Die Quellenanzeige oben links im SonicStage-Fenster wechselt auf „CD aufzeichnen“.

3 Klicken Sie im SonicStage-Fenster auf „Musikquelle“.

Der Inhalt der Audio-CD wird in der Musikquellenliste angezeigt. Wenn CD-Informationen wie Albumtitel, Name des Interpreten oder Namen der einzelnen Titel nicht automatisch abgerufen werden, stellen Sie eine Verbindung mit dem Internet her, und klicken Sie auf der rechten Seite des Fensters auf „CD-Info“.

4 Ändern Sie gegebenenfalls das Format und die Bitrate für die Aufzeichnung der Audio-CD.

Klicken Sie rechts im SonicStage-Fenster auf „Format/Bitrate“, um das Dialogfeld „CD-Aufzeichnungsformat [Eigene Bibliothek]“ anzuzeigen.
Die Standardeinstellungen sind OpenMG Audio (ATRAC3plus) für das Format und 64 Kbit/s für die Bitrate.

5 Klicken Sie im SonicStage-Fenster auf [→].

Die Aufzeichnung der ausgewählten Titel beginnt.

So beenden Sie die Aufnahme

Klicken Sie im SonicStage-Fenster auf
.

So wählen Sie die Titel aus, die Sie nicht aufzeichnen möchten

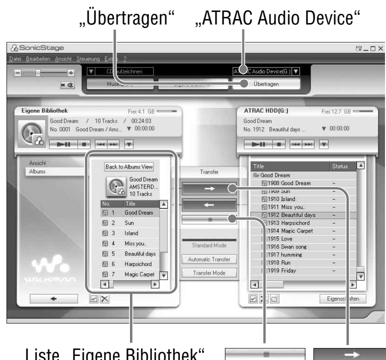
Klicken Sie vor Schritt **5** auf die Titelnummer, um ☑ im SonicStage-Fenster zu deaktivieren.

Hinweis

Nur Audio-CDs mit dem Zeichen [COMPACT disc DIGITAL AUDIO] können mit SonicStage verwendet werden. Bei kopiergeschützten CDs können wir den fehlerfreien Betrieb nicht garantieren.

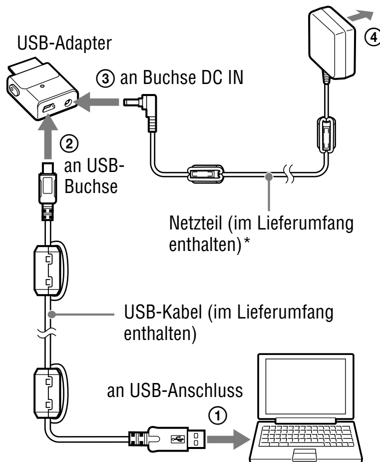
Übertragen von Audiodaten auf den Player

Übertragen Sie die Titel (Audiodaten), die in SonicStage in der Liste „Eigene Bibliothek“ gespeichert sind, im ATRAC3plus/MP3*-Format von Ihrem Computer auf den Player. Bei der Übertragung der Audiodaten werden auch CD-Informationen wie Interpretenname und Albumname (ursprünglicher Albumname) übertragen.



1 **Schließen Sie den USB-Adapter an den Computer und das Netzteil an.**

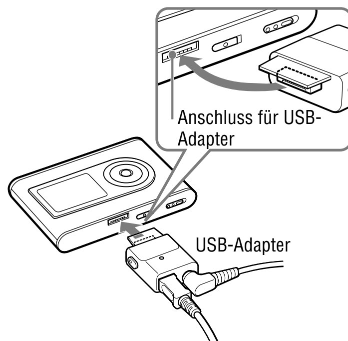
Stellen Sie die Verbindung gemäß der Abbildung von ① bis ④ her. Stecken Sie den größeren Stecker des USB-Kabels in einen USB-Anschluss an Ihrem Computer und den kleineren Stecker in die USB-Buchse des USB-Adapters.



* Bevor Sie Audiodaten übertragen, stellen Sie sicher, dass das Netzteil an den USB-Adapter angeschlossen ist. Andernfalls können Sie keine Audiodaten übertragen.

2 Schließen Sie den USB-Adapter an den Player an.

Stecken Sie den USB-Adapter gemäß Abbildung in den Anschluss, bis er einrastet. „PC-Anschluss“ wird im Display angezeigt. Der Einstellungsbildschirm zur automatischen Übertragung wird im SonicStage-Fenster angezeigt. Befolgen Sie die Anweisungen im Fenster. Weitere Informationen finden Sie in der SonicStage-Hilfe (☞ Seite 16).



3 Klicken Sie auf der rechten Seite des SonicStage-Fensters auf „Übertragen“.

Die Ansicht wechselt zum Übertragungsbildschirm.

4 Wählen Sie „ATRAC Audio Device“ aus der Liste der Übertragungsziele auf der rechten Seite des SonicStage-Fensters.

5 Klicken Sie auf die Titel, die Sie von der Liste „Eigene Bibliothek“ links im SonicStage-Fenster übertragen möchten.

Wenn Sie mehr als einen Titel übertragen möchten, halten Sie die „Strg“-Taste gedrückt, während Sie die Titel auswählen. Klicken Sie auf das Album, um das gesamte Album zu übertagen.

6 Klicken Sie im SonicStage-Fenster auf .

Die Übertragung der ausgewählten Titel beginnt.
Sie können den Übertragungsstatus im SonicStage-Fenster prüfen.

So beenden Sie die Übertragung

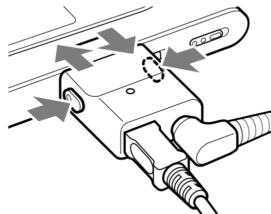
Klicken Sie im SonicStage-Fenster auf .

Hinweise

Stellen Sie sicher, dass der Player keinen Vibrationen ausgesetzt ist, wenn Audiodaten übertragen werden. Der Player sollte außerdem nicht in der Nähe von magnetischen Gegenständen aufgestellt werden.

So lösen Sie den USB-Adapter vom Player

Drücken Sie den USB-Adapter in den Anschluss, während Sie die grauen Tasten an beiden Seiten des USB-Adapters gedrückt halten, und ziehen Sie ihn dann heraus.



Fortsetzung

Hinweise

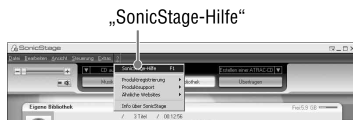
- Entfernen Sie nicht das USB-Kabel oder den USB-Stecker, während die Daten übertragen werden. Andernfalls werden die zu übertragenden Daten möglicherweise zerstört.
- Die einwandfreie Funktion des Players bei Verwendung mit einen USB-Hub oder USB-Verlängerungskabel wird nicht garantiert. Schließen Sie den Player stets direkt mit dem mitgelieferten USB-Kabel an den Computer an.
- Einige an den Computer angeschlossene USB-Geräte beeinträchtigen möglicherweise den Betrieb des Players.
- Die Steuertasten auf dem Player sind deaktiviert, wenn er an einen Computer angeschlossen ist. Wenn Sie den Player während der Wiedergabe über den USB-Adapter an den Computer anschließen, wird die Wiedergabe unterbrochen, und „PC-Anschluss“ wird im Display des Players angezeigt.
- Wenn der Speicherplatz auf dem Player zur Übertragung der Audiodaten nicht ausreicht, kann die Übertragung nicht durchgeführt werden.
- Während der Übertragung stehen Stromspar-, Standby- und Ruhezustandfunktionen nicht zur Verfügung.
- Je nach Art und Länge des Textes, der von SonicStage übertragen wird, kann dieser möglicherweise nicht im Display des Players angezeigt werden. Dies liegt an den eingeschränkten Anzeigemöglichkeiten des Players.
- Wenn der Player eine Zeitlang an einen eingeschalteten Computer angeschlossen ist oder nachdem zahlreiche Daten auf den Player übertragen wurden, kann der Player warm werden. Hierbei handelt es sich jedoch nicht um eine Fehlfunktion. Lösen Sie den Player vom USB-Adapter, und verwenden Sie ihn eine Weile nicht.

Verwenden der SonicStage-Hilfe

In der SonicStage-Hilfe finden Sie weitere Informationen über die Verwendung von SonicStage. Mit der SonicStage-Hilfe können Sie über eine Liste von Bedienfunktionen (z.B. „Importieren von Audiodaten“ oder „Übertragen von Audiodaten“) oder über eine umfangreiche Stichwortliste ganz einfach Informationen abrufen. Sie können auch Begriffe eingeben, um so die entsprechenden Erläuterungen zu erhalten.

1 Klicken Sie auf „?“ – „SonicStage-Hilfe“, während SonicStage ausgeführt wird.

Die Hilfe wird angezeigt.
Der Player wird in der SonicStage-Hilfe unter „ATRAC Audio Device“ erläutert.

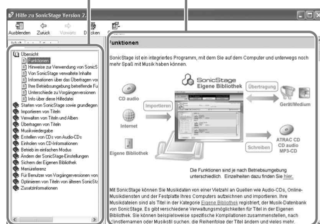


Hinweise

- In der SonicStage-Hilfe wird „Gerät/Medium“ als allgemeine Bezeichnung für diesen Player verwendet.
- Befolgen Sie hinsichtlich der Systemempfehlungen usw. die Anweisungen Ihres Internetanbieters.

Funktionsweise der SonicStage-Hilfe

Linker Frame Rechter Frame



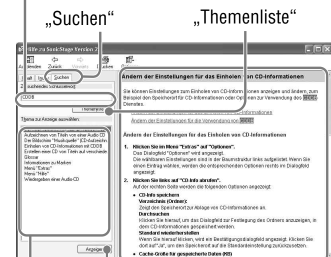
1 Doppelklicken Sie im linken Frame der SonicStage-Hilfe auf „ Übersicht“.

2 Klicken Sie auf „ Info über diese Hilfedatei“.
Die Erläuterung wird im rechten Frame angezeigt.
Führen Sie gegebenenfalls einen Bildlauf durch. Klicken Sie auf die unterstrichenen Wörter, um eine Erläuterung zu diesen Begriffen anzuzeigen.

So suchen Sie innerhalb einer Erläuterung nach einem Begriff

Textfeld „Zu suchendes Schlüsselwort“

„Suchen“ „Themenliste“



„Anzeigen“

Liste der eingegebenen Begriffe

Erläuterung des ausgewählten Begriffs

1 Klicken Sie auf „Suchen“.

2 Geben Sie den Suchbegriff ein.

3 Klicken Sie auf „Themenliste“.
Es wird eine Liste der eingegebenen Begriffe angezeigt.

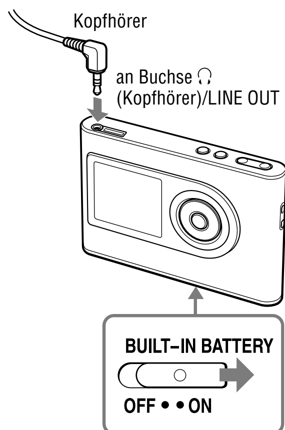
4 Wählen Sie das gewünschte Element durch Klicken aus.

5 Klicken Sie auf „Anzeigen“.
Es wird eine Erläuterung des ausgewählten Elements angezeigt.

Wiedergeben

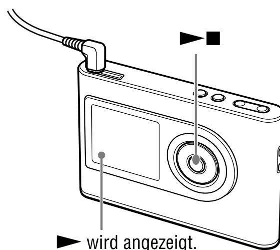
Übertragen Sie zunächst Audiodaten von dem Computer auf den Player (☞ Seite 14).
Sie können die Spracheinstellung für das Menü und die Display-Meldungen ändern (☞ Seite 29).

1 **Nachdem Sie den Schalter BUILT-IN BATTERY auf ON gesetzt haben (☞ Seite 8), schließen Sie die Kopfhörer an den Player an.**

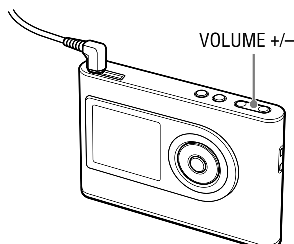


2 **Drücken Sie ►■.**

Links auf dem Display wird das Symbol ► (Wiedergabe) angezeigt, und der Player startet die Wiedergabe.



3 **Stellen Sie die Lautstärke ein, indem Sie VOLUME +/– drücken.**



Wiedergabefähige Audiodaten

Dieser Player kann Audiodaten wiedergeben, die in den Formaten ATRAC3plus/MP3 komprimiert wurden.
ATRAC3plus (Adaptive Transform Acoustic Coding3plus) ist eine Audio-Komprimierungs-technologie, die hohe Tonqualität bei optimalen Komprimierungsraten gewährleistet.
ATRAC3plus kann Audiodateien bei 64 Kbit/s auf bis zu 1/20 ihrer ursprünglichen Größe komprimieren.
Die folgenden MP3-Dateiformate können wiedergegeben werden:

– MPEG-1 Audio Layer-3
– Bitrate 32 bis 320 Kbit/s (CBR/VBR)
– Abtastfrequenzen 32/44,1/48 kHz

Hinweise

- Dateien im MP3-Format, die nicht auf dem Player wiedergegeben werden können, können dennoch auf den Player übertragen werden.
- Wenn Sie versuchen, einen MP3-Audiotitel auf diesem Player wiederzugeben, der nicht wiedergegeben werden kann, wird die Wiedergabe gestoppt. Drücken Sie ▶▶I, um andere Titel auszuwählen.
- Bei Verwendung des eingebauten Akkus wird das Display nach ca. 30 Sekunden Leerlaufzeit im Stopp-Modus automatisch ausgeschaltet. Beim Durchblättern von Titeln schaltet sich das Display ca. 30 Sekunden nach Beendigung des Durchblätterns ab.
- Bei Verwendung des Netzteils wird das Display ca. 3 Minuten Leerlaufzeit im Stopp-Modus automatisch ausgeschaltet. Beim Durchblättern von Titeln schaltet sich das Display ca. 3 Minuten nach Beendigung des Durchblätterns ab.
- Wenn die Wiedergabe nicht gestartet wird, stellen Sie sicher, dass sich der Schalter HOLD in der Aus-Position befindet (☞ rechts).

Sperren der Regler (HOLD)

Um zu verhindern, dass beim Transportieren des Players Tasten versehentlich gedrückt werden, können Sie die Regler sperren. Wenn Sie bei aktivierter HOLD-Funktion eine beliebige Taste drücken, wird „HOLD“ im Display angezeigt.

1 Verschieben Sie den Schalter HOLD in Pfeilrichtung.

So heben Sie die Sperre der Regler auf

Verschieben Sie den Schalter HOLD entgegen der Pfeilrichtung.

Fortsetzung ⟹

Grundlegende Wiedergabefunktionen (Wiedergabe, Stopp, Suche)

Zweck	Bedienung
Wiedergabe ab der Stelle, an der Sie den Player vorher angehalten haben	Drücken Sie ►■. Die Wiedergabe wird an der Stelle fortgesetzt, an der sie zuvor unterbrochen wurde.
Anhalten der Wiedergabe	Drücken Sie ►■.
Suchen des Anfangs des aktuellen Titels	Drücken Sie einmal ⏮.
Suchen des Anfangs der vorherigen Titel*	Drücken Sie wiederholt ⏮.
Suchen des Anfangs des nächsten Titels*	Drücken Sie einmal ⏭.
Suchen des Anfangs der nachfolgenden Titel*	Drücken Sie wiederholt ⏭.
Schnelles Zurückspulen	Drücken und halten Sie ⏮.
Schnelles Vorspulen	Drücken und halten Sie ⏭.

* Wenn Sie Shuffle-Wiedergabe bzw. Shuffle-Wiedergabe von Wiedergabeeinheiten (☞ Seite 26) auswählen, ändert sich die Wiedergabereihenfolge.

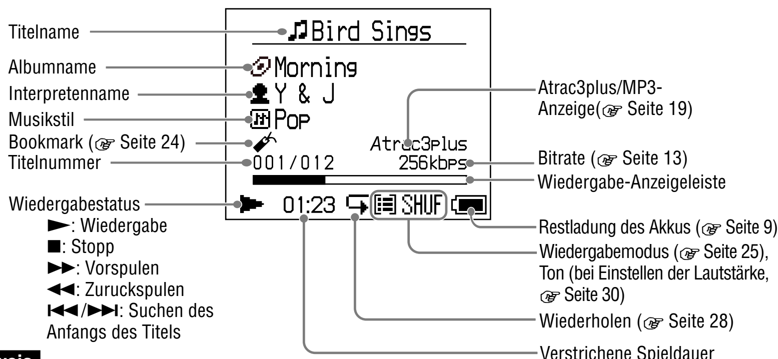
So schalten Sie den Player aus

Halten Sie MENU gedrückt, bis das Display ausgeblendet wird.
Drücken Sie eine beliebige Taste, um den Player wieder einzuschalten.

Überprüfen der Informationen auf dem Display

Sie können Audiodaten und den Wiedergabestatus im Display des Players prüfen.

Display des Players während der Wiedergabe



Hinweis

Die Zeichen A bis Z, a bis z, 0 bis 9 und Symbole (außer /) können angezeigt werden.

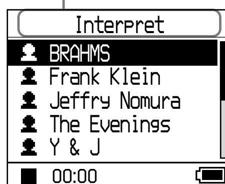
Wiedergabe von Titeln nach MODUS (Interpret, Album, Musikstil, Gruppe usw.)

Sie können die Titel auswählen, die Sie hören möchten, indem Sie die Titel auf dem Player in einem MODUS, beispielsweise nach „Interpret" oder „Album", gruppieren.
Es stehen fünf MODI zur Verfügung. In den folgenden Schritten werden die Displays des MODUS „Interpret" als Beispiel verwendet. Weitere Informationen zu den Displays der einzelnen MODI finden Sie auf ☞ Seite 23.
Sie können ausgewählte Titel auch wiederholt (☞ Seite 28) oder in zufälliger Reihenfolge (Shuffle-Wiedergabe, ☞ Seite 26) wiedergeben.

1 Drücken Sie wiederholt MODE, um einen MODUS auszuwählen.

Bei jedem Drücken der Taste ändert sich der MODUS wie folgt:

Interpret ( ) → Album ( )* → Musikstil ( ) → Gruppe ( )** → Andere → Zurück zu Interpret

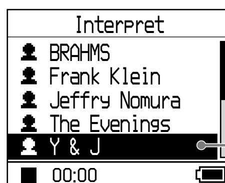


* Der Albumname (ursprünglicher Albumname) aus den CD-Informationen von SonicStage wird angezeigt.

** Ein Album wird in SonicStage als Gruppe erkannt.

2 Drücken Sie ↑ oder ↓, um ein Element unter MODUS auszuwählen.

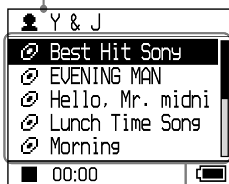
Drücken Sie zum Starten der Wiedergabe ►■. Die Wiedergabe beginnt mit dem ersten Titel des ersten Albums des von Ihnen ausgewählten Interpreten. Die Alben der Interpreten, die nach dem ausgewählten Interpreten aufgelistet sind, werden in der Reihenfolge der Titelnummern wiedergegeben.



Fortsetzung

3 **Um nach weiteren Titeln zu suchen, drücken Sie ►►I.**

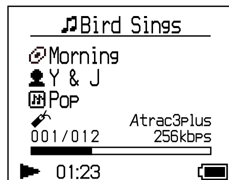
Der in Schritt 2 ausgewählte Interpret.



Die Alben des ausgewählten Interpreten werden angezeigt.

4 **Drücken Sie ↑ oder ↓, um ein Element auszuwählen, und drücken Sie dann ►■.**

Die Wiedergabe beginnt bei dem ausgewählten Titel oder bei dem ersten Titel des ausgewählten Elements (Interpret, Album usw.). Alle Titel, die nach ausgewählten Elementen aufgelistet sind, werden in der Reihenfolge der Titelnummern wiedergegeben.



So kehren Sie zum Display zum Starten der Wiedergabe zurück

Drücken und halten Sie MODE.

So kehren Sie zum Display zur Auswahl eines MODUS zurück

Drücken Sie MODE.

So kehren Sie zur Titelliste zurück

Drücken Sie ↑ oder ↓.

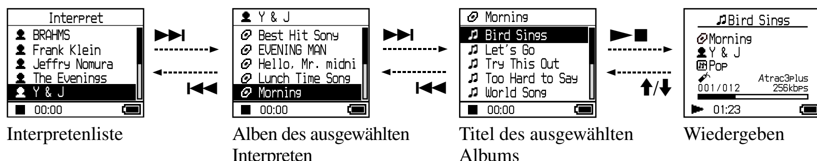
So halten Sie die Wiedergabe bei der Auswahl eines MODUS oder in der Listenanzeige an

Drücken und halten Sie ►■.

MODUS-Displays

Die Displays unterscheiden sich je nach MODUS.
Sie können die Wiedergabe in allen Displays starten, indem Sie ►■ drücken.

Interpret



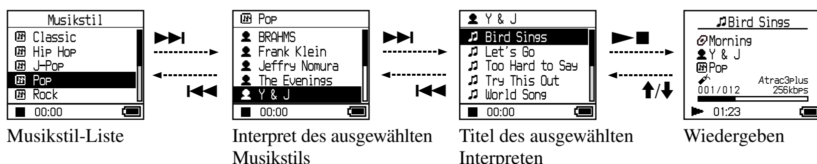
Interpretenliste | Alben des ausgewählten Interpreten | Titel des ausgewählten Albums | Wiedergeben

Album: Zeigt den Albumname (ursprünglicher Albumname) aus den CD-Informationen von SonicStage an.



Albenliste | Titel des ausgewählten Albums | Wiedergeben

Musikstil



Musikstil-Liste | Interpret des ausgewählten Musikstils | Titel des ausgewählten Interpreten | Wiedergeben

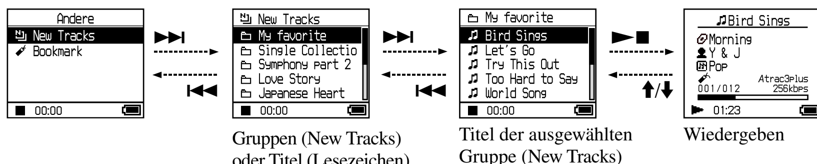
Gruppe: Gibt die in SonicStage erstellten Titel in den Albengruppen wieder.



Gruppenliste | Titel der ausgewählten Gruppe | Wiedergeben

Andere

- „New Tracks“: Titel in Gruppen, die neu auf den Player übertragen wurden (bei den letzten 5 Übertragungen)
- „Lesezeichen“: Titel mit Lesezeichen (Informationen zum Hinzufügen von Lesezeichen finden Sie auf ☞ Seite 24)



Gruppen (New Tracks) oder Titel (Lesezeichen) | Titel der ausgewählten Gruppe (New Tracks) | Wiedergeben

Hinzufügen eines Lesezeichens (Wiedergabe von Titeln mit Lesezeichen)

Sie können Ihre Lieblingstitel wiedergeben, indem Sie zu den entsprechenden Titeln Lesezeichen hinzufügen. Zum Wiedergeben von Titeln mit Lesezeichen wählen Sie den MODUS „Andere“ (☞ Seite 21) aus.

---

1 Drücken und halten Sie ↑ oder ↓ während der Wiedergabe des Titels, dem Sie ein Lesezeichen hinzufügen möchten.

Die Anzahl der Lesezeichen (die Anzahl der Titel mit Lesezeichen/die Anzahl der möglichen Lesezeichen) wird angezeigt, und anschließend leuchtet (Lesezeichen) auf.

---

2 Wenn Sie zwei oder mehr Titeln ein Lesezeichen hinzufügen möchten, wiederholen Sie Schritt 1.

Sie können max. 100 Titeln Lesezeichen hinzufügen.

So geben Sie Titel mit Lesezeichen wieder

1. Drücken Sie wiederholt MODE, um den MODUS „Andere“ auszuwählen.
2. Drücken Sie ↑ oder ↓, um „Lesezeichen“ auszuwählen, und drücken Sie dann ►►I. Zum Wiedergeben aller Titel mit Lesezeichen drücken Sie ►■.
3. Drücken Sie ↑ oder ↓, um einen Titel auszuwählen, und drücken Sie dann ►■.

So entfernen Sie Lesezeichen

Drücken und halten Sie ↑ oder ↓ während der Wiedergabe des Titels, von dem Sie ein Lesezeichen entfernen möchten.
„Aus“ wird angezeigt, und wird aus dem Display ausgeblendet.

Hinweis

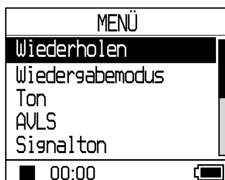
Sie können Lesezeichen nur während der Wiedergabe hinzufügen oder löschen.

Ändern von Wiedergabefunktionen (Wiedergabemodus)

Es stehen verschiedene Wiedergabefunktionen zur Verfügung, wie z.B. die Auswahl von Titeln, die Sie anhören möchten, oder die Wiedergabe von Titeln in zufälliger Reihenfolge.
Informationen zu den Wiedergabefunktionen (Wiedergabemodus) finden Sie auf ☞ Seite 26, 27.
Mit der entsprechenden Wiedergabefunktion (Repeat-Wiedergabe, ☞ Seite 28) können Sie Titel auch wiederholt wiedergeben.

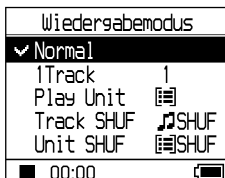
1 Drücken Sie MENU.

Das Display MENÜ wird angezeigt.



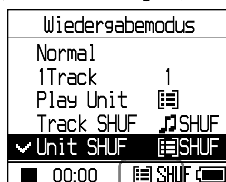
2 Drücken Sie ↑ oder ↓, um „Wiedergabemodus" auszuwählen, und drücken Sie dann ►■.

Das Display des Wiedergabemodus wird angezeigt.



3 Drücken Sie ↑ oder ↓, um die Wiedergabeoptionen auszuwählen, und drücken Sie dann ►■.

Die Standardeinstellung ist „Normal" (Normale Wiedergabe).



Die Wiedergabefunktionen werden angezeigt.

4 Drücken Sie zweimal MENU, um zum Wiedergabedisplay zu wechseln, und drücken Sie dann ►■.

Die Titel werden mit der ausgewählten Wiedergabefunktion wiedergegeben.

So brechen Sie die Einstellung ab

Drücken Sie MENU, um zum Display MENÜ zurückzukehren.
Drücken und halten Sie MODE, oder drücken Sie im Display MENÜ auf MENU, um in das vor Schritt **1** angezeigte Menü zurückzukehren.

So kehren Sie zur normalen Wiedergabe zurück

Wählen Sie in Schritt **3** die Option „Normal" aus.

So kehren Sie zum Display zur Auswahl eines MODUS zurück

Drücken Sie MODE.

Hinweis

Wenn Sie den Wiedergabemodus ändern, wird auch die Wiedergabeeinheit (☞ Seite 27) für alle Titel geändert, die auf dem Player aufgezeichnet sind.
Um Titel nur in dem ausgewählten Wiedergabemodus abzuspielen, wählen Sie das Element (Interpret, Album, Titel etc.) in der Listenanzeige.

Fortsetzung

Wiedergabefunktionen (Wiedergabemodus)

Die Wiedergabe einer Auswahl mehrerer Titel („Play Unit“ ☞ Seite 27) ist von dem MODUS (☞ Seite 21) abhängig, von dem aus die Wiedergabe gestartet wird.

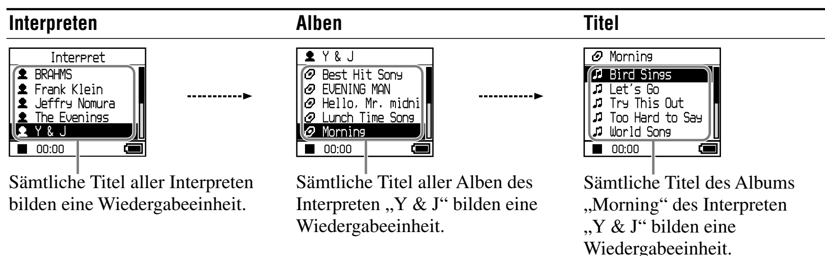
Im Display MENÜ/Symbol	Erläuterung
Normal/Kein Symbol (Normale Wiedergabe)	Alle Titel nach dem ausgewählten Titel werden jeweils einmal in der Reihenfolge der Titelnummern wiedergegeben. Wenn Sie ein anderes Element als einen Titel (Album, Interpret usw.) auswählen, werden alle Titel beginnend mit dem ersten Titel des Elements jeweils einmal in der Reihenfolge der Titelnummern wiedergegeben.
1 Track/1 (Einmalige Wiedergabe)	Der ausgewählte Titel wird einmal wiedergegeben. Wenn Sie ein anderes Element als einen Titel (Album, Interpret usw.) auswählen, wird nur der erste Titel einmal wiedergegeben.
Play Unit/ ☰ (Wiedergabe der Wiedergabeeinheit)	Alle Titel der ausgewählten Wiedergabeeinheit werden jeweils einmal in der Reihenfolge der Titelnummern wiedergegeben.
Track SHUF/♫ SHUF (Shuffle-Wiedergabe)	Alle Titel der ausgewählten Wiedergabeeinheit werden jeweils einmal in zufälliger Reihenfolge wiedergegeben. In dem Display, in dem Sie einen MODUS auswählen, werden alle aufgezeichneten Titel jeweils einmal in zufälliger Reihenfolge wiedergegeben.
Unit SHUF/ ☰ SHUF (Shuffle-Wiedergabe von Wiedergabeeinheiten)	Alle Titel der ausgewählten Wiedergabeeinheiten werden pro Wiedergabeeinheit jeweils einmal in zufälliger Reihenfolge wiedergegeben.

Was ist eine „Play Unit“ (Wiedergabeeinheit)?

Alle Elemente (ein Interpret, ein Album, ein Titel usw.), die sich beim Starten der Wiedergabe in der Liste befinden, werden als „Play Unit“ bezeichnet.
Wenn Sie den Wiedergabemodus ändern, wird auch die Wiedergabeeinheit für alle Titel geändert, die auf dem Player aufgezeichnet sind.

Wiedergabe einer Wiedergabeeinheit

Beispiel: Auswahl des MODUS „Interpret“



Interpreten	Alben	Titel
Sämtliche Titel aller Interpreten bilden eine Wiedergabeeinheit.	Sämtliche Titel aller Alben des Interpreten „Y & J“ bilden eine Wiedergabeeinheit.	Sämtliche Titel des Albums „Morning“ des Interpreten „Y & J“ bilden eine Wiedergabeeinheit.
Bei Auswahl von „Play Unit“ (Wiedergabe der Wiedergabeeinheit)		
• Die Wiedergabe beginnt bei den Titeln von „Y & J“ und hält an, nachdem alle Titel von „The Evenings“ wiedergegeben wurden.	• Die Wiedergabe beginnt bei dem Album „Morning“ und hält an, nachdem alle Titel des Albums „Lunch Time Song“ wiedergegeben wurden.	• Die Wiedergabe beginnt bei dem ersten Titel des Albums „Morning“ und hält an, nachdem alle Titel wiedergegeben wurden.
Bei Auswahl von „Unit SHUF“ (Shuffle-Wiedergabe von Wiedergabeeinheiten)		
• Die Wiedergabe erfolgt bei jedem Interpreten in zufälliger Reihenfolge. Alben oder Titel des Interpreten werden nacheinander wiedergegeben.	• Die Wiedergabe erfolgt bei jedem Album in zufälliger Reihenfolge. Titel des Albums werden nacheinander wiedergegeben.	• Alle Titel in dem Album „Morning“ werden jeweils einmal in zufälliger Reihenfolge wiedergegeben.
Bei Auswahl von „Track SHUF“ (Shuffle-Wiedergabe)		
• Alle aufgenommenen Titel werden in willkürlicher Reihenfolge wiedergegeben.	• Die Titel in allen Alben von „Y & J“ werden in zufälliger Reihenfolge gespielt.	• Alle Titel in dem Album „Morning“ werden jeweils einmal in zufälliger Reihenfolge wiedergegeben.

Shuffle-Wiedergabe

Um beispielsweise alle Titel, die auf dem Player aufgezeichnet sind, in zufälliger Reihenfolge wiederzugeben, wählen Sie einen MODUS außer „Andere“ aus (MODUS „Interpret“ usw.). Starten Sie dann die Wiedergabe, indem Sie „Track SHUF“ als Wiedergabemodus (☞ Seite 25) auswählen. Alle auf dem Player aufgezeichneten Titel werden jeweils einmal in zufälliger Reihenfolge wiedergegeben.



In der Interpretenliste werden alle aufgezeichneten Titel in zufälliger Reihenfolge wiedergegeben.

Fortsetzung ⟶

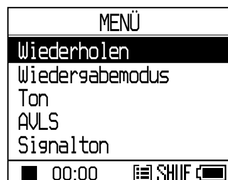
Wiederholte Wiedergabe von Titeln (Repeat-Wiedergabe)

Die Wiedergabe von Titeln wird gemäß den auf ☞ Seite 25 ausgewählten Wiedergabefunktionen wiederholt.

1 Wählen Sie die Wiedergabefunktion aus, die Sie wiederholen möchten (☞Seite 25).

2 Drücken Sie MENU.

Das Display MENÜ wird angezeigt.

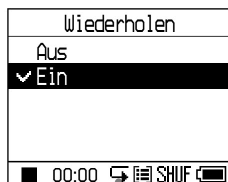


3 Drücken Sie ↑ oder ↓, um „Wiederholen" auszuwählen, und drücken Sie dann ►■.

Das Display „Wiederholen" wird angezeigt.



4 Drücken Sie ⏮, um „Ein" auszuwählen, und drücken Sie anschließend ►■.



wird angezeigt.

5 Drücken Sie zweimal MENU, um zum Wiedergabedisplay zu wechseln, und drücken Sie dann ►■.

Die aktuelle Wiedergabefunktion wird wiederholt.

So wiederholen Sie alle Titel

Wählen Sie einen anderen MODUS als „Andere" aus (MODUS „Interpret" usw.), und folgen Sie dann den Schritten **1** bis **5**.

So brechen Sie die Einstellung ab

Drücken Sie MENU, um zum Display MENÜ zurückzukehren.
Drücken und halten Sie MODE, oder drücken Sie im Display MENÜ auf MENU, um in das vor Schritt **2** angezeigte Menü zurückzukehren.

So kehren Sie zur normalen Wiedergabe zurück

Wählen Sie in Schritt **4** im Display „Wiederholen" die Option „Aus".

So kehren Sie zum Display zur Auswahl eines MODUS zurück

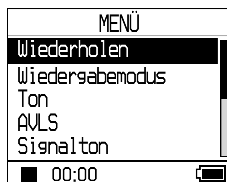
Drücken Sie MODE.

Ändern der Tonqualität und der Klangeinstellungen

Weitere Informationen über die verschiedenen Setup-Einstellungen finden Sie auf ☞ Seite 30.

1 Drücken Sie MENU.

Das Display MENÜ wird angezeigt.



2 Drücken Sie ↑ oder ↓, um ein Element auszuwählen, und drücken Sie dann ►■.

Das Display zum Einstellen des ausgewählten Elements wird angezeigt.

3 Drücken Sie ↑ oder ↓, um eine Option auszuwählen, und drücken Sie dann ►■.

So ändern Sie die Tonqualität

Drücken Sie nach Schritt **3** die Taste ↑ oder ↓, um eine Option auszuwählen (☞ Seite 30), und drücken Sie dann ►■.
Mit der Auswahl von „Custom1“, „Custom2“, „Custom3“ oder „Custom4“ können Sie die Tonqualität anpassen (☞ Seite 32).

So kehren Sie zum vorherigen Display zurück

Drücken Sie ⏮.

So brechen Sie die Einstellung ab

Drücken Sie MENU, um zum Display MENÜ zurückzukehren.
Drücken und halten Sie MODE, oder drücken Sie im Display MENÜ auf MENU, um in das vor Schritt **1** angezeigte Menü zurückzukehren.

So kehren Sie zum Display zur Auswahl eines MODUS zurück

Drücken Sie MODE.

Hinweis

Wenn „V-SUR“ oder „Sound EQ“ ausgewählt ist, gelten die Toneinstellungen nicht für MP3-Titel. Um die Tonqualität von MP3-Titeln zu ändern, ändern Sie die Einstellung unter „Digital Sound Preset“.

Fortsetzung ⟶

Setup-Einstellungen

Einstellung	Funktionen (●: Standardeinstellung)		
Ton (Klangeinstellung)	● Aus		Die Titel werden in normaler Tonqualität wiedergegeben.
	V-SUR[1) 2)]	Studio (VS)	Es wird der Klangeffekt eines Aufnahmestudios erzeugt.
		Live (VL)	Es wird der Klangeffekt eines Konzertsaals erzeugt.
		Club (VC)	Es wird der Klangeffekt einer Diskothek erzeugt.
		Arena (VA)	Es wird der Klangeffekt eines Stadions erzeugt.
	Sound EQ[1) 2)]	Tief/ Hoch (SH)	Die Titel werden mit kräftigeren Tönen und mit stärkerer Betonung hoher und niedriger Frequenzbereiche als bei der Toneinstellung „Pops“ wiedergegeben.
		Pops (SP)	Die Titel werden mit klangvollen Tönen und mit Betonung mittlerer Frequenzbereiche wiedergegeben.
		Jazz (SJ)	Die Titel werden mit lebendigen Tönen und mit Betonung hoher und niedriger Frequenzbereiche wiedergegeben.
		Unique (SU)	Die Titel werden mit besonderen Tönen und mit Betonung hoher und niedriger Frequenzbereiche außerhalb der mittleren Bereiche wiedergegeben.
		Custom1 (S1)	Die Titel werden mit benutzerdefiniertem Klang wiedergegeben (☞ weitere Informationen auf Seite 32).
		Custom2 (S2)	Die Titel werden mit benutzerdefiniertem Klang wiedergegeben (☞ weitere Informationen auf Seite 32).
	Digital Sound Preset[2)]	Custom3 (S3)	Die Titel werden mit voreingestellten Höhen und Bässen wiedergegeben (☞ weitere Informationen auf Seite 33).
		Custom4 (S4)	Die Titel werden mit voreingestellten Höhen und Bässen wiedergegeben (☞ weitere Informationen auf Seite 33).
AVLS[3)] (Beschränkung der Lautstärke)	On		Beschränkung der maximalen Lautstärke, um Gehörschäden zu vermeiden.
	● Off		Die Lautstärke kann ohne Beschränkung des Lautstärkeniveaus geändert werden.
Signalton (Betriebston)	● On		Bei der Bedienung des Players ertönt ein Signal.
	Off		Der Signalton ist deaktiviert.
Audio Out (Externer Audioausgang)	● Kopfhörer		Wählen Sie diese Einstellung, wenn Sie die mitgelieferten Kopfhörer anschließen.
	Line Out		Wählen Sie diese Einstellung, wenn Sie andere Geräte, z.B. Lautsprecher, mit einem Audiokabel anschließen (☞ Seite 34).
Kontrast (Einstellung des Displays)	● Zweite Einstellung von rechts		Die Helligkeit des Displays liegt im mittleren Bereich. Wenn die Gehäusefarbe des Players schwarz ist, ist die Standardeinstellung die zweite von links.
	– bis +		Nehmen Sie die Einstellung in Richtung – vor, um die Helligkeit des Displays zu erhöhen, und in Richtung +, um sie zu verringern.

1)Die Einstellungen gelten nur für die Wiedergabe von ATRAC3plus-Audiotiteln. Bei Wiedergabe eines MP3-Audiotitels gelten die Einstellungen nicht.

2)Die Toneinstellungen werden im Display durch die Buchstaben in Klammern dargestellt (☞ Seite 7).

3)AVLS steht für Automatic Volume Limiter System.

Einstellungen	Funktionen (●: Standardeinstellungen)	
Hintergrund-beleuchtung (Hintergrund-beleuchtung im Display)	● Auto	Wenn Sie eine Taste drücken, leuchtet das Display für ca. 10 Sekunden auf, und es bleibt beim Durchblättern von Titeln usw. beleuchtet.
	10 Sekunden	Wenn Sie eine Taste drücken, leuchtet das Display für ca. 10 Sekunden auf. Die Beleuchtung schaltet sich nach ca. 10 Sekunden ab, auch wenn Sie Titel usw. durchblättern.
	30 Sekunden	Wenn Sie eine Taste drücken, leuchtet das Display für ca. 30 Sekunden auf. Die Beleuchtung schaltet sich nach ca. 30 Sekunden ab, auch wenn Sie Titel usw. durchblättern.
	Aus	Das Display wird ausgeschaltet, um Strom zu sparen.
Umgekehrte Anzeige (Umkehrung des Displays)	● Positiv	Zeichen und Symbole werden in Schwarz und der Hintergrund in Weiß angezeigt.
	Negativ	Zeichen und Symbole werden in Weiß und der Hintergrund in Schwarz angezeigt.
Sprache (Display-Sprache)	日本語	Die Meldungen und Menüs werden auf Japanisch angezeigt.
	● English	Die Meldungen und Menüs werden auf Englisch angezeigt.
	Français	Die Meldungen und Menüs werden auf Französisch angezeigt.
	Deutsch	Die Meldungen und Menüs werden auf Deutsch angezeigt.
	Italiano	Die Meldungen und Menüs werden auf Italienisch angezeigt.
	Español	Die Meldungen und Menüs werden auf Spanisch angezeigt.
	简体中文 *	Die Meldungen und Menüs werden auf Chinesisch (vereinfacht) angezeigt.
	繁體中文 *	Die Meldungen und Menüs werden auf Chinesisch (traditionell) angezeigt.
	한글 *	Die Meldungen und Menüs werden auf Koreanisch angezeigt.

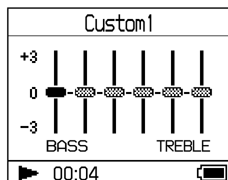
* Diese Sprachen werden je nachdem, in welchem Land Sie den Player verwenden, nicht angezeigt.

Fortsetzung ⟶

Anpassen der Tonqualität (Sound EQ - Custom)

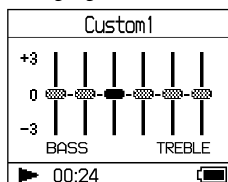
Sie können die Tonqualität für jeden Frequenzbereich individuell anpassen, indem Sie die Einstellungen auf dem Display prüfen.

1 Nachdem Sie in Schritt 2 unter „Ändern der Tonqualität und der Klangeinstellungen“ (☞ Seite 29) die Option „Ton“ ausgewählt haben, wählen Sie unter „Sound EQ“ die Option „Custom 1“ oder „Custom 2“ aus.



2 Drücken Sie ⏮ oder ⏭, um einen Frequenzbereich auszuwählen.

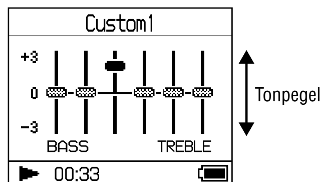
Es stehen sechs Frequenzbereiche zur Verfügung.



Frequenzbereich

3 Drücken Sie ↑ oder ↓, um einen Tonpegel auszuwählen.

Der Tonpegel kann in sieben Schritten eingestellt werden.



4 Wiederholen Sie die Schritte 2 und 3, um die verbleibenden Frequenzbereiche einzustellen.

5 Drücken Sie ►■.

Das Display MENÜ wird angezeigt.

So brechen Sie die Einstellung ab

Drücken Sie MENU, um zum Display MENÜ zurückzukehren.
Drücken und halten Sie MODE, oder drücken Sie im Display MENÜ auf MENU, um in das vor Schritt **1** angezeigte Menü zurückzukehren.

So kehren Sie zum Display zur Auswahl eines MODUS zurück

Drücken Sie MODE.

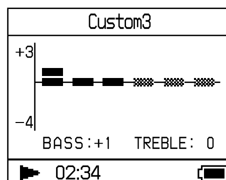
Hinweise

- Wenn der Klang beim Erhöhen der Lautstärke aufgrund Ihrer Einstellungen verzerrt wird, verringern Sie die Lautstärke.
- Wenn Sie Unterschiede im Klangvolumen zwischen der Einstellung „Custom 1“ oder „Custom 2“ sowie anderen Klangeinstellungen bemerken, passen Sie die Lautstärke entsprechend an.

Einstellen der Höhen und Bässe (Digital Sound Preset)

Sie können die Höhen und Bässe nach Wunsch einstellen. Prüfen Sie das Display, und passen Sie gegebenenfalls die Einstellungen an.

1 Nachdem Sie in Schritt 2 unter „Ändern der Tonqualität und der Klangeinstellungen“ (☞ Seite 29) die Option „Ton“ ausgewählt haben, wählen Sie unter „Digital Sound Preset“ die Option „Custom3“ oder „Custom4“ aus.

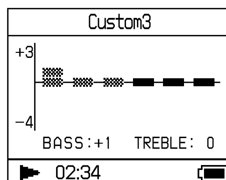


Standardeinstellungen

Ton-qualität	Custom3 (S3)	Custom4 (S4)	AUS (NORMAL SOUND)
Bass	+1	+3	±0
Treble	±0	±0	±0

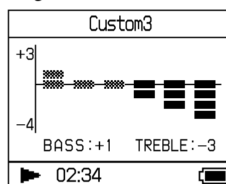
2 Drücken Sie ⏮ oder ⏭, um „Treble“ oder „Bass“ auszuwählen.

Sie können die Tonqualität der Höhen und Bässe anpassen.



3 Drücken Sie ↑ oder ↓, um einen Tonpegel auszuwählen.

Der Tonpegel kann in acht Schritten eingestellt werden.



Tonqualität	Höhen-/Bass-Pegel
Bass	-4 bis +3
Treble	-4 bis +3

4 Drücken Sie ►■.

Das Display MENÜ wird angezeigt.

So brechen Sie die Einstellung ab

Drücken Sie MENU, um zum Display MENÜ zurückzukehren. Drücken und halten Sie MODE, oder drücken Sie im Display MENÜ auf MENU, um in das vor Schritt **1** angezeigte Menü zurückzukehren.

So kehren Sie zum Display zur Auswahl eines MODUS zurück

Drücken Sie MODE.

Hinweise

- Die Höhen- und Bass-Tonpegel werden links und rechts auf den Diagrammen für „Custom3“ und „Custom4“ angezeigt. Sie können die mittleren Pegel nicht einstellen, weil diese mit den Höhen- und Basspegeln verknüpft sind und automatisch geändert werden.
- Wenn der Klang beim Erhöhen der Lautstärke aufgrund Ihrer Einstellungen verzerrt wird, verringern Sie die Lautstärke.
- Wenn Sie Unterschiede im Klangvolumen zwischen der Einstellung „Custom3“ oder „Custom4“ sowie anderen Klangeinstellungen bemerken, passen Sie die Lautstärke entsprechend an.

Rückübertragen von Audiodaten auf Ihren Computer

Audiodaten können wieder zurück auf Ihren Computer in die Liste „Eigene Bibliothek“ von SonicStage übertragen werden.



1 **Schließen Sie den Player an Ihren Computer an (siehe Schritte 1 und 2 unter „Übertragen von Audiodaten auf den Player“, ☞ Seite 14).**

2 **Klicken Sie auf der rechten Seite des SonicStage-Fensters auf „Übertragen“.**

Die Ansicht wechselt zum Übertragungsbildschirm.

3 **Wählen Sie „ATRAC Audio Device“ aus der Liste der Übertragungsziele auf der rechten Seite des SonicStage-Fensters.**

4 **Klicken Sie in der Liste auf der rechten Seite des SonicStage-Fensters auf die Titel, die Sie in die Eigene Bibliothek übertragen möchten.**

Wenn Sie mehr als einen Titel übertragen möchten, halten Sie die „Strg“-Taste gedrückt, während Sie die Titel auswählen. Klicken Sie auf das Album, um das gesamte Album zu übertagen.

5 **Klicken Sie im SonicStage-Fenster auf .**

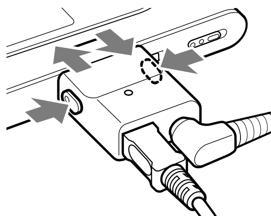
Die Übertragung der in Schritt **4** ausgewählten Titel beginnt.
Sie können den Übertragungsstatus im SonicStage-Fenster prüfen.

So beenden Sie die Übertragung

Klicken Sie im SonicStage-Fenster auf .

So lösen Sie den USB-Adapter vom Player

Drücken Sie den USB-Adapter in den Anschluss, während Sie die grauen Tasten an beiden Seiten des USB-Adapters gedrückt halten, und ziehen Sie ihn dann heraus.

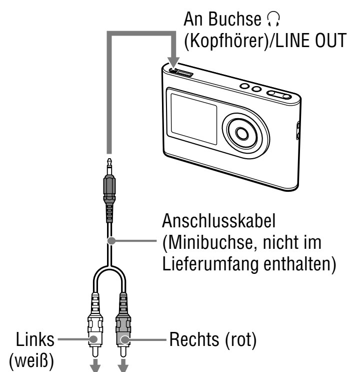


Hinweise

- Titel, die von einem anderen Computer auf den Player übertragen wurden, können nicht in die Eigene Bibliothek auf Ihrem Computer übertragen werden.
- Entfernen Sie nicht das USB-Kabel oder den USB-Adapter, während die Daten übertragen werden. Andernfalls werden die zu übertragenden Daten möglicherweise zerstört.

Anschließen anderer Geräte

Sie können Titel über ein Stereosystem wiedergeben und Titel im Player auf eine MiniDisc oder eine Kassette aufnehmen. Weitere Informationen finden Sie in der Bedienungsanleitung des anzuschließenden Geräts.
Schalten Sie unbedingt alle Geräte aus, bevor Sie diese miteinander verbinden und die nachstehenden Einstellungen ändern.



MiniDisc-Recorder, AV-Verstärker, Aktivlautsprecher, Kassettenrecorder usw.

Sie müssen die Einstellungen für „Audio Out“ im Display MENÜ ändern, um Ton über das angeschlossene Gerät ausgeben zu können. In der folgenden Tabelle finden Sie die Einstellungen für „Audio Out“. Wie Sie diese Einstellungen vornehmen, erfahren Sie auf ☞ Seite 29.

Angeschlossenes Gerät	Einstellung
Kopfhörer	Kopfhörer
Mit Anschlusskabel angeschlossenes Gerät	Line Out

Wenn Sie ein anderes Gerät anschließen, stellen Sie „Line Out“ ein. Wenn „Line Out“ eingestellt ist, kann die Lautstärke nicht eingestellt werden, und die Einstellungen unter „Ton“ sind nicht verfügbar.

Hinweise

- Wenn die mitgelieferten Kopfhörer an den Player angeschlossen werden, stellen Sie „Audio Out“ nicht auf „Line Out“ ein. Wenn „Line Out“ eingestellt ist, kann die Lautstärke nicht eingestellt werden, und verzerrte Töne oder Rauschen sind zu hören.
- Verringern Sie vor der Wiedergabe die Lautstärke des angeschlossenen Geräts, um eine Beschädigung der angeschlossenen Lautsprecher zu vermeiden.

Speichern von anderen Daten (ausgenommen Audiodateien)

Sie können unter Verwendung des Windows Explorer Daten von der Festplatte eines Computers auf die integrierte Festplatte dieses Players übertragen.
Die integrierte Festplatte des Players wird im Windows Explorer als ein externes Laufwerk (Wechseldatenträger) angezeigt.

Hinweise

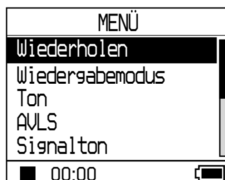
- Verwenden Sie SonicStage nicht, während die Festplatte des Players unter Verwendung des Windows Explorer in Betrieb ist.
- Wenn WAV- und MP3-Dateien über den Explorer an den Player übertragen werden, können sie nicht wiedergegeben werden. Übertragen Sie diese Dateien mit Hilfe von SonicStage.
- Während der Datenübertragung darf das USB-Kabel nicht herausgezogen werden. Die Daten, die gerade übertragen werden, werden sonst möglicherweise beschädigt.
- Initialisieren Sie die Festplatte des Players nicht auf dem Computer.

Zurücksetzen auf Standardeinstellung

Setzen Sie alle Einstellungen im Display MENÜ auf die Standardeinstellungen zurück.

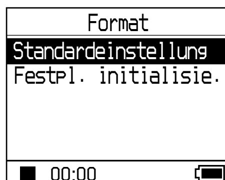
1 **Drücken Sie MENU, während sich der Player im Stopp-Modus befindet.**

Das Display MENÜ wird angezeigt.



2 **Drücken Sie ↑ oder ↓, um „Format“ auszuwählen, und drücken Sie anschließend ►■.**

Das Display „Format“ wird angezeigt.



3 **Drücken Sie ►■, um „Standardeinstellung“ auszuwählen.**

Das Display „Standardeinstellung“ wird angezeigt.



4 **Drücken Sie ⏮, um „Ja“ auszuwählen, und drücken Sie anschließend ►■.**

Die Meldung wird angezeigt, und anschließend wird das Display „Format“ angezeigt.

So brechen Sie die Einstellung ab

Wählen Sie in Schritt **4** „Nein“ aus, und drücken Sie anschließend ►■. Das Display „Format“ wird angezeigt.
Drücken Sie MENU, um zum Display MENÜ zurückzukehren.
Drücken und halten Sie MODE, oder drücken Sie im Display MENÜ auf MENU, um in das vor Schritt **1** angezeigte Menü zurückzukehren.

So kehren Sie zum Display zur Auswahl eines MODUS zurück

Drücken Sie MODE.

Hinweis

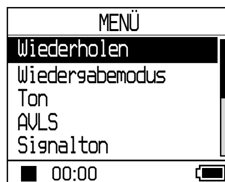
Sie können während der Wiedergabe nicht zu den Standardeinstellungen zurückkehren.

Initialisieren der Festplatte

Sie können die integrierte Festplatte des Players initialisieren. Wenn die Festplatte initialisiert wird, werden alle Audiodaten sowie alle anderen gespeicherten Daten gelöscht. Achten Sie darauf, dass Sie die auf der Festplatte gespeicherten Daten vor der Initialisierung überprüfen.
Wenn Titel während der Initialisierung gelöscht werden, erkennt SonicStage diese als Titel, die an den Computer zurück übertragen werden, wenn der Player an Ihren Computer angeschlossen wird. Deshalb erhöht sich die Anzahl der verbleibenden Übertragungen automatisch.

1 **Drücken Sie MENU, während sich der Player im Stopp-Modus befindet.**

Das Display MENÜ wird angezeigt.



2 **Drücken Sie ↑ oder ↓, um „Format“ auszuwählen, und drücken Sie anschließend ►■.**

Das Display „Format“ wird angezeigt.

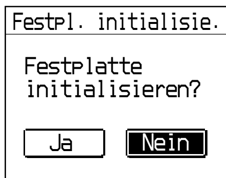


Fortsetzung

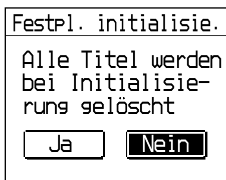
Weitere Bedienfunktionen

3 Drücken Sie ↓, um „Festpl. initialisie.“ auszuwählen, und drücken Sie anschießend ►■.

Das Display „Festpl. initialisie.“ wird angezeigt.



4 Drücken Sie ⏮, um „Ja“ auszuwählen, und drücken Sie anschließend ►■.



5 Drücken Sie ⏮, um „Ja“ auszuwählen, und drücken Sie anschließend ►■.

Die Meldung wird angezeigt, und anschließend wird das Display „Format“ angezeigt.

So brechen Sie die Einstellung ab

Wählen Sie in Schritt **5** „Nein“ aus, und drücken Sie anschließend ►■. Das Display „Format“ wird angezeigt.
Drücken Sie MENU, um zum Display MENÜ zurückzukehren.
Drücken und halten Sie MODE, oder drücken Sie im Display MENÜ auf MENU, um in das vor Schritt **1** angezeigte Menü zurückzukehren.

So kehren Sie zum Display zur Auswahl eines MODUS zurück

Drücken Sie MODE.

Hinweise

- Initialisieren Sie die Festplatte des Players nicht auf dem Computer.
- Sie können während der Wiedergabe die Festplatte nicht formatieren.
- Bei der Initialisierung des Players werden alle Audiodaten sowie alle anderen gespeicherten Daten gelöscht.

Hinweise zum Entsorgen des Geräts

Dieser Player verfügt über einen eingebauten Lithium-Ion-Akku. Achten Sie daher bei der Entsorgung des Players auf eine ordnungsgemäße Entsorgung.

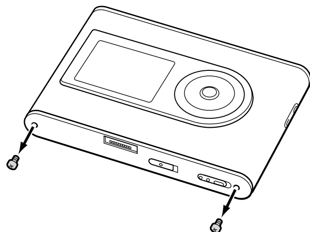
In bestimmten Ländern können gesetzliche Vorschriften für die Entsorgung der für dieses Produkt verwendeten Batterien/Akkus gelten. Nähere Informationen erhalten Sie beispielsweise bei der Stadtverwaltung.

Hinweise

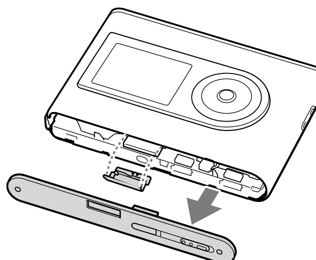
- Nehmen Sie den Player nicht auseinander, sofern Sie ihn nicht entsorgen möchten.
- Gehen Sie vorsichtig mit den Metallteilen im Inneren des Players um, besonders am Rand.

So entfernen Sie den eingebauten Akku

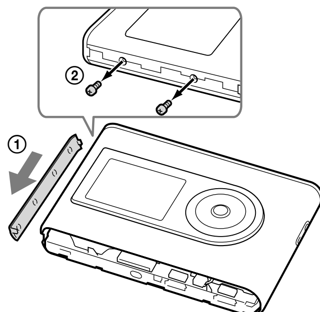
1. Stellen Sie den Schalter BUILT-IN BATTERY an der Unterseite des Players auf OFF.
2. Entfernen Sie die Schrauben an der Unterseite.



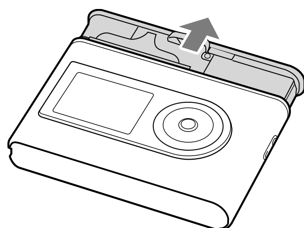
3. Nehmen Sie die Platte an der Unterseite (①) und die USB-Klammer (②) ab. Verwenden Sie gegebenenfalls eine Pinzette o. Ä.



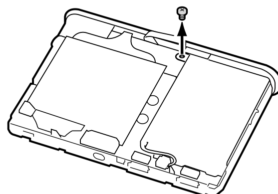
4. Schieben Sie das Seitenteil (①) heraus, und entfernen Sie die zwei Schrauben (②) an der Seite des Players.



5. Drücken Sie das Unterteil mit dem Finger in den Player, und ziehen Sie das Innere des Players in der angegebenen Pfeilrichtung heraus.

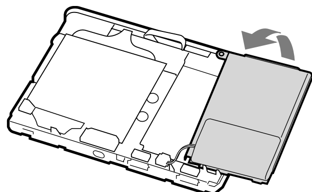


6. Entfernen Sie die Schraube an der Seite des Akkus.

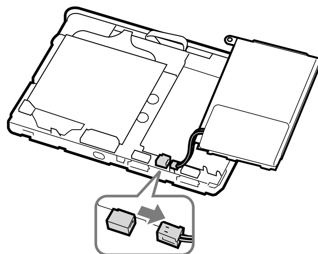


Fortsetzung

7 Nehmen Sie den integrierten Akku heraus.



8 Ziehen Sie am Anschlusskabel des Akkus, um den Stecker vom Player zu lösen.



Fehlerbehebung

Sollten bei Ihrem Player Probleme auftreten, versuchen Sie sie anhand der folgenden Lösungsvorschläge zu beseitigen.

1 Stellen Sie den Schalter BUILT-IN BATTERY auf OFF und anschließend wieder auf ON. Die Daten gehen nicht verloren, wenn Sie den Schalter auf OFF stellen.
2 Suchen Sie unter „Fehlerbehebung" nach den aufgetretenen Symptomen.
3 Falls das Problem weiterhin besteht, wenden Sie sich an Ihren nächstgelegenen Sony-Fachhändler.

Stromversorgung

Symptom	Ursache und/oder Fehlerbehebung
Die CHG-Ladelampe leuchtet nicht.	→ Die Anschlüsse des USB-Adapters sind verschmutzt. Reinigen Sie die Anschlüsse mit einem weichen, trockenen Tuch. → Der Player ist nicht an den USB-Adapter angeschlossen. Stecken Sie den USB-Adapter fest in den Anschluss, bis er einrastet (☞ Seite 8).
Die CHG-Ladelampe blinkt.	→ Die Temperatur liegt nicht im angegebenen Bereich. Laden Sie den Akku bei einer Temperatur von 5 bis 35 °C.
Die Betriebsdauer des Akkus ist zu kurz.	→ Die Betriebstemperatur liegt unter 5 °C. Dies liegt an der Beschaffenheit des Akkus, es handelt sich nicht um eine Fehlfunktion. → Sie haben den Player längere Zeit nicht verwendet. Die Leistungsfähigkeit des Akkus wird erhöht, wenn dieser wiederholt geladen und entladen wird. → Der Akku muss ersetzt werden. Wenden Sie sich an Ihren nächstgelegenen Sony-Fachhändler. → Die Akkuladezeit reicht nicht aus. Der Player benötigt vor Beginn eines Schnellladevorgangs 15 Minuten zum Prüfen des Akku-Ladezustands. Laden Sie den Akku vollständig auf (bis die CHG-Ladelampe erlischt).

Fortsetzung ⟶

Ton

Symptom	Ursache und/oder Fehlerbehebung
Es werden keine Tonsignale ausgegeben. Tonstörungen treten auf.	→ Die Lautstärke ist auf Null eingestellt. Erhöhen Sie die Lautstärke (☞ Seite 18). → Der Kopfhörerstecker ist nicht richtig angeschlossen. Schließen Sie ihn fest an die Buchse 🎧 (Kopfhörer)/LINE OUT an (☞ Seite 18). → Der Kopfhörerstecker ist verschmutzt. Reinigen Sie den Kopfhörerstecker mit einem sauberen, trockenen Tuch. → Auf der Festplatte sind keine Audiodaten gespeichert.
Die Lautstärke kann nicht erhöht werden.	→ „AVLS" ist auf „Ein" eingestellt. Stellen Sie „Aus" ein (☞ Seite 30).
Auf dem rechten Kanal der Kopfhörer werden keine Tonsignale empfangen.	→ Der Kopfhörerstecker ist nicht richtig angeschlossen. Schließen Sie ihn fest an die Buchse 🎧 (Kopfhörer)/LINE OUT an (☞ Seite 18).
Die Lautstärke kann nicht eingestellt werden.	→ „Audio Out" ist auf „Line Out" eingestellt. Stellen Sie die Lautstärke über den Lautstärkeregler des angeschlossenen Geräts ein, oder ändern Sie die Einstellung „Audio Out" in „Kopfhörer" (☞ Seite 30).
Wenn eine Stereoanlage an den Player angeschlossen wurde, sind verzerrte Töne oder Rauschen zu hören.	→ „Audio Out" ist auf „Kopfhörer" eingestellt. Stellen Sie „Line Out" ein (☞ Seite 30).
Bei der Wiedergabe eines MP3-Audiotitels ändert sich der Ton selbst dann nicht, wenn „V-SUR" und „SOUND EQ" unter „Ton" eingestellt wurden.	→ Lediglich die Einstellungen unter „Digital Sound Preset" gelten bei der Wiedergabe eines MP3-Audiotitels (☞ Seite 30).

Betrieb/Wiedergabe

Symptom	Ursache und/oder Fehlerbehebung
Die Tasten funktionieren nicht.	→ Die Tasten sind gesperrt. Schieben Sie den Schalter HOLD zurück (☞ Seite 19). → Im Gerät hat sich Feuchtigkeit gebildet. Lassen Sie den Player einige Stunden liegen, bis die Feuchtigkeit verdunstet ist. → Die Restladung des Akkus ist unzureichend. Laden Sie den Akku (☞ Seite 8). → Wenn der Player an den eingeschalteten Computer angeschlossen ist und ein USB-Adapter an den Player angeschlossen wird, werden die Tastenfunktionen deaktiviert. Lösen Sie den USB-Adapter vom Player (☞ Seite 9).
Die Wiedergabe wird plötzlich unterbrochen.	→ Die Restladung des Akkus ist unzureichend. Laden Sie den Akku (☞ Seite 8). → Wenn Sie versuchen, einen MP3-Audiotitel auf diesem Player wiederzugeben, der nicht wiedergegeben werden kann, wird die Wiedergabe gestoppt. Drücken Sie ▶▶I, um andere Titel auszuwählen (☞ Seite 19).
Die Hintergrundbeleuchtung wird nicht eingeschaltet.	→ „Hintergrundbeleucht." ist auf „Aus" eingestellt. Stellen Sie „Auto", „10 Sek" oder „30 Sek" ein (☞ Seite 31).
Statt eines Titels wird das Zeichen „□" angezeigt.	→ Der Titel enthält Zeichen, die der Player nicht anzeigen kann. Benennen Sie den Titel mit Hilfe der Software SonicStage und unter Verwendung der entsprechenden Zeichen um.

Das Display wird ausgeschaltet.	→ Das Display wird nach ca. 30 Sekunden Leerlaufzeit (bei Verwendung des Akkus) bzw. nach ca. 3 Minuten (bei Verwendung des Netzteils) im Stopp-Modus automatisch ausgeschaltet. Beim Durchblättern von Titeln schaltet sich das Display nach ca. 30 Sekunden bzw. nach ca. 3 Minuten nach Beendigung des Durchblätterns ab. Darüber hinaus können Sie das Display ausschalten, indem Sie auf MENU drücken und die Taste gedrückt halten. Das Display kann in allen Fällen durch Drücken einer beliebigen Taste wieder eingeschaltet werden.

Anschluss an den Computer/SonicStage

Symptom	Ursache und/oder Fehlerbehebung
Die Software SonicStage kann nicht installiert werden.	→ Das verwendete Betriebssystem ist nicht mit der Software kompatibel (☞ Seite 10). → Es sind nicht alle Windows-Anwendungen geschlossen. Wenn Sie mit der Installation beginnen, während noch andere Programme ausgeführt werden, kann dies zu Systemstörungen führen. Dies gilt insbesondere für Programme, die ein hohes Maß an Systemressourcen belegen, z.B. Virenschutzsoftware. → Die Festplatte Ihres Computers verfügt nicht über genügend Speicherplatz. Sie benötigen mindestens 200 MB freien Speicherplatz. Löschen Sie unnötige Dateien vom Computer.
Die Installation wurde scheinbar angehalten, bevor sie vollständig abgeschlossen wurde.	→ Prüfen Sie, ob eine Fehlermeldung im Installationsfenster angezeigt wird. Drücken Sie die Taste „Tab“, während Sie die Taste „Alt“ gedrückt halten. Wenn eine Fehlermeldung angezeigt wurde, drücken Sie „Enter“. Die Installation wird fortgesetzt. Wurde keine Meldung angezeigt, ist der Installationsvorgang noch aktiv. Warten Sie noch einen Augenblick.
Die Statusanzeige im Display des Computers stagniert. Die Aktivitätsanzeige des Computers leuchtet seit einigen Minuten nicht mehr auf.	→ Der Installationsvorgang verläuft normal. Warten Sie. Die Installation dauert je nach CD-Laufwerk oder Systemumgebung 30 Minuten oder länger.
Wenn Sie ein USB-Kabel an den Computer anschließen, wird „PC-Anschluss“ nicht angezeigt.	→ Warten Sie, bis die Authentifizierung der Software SonicStage abgeschlossen ist. → Eine andere Anwendung wird auf dem Computer ausgeführt. Warten Sie einen Moment, und schließen Sie dann das USB-Kabel erneut an. Wenn das Problem weiterhin besteht, trennen Sie das USB-Kabel, starten Sie den Computer neu, und schließen Sie das USB-Kabel erneut an. → Das USB-Kabel ist nicht ordnungsgemäß angeschlossen. Entfernen Sie das USB-Kabel, und schließen Sie es wieder an. → Es wird ein USB-Hub verwendet. Bei einem Anschluss über einen USB-Hub kann der ordnungsgemäße Betrieb nicht gewährleistet werden. Schließen Sie das USB-Kabel direkt an den Computer an.

Fortsetzung ⟶

Symptom	Ursache und/oder Fehlerbehebung
Beim Anschluss an den Computer wird der Player nicht vom Computer erkannt.	→ Der USB-Adapter wurde nicht ordnungsgemäß an den Player angeschlossen. Stecken Sie den USB-Adapter fest in den Anschluss, bis er einrastet (☞ Seite 8). → Das USB-Kabel ist nicht ordnungsgemäß angeschlossen. Entfernen Sie das USB-Kabel, und schließen Sie es wieder an. → Es wird ein USB-Hub verwendet. Bei einem Anschluss über einen USB-Hub kann der ordnungsgemäße Betrieb nicht gewährleistet werden. Schließen Sie das USB-Kabel direkt an den Computer an. → Der Treiber für den Player wurde nicht installiert. Installieren Sie die Software SonicStage für den Player unter Verwendung der mitgelieferten CD-ROM (☞ Seite 11) neu, um gleichzeitig den Treiber zu installieren. → Die Installation der Software SonicStage ist fehlgeschlagen. Trennen Sie den Player von Ihrem Computer, und installieren Sie die Software unter Verwendung der mitgelieferten CD-ROM (☞ Seite 11) neu. → Schieben Sie den Schalter BUILT-IN BATTERY auf ON.
Es können keine Audiodaten vom Computer auf den Player übertragen werden.	→ Das USB-Kabel ist nicht ordnungsgemäß angeschlossen. Entfernen Sie das USB-Kabel, und schließen Sie es wieder an. → Der Titel wurde bereits dreimal an den Player übertragen. Übertragen Sie den Titel zurück an den Computer, um die Anzahl der verbleibenden Übertragungen zu erhöhen (☞ Seite 33), und übertragen Sie den Titel anschließend erneut an den Player. → Der freie Speicherplatz auf der Festplatte des Players reicht nicht aus. Übertragen Sie alle unnötigen Titel wieder auf den Computer, um den freien Speicherplatz zu erhöhen (☞ Seite 33). → Sie haben bereits mehr als 65.535 Titel oder über 4.096 Gruppen an die Festplatte des Players übertragen. Oder Sie haben bereits mehr als 999 Titel für eine Gruppe übertragen. → Titel mit beschränkter Wiedergabedauer oder beschränkter Anzahl der möglichen Wiedergabevorgänge können möglicherweise aufgrund von urheberrechtlichen Beschränkungen nicht übertragen werden. Weitere Informationen zu den Einstellungen einzelner Audiodateien erhalten Sie sich bei dem entsprechenden Händler.
Die Anzahl der Titel, die an den Player übertragen werden können, ist zu niedrig. (Die verfügbare Aufnahmedauer ist zu kurz.)	→ Der freie Speicherplatz auf der Festplatte des Players reicht nicht für die Größe der Audiodaten aus, die Sie übertragen möchten. Übertragen Sie alle unnötigen Titel zurück, um den freien Speicherplatz zu erhöhen (☞ Seite 33). → Auf der Festplatte des Players sind neben Audiodaten auch andere Daten gespeichert. Verschieben Sie diese anderen Daten auf den Computer, um den freien Speicherplatz zu erhöhen.
Es können keine Audiodaten vom Player zurück an den Computer übertragen werden.	→ Der Computer, der als Übertragungsziel ausgewählt wurde ist nicht mit dem für die Übertragung zum Player verwendeten Computer identisch. Audiodaten können nur an den Computer zurück übertragen werden, der für die Übertragung an den Player verwendet wurde. → Die Audiodaten wurden von dem Computer, den Sie für die Übertragung an den Player verwendet haben, gelöscht. Die Audiodaten können nicht an den Computer zurück übertragen werden, wenn der Titel von dem für die Übertragung an den Player verwendeten Computer gelöscht wurde.

Symptom	Ursache und/oder Fehlerbehebung
Audiodaten werden an den Computer zurück übertragen, und die Anzahl der verbleibenden Übertragungen erhöht sich bei angeschlossenem Player gelegentlich, auch wenn keine Vorgänge durchgeführt werden.	→ Wenn für das Löschen eines Titel vom Player die Software SonicStage verwendet wird, die auf einem anderen Computer installiert ist als dem, der für die Übertragung zum Player verwendet wurde, wird der Titel beim Anschluss des Players an den Computer, den Sie für die Übertragung an den Player verwendet haben, automatisch zurück übertragen. Deshalb erhöht sich die Anzahl der verbleibenden Übertragungen automatisch.
Die Funktion des Players ist während des Anschlusses an den Computer nicht stabil.	→ Es wird ein USB-Hub oder USB-Verlängerungskabel verwendet. Bei einem Anschluss über einen USB-Hub oder ein USB-Verlängerungskabel kann der ordnungsgemäße Betrieb nicht gewährleistet werden. Schließen Sie das USB-Kabel direkt an den Computer an.
Auf dem Computerbildschirm wird ein Fehler bei der Authentifizierung des Geräts/von Medien angezeigt, wenn der Player an den Computer angeschlossen wird.	→ Der Player ist nicht ordnungsgemäß an den Computer angeschlossen. Beenden Sie die Software SonicStage, und überprüfen Sie die USB-Kabel-Verbindung. Starten Sie die Software SonicStage neu.

Andere

Symptom	Ursache und/oder Fehlerbehebung
Beim Betrieb des Players wird kein Signalton ausgegeben.	→ „Signalton“ ist auf „Aus“ eingestellt. Stellen Sie „Ein“ ein (☞ Seite 30).
Der Player oder der USB-Adapter wird warm.	→ Der Player und der USB-Adapter können beim Laden des Akkus sowie aufgrund des Schnellladens kurz nach dem Ladevorgang warm werden. Darüber hinaus können Player und USB-Adapter warm werden, wenn sehr viele Titel übertragen werden. Lassen Sie den Player einige Stunden liegen.
Im Inneren des Players ist ein Geräusch zu hören. Der Player vibriert.	→ Wenn sich die integrierte Festplatte des Players bewegt, ist unter Umständen ein Betriebsgeräusch zu hören, und der Player vibriert. Hierbei handelt es sich nicht um eine Fehlfunktion.

Fehlermeldungen

Befolgen Sie bei Anzeige einer Fehlermeldung im Display die unten stehenden Anweisungen.

Meldung	Bedeutung	Fehlerbehebung
AVLS LAUTST. LIMIT	Die Lautstärke überschreitet die maximale Lautstärke des AVLS.	→ Stellen Sie „AVLS“ auf „Aus“ (☞ Seite 30).
LESEZEICHEN VOLL	Die maximale Anzahl der Lesezeichen wurde überschritten.	→ Entfernen Sie unnötige Lesezeichen (☞ Seite 24).
VORGANG UNMÖGLICH STOPP	Während der Wiedergabe wurde im Display MENÜ die Option „Format“ ausgewählt.	→ Halten Sie die Wiedergabe an, und wählen Sie erneut „Format“ aus.
VORGANG IM STOPP-MODUS UNMÖGLICH	Sie haben versucht, ein Lesezeichen hinzuzufügen, während sich der Player im Stopp-Modus befand.	→ Fügen Sie das Lesezeichen während der Wiedergabe hinzu (☞ Seite 24).
WIEDERGABE UNMÖGLICH PC-ANSCHLUSS	Die Uhr des Players funktioniert nicht.	→ Schließen Sie ihn an den Computer an (☞ Seite 14).
WIEDERGABE UNMÖGLICH MEDIENFEHLER	Die Audiodaten sind beschädigt.	→ Übertragen Sie die Audiodaten erneut an den Player (☞ Seite 14).
WIEDERG. AUF DIES. GERAET UNMÖGLICH	• Die Wiedergabe dieses Titels auf dem Player ist unzulässig. • Es werden Titel mit beschränkter Anzahl der möglichen Wiedergabevorgänge abgespielt.	→ Sie können keine Titel auf dem Player abspielen, deren Wiedergabe auf dem Player unzulässig ist.
WIEDERGABE UNMÖGLICH	Sie haben versucht, einen Titel vor oder nach dessen beschränkter Wiedergabedauer abzuspielen.	→ Titel mit beschränkter Wiedergabedauer können nur innerhalb der entsprechenden Wiedergabedauer abgespielt werden.
LADEN BEI 5°C-35°C	Sie laden den Player außerhalb des Temperaturbereichs von 5 bis 35 °C.	→ Führen Sie den Ladevorgang bei einer Temperatur von 5 bis 35 °C durch.
NETZTEIL ANSCHLIESSEN	• Der Player ist an den Computer angeschlossen, aber das Netzteil ist nicht an die Buchse DC IN des USB-Adapters angeschlossen. • Das Netzteil nicht an den USB-Adapter angeschlossen, aber der Player ist an den Computer angeschlossen.	→ Schließen Sie das Netzteil an den USB-Adapter an (☞ Seite 14).
FESTPLATTE BESCHREIBBAR BEI 5°C-35°C	Sie übertragen die Audiodaten außerhalb des Temperaturbereichs von 5 bis 35 °C.	→ Führen Sie den Vorgang bei einer Temperatur von 5 bis 35 °C durch.

Meldung	Bedeutung	Fehlerbehebung
FESTPLATTE N. KORREKT INITIALIS.	• Die Festplatte des Players wurde nicht korrekt initialisiert. • Die Festplatte des Players wurde auf dem Computer initialisiert. • Die Festplatte des Players wurde nicht initialisiert, weil sie geändert wurde.	→ Initialisieren Sie die Festplatte des Players erneut (☞ Seite 36).
HOLD	Der Schalter HOLD ist auf ON gestellt.	→ Heben Sie die Sperre der Regler auf, indem Sie den Schalter HOLD entgegen der Pfeilrichtung verschieben (☞ Seite 19).
LINE OUT AUSGEWÄHLT VORGANG UNM.	Sie haben versucht, die Lautstärke oder die Einstellungen unter „Ton“ zu ändern, während „Audio Out“ auf „Line Out“ gestellt war.	→ Stellen Sie „Audio Out“ auf „Kopfhörer“ (☞ Seite 30).
BATTERIE SCHWACH	Der Akku ist leer.	→ Laden Sie den Akku (☞ Seite 8).
MAX.GRUPPEN-ANZAHL ÜBER-SCHRITTEN	Die maximale Anzahl der Gruppen (Alben, Interpreten usw.) wird überschritten (8.192).	→ Die Gesamtanzahl der Elemente in der Listenanzeige (mit Ausnahme der Titelliste) überschreitet 8.192. Überprüfen Sie den MODUS, und übertragen Sie unnötige Titel zurück auf Ihren Computer (☞ Seite 33).
KONFLIKT IN SYSTEM-DATEIEN	In den Systemdateien ist ein Konflikt aufgetreten.	→ Initialisieren Sie die Festplatte des Players (☞ Seite 36), und übertragen Sie die Audiodaten erneut an den Player (☞ Seite 14).
KEINE DATENBANK GEFUNDEN	Nachdem der Player vom Computer getrennt wurde, befinden sich keine Titel auf dem Player, oder es sind nicht genügend MODUS-Informationen vorhanden.	→ Übertragen Sie Audiodaten an den Player (☞ Seite 14).
KEIN TITEL	In der Titelliste befinden sich keine Titel.	→ Wechseln Sie zu einer Titelliste, die Titel enthält. → Übertragen Sie Audiodaten an den Player (☞ Seite 14).
SYSTEMFEHLER <Nr. ***> (Die Fehler-nummer wird in Klammern angezeigt.)	Es liegt ein Systemfehler vor.	→ Schreiben Sie die Nummer auf, und wenden Sie sich an den nächsten Sony-Händler.

Technische Daten

Maximal aufnehmbare Anzahl von Titeln (ca.)*

ATRAC3	ATRAC3plus	MP3
5 000 (132 Kbit/s)	2 500 (256 Kbit/s)	5 000 (128 Kbit/s)
6 000 (105 Kbit/s)	10 000 (64 Kbit/s)	10 000 (64 Kbit/s)
10 000 (66 Kbit/s)	13 000 (48 Kbit/s)	

* Bei der Übertragung von 4-Minuten-Titeln

Abtastfrequenz
44,1 kHz (ATRAC3plus), 32/44,1/48 kHz (MP3)

Audiokomprimierungstechnologie
ATRAC3plus (Adaptive Transform Acoustic Coding 3plus), MPEG-1 Audio Layer-3 (MP3)

Frequenzgang
20 bis 20 000 Hz
(Einzelsignalmessung bei der Wiedergabe)

Ausgang
(Kopfhörer)/LINE OUT*:
Stereominibuchse/194 mV

* Diese Buchse wird sowohl für die Kopfhörer als auch für LINE OUT verwendet.

Betriebstemperatur
5 bis 35 °C

Stromquelle
DC IN 6 V (über eingebauten Akku)

Akku-Betriebsdauer (bei ununterbrochener Wiedergabe)
ATRAC3plus-Format (48 Kbit/s): Ca. 30 Stunden
MP3-Format (128 Kbit/s): Ca. 22 Stunden

Abmessungen
Vorstehende Teile nicht eingeschlossen:
90,0 × 62,1 × 14,8 mm (an der schmalsten Stelle 13,8 mm) (B/H/T)
Vorstehende Teile eingeschlossen:
90,8 × 63,4 × 15,7 mm (B/H/T)

Gewicht
Ca. 130 g

US-amerikanische Patente und Patente anderer Länder lizenziert von Dolby Laboratories.

Änderungen, die dem technischen Fortschritt dienen, bleiben vorbehalten.

Index

Symbole

A

B

C

D

E

F

http://www.sony.net/

Sony Corporation

SONY®

NW-HD3

使用说明书

CS

Network Walkman

Portable Hard Disk Audio Player



Atrac3plus

要转到想要阅读的部分，请单击 PDF 书签中的标题、使用说明书中的“目录”标题或句子中的页码。



警告

为防火灾或触电危险，切勿让机器暴露于雨中或潮湿处。

别把机器安装在诸如书橱或壁橱等密闭处。

为防止火灾，请勿让报纸、桌布、窗帘等盖住装置的通风孔。也不可把点燃的蜡烛放在装置上。

为防火灾或触电危险，不可在装置上摆饰花瓶等装满液体的物体。

安装说明
如果您在具有静电或电子噪声的地方使用装置，则可能损坏正在传输的曲目信息。这将使您不能在计算机上成功地传输授权。

目录

用户须知

附带的软件

- 版权法规定，未经版权所有者许可，不得完全或部分复制软件或随软件附带的手册，或者出租软件。
- 对于因使用本播放机附带软件而造成的财政损失或利润亏损，包括第三方的索赔，SONY 公司概不负责。
- 如果因为质量缺陷而导致软件出现问题，SONY 公司将予以更换。但是，SONY 公司不承担其它责任。
- 除明确指出的设备之外，本播放机附带的软件不能用于其它设备。
- 请注意，由于我们致力于不断提高产品质量，因此软件规格如有更改，恕不另行通知。
- 本保修不适用于使用附带软件以外的其它软件操作本播放机。
- 视文本和字符的类型而定，SonicStage 上显示的文本在设备上可能无法正确显示。这是因为：
  - 所连接播放机的能力。
  - 播放机没有正确工作。

- SonicStage 和 SonicStage 徽标是 Sony Corporation 的商标或注册商标。
- OpenMG、ATRAC3plus 及其徽标均为 Sony Corporation 的商标。
- Microsoft、Windows、Windows NT 和 Windows Media 是 Microsoft Corporation 在美国和（或）其它国家（地区）的商标或注册商标。
- IBM 和 PC/AT 是 International Business Machines Corporation 的注册商标。
- Macintosh 是 Apple Computer, Inc. 在美国和（或）其它国家（地区）的商标。
- Pentium 是 Intel Corporation 的商标或注册商标。
- Adobe 和 Adobe Reader 是 Adobe Systems Incorporated 在美国和（或）其它国家（地区）的商标。
- 美国及他国专利许可由 Dolby Laboratories 授予。
- 其它所有商标和注册商标均属各自所有者的商标或注册商标。
- 在本手册中，未指定 ™ 和 ® 标志。
- CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000-2003 Gracenote.
  Gracenote CDDB® Client Software, copyright 2000-2003 Gracenote.
  This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593 and other patents issued or pending.
  Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.

使用须知

安全性

- 请勿使任何外物堵住 USB 适配器的 DC IN 插孔。
- 切勿使可转换适配器的端子与其它金属物体短接。

安装

- 请勿在易受强光、高温、湿气或振动影响的地方使用播放机。
- 在使用 AC 电源转接器为播放机供电时，请勿使用任何物品将播放机包住。播放机中的热量积聚可能会导致播放机出现故障或损坏。

热量积聚

如果使用播放机的时间过长，在充电时热量就会积聚在播放机或 USB 适配器内部。

耳机

交通安全

请勿在驾驶、骑车或操作任何机动车辆时使用耳机。这样可能会发生交通事故，而且在许多地区，这属违法行为。另外，在行走，尤其是通过十字路口时，将音量调得过高也可能产生危险。在具有潜在危险的情况下，您应小心谨慎地使用或停止使用。

保护听力

避免以高音量使用耳机。听力专家建议不要连续、高音量、长时间地播放。如果您出现了耳鸣现象，请调低音量或停止使用。

顾及他人

将音量保持适中，以便您既可以听到外界的声音，又可以照顾到周围的人。

警告

如果使用播放机时出现闪电，请立即取下耳机。

清洁

- 请使用在水或柔性清洁剂中稍微浸湿的软布来清洁播放机外壳。
- 定期清洁耳机插头。

说明

- 而不要使用任何种类的磨石、擦洗粉或诸如酒精或苯之类的溶剂来清洁，因为它们可能会损伤外壳。
- 清洗连接部件时小心不要让水进入 USB 适配器或录制 USB 适配器。

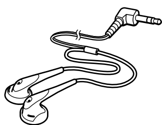
如果您有关于播放机的任何疑问或问题，请与最近的 Sony 经销商联系。

说明

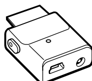
- 录制的音乐仅限于私人使用。超出此限制使用音乐需要获得版权所有人的许可。
- 对于因播放机或计算机问题导致数据的录制/下载不完整或数据的损坏，Sony 不承担责任。

检查附带的附件

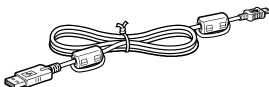
- 耳机（1）



- USB 适配器（1）
（用于连接随附的 USB 电缆和随附的 AC 电源转接器）



- 专用 USB 电缆（1）



- AC 电源转接器（1）（AC-ES608K）
- 便携包（1）
- CD-ROM（1）*
（SonicStage，操作说明书的 PDF 文件）
- 快速入门指南（1）

* 请不要在音频 CD 播放机上播放此 CD-ROM。

说明

使用本装置时，务必遵守下列使用须知，以防机壳变形或导致装置发生故障。

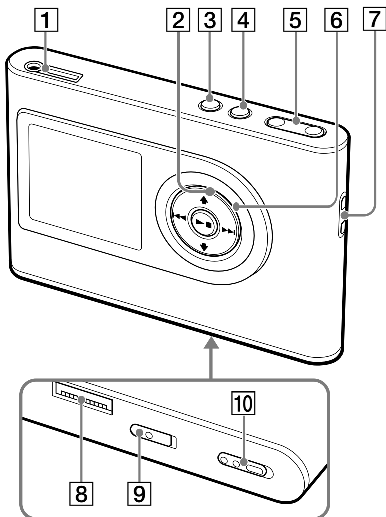
– 确保装置放在后面口袋的时候不要坐下去。



– 确保不要将遥控器或耳机线绕在机身上装到包里，以免播放机包受到强力挤压。

部件和控件指南

播放机



1 ☊（耳机）/LINE OUT 插孔（☞ 第 18 页）

2 ↑、↓、⏮、⏭ 按钮（☞ 第 20、21 页）

3 MENU 按钮（☞ 第 25、29 页）

4 MODE 按钮（☞ 第 21 页）

5 VOLUME +*/- 按钮（☞ 第 18 页）

6 ►■（播放/停止）按钮（☞ 第 18、20 页）

7 手带插孔**

8 USB 适配器接口（☞ 第 8、15 页）

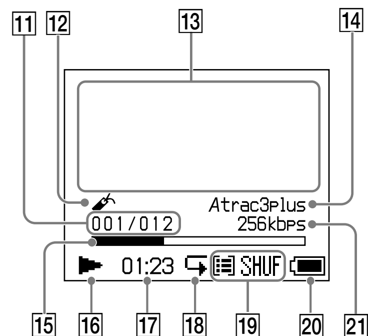
9 BUILT-IN BATTERY 开关（☞ 第 8 页）

10 HOLD 开关（☞ 第 19 页）

* 此功能具有一个触摸点。

** 您可以附接上您自己的手带。

播放机显示屏



11 曲目编号指示（☞ 第 20 页）

12 书签指示（☞ 第 24 页）

13 字符信息显示（☞ 第 20 页）

14 Atrac3plus/MP3 指示（☞ 第 19 页）

15 播放进度栏（☞ 第 20 页）

16 播放指示（☞ 第 20 页）

17 播放时间（☞ 第 20 页）

18 重复指示（☞ 第 28 页）

19 播放模式指示（☞ 第 25 页）、声音指示（调节音量时，☞ 第 30 页）

20 电池指示（☞ 第 9 页）

21 比特率（☞ 第 13 页）

关于序列号

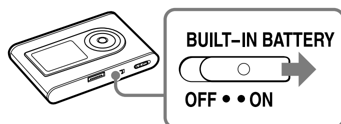
客户注册时需提供此播放机的序列号。
序列号位于播放机背面的标签上。

准备好电源

在首次使用电池，或电池电量耗尽时对内置锂离子充电式电池进行充电。

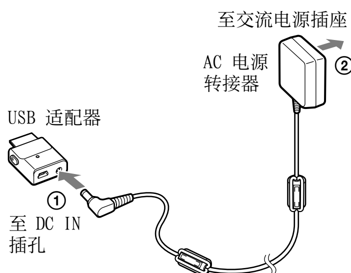
1 将 BUILT-IN BATTERY 开关滑到 ON 位置。

内置充电式电池的保护装置释放，开始向播放机供电。始终保持开关处于 ON 位置。



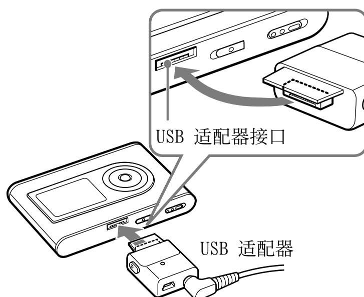
2 将 AC 电源转接器连接到 USB 适配器。

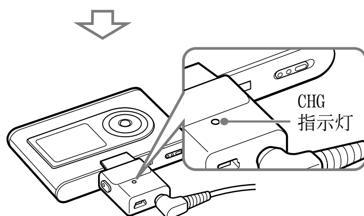
将 AC 电源转接器的直流插头插入 USB 适配器的 DC IN 插孔，然后将交流插头插入墙上插座。



3 将 USB 适配器连接到播放机。

如下所示将 USB 适配器插入到位。
电池开始充电。USB 适配器上的 CHG 指示灯亮起，如果播放机开机，显示屏中的电池指示改变。



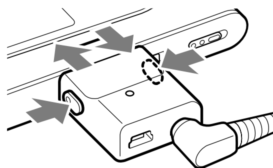


充电大约在 3 个小时内即可完成，完成后 CHG 指示灯熄灭*。如果播放机开机，显示屏上的闪电标记将亮起。
要快速充电，请关闭显示屏，从 USB 适配器取下 USB 电缆，约 1 小时*即可充满 80% 的电量。

* 这是在室温条件下对完全没电的电池的近似充电时间。显示屏开启时，充电需用时约 5 小时。充电时间视剩余电量和电池状况而定。如果电池在低温环境下充电，充电时间将更长。

从播放机取下 USB 适配器

按下两侧的灰色按钮，向里推 USB 适配器，然后将其向外拉出。



使用 USB 接口为电池充电

打开计算机电源并将 USB 电缆接到计算机（☞ 第 14 页）。USB 适配器上的 CHG 指示灯亮起，电池充电开始。充电需用时约 5 小时。当播放机连接至 AC 电源转接器时，电源将会由 AC 电源转接器提供。

说明

- 使用 USB 接口为电池充电时，如果您的计算机电量不足，充电时间可能会更长。
- 使用 USB 接口为电池充电时，视您的系统环境而定，充电将会停止。
- 如果在充电的同时播放机长时间连接到计算机，充电可能停止以防止播放机的温度过高。在此情况下，CHG 指示灯熄灭。从播放机取下 USB 适配器，稍过一段时间后将重新开始充电。
- 如果在 3 个月或更长时间内不使用播放机，请将 BUILT-IN BATTERY 开关滑到 OFF 位置以防止电池的性能下降。
- 在 5 至 35°C 的环境温度下对电池充电。

关于 AC 电源转接器的说明

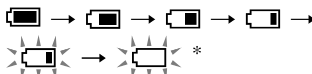
- 仅使用播放机附带的 AC 电源转接器和 USB 适配器。请不要使用任何其它 AC 电源转接器，以防播放机出现故障。



- 只要本播放机的电源线仍连接在墙上电源插座上，即使播放机本身电源已关闭，实际上并没有断开交流电源。
- 如果您长期不使用本机，请务必拔下电源线。要从墙上插座拔下 AC 电源转接器，请握住转接器插头本身，切勿拉扯电线。

检查电池的剩余电量

显示屏指示电池的剩余电量。随着黑色指示格的减少，剩余电量将进一步减少。



* 显示屏显示“电池电量不足”并发出哗声。

电池电量用完后，请对电池充电。

说明

- 显示屏显示近似的电池剩余电量。例如，一格并不始终表示电池电量的四分之一。
- 视操作条件而定，显示屏的显示与实际剩余电量相比可能会有所增加或减少。

电池寿命（连续使用）

ATRAC3plus 48 kbps 的播放时间约为 30 小时。MP3 128 kbps 的播放时间约为 22 小时。

时间视播放机的操作情况而定。

在计算机上安装 SonicStage

使用附带的 CD-ROM，在计算机上安装 SonicStage。

准备需要的系统

要求以下系统环境。

<table>
<tr><td rowspan="3">计算机</td><td colspan="2">IBM PC/AT 或兼容机</td></tr>
<tr><td colspan="2">• CPU：Pentium II 400 MHz 或更高（建议使用 Pentium III 450 MHz 或更高。）
• 硬盘驱动器空间：200 MB 或更高（建议使用 1.5 GB 或更高。）（空间容量将随 Windows 版本和存储在硬盘上的音乐文件数量的不同而异。）
• 内存：64 MB 或更高（建议使用 128 MB 或更高。）</td></tr>
<tr><td>其它</td><td>• CD 驱动器（能够通过 WDM 进行数字播放）
• 声卡
• USB 端口（支持高速 USB 端口。）</td></tr>
<tr><td>操作系统</td><td colspan="2">出厂安装：
Windows XP Media Center Edition 2005/
Windows XP Media Center Edition 2004/Windows XP Media Center Edition/
Windows XP Professional/Windows XP Home Edition/
Windows 2000 Professional/Windows Millennium Edition/
Windows 98 Second Edition</td></tr>
<tr><td>显示器</td><td colspan="2">增强色（16 位）或以上，800 × 600 点或以上（建议使用 1024 × 768 点或以上。）</td></tr>
<tr><td>其它</td><td colspan="2">• 互联网访问：用于 Web 注册、EMD 服务和 CDDB
• 用于播放 WMA 文件而安装的 Windows Media Player（7.0 或更高版本）</td></tr>
</table>

说明

- 以下环境不支持 SonicStage：
  - 上述操作系统以外的系统
  - 个人组装的 PC 或操作系统
  - 在原厂商安装的操作系统基础上升级的环境
  - 多引导环境
  - 多显示器环境
  - Macintosh
- 我们不保证在满足系统要求的所有计算机上进行操作时不会出现故障。
- Windows XP/Windows 2000 Professional 的 NTFS 格式只能与标准（出厂）设置一起使用。
- 对于 Windows 2000 Professional 用户，请在使用软件之前安装 Service Pack 3 或更高版本。
- 我们不保证在计算机上的系统挂起、休眠或休止功能的操作不会出现故障。

安装 SonicStage

请在安装 SonicStage 软件前检查以下各项。

- 请务必关闭所有包括防病毒软件在内的其它软件，因为这些软件通常需要大量的系统资源。
- 请务必使用附带的 CD-ROM 安装 SonicStage。
  - 如果已经安装 OpenMG Jukebox 或 SonicStage，则现有软件将被具有新功能的新版本覆盖。
  - 如果已经安装 SonicStage Premium、SonicStage Simple Burner 或 MD Simple Burner，则现有软件将与 SonicStage 共存。
  - 您仍然可以使用现有软件注册的音频数据。作为一种预防措施，我们建议您对音频数据进行备份。要备份数据，请参阅 SonicStage 帮助上的“备份我的曲库”-“将数据备份到磁盘”。

1 **打开计算机并启动 Windows。**

2 **将附带的 CD-ROM 插入计算机的 CD 驱动器。**

安装程序将自动启动，并在屏幕上显示安装窗口。视区域而定，可能会出现一个窗口要求您选择国家（地区）。此时，请按照显示的说明进行操作。

3 **单击您将使用 SonicStage 软件的地区。**



4 **单击“安装 SonicStage”，然后按显示的说明进行操作。**

“安装 SonicStage”



仔细阅读说明。

视您的区域而定，除“安装 SonicStage”之外的按钮可能不同于上图中的按钮。

视系统环境而定，安装过程可能需要 20 到 30 分钟。

请务必只在安装完成后才重新启动计算机。

安装过程中如有任何问题，请参阅“故障检修”（☞ 第 43 页）。

卸载说明

安装 SonicStage 时也将安装“OpenMG Secure Module”。如果卸载 SonicStage，请不要删除 OpenMG Secure Module，因为该模块可能被其它软件使用。

将音频数据导入到计算机

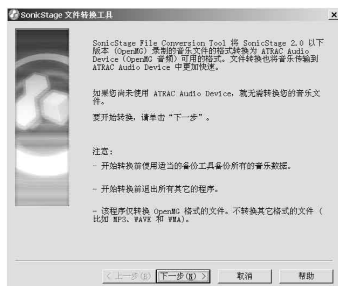
将音频 CD 上的曲目（音频数据）录制及存储到计算机硬盘上的 SonicStage“我的曲库”中。

您可以从互联网和计算机硬盘驱动器等其它来源录制或导入曲目。有关详情，请参阅 SonicStage 帮助（☞ 第 16 页）。



1 **选择“开始”－“所有程序”* －“SonicStage”－“SonicStage”。**

SonicStage 启动。
如果使用早期版本的 SonicStage，安装后第一次启动 SonicStage 时，“SonicStage 文件转换工具”** 窗口出现。请按照窗口中的说明进行操作。



* 对于 Windows Millennium Edition/Windows 2000 Professional/Windows 98 Second Edition，则为“程序”。

** 此工具将导入到装有 SonicStage 2.0 或早期版本的计算机的音频文件转换为最适于此播放机的数据格式（OpenMG），以便将音频数据高速传输到播放机。

2 **将您要录制的音频 CD 放入计算机的 CD 驱动器中。**

SonicStage 窗口左上角的来源指示改为“录制 CD”。

3 **单击 SonicStage 窗口上的“音乐源”。**

音频 CD 的目录会显示在音乐源列表中。如果不能自动获取唱片标题、艺术家姓名和曲目名称等 CD 信息，请将计算机连接到互联网并单击窗口右侧的“CD 信息”。

4 **如有必要，请更改音频 CD 录制的格式和比特率。**

单击 SonicStage 窗口右侧的“格式/比特率”以显示“CD 录制格式 [我的曲库]”对话框。
默认设置为 OpenMG Audio (ATRAC3plus) 格式和 64 kbps 比特率。

5 **单击 SonicStage 窗口上的 。**

开始录制选定曲目。

停止录制

单击 SonicStage 窗口上的 。

选择不希望录制的曲目

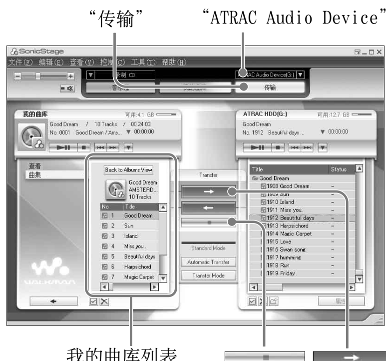
在第 5 步之前，单击曲目编号，以取消选择 SonicStage 窗口上的 ☑。

说明

只有具有 COMPACT DISC DIGITAL AUDIO 标记的音频 CD 才能与 SonicStage 一起使用。我们不保证可以正常运行具有复制控制的 CD。

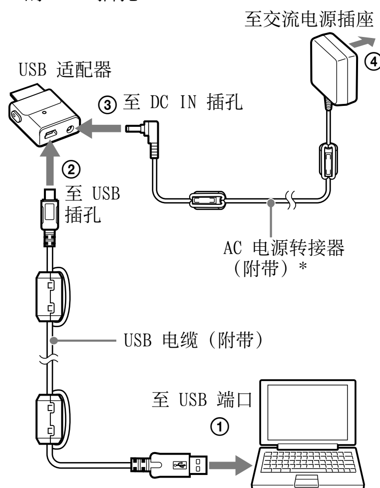
将音频数据传输到播放机

将储存在计算机上的 SonicStage“我的曲库”中的曲目（音频数据）以 ATRAC3plus/MP3 格式传输到播放机。
要传输的音频数据包括 CD 信息中艺术家姓名和唱片名称（原来的唱片名称）等信息。



1 将 USB 适配器连接到计算机和 AC 电源转接器。

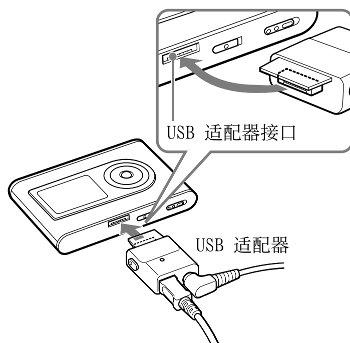
从 ① 连接到 ④，如下所示。将 USB 电缆的大接头连接到计算机上的 USB 端口，将小接头连接到 USB 适配器上的 USB 插孔。



* 传输音频数据时，请务必将 AC 电源转接器连接到 USB 适配器。否则将不能传输音频数据。

2 **将 USB 适配器连接到播放机。**

如下所示将 USB 适配器插入到位。
显示屏上将显示“PC 连接”。
SonicStage 窗口显示自动传输的设置屏幕。请按照窗口中的说明进行操作。
有关详情，请参阅 SonicStage 帮助（☞ 第 16 页）。



3 **单击 SonicStage 窗口上的“传输”。**

屏幕切换到“传输”窗口。

4 **从 SonicStage 窗口右侧的传输目标列表中选择“ATRAC Audio Device”。**

5 **单击 SonicStage 窗口左侧“我的曲库”列表中要传输的曲目。**

要传输多首曲目，在选择曲目的同时按住“Ctrl”键。要传输曲集中的所有曲目，请单击该曲集。

6 **单击 SonicStage 窗口上的 。**

开始传输选定曲目。
您可以在 SonicStage 窗口上检查传输状态。

停止传输

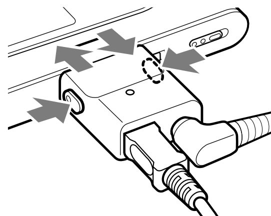
单击 SonicStage 窗口上的 。

说明

不要在传输音频数据时容易发生振动的地方使用播放机。此外，不要将播放机放置在靠近磁性物体的地方。

从播放机取下 USB 适配器

按下两侧的灰色按钮，向里推 USB 适配器，然后将其向外拉出。



接下页 ⟶

说明

- 正在传输数据时，请勿断开 USB 电缆或 USB 接头。否则，正在传输的数据可能损坏。
- 使用 USB 集线器或 USB 延长线时不能保证播放机的性能。请始终用附带的 USB 电缆将播放机直接连接到计算机。
- 某些连接到计算机的 USB 设备可能干扰播放机的正常操作。
- 连接到计算机时，播放机上的控制按钮全部被禁用。如果在播放期间将播放机连接到已经连接到计算机的 USB 适配器，播放将停止，并且在播放机显示屏上出现“PC 连接”字样。
- 播放机上没有足够的可用空间用于存储要传输的音频数据时，传输将会失败。
- 在传输期间，系统挂起、休眠或休止功能将不起作用。
- 视文本类型和字符数量而定，SonicStage 输入的文本可能不会在播放机上显示。这是由于播放机的限制造成的。
- 如果播放机连接到已开机的计算机一段时间，或者在大量的数据传输到播放机之后，播放机可能变热。但是，这并不是故障。从 USB 适配器上断开播放机并静置播放机一段时间。

使用 SonicStage 帮助

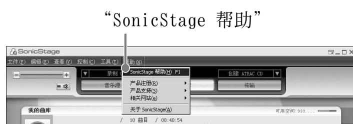
SonicStage 帮助提供了有关如何使用 SonicStage 的更多详情。SonicStage 帮助使您可以轻易地通过以下方式搜索相关信息：从诸如“导入音频数据”或“传输音频数据”等操作列表，或者主要关键字列表中,或者通过键入可让您进入相应说明的关键字。

1 在 SonicStage 运行时，单击“帮助”–“SonicStage 帮助”。

帮助出现。

播放机在 SonicStage 帮助中以“ATRAC Audio Device”表示。

“SonicStage 帮助”



说明

- 在 SonicStage 帮助中，“设备/媒体”是表示本播放机的一般术语。
- 务必遵循您的因特网服务提供商关于建议系统的相关事项的说明。

了解 SonicStage 帮助



1 双击 SonicStage 帮助左窗格的“概述”。

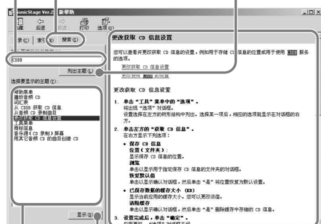
2 单击“关于本帮助文件”。
右窗格中将显示说明。
必要时可滚动查看显示屏。单击带有下划线的文字，跳到其相应的说明中。

搜索说明中的某个关键字

“键入要查找的关键字”文本框

“搜索”

“列出主题”



“显示”

键入的关键字列表

选定项目的解释

1 单击“搜索”。

2 键入关键字。

3 单击“列出主题”。
此时将会显示键入的关键字列表。

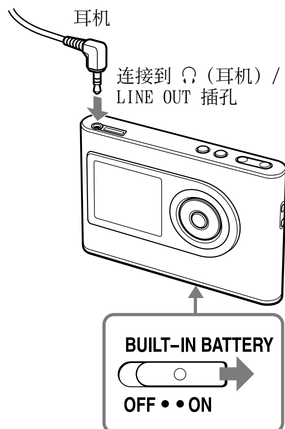
4 单击以选择所显示关键字中所需的项目。

5 单击“显示”。
此时选定项目的说明将会显示。

播放

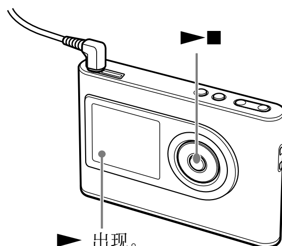
预先将音频数据从计算机传输到播放机
（☞ 第 14 页）。
可以将菜单及屏幕中信息的语言改为您自己的语言（☞ 第 31 页）。

1 将 BUILT-IN BATTERY 开关滑到 ON 位置（☞ 第 8 页）后，将耳机连接到播放机。

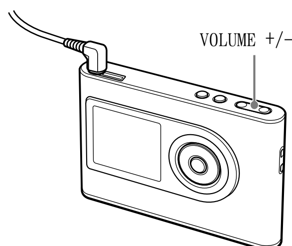


2 按 ►■。

►（播放）出现在屏幕的左下方，播放机开始播放。



3 通过按 VOLUME +/– 调节音量。



可播放的音频数据

此播放机可以播放用 ATRAC3plus/MP3 格式压缩的音频数据。ATRAC3plus（Adaptive Transform Acoustic Coding3plus，自适应变换声学编码3增强版）是适应高音质和高压缩率要求的音频压缩技术。ATRAC3plus 可用 64 kbps 的速度将音频文件压缩到接近原来大小的 1/20。

可播放的 MP3 文件格式如下：

– MPEG-1 音频动态压缩第 3 层
– 比特率为 32 至 320 kbps（CBR/VBR）
– 采样频率为 32/44.1/48 kHz

说明

- 播放机上不可播放的 MP3 格式文件仍然可以传输到播放机上。
- 在尝试播放此播放机无法播放的 MP3 音频曲目时，播放将停止。按 ▶▶| 选择其它曲目。
- 在使用内置电池时，如果播放机在停止模式下约 30 秒内没有操作，显示屏将自动关闭。在滚动曲目标题等时，显示屏在滚动完成之后约 30 秒关闭。
- 在使用 AC 电源转接器时，如果播放机在停止模式下约 3 分钟内没有操作，显示屏将自动关闭。在滚动曲目标题等时，显示屏在滚动完成之后约 3 分钟关闭。
- 如果播放未开始，请确保 HOLD 开关被设为关（☞ 右文）。

锁定控制器（HOLD）

通过锁定控制器，您可以防止在携带播放器时意外按下按钮。在启动 HOLD 功能后，如果按下任意按钮，“锁定”将在显示屏上闪烁。

1 按箭头所示的方向滑动 HOLD 开关。

解除对控制器的锁定

按箭头的相反方向滑动 HOLD 开关。

接下页 ⟶

基本播放操作（播放、停止、搜索）

要	操作
从之前的停止播放处开始播放	按 ►■。从停止播放处开始播放。
停止播放	按 ►■。
查找当前曲目的起点	按 ⏮ 一次。
查找以前曲目的起点*	反复按 ⏮。
查找下一首曲目的起点*	按 ⏭ 一次。
查找后续曲目的起点*	反复按 ⏭。
快退	按住 ⏮。
快进	按住 ⏭。

* 当选择了随机播放或播放单元随机播放时（ ☞ 第 26 页），播放顺序会有所不同。

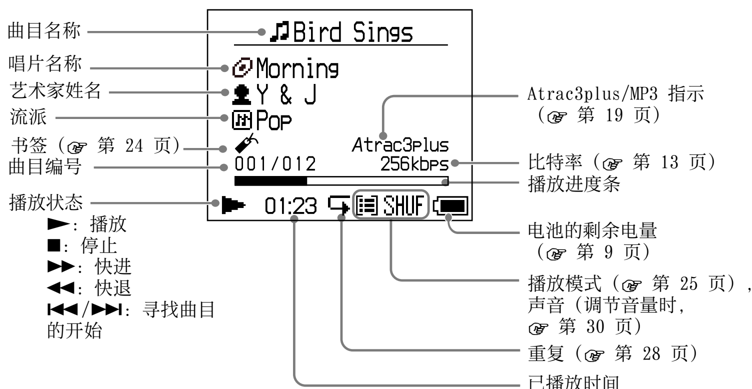
关闭播放机

按住 MENU 直至屏幕消失。
要重新打开播放机，按任意按钮。

在显示屏上查看信息

可以在播放机显示屏中检查音频数据和播放状态。

播放期间的播放机屏幕



说明

可以显示从 A 到 Z、a 到 z、0 到 9 等字符及各种符号（/ 除外）。

播放按 MODE 选择的曲目（艺术家、唱片、流派、分组等）

通过将播放机中的曲目分组至“模式”，例如按“艺术家”或“唱片”分组，您可以选择想听的曲目。
共有五种模式，这里以“艺术家”模式屏幕为例说明其步骤。
有关各个模式屏幕的详情，请参阅 ☞ 第 23 页。
您也可以反复播放选定的曲目（☞ 第 23 页）或随机播放曲目（随机播放，☞ 第 26 页）。

1 反复按 MODE 以选择一个模式。

每按一次按钮，模式更改如下：

艺术家（）→ 唱片（）* →
流派（）→ 分组（）** →
其它 → 返回到艺术家



* 显示屏上出现 SonicStage 的 CD 信息中的唱片名称（原来的唱片名称）。

** SonicStage 中的一张唱片被视为一个分组。

2 按 ↑ 或 ↓ 以选择模式中的一个项目。

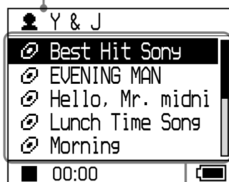
要在此处开始播放，按 ►■。从所选艺术家的第一个唱片的第一个曲目开始播放。按曲目编号顺序播放列在所选艺术家之后的所有唱片。



接下页

3 **要进一步搜索曲目，按 ►►I。**

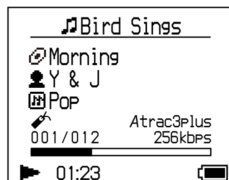
在步骤 2 中选定的艺术家。



选定艺术家的唱片出现。

4 **按 ↑ 或 ↓ 以便选择项目，然后按 ►■。**

从选定曲目或选定项目（艺术家或唱片等）的第一首曲目开始播放。按曲目编号顺序播放列在所选项目之后的所有曲目。



返回开始播放处的屏幕

按住 MODE。

返回到选择模式所在的屏幕

按 MODE。

要返回曲目列表

按 ↑ 或 ↓。

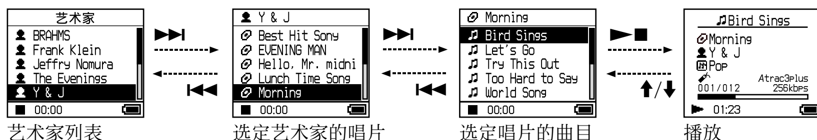
要在选择了一个模式时停止播放，或在列表屏幕中停止播放

按住 ►■。

模式屏幕

屏幕视所选模式而有所不同。
按所有屏幕中的 ►■ 开始播放。

艺术家



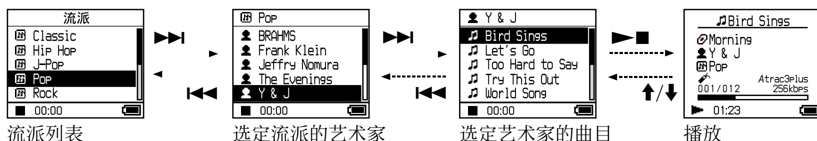
艺术家列表　　选定艺术家的唱片　　选定唱片的曲目　　播放

唱片：显示 SonicStage 的 CD 信息中的唱片名称（原来的唱片名称）。



唱片列表　　选定唱片的曲目　　播放

流派



流派列表　　选定流派的艺术家　　选定艺术家的曲目　　播放

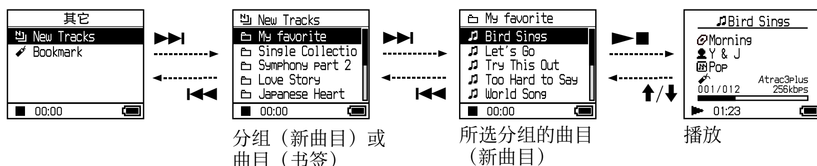
分组：播放在 SonicStage 中创建的唱片分组中的曲目



分组一览表　　选定分组的曲目　　播放

其它

- “新曲目”：最近传输到播放机的分组中的曲目（最近 5 次）
- “书签”：书签曲目（关于如何添加书签，☞ 第 24 页）



分组（新曲目）或曲目（书签）　　所选分组的曲目（新曲目）　　播放

接下页

添加书签（书签曲目播放）

可以向您喜爱的曲目添加一个书签以进行播放。要播放加书签的曲目，选择“其它”模式（☞ 第 21 页）。

---

1 **在播放您希望向其添加书签的曲目期间，按住 ↑ 或 ↓。**

书签编号（加书签的曲目的编号/可能的书签编号）出现，然后 ✐（书签）亮起。

---

2 **如果要向两首或更多的曲目添加书签，请重复步骤 1。**

您可以向最多 100 首曲目添加书签。

要播放加书签的曲目

1 重复按 MODE 以选择“其它”模式。

2 按 ↑ 或 ↓ 以选择“书签”，然后按 ▶▶I。

要播放所有加书签的曲目，按 ►■。

3 按 ↑ 或 ↓ 以便选择一个曲目，然后按 ►■。

擦除书签

在播放您希望擦除其书签的曲目期间，按住 ↑ 或 ↓。

“关”出现且 ✐ 从显示屏消失。

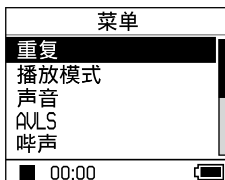
说明

您只能在播放期间添加或擦除书签。

更改播放选项（播放模式）

您可以使用各种各样的播放选项，例如选择您想听的歌曲，以随机顺序播放歌曲等。
有关播放选项（播放模式）的详情，请参阅 ☞ 第 26、27 页。
您还可以用您选择的播放选项反复播放歌曲（重复播放，☞ 第 28 页）。

1 按 MENU 按钮。
“菜单”屏幕出现。



2 按 ↑ 或 ↓ 以便选择“播放模式”，然后按 ►■。
“播放模式”屏幕出现。



3 按 ↑ 或 ↓ 以便选择播放选项，然后按 ►■。
默认设置为“正常”（正常播放）。



播放选项出现。

4 按“MENU”两次以转到播放屏幕，然后按 ►■。
播放将按选定的播放选项开始。

取消设置

按 MENU 以返回“菜单”屏幕。
按住 MODE 或按“菜单”屏幕中的“菜单”返回到步骤 1 之前的屏幕。

返回正常播放

在步骤 3 中，选择“正常”。

返回到选择模式所在的屏幕

按 MODE。

说明

当更改播放模式时，播放单元（☞ 第 27 页）也将更改为播放机中录制的所有曲目。
要只播放选定播放模式，在列表屏幕中选择项目（艺术家、唱片或曲目等）。

接下页 ⟶

播放选项（播放模式）

播放一定范围的曲目（☞ 第 27 页的“播放单元”）因您开始播放时的模式而异（☞ 第 21 页）。

菜单项/图标	说明
Normal/无图标 （正常播放）	按曲目编号顺序播放所选项目之后的所有曲目一次。 选定曲目以外的项目（唱片、艺术家等）时，按曲目顺序从项目的第一首曲目起播放所有曲目一次。
1 Track/1 （单曲播放）	播放选定曲目一次。 选择曲目以外的项目时（唱片、艺术家等），只播放第一首曲目一次。
Play Unit/ （播放单元播放）	按曲目编号顺序播放所选播放单元的所有曲目一次。
Track SHUF/ SHUF （随机播放）	按随机顺序播放所选播放单元的所有曲目一次。 在选择模式所在的屏幕中，以随机顺序播放所有曲目。
Unit SHUF/ SHUF （播放单元随机播放）	按播放单元的随机顺序播放所选播放单元的所有曲目一次。

什么是“play unit”？

当您开始播放时列表中的所有项目（艺术家、唱片或曲目等）被称为“播放单元”。
当更改播放模式时，播放单元也将更改为播放机中录制的所有曲目。

播放单元的播放

示例：当您选择艺术家模式时



艺术家	唱片	曲目
所有艺术家的所有曲目组成一个播放单元。	艺术家“Y & J”的所有唱片中的所有曲目组成一个播放单元。	艺术家“Y & J”的唱片“Morning”中的所有曲目组成一个播放单元。
在选择“Play Unit”（播放单元播放）时		
• 播放从“Y & J”的曲目开始，在播放完“The Evenings”的所有曲目后结束。	• 播放从唱片“Morning”开始，在播放完唱片“Lunch Time Song”的所有曲目后结束。	• 播放从唱片“Morning”的第一首曲目开始，在播放完所有曲目后结束。
在选择“Unit SHUF”（播放单元随机播放）时		
• 随机播放每个艺术家的作品。按顺序播放每个艺术家的唱片或曲目。	• 随机播放每张唱片中的曲目。按顺序播放唱片中的曲目。	• 随机播放唱片“Morning”中的曲目。
在选择“Track SHUF”（随机播放）时		
• 随机播放所有录制的曲目。	• 随机播放“Y & J”的所有唱片中的曲目。	• 随机播放唱片“Morning”中的曲目。

随机播放

例如，要随机播放录制在播放机中的所有曲目，显示“其它”以外的模式（“艺术家”模式等），选择“Track SHUF”作为播放模式（☞ 第 25 页），开始播放。播放机中录制的所有曲目将以随机顺序播放一次。



接下页

反复播放曲目（重复播放）

按 ☞ 第 25 页选定的播放选项重复播放项目。

1 选择要重复的播放选项（☞ 第 25 页）。

2 按 MENU。

"菜单"屏幕出现。



3 按 ↑ 或 ↓ 选择"重复"，然后按 ►■。

"重复"屏幕出现。



4 按 ↓ 选择"开"，然后按 ►■。



出现。

5 按 MENU 两次转到播放屏幕，然后按 ►■。

将重复当前播放选项。

重复所有曲目

选择一个"其它"以外的模式（"艺术家"模式等）然后进行步骤 1 至 5。

取消设置

按 MENU 以返回"菜单"屏幕。
按住 MODE 或按"菜单"屏幕中的"菜单"返回到步骤 2 之前的屏幕。

返回正常播放

在步骤 4 中，在"重复"屏幕中选择"关"。

返回到选择模式所在的屏幕要重复所有曲目

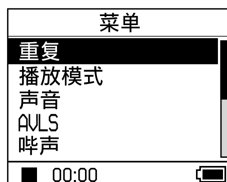
按 MODE。

更改音质和设置

有关各种设置项目的详情，请参阅 ☞ 第 30 页。

1 **按 MENU 按钮。**

"菜单"屏幕出现。



2 **按 ↑ 或 ↓ 以便选择项目，然后按 ►■。**

设置选定项目的屏幕出现。

3 **按 ↑ 或 ↓ 以便选择选项，然后按 ►■。**

调节音质

执行步骤 3 后，按 ↑ 或 ↓ 选择一个选项（☞ 第 30 页），然后按 ►■。在选择了 "Custom1"、"Custom2"、"Custom3"或"Custom4"时，您可以定制音质（☞ 第 32 页）。

返回之前的屏幕

按 ⏮。

取消设置

按 MENU 以返回"菜单"屏幕。
按住 MODE 或按"菜单"屏幕中的"菜单"返回到步骤 1 之前的屏幕。

返回到选择模式所在的屏幕

按 MODE。

说明

选定"虚拟环绕音"或"声音均衡器"时，这些声音设置对于 MP3 曲目不起作用。要更改 MP3 曲目的音质，请调节"数字声音预设"声音设置。

接下页

项目	选项（●：默认设置）		
声音 （声音设置）	● Off		以正常音质播放曲目。
	V-SUR [1,2]	Studio (VS)	重现录音室的声效。
		Live (VL)	重现音乐厅的声效。
		Club (VC)	重现舞厅的声效。
		Arena (VA)	重现体育馆的声效。
	Sound EQ [1,2]	Heavy (SH)	以强劲的声音播放曲目，与“流行”声音相比，进一步加强高频和低频音域。
		Pops (SP)	以声乐般的声音播放曲目，加强中频音域。
		Jazz (SJ)	以轻快的声音播放曲目，加强高频和低频音域。
		Unique (SU)	以特殊的声音播放曲目，加强中频以外的高频和低频音域。
		Custom1 (S1)	以定制的声音播放曲目（有关详情，☞ 第 32 页）。
		Custom2 (S2)	以定制的声音播放曲目（有关详情，☞ 第 32 页）。
	Digital Sound Preset [2]	Custom3 (S3)	用预设的高音和低音播放曲目（有关详情，☞ 请参阅第 33 页）。
		Custom4 (S4)	用预设的高音和低音播放曲目（有关详情，☞ 请参阅第 33 页）。
AVLS [3] （限制音量）	On		限制最大音量以保护您的听力。
	● Off		音量变化无限制。
哔声 （操作声）	● On		操作播放机时发出哔声。
	Off		哔声关闭。
音频输出 （外部音频输出）	● 耳机		连接到附带的耳机时选择此项。
	线路输出		连接到带音频线的音箱等时选择此项（☞ 第 35 页）。
对比度 （显示屏调节）	● 右起二档		显示屏亮度适中。如果播放机的机身颜色为黑色，则默认设置为左起二档。
	- 至 +		向 - 方向调节，以使显示屏变亮或向 + 方向调节，以使显示屏变暗。

1)这些设置仅在播放 ATRAC3/ATRAC3plus 音频曲目时起作用。在播放 MP3 音频曲目时，这些设置不起作用。

2)声音设置以括号括住字母的形式出现在显示屏中（☞ 第 7 页）。

3)AVLS 是 Automatic Volume Limiter System（自动音量限制器系统）的缩写。

项目	选项（●：默认设置）	
背景光（显示屏的 LCD 背景光）	● 自动	在按了一个按钮之后，显示屏亮起约 10 秒钟，并在您滚动曲目标题等时持续亮起。
	10 秒钟	在按了一个按钮之后，显示屏亮起约 10 秒钟。即使您在滚动曲目标题等，灯光在约 10 秒钟后关闭。
	30 秒钟	在按了一个按钮之后，显示屏亮起约 30 秒钟。即使您在滚动曲目标题等，灯光在约 30 秒钟后熄灭。
	关	显示屏熄灭以节约电能。
反向显示（旋转显示）	● 正像	字符和图标以黑色显示，背景为白色。
	负像	字符和图标以白色显示，背景为黑色。
语言（显示语言）	日本語	消息和菜单以日语显示。
	● English	消息和菜单以英语显示。
	Français	消息和菜单以法语显示。
	Deutsch	消息和菜单以德语显示。
	Italiano	消息和菜单以意大利语显示。
	Español	消息和菜单以西班牙语显示。
	簡体中文 *	消息和菜单以简体中文显示。
	繁體中文 *	消息和菜单以繁体中文显示。
	한글*	消息和菜单以韩语显示。

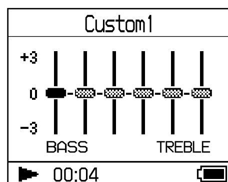
* 视您使用播放机的国家/地区而定，这些语言可能无法显示。

接下页

定制音质（Sound EQ - Custom）

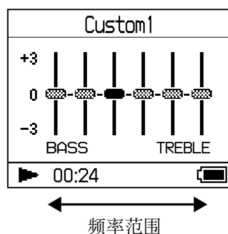
通过选择屏幕上的设定，您可以为各个频率范围单独调整音质。

1 **在“调节音质和设置”的步骤 2 中选择“声音”（☞ 第 29 页），请选择“声音均衡器”的“Custom 1”或“Custom 2”。**



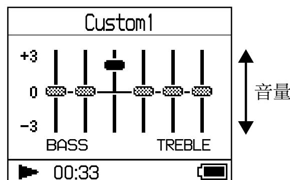
2 **按 ⏮ 或 ⏭ 选择频率范围。**

有 6 级频率范围。



3 **按 ⬆ 或 ⬇ 以选择音量。**

音量有 7 级大小。



4 **重复步骤 2 和 3 以调节其余的频率范围。**

5 **按 ►■。**

“菜单”屏幕出现。

取消设置

按 MENU 以返回“菜单”屏幕。
按住 MODE 或按“菜单”屏幕中的“菜单”返回到步骤 1 之前的屏幕。

返回到选择模式所在的屏幕

按 MODE。

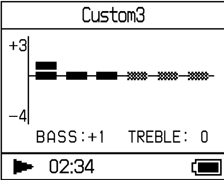
说明

- 如果调高音量时声音出现失真，请调低音量。
- 如果您在“Custom 1”或“Custom 2”声音设置和其它声音设置之间感觉到差音，请将音量调整到您喜欢的大小。

调节高音和低音增强 (Digital Sound Preset)

您可以根据自己的喜好预先设置高音和低音级别。在查看显示屏的同时，调节增强设置。

1 选择“更改音质和设置”（☞ 第 29 页）步骤 2 中的“声音”后，选择“数字声音预设”的“Custom3”或“Custom4”。

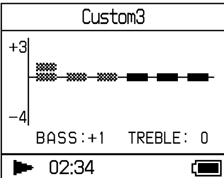


默认设置

音质	Custom3 (S3)	Custom4 (S4)	关闭（标准音质）
低音	+1	+3	±0
高音	±0	±0	±0

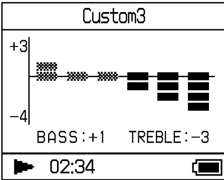
2 按 ⏮ 或 ⏭ 以选择“高音”或“低音”。

您可以调节高音和低音的音质。



3 按 ⬆ 或 ⬇ 选择音量。

音量有八级大小。



音质	增强级别
低音	-4 至 +3
高音	-4 至 +3

4 按下 ►■。

“菜单”屏幕出现。

取消设置

按 MENU 以返回“菜单”屏幕。
按住 MODE 或按“菜单”屏幕中的“菜单”返回到步骤 1 之前的屏幕。

返回到选择模式所在的屏幕

按 MODE。

说明

- 低音和高音级别分别出现在“Custom3”或“Custom4”图表的左右两端。您不能在两种级别之间分开调节，这是因为它们是与高音和低音级别连结在一起的，并会自动更改。
- 如果调高音量时声音出现失真，请调低音量。
- 如果您在“Custom3”或“Custom4”声音设置和其它声音设置之间感觉到差音，请将音量调整到您喜欢的大小。

将音频数据传回计算机

音频数据可传回到计算机上的 SonicStage“我的曲库”。



1 **将播放机连接到计算机（请参阅“将音频数据传输到播放机”中的步骤 1 和 2，☞ 第 14 页）。**

2 **单击 SonicStage 窗口右侧的“傳輸”。**

屏幕切换到“传输”窗口。

3 **从 SonicStage 窗口右侧的传输目标列表选择“ATRAC Audio Device”。**

4 **单击 SonicStage 窗口右侧 Network Walkman 列表中要传输到“我的曲库”的曲目。**

要传输多首曲目，在选择曲目的同时按住“Ctrl”键。要传输曲集中的所有曲目，请单击该曲集。

5 **单击 SonicStage 窗口上的 。**

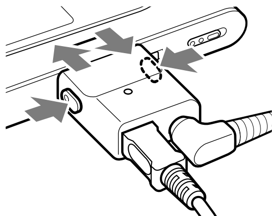
开始传输步骤 4 中选定的曲目。
您可以在 SonicStage 窗口上检查传输状态。

停止传输

单击 SonicStage 窗口上的 。

从播放机取下 USB 适配器

按下两侧的灰色按钮，向里推 USB 适配器，然后将其向外拉出。

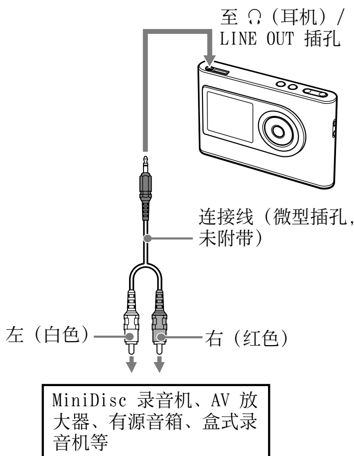


说明

- 从另一台计算机传输到播放机的曲目不能传输到计算机的“我的曲目”中。
- 正在传输数据时，请勿断开 USB 电缆或 USB 接头。否则，正在传输的数据可能损坏。

连接其它设备

您可以通过立体声系统欣赏曲目，也可以将播放机中的曲目录制到 MiniDisc 或磁带。请参阅待连设备的说明手册。
务必在进行连接及更改以下解释的设置之前关闭所有设备的电源。



需要在 MENU 屏幕中更改“音频输出”设置以便用连接的设备输出声音。“音频输出”设置如下所示。要进行设置，请参阅 ☞ 第 29 页。

连接的设备	设置
耳机	耳机
用连接线连接的设备	线路输出

在连接其它设备时，请将该项设为“线路输出”。设为“线路输出”时，不能调节音量，“声音”设置不可用且不起作用。

说明

- 随附的耳机连接到播放机时，请勿将“音频输出”设为“线路输出”。如果设为“线路输出”，则不能调节音量，且声音将会失真并伴有噪声。
- 播放之前，调低所连设备的音量以避免破坏连接的扬声器。

存储音频文件以外的数据

您可以用 Windows 资源管理器将数据从计算机的硬盘传输到本播放机的内置硬盘。播放机的内置硬盘在 Windows 资源管理器中作为外接设备（可移动存储装置）显示。

说明

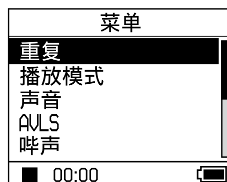
- 用 Windows 资源管理器操作播放机的硬盘时请勿使用 SonicStage。
- 如果用资源管理器将 WAV 和 MP3 文件传输到播放机，这些文件将不会播放。使用 SonicStage 传输它们。
- 正在传输数据时，请勿断开 USB 电缆。否则，正在传输的数据可能损坏。
- 请勿在计算机上对播放机的硬盘进行初始化。

重置为出厂设置

将“菜单”屏幕中的所有设置重置为出厂设置。

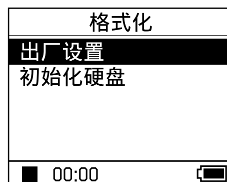
1 **在播放机停止时，按 MENU。**

“菜单”屏幕出现。



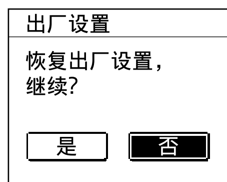
2 **按 ↑ 或 ↓ 选择“格式化”，然后按 ►■。**

“格式化”屏幕出现。



3 **按 ►■，同时选择“出厂设置”。**

“出厂设置”屏幕显示。



4 按 ⏮ 选择“是”，然后按 ►■。
一则消息显示，然后“格式化”屏幕出现。

取消设置

在步骤 4 中选择“否”，然后按 ►■。“格式化”屏幕出现。按 MENU 以返回“菜单”屏幕。按住 MODE 或按“菜单”屏幕中的“菜单”返回到步骤 1 之前的屏幕。

返回到选择模式所在的屏幕

按 MODE。

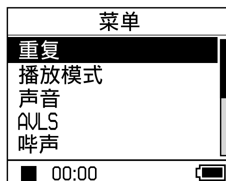
说明

在播放期间不能重置为出厂设置。

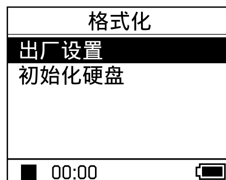
初始化硬盘

您可以初始化播放机的硬盘。如果硬盘被初始化，则存储的所有音频数据和其它数据将被删除。在初始化之前，请务必检查存储在硬盘中的数据。
如果曲目因初始化而被删除，在播放机连接到计算机时，SonicStage 将这些曲目视为要传输回计算机的曲目。因此，剩余可传输数量自动增加。

1 在播放机停止时，按 MENU。
“菜单”屏幕出现。



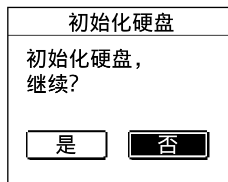
2 按 ↑ 或 ↓ 选择“格式化”，然后按 ►■。
“格式化”屏幕出现。



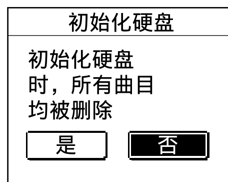
接下页

3 **按 ⬇ 选择“初始化硬盘”，然后按 ►■。**

“初始化硬盘”屏幕出现。



4 **按 ⏮ 选择“是”，然后按 ►■。**



5 **按 ⏮ 选择“是”，然后按 ►■。**

一则消息显示，然后“格式化”屏幕出现。

取消设置

在步骤 5 中选择“否”，然后按 ►■。“格式化”屏幕出现。
按 MENU 以返回“菜单”屏幕。
按住 MODE 或按“菜单”屏幕中的“菜单”返回到步骤 1 之前的屏幕。

返回到选择模式所在的屏幕

按 MODE。

说明

- 请勿在计算机上对播放机的硬盘进行初始化。
- 在播放期间不能格式化硬盘。
- 如果播放机被初始化，所有音频数据和音频数据以外的文件均被删除。

装置处置说明

本播放机具有一个内置锂离子充电式电池。处置播放机时，务必正确处置电池。

某些国家（或地区）可能会规定本产品供电电池的处理准则。请向当地授权部门咨询。

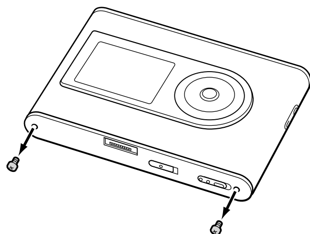
说明

- 切勿拆开播放机，除非在处置时。
- 处理内部金属部件时请小心，特别注意其边缘。

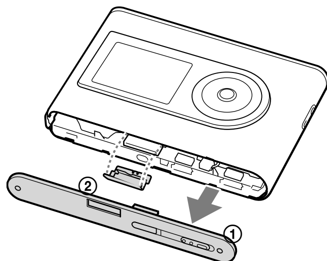
取出内置充电式电池

1 将播放机底部的 BUILT-IN BATTERY 开关滑到 OFF 位置。

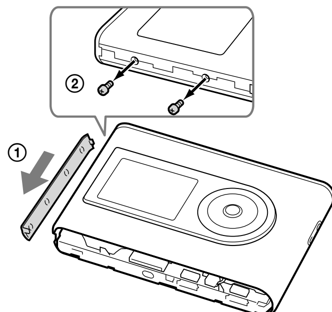
2 取下底部的两颗螺钉。



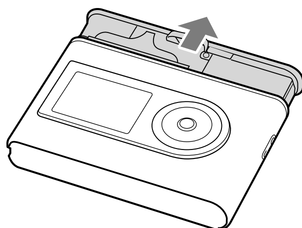
3 卸下底部的挡片（①）和 USB 固定夹（②）。如有必要，使用镊子等工具。



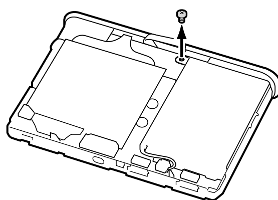
4 滑开侧面挡片（①）并取下播放机侧面上的两颗螺钉（②）。



5 用手指将底部推入播放机，并按以下箭头所示方向将其从播放机中拉出。

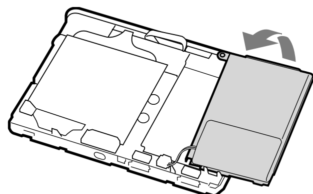


6 取下电池一侧的镙钉。

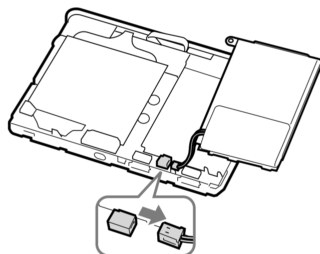


接下页

7 取出内置电池。



8 拉动电池和播放机之间的连接线以分离出连接器。



故障检修

如果您的播放机出现故障，请尝试以下解决方法。

1 将 BUILT-IN BATTERY 开关滑到 OFF 位置，然后再次滑到 ON 位置。滑到 OFF 位置时，数据不会损失。
2 检查“故障检修”中列出的症状。
3 如果仍然无法解决问题，请与最近的 Sony 经销商联系。

电源

症状	原因和（或）解决方法
CHG 指示灯未亮起。	→ USB 适配器的端子脏了。用干的软布擦干净。 → 播放机未连接到 USB 适配器。稳固插入 USB 适配器，直到其到达末端并卡入到位（☞ 第 8 页）。
CHG 指示灯闪烁。	→ 温度不适合。在 5 至 35°C 的环境温度下对电池充电。
电池寿命过短。	→ 工作温度低于 5°C。这是电池特性的原因，不是故障。 → 长期未使用播放机。反复充电和放电即可改善电池性能。 → 电池需要更换。请与最近的 Sony 经销商联系。 → 电池充电时间不够。播放机需要 15 分钟的时间来检查电池状况以便在快速充电开始之前对电池提供保护。对电池充电，直到电池充足电（直到 CHG 指示灯熄灭）。

接下页

声音

症状	原因和（或）解决方法
无声音。听到噪声。	→ 音量设置为零。调高音量（☞ 第 18 页）。 → 未正确连接耳机插头。将耳机稳固连接到 🎧（耳机）/ LINE OUT 插孔（☞ 第 18 页）。 → 耳机插头脏了。用干的软布清洁耳机插孔。 → 硬盘中无音频数据。
音量不增大。	→ “AVLS”设置为“开”。将其设置为“关”（☞ 第 30 页）。
耳机的右声道无声音。	→ 未正确连接耳机插头。将耳机稳固连接到 🎧（耳机）/ LINE OUT 插孔（☞ 第 18 页）。
不能调节音量。	→ “音频输出”设置为“线路输出”。用所连设备上的音量控制器调节音量，或将“音频输出”设为“耳机”（☞ 第 30 页）。
使用连接了立体声系统的播放机时，声音失真或有噪音。	→ “音频输出”设置为“耳机”。将其设置为“线路输出”（☞ 第 30 页）。
播放 MP3 音频曲目时，即使设置了“声音”中的“虚拟环绕声”和“声音均衡器”，声音也不会改变。	→ 在播放 MP3 音频曲目时，只有“数字声音预设”中的设置起作用（☞ 第 30 页）。

操作/播放

症状	原因和（或）解决方法
按钮不起作用。	→ 按钮已被锁定。滑回 HOLD 开关（☞ 第 19 页）。 → 出现水汽冷凝。静置播放机数小时，直到水汽蒸发。 → 剩余电池电量不足。为电池充电（☞ 第 8 页）。 → 播放机连接到已开机的计算机时，如果 USB 适配器连接到播放机，按钮操作将被禁止。从播放机取下 USB 适配器（☞ 第 9 页）。
播放突然停止。	→ 剩余电池电量不足。为电池充电（☞ 第 8 页）。 → 在尝试播放此播放机无法播放的 MP3 音频曲目时，播放将停止。按 ▶▶I 以选择其它曲目（☞ 第 19 页)。
背景光没有打开。	→ “背景光”设为“关”。将其设为“自动”、“10 秒”或“30 秒”（☞ 第 31 页）。
标题显示“□”。	→ 字符不能在播放机上显示。使用 SonicStage 软件用适当的字符重命名标题。

显示屏关闭。	→ 在停止模式下如果 30 秒内（使用电池）或 3 分钟内（使用 AC 电源转接器）无操作时，显示屏将自动关闭。在滚动曲目标题等时，播放机在滚动完成之后约 30 秒或 3 分钟关闭。同样的，按住 MENU 也将关闭显示屏。在所有情况下，按任意键即可再次打开显示屏。

连接计算机/SonicStage

症状	原因和（或）解决方法
无法安装 SonicStage 软件。	→ 使用了与软件不兼容的操作系统（☞ 第 10 页）。 → 所有 Windows 应用程序均未关闭。如果其它程序正在运行时开始安装，则可能会出现故障。特别是对于需占用大量系统资源的程序，如防病毒软件，更会出现这种情况。 → 计算机硬盘没有足够的空间。需要 200 MB 或更多的可用空间。删除计算机上不必要的文件。
安装似乎在尚未完成之前即已停止。	→ 查看安装窗口下方显示的错误消息。在按住“Alt”键的同时按“Tab”键。如果出现错误消息，请按“Enter”键。安装将继续进行。如果没有消息，则表示安装仍在进行。请等待更长时间。
计算机显示器上的进度栏没有活动。计算机访问指示灯持续几分钟未发亮。	→ 安装在正常进行。请等待。安装过程将用时 30 分钟或更长时间，这取决于您的 CD 驱动器或系统环境。
用 USB 电缆连接到计算机时，“PC 连接”没有显示。	→ 请等待 SonicStage 软件的授权。 → 另一应用程序正在计算机上运行。稍等一段时间或重新连接 USB 电缆。如果仍然无法解决问题，请断开 USB 电缆，重启计算机然后重新连接电缆。 → 未正确连接 USB 电缆。断开 USB 电缆，然后重新连接。 → 使用了 USB 集线器。通过 USB 集线器进行连接并不能得到保证。请将 USB 电缆直接连接到计算机。

接下页 ⟶

症状	原因和（或）解决方法
连接到计算机时，播放机不被计算机识别。	→ USB 适配器未正确连接到播放机。稳固插入 USB 适配器，直到其到达末端并卡入到位（☞ 第 8 页）。 → 未正确连接 USB 电缆。断开 USB 电缆，然后重新连接。 → 使用了 USB 集线器。通过 USB 集线器进行连接并不能得到保证。请将 USB 电缆直接连接到计算机。 → 未安装播放机的驱动程序文件。用附带的 CD-ROM 为播放机重新安装 SonicStage 软件（☞ 第 11 页），以便一起安装驱动程序。 → SonicStage 软件的安装失败。断开播放机与计算机的连接，然后使用附带的 CD-ROM 重新安装软件（☞ 第 11 页）。 → 将 BUILT-IN BATTERY 开关滑到 ON 位置。
不能从计算机将音频数据传输到播放机。	→ 未正确连接 USB 电缆。断开 USB 电缆，然后重新连接。 → 曲目已经传输到播放机三次。将曲目传回计算机以增大可传输数量（☞ 第 34 页），然后再次将曲目传输到播放机。 → 播放机硬盘的可用空间不足。将任何不必要的文件传回计算机以增大可用空间（☞ 第 34 页）。 → 已经传输了 65535 以上的曲目或 4096 以上的分组到播放机硬盘。或者已经传输了 999 以上的曲目到一个分组。 → 由于版权所有者设定的限制，可能无法传输带限制播放时间或播放次数的曲目。有关各个音频文件的设置，请联络发行者。
可传输到播放机的曲目数量不多。（可用录制时间过短。）	→ 播放机硬盘的可用空间不足以存储要传输的音频数据的大小。将任何不必要的文件传回计算机以增大可用空间（☞ 第 34 页）。 → 播放机的硬盘存储了音频数据以外的数据。将音频数据以外的数据移到计算机以增大可用空间。

症状	原因和（或）解决方法
播放机连接到计算机时，音频数据传输回计算机，剩余可传输数量在没有操作的情况下偶然增加。	→ 如果用安装在将音频数据传输到播放机的计算机以外的计算机上的 SonicStage 软件删除了曲目，当播放机连接到用于将音频数据传输到播放机的计算机时，曲目将自动传回。因此，剩余可传输数量自动增加。
播放机连接到计算机时，播放机的操作不稳定。	→ 使用了 USB 集线器或 USB 延长线。通过 USB 集线器或 USB 延长线进行连接并不能得到保证。请将 USB 电缆直接连接到计算机。
播放机连接到计算机时，计算机屏幕显示“无法验证设备/媒体。”。	→ 播放机未正确连接到计算机。退出 SonicStage 软件并检查 USB 电缆的连接。重新启动 SonicStage 软件。

其它

症状	原因和（或）解决方法
播放机操作时无哔声。	→ “哔声”设为“关”。将其设为“开”（☞ 第 30 页）。
播放机或 USB 适配器发热。	→ 播放机和 USB 适配器在电池正在充电以及刚刚充完电之后会发热，这是因为快速充电的缘故。除此以外，播放机和 USB 适配器在传输大量曲目时也会发热。静置播放器一段时间。
听到播放机内部发出声音。播放机晃动。	→ 播放机的内置硬盘运动时，可能听到操作的声音，播放机出现振动。这并不是故障。

错误消息

如果屏幕显示错误消息，请按以下说明进行操作。

消息	含义	纠正措施
AVLS 无操作音	音量超过 AVLS 的最大音量。	→ 将“AVLS”设为“关”（☞ 第 30 页）。
书签已满	书签数量超过限制。	→ 删除不必要的书签（☞ 第 24 页）。
无法操作 停止	播放期间在“菜单”屏幕中选择了“格式化”。	→ 停止播放并再次选择“格式化”。
停止时 不能操作	在播放机停止时试图添加书签。	→ 在播放期间添加书签（☞ 第 24 页）。
无法播放 连接至 PC	播放机中的时钟不工作。	→ 连接到计算机（☞ 第 14 页）。
无法播放 曲目错误	音频数据损坏。	→ 再次将音频数据传输到播放机（☞ 第 14 页）。
无法播放该 设备上的曲目	• 不允许在播放机上播放该曲目。 • 播放带限制播放次数的曲目。	→ 不能播放不允许在本播放机上播放的曲目。
无法播放 不可进行 重播	试图在曲目的限制播放时间范围之外播放曲目。	→ 带限制播放时间的曲目只能在指定的播放时间内播放。
充电 5°C - 35°C	在温度超过 5 至 35°C 范围的环境下充电。	→ 在 5 至 35°C 的环境温度下充电。
连接交流 电源转接器	• 播放机连接到计算机，但是 AC 电源转接器未连接到 USB 适配器的 DC IN 插孔。 • AC 电源转接器从 USB 适配器断开，而播放机连接到计算机。	→ 将 AC 电源转接器连接到 USB 适配器（☞ 第 14 页）。
可重写 硬盘 5°C - 35°C	在温度超过 5 至 35°C 的环境下将音频数据传输到播放机。	→ 在 5 至 35°C 的环境温度下操作。

消息	含义	纠正措施
硬盘未正确初始化	• 播放机硬盘未正确初始化。 • 播放机硬盘在计算机上进行初始化。 • 播放机硬盘未初始化，因为已经被更改。	→ 重新初始化播放机硬盘（☞ 第 37 页）。
锁定	HOLD 开关滑到 ON 位置。	→ 按箭头所示的相反方向滑动 HOLD 开关，解除对控制按钮的锁定（☞ 第 19 页）。
线路输出无操作	当“音频输出”设为“线路输出”时，您试图调节音量或改变“声音”设置。	→ 将“音频输出”设为“耳机”（☞ 第 30 页）。
电池电量不足	没有剩余电量。	→ 为电池充电（☞ 第 8 页）。
超出最大分组数	分组（唱片、艺术家等）的数量超过限制（8192)。	→ 列表显示（曲目列表除外）中的项目总数超过 8192。检查模式并将任何不必要的曲目传输回计算机（☞ 第 34 页）。
系统文件不匹配	系统文件中有不匹配项。	→ 初始化播放机的硬盘（☞ 第 37 页）并将音频数据重新传输到播放机（☞ 第 14 页）。
找不到数据库	从计算机断开时，没有曲目传输到播放机，或缺少模式信息。	→ 将音频数据传输到播放机（☞ 第 14 页）。
无曲目	曲目列表中无曲目。	→ 转到有曲目的曲目列表。 → 将音频数据传输到播放机（☞ 第 14 页）。
系统错误 <编号：***>（带括号的编号。）	这是系统错误。	→ 记下编号并咨询最近的 Sony 经销商。

规格

可录制的最大曲目数量（近似值）*

ATRAC3	ATRAC3plus	MP3
5 000 (132 kbps)	2 500 (256 kbps)	5 000 (128 kbps)
6 000 (105 kbps)	10 000 (64 kbps)	10 000 (64 kbps)
10 000 (66 kbps)	13 000 (48 kbps)	

* 传输四分钟曲目时

采样频率
44.1 kHz(ATRAC3plus), 32/44.1/48 kHz (MP3)

音频压缩技术
Adaptive Transform Acoustic Coding3plus (ATRAC3plus), MPEG-1 Audio Layer-3 (MP3)

频率响应
20 至 20 000 Hz
（在播放期间测量单一信号）

输出
（耳机）/LINE OUT*：立体声微型插孔/194 mV
* 插孔用于耳机和 LINE OUT。

工作温度
5 至 35℃

电源
DC IN 6 V（内置充电式电池供电）
额定电流：800mA

电池寿命（连续播放）
ATRAC3plus 格式（48 kbps）：约 30 小时
MP3 格式（128 kbps）：约 22 小时

尺寸
不含突出部件：
90.0 × 62.1 × 14.8（最薄部分 13.8）毫米（宽/高/厚）
含突出部件：
90.8 × 63.4 × 15.7 毫米（宽/高/厚）

质量
约 130 克

美国及他国专利许可由 Dolby Laboratories 授予。

设计和规格如有更改，恕不另行通知。

索引

http://www.sony.net/

Sony Corporation

SONY®

NW-HD3

使用說明書

CT

Network Walkman

Portable Hard Disk Audio Player



Atrac3plus

如果要移至想要閱讀的章節，請按一下 PDF 書籤中的標題、使用說明書“目錄”中的標題，或句子中的頁碼。



警告

為防火災或觸電危險，切勿讓機器暴露於雨中或潮濕處。

別把機器安裝在諸如書櫥或壁櫥等密閉處。

為防止火災，請勿讓報紙、桌布、窗帘等蓋住裝置的通風孔。也不可把點燃的蠟燭放在裝置上。

為防火災或觸電危險，不可在裝置上擺飾花瓶等裝滿液體的物體。

有關安裝的注意事項

如果在具有靜電或電力雜音的地方使用裝置，可能會損壞正在傳輸的曲目資訊，如此一來，授權將無法順利傳輸到電腦。

“WALKMAN”是 Sony Corporation 的註冊商標，代表立體聲耳機產品。

WALKMAN 是 Sony Corporation 的商標。

目録

使用者注意事項

隨附軟體事宜

- 版權法規定，未經版權所有者許可，不得完全或部分複製軟體或軟體隨附的手冊，或者出租軟體。
- 對於因使用本隨身聽隨附軟體而造成的財產損失或利潤虧損(包括第三方的索賠)，SONY 公司恕不負責。
- 如果發生因為製造缺陷而導致的軟體相關問題，SONY 公司將予以更換。但是，SONY 公司不承擔其他責任。
- 除明確指出的設備之外，本隨身聽隨附的軟體不能用於其他設備。
- 請注意，由於我們致力於不斷提高產品品質，因此軟體規格如有更改，恕不另行通知。
- 本擔保不適用於使用隨附軟體以外的其他軟體操作本隨身聽。
- 在軟體上顯示語言的功能取決於 PC 安裝的 OS。為了呈現最佳結果，請確定安裝的 OS 與您要顯示的語言相容。
  — 我們並不保證軟體可順利顯示所有語言。
  — 使用者建立的字元及部分特殊字元可能無法顯示。
- 取決於文字及字元的類型，在軟體上顯示的文字可能無法正確顯示於裝置中。原因如下:
  — 連接裝置的功能不足。
  — 裝置運作不正常。

- SonicStage 和 SonicStage 標誌是 Sony Corporation 的商標或註冊商標。
- OpenMG、ATRAC3plus 及其標誌均是 Sony Corporation 的商標。
- Microsoft、Windows、Windows NT 及 Windows Media 是 Microsoft Corporation 在美國及/或其他國家/地區的商標或註冊商標。
- IBM 與 PC/AT 是 International Business Machines Corporation 的註冊商標。
- Macintosh 是 Apple Computer, Inc. 在美國及/或其他國家/地區的商標。
- Pentium 是 Intel Corporation 的商標或註冊商標。
- Adobe 與 Adobe Reader 是 Adobe Systems Incorporated 在美國及/或其他國家/地區的商標或註冊商標。
- 由 Dolby Laboratories 取得美國與其他國家之專利授權。
- 所有其他商標與註冊商標均屬各自所有者的商標或註冊商標。
- 在本手冊中，未標明 ™ 與 ® 標誌。
- CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000-2003 Gracenote. Gracenote CDDB® Client Software, copyright 2000-2003 Gracenote. This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593 and other patents issued or pending. Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.

注意事項

關於安全措施

- 請勿在 USB 轉接器的 DC IN 插孔中放置任何異物。
- 勿使用其他金屬物體造成 USB 轉接器的端子短路。

安裝

- 請勿在易受強光、高溫、濕氣或振動影響的環境中使用隨身聽。
- 在使用 AC 變壓器為隨身聽供電時，請勿使用任何物品將隨身聽包住。隨身聽中的熱量積聚可能會導致隨身聽出現故障或損壞。

熱量積聚

如果使用隨身聽的時間過長，在充電時熱量就會積聚在隨身聽或 USB 轉接器內部。

耳機

交通安全

請勿在開車、騎車或駕駛任何車輛時使用耳機。否則可能會引發交通事故，而且這在多數地區是違法的。步行（特別是過馬路）時，提高音量也會帶來潛在危險。在可能有潛在危險的情況下，必須格外小心或暫停使用耳機。

防止聽覺損害

避免以高音量使用耳機。聽覺專家建議不要連續、高音量及長時間使用耳機。如果發生耳鳴現象，請調低音量或暫停使用。

顧及他人

請維持適當的音量，使您可以聽見外界的聲音，並且也可顧及周圍的人。

警告

如果使用隨身聽時出現閃電，請立即取下耳機。

清潔

- 請使用以清水或溫和清潔劑稍微沾濕的軟布來清潔隨身聽外殼。
- 定期清潔耳機插頭。

註

- 切勿使用任何種類的磨石、擦洗粉或諸如酒精或苯之類的溶劑進行清潔，上述物品可能會損傷隨身聽外殼。
- 清洗連接部件時小心不要讓水進入 USB 轉接器或錄製 USB 轉接器。

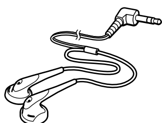
如有關於本隨身聽的任何疑問，請就近與 Sony 經銷商聯絡。

註

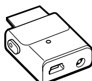
- 錄製的音樂僅限於私人使用。超出此限制使用音樂需要獲得版權所有人的許可。
- 對於因隨身聽或電腦故障而導致資料錄製/下載不完整或資料損壞的問題，Sony 恕不負責。

檢查隨附配件

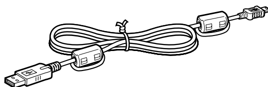
- 耳機（1）



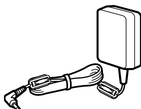
- USB 轉接器（1）
  （用於連接至隨附的 USB 纜線與隨附的 AC 變壓器）



- 專用 USB 纜線（1）



- AC 變壓器（1）



- 攜帶盒（1）
- CD-ROM（1）*
  （SonicStage，使用說明書的 PDF）
- 快速入門指南（1）

* 請勿在音樂 CD 隨身聽上播放此 CD-ROM。

註

- 電源輸出線上的二個鐵芯係抑制 EMC 電磁波干擾用，請勿任意移除。
- USB 信號線上的二個鐵芯係抑制 EMC 電磁波干擾用，請勿任意移除。

註

使用本裝置時，務必遵守下列注意事項，以免機殼變形或導致裝置發生故障。

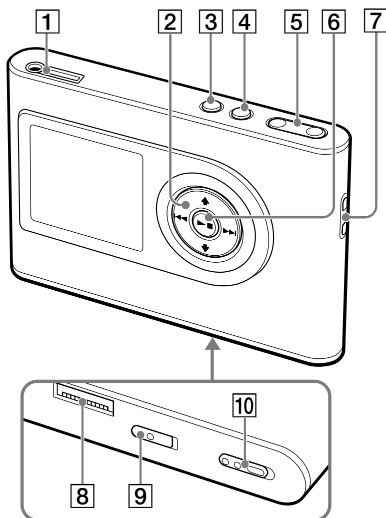
– 裝置放在後面口袋的時候不要坐下去。



– 請勿將線控或耳機線繞在機身上、將隨身聽裝到袋子後，強力擠壓袋子。

零件與控制鈕指南

隨身聽



1 ∩（耳機）/LINE OUT 插孔（☞ 第 18 頁）

2 ↑、↓、⏮、⏭ 按鈕（☞ 第 20、21 頁）

3 MENU 按鈕（☞ 第 25、29 頁）

4 MODE 按鈕（☞ 第 21 頁）

5 VOLUME +*/- 按鈕（☞ 第 18 頁）

6 ►■（播放/停止）按鈕（☞ 第 18、20 頁）

7 腕帶插孔**

8 USB 轉接器的接頭（☞ 第 8、15 頁）

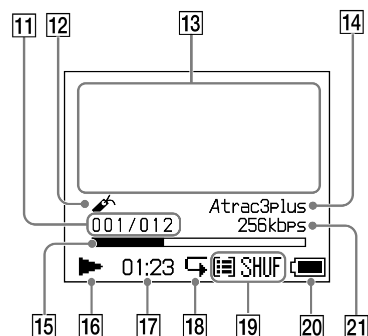
9 BUILT-IN BATTERY 開關（☞ 第 8 頁）

10 HOLD 開關（☞ 第 19 頁）

* 此按鈕具有觸摸點。

** 您可以連接自己的腕帶。

隨身聽顯示幕



11 曲目編號標示（☞ 第 20 頁）

12 書籤標示（☞ 第 24 頁）

13 文字資訊顯示幕（☞ 第 20 頁）

14 Atrac3plus/MP3 標示（☞ 第 19 頁）

15 播放進度列（☞ 第 20 頁）

16 播放標示（☞ 第 20 頁）

17 播放時間（☞ 第 20 頁）

18 重複標示（☞ 第 28 頁）

19 播放模式標示（☞ 第 25 頁）、音效標示（調整音量時，☞ 第 30 頁）

20 電池標示（☞ 第 9 頁）

21 位元速率（☞ 第 13 頁）

關於序號

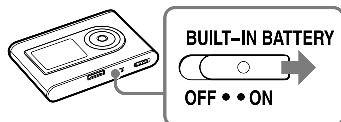
客戶註冊時需提供此隨身聽的序號。序號位於隨身聽背面的標籤上。

準備電源

在第一次使用內建鋰離子充電電池之前或在電池的電力耗盡時，請為電池充電。

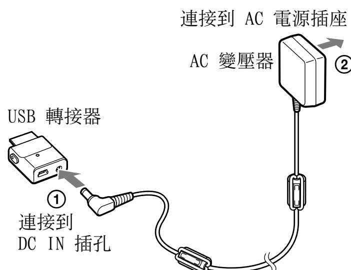
1 將 BUILT-IN BATTERY 開關滑到 ON 位置。

內建充電電池的保護裝置解除，開始向隨身聽供電。將開關保持在 ON 位置。



2 將 AC 變壓器連接到 USB 轉接器。

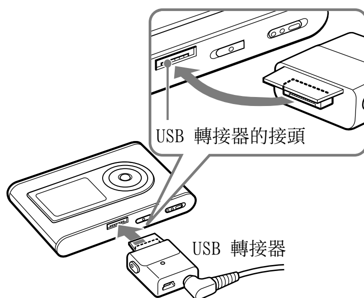
將 AC 變壓器的直流插頭插入 USB 轉接器的 DC IN 插孔，然後將 AC 插頭插入牆上插座。

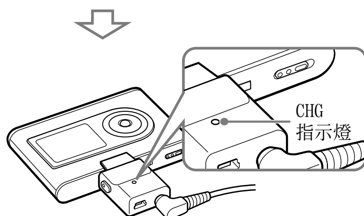


3 將 USB 轉接器連接到隨身聽。

如下圖所示，插入 USB 轉接器直至卡入定位。

電池即開始充電。USB 轉接器上的 CHG 指示燈會亮起，如果隨身聽開啟，顯示幕上的電池標示會變更。





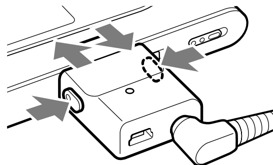
充電大約在 3 小時內即可完成，完成後 CHG 指示燈會熄滅*。如果隨身聽開啟，顯示幕上的閃電標記會亮起。

要快速充電，請關閉顯示幕，從 USB 轉接器上拔下 USB 纜線，大約 1 小時*即可充滿 80% 的電力。

* 這是在室溫條件下對完全沒電的電池的大約充電時間。顯示幕開啓時，充電大約需要 5 小時。充電時間視剩餘電力與電池狀況而定。如果電池在低溫環境下充電，充電時間將更長。

從隨身聽上取下 USB 轉接器

按壓兩側的灰色按鈕，向內推 USB 轉接器，然後將其向外拉出。



使用 USB 連線為電池充電

開啟電腦電源並將 USB 纜線連接到電腦（☞ 第 14 頁）。USB 轉接器上的 CHG 指示燈亮起，開始為電池充電。充電大約需要 5 小時。隨身聽連接到 AC 變壓器時，將由 AC 變壓器供電。

註

- 使用 USB 連線為電池充電時，如果電腦的電力不足，充電時間可能會更長。
- 使用 USB 連線為電池充電時，視系統環境而定，充電將會停止。
- 如果在充電時隨身聽長時間連接到電腦，充電可能會停止以防止隨身聽的溫度過高。在此情況下，CHG 指示燈會熄滅。從隨身聽取下 USB 轉接器，稍後再重新開始充電。
- 如果在三個月或更長時間內不使用隨身聽，請將 BUILT-IN BATTERY 開關滑到 OFF 位置以防止電池的效能下降。
- 在 5 到 35°C 之間的環境溫度下為電池充電。

有關 AC 變壓器的注意事項

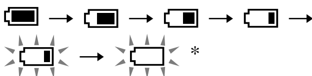
- 僅使用隨身聽隨附的 AC 變壓器與 USB 轉接器。請勿使用任何其他 AC 電源轉接器，以防止隨身聽發生故障。



- 只要隨身聽的 AC 電源線仍連接到牆上插座，即使隨身聽本身電源已關閉，實際上並沒有中斷 AC 電源（插座）的連接。
- 如果您長時間不使用隨身聽，請務必拔下電源線。要從牆上插座拔下 AC 變壓器，請握住變壓器插頭本身，切勿拉扯電線。

檢查電池的剩餘電力

顯示幕上將會顯示電池剩餘電力。隨著黑色指示格不斷減少，剩餘電力也逐漸減少。



* 顯示幕顯示“電力不足”並發出嗶聲。

電池電量用完後，請為電池充電。

註

- 顯示幕會顯示電池的大約剩餘電力。例如，一格不一定都代表電池電力的四分之一。
- 視不同操作情況而定，顯示幕上顯示的電池電力與實際剩餘電力相比可能有誤差。

電池壽命（連續使用）

ATRAC3plus 48 kbps 的播放時間大約為 30 小時。MP3 128 kbps 的播放時間大約為 22 小時。時間視隨身聽的使用方式而定。

在電腦中安裝 SonicStage

使用隨附的 CD-ROM，在電腦中安裝 SonicStage。

準備所需的系統

需要下列系統環境。

電腦	IBM PC/AT 或相容型
	• CPU：Pentium II 400 MHz 以上（建議使用 Pentium III 450 MHz 以上。） • 硬碟機空間：200 MB 以上（建議使用 1.5 GB 以上。）（空間容量將隨 Windows 版本與儲存在硬碟上的音樂檔案數而異。） • RAM：64 MB 以上（建議使用 128 MB 以上。）
	其他 • 光碟機（需能透過 WDM 驅動程式播放數位音訊） • 音效卡 • USB 連接埠（支援高速 USB。）
作業系統	原廠安裝： Windows XP Media Center Edition 2005/Windows XP Media Center Edition 2004/Windows XP Media Center Edition/Windows XP Professional/Windows XP Home Edition/Windows 2000 Professional/Windows Millennium Edition/Windows 98 Second Edition
顯示螢幕	高彩（16 位元）以上，800 × 600 點以上（建議使用 1024 × 768 點以上。）
其他	• 網際網路連線：用於 Web 註冊、EMD 服務及 CDDB • 已安裝 Windows Media Player（7.0 版或更新版本），可播放 WMA 檔案

註

- 下列環境不支援 SonicStage：
  - 上述作業系統之外的系統
  - 個人組裝的 PC 或作業系統
  - 由原廠安裝的作業系統升級的環境
  - 多重開機環境
  - 多監視器環境
  - Macintosh
- 我們並不保證在滿足系統需求的所有電腦上進行操作時都不會發生故障。
- Windows XP/Windows 2000 Professional 的 NTFS 格式只能與標準（原廠）設定一起使用。
- 對於 Windows 2000 Professional 使用者，請在使用軟體之前安裝 Service Pack 3 或更新版本。
- 我們並不保證在電腦上的系統暫停、睡眠或休眠功能的操作都不會發生故障。

安裝 SonicStage

請在安裝 SonicStage 軟體前檢查下列各項。

- 確定關閉所有包括防毒軟體在內的其他軟體，因為這些軟體通常需要大量的系統資源。
- 確定使用隨附的 CD-ROM 安裝 SonicStage。
  - 如果已安裝 OpenMG Jukebox 或 SonicStage，則現有軟體將被具有新功能的新版本覆寫。
  - 如果已安裝 SonicStage Premium、SonicStage Simple Burner 或 MD Simple Burner，則現有軟體將與 SonicStage 共存。
  - 您仍然可以使用現有軟體註冊的音訊資料。作為一種預防措施，我們建議您對音訊資料進行備份。要備份資料，請參閱 SonicStage 說明上的“備份我的曲庫”-“將資料備份到磁碟”。

1 **開啟電腦電源，然後啟動 Windows。**

2 **將隨附的 CD-ROM 放入電腦的光碟機中。**

安裝程式將自動啓動，且安裝視窗會出現。
視區域而定，可能會出現一個視窗要求您選擇國家/地區。在此情況下，請按照顯示的說明進行。

3 **按一下您將使用 SonicStage 軟體的區域。**



4 **按一下“安裝 SonicStage”，然後按照顯示的說明進行。**

“安裝 SonicStage”



請仔細閱讀說明。
視您的區域而定，除“安裝 SonicStage”之外的按鈕可能不同於上圖中的按鈕。
視系統環境而定，安裝過程可能需要 20 到 30 分鐘。
請確定只在安裝完成後才重新啓動電腦。
如果在安裝期間發生任何問題，請參閱“故障排除”(☞ 第 43 頁)。

有關解除安裝的注意事項

安裝 SonicStage 時也將安裝“OpenMG Secure Module”。如果解除安裝 SonicStage，請勿刪除 OpenMG Secure Module，因為該模組可能被其他軟體使用。

將音訊資料匯入電腦

將音樂 CD 上的曲目（音訊資料）錄製及儲存到電腦硬碟機上的 SonicStage“我的曲庫”中。

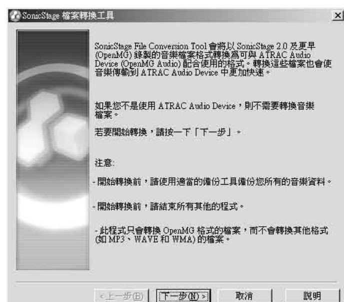
您可以從網際網路與電腦的硬碟等其他來源錄製或匯入曲目。請參閱 SonicStage 說明以獲得詳細資料（☞ 第 16 頁）。



1 **選擇“開始”–“所有程式”*–“SonicStage”–“SonicStage”。**

SonicStage 將啟動。

如果使用較早版本的 SonicStage，安裝後第一次啓動 SonicStage 時，“SonicStage 檔案轉換工具”** 視窗將會出現。請按照視窗中的說明進行。



* 在 Windows Millennium Edition/Windows 2000 Professional/Windows 98 Second Edition 中，則為“程式集”。

**此工具會將以 Sonictage 2.0 或更早版本匯入電腦的音訊檔案轉換為最適於本隨身聽的資料格式（OpenMG），以便將音訊資料高速傳輸到隨身聽。

2 **將要錄製的音樂 CD 放入電腦的光碟機中。**

SonicStage 視窗左上角的來源標示將變更為“錄製 CD”。

3 **按一下 SonicStage 視窗上的“音樂來源”。**

音樂 CD 的目錄會出現在音樂來源清單中。如果無法自動取得專輯標題、演出者姓名及曲目名稱等 CD 資訊，請將電腦連線至網際網路，然後按一下視窗右側的“CD 資訊”。

4 **如有必要，請變更音樂 CD 錄製的格式與位元速率。**

按一下 SonicStage 視窗右側的“格式/位元速率”，以顯示“CD 錄製格式 [我的曲庫]”對話方塊。
預設值為 OpenMG Audio (ATRAC3plus) 格式與 64 kbps 位元速率。

5 **按一下 SonicStage 視窗上的 。**

開始錄製選定曲目。

停止錄製

按一下 SonicStage 視窗上的 。

選擇不希望錄製的曲目

在步驟 5 之前，按一下曲目編號以取消核取 SonicStage 視窗上的 ☑。

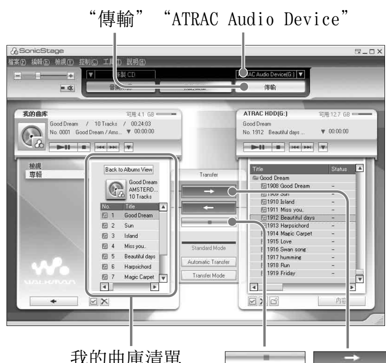
註

只有具有 COMPACT disc DIGITAL AUDIO 標記的音樂 CD 才能與 SonicStage 一起使用。我們並不保證可以正常操作防複製 CD。

準備操作

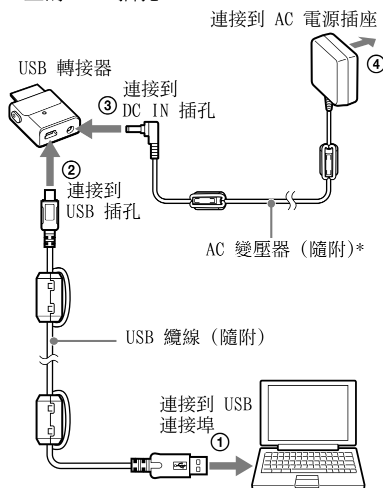
將音訊資料傳輸到隨身聽

將儲存在電腦上的 SonicStage“我的曲庫”中的曲目（音訊資料）以 ATRAC3plus/MP3 格式傳輸到隨身聽。
要傳輸的音訊資料包括 CD 資訊中演出者姓名與專輯名稱（原始專輯名稱）等資訊。



1 將 USB 轉接器連接到電腦與 AC 變壓器。

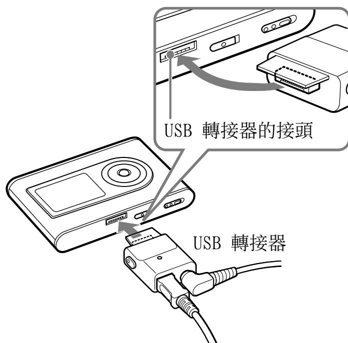
如下圖所示，從 ① 連接到 ④。將 USB 纜線的大接頭連接到電腦上的 USB 連接埠，將小接頭連接到 USB 轉接器上的 USB 插孔。



* 傳輸音訊資料時，請確定將 AC 變壓器連接到 USB 轉接器。否則，無法傳輸音訊資料。

2 **將 USB 轉接器連接到隨身聽。**

如下圖所示，插入 USB 轉接器直至卡入定位。
顯示幕上將出現“PC 連線”。
SonicStage 視窗中將會出現自動傳輸的設定顯示幕。請按照視窗中的說明進行。如需詳細資料，請參閱 SonicStage 說明（☞ 第 16 頁）。



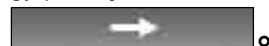
3 **按一下 SonicStage 視窗右側的“傳輸”。**

螢幕將切換到“傳輸”視窗。

4 **從 SonicStage 視窗右側的傳輸目的地清單中選擇“ATRAC Audio Device”。**

5 **按一下 SonicStage 視窗左側“我的曲庫”清單中要傳輸的曲目。**

要傳輸多首曲目，在選擇曲目的同時按住“Ctrl”鍵。要傳輸專輯的所有曲目，請按一下該專輯。

6 **按一下 SonicStage 視窗上的 。**

選定的曲目即開始傳輸。
您可以在 SonicStage 視窗上檢查傳輸狀態。

停止傳輸

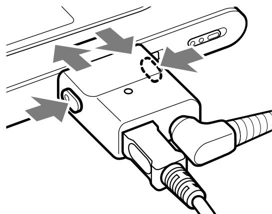
按一下 SonicStage 視窗上的 。

註

請勿在傳輸音訊資料時容易發生振動的地方使用隨身聽。另外，請勿將隨身聽放在靠近磁性物體的地方。

從隨身聽上取下 USB 轉接器

按壓兩側的灰色按鈕，向內推 USB 轉接器，然後將其向外拉出。



續

註

- 請勿在傳輸資料時拔下 USB 纜線或 USB 接頭。否則，正在傳輸的資料可能會損毀。
- 使用 USB 集線器或 USB 延長線時不能保證隨身聽的效能。請永遠使用隨附的 USB 纜線將隨身聽直接連接到電腦。
- 部分連接到電腦的 USB 裝置可能會干擾隨身聽的正常操作。
- 連接到電腦時，隨身聽上的控制鈕全部無法使用。如果在播放期間將隨身聽連接到已連接到電腦的 USB 轉接器，播放將停止，並且在隨身聽顯示幕上會出現“PC 連線”字樣。
- 隨身聽上沒有足夠的可用空間用於儲存要傳輸的音訊資料時，傳輸將會失敗。
- 在傳輸期間，系統暫停、睡眠或休眠功能將無法操作。
- 視文字類型與字元數而定，SonicStage 輸入的文字可能不會在隨身聽上顯示。這是由於隨身聽的限制造成的。
- 如果隨身聽連接到已開機的電腦一段時間，或者在大量的資料傳輸到隨身聽之後，隨身聽可能會變熱。但是，這並不是故障。從 USB 轉接器上拔下隨身聽，並將隨身聽擱置一段時間。

使用 SonicStage 說明

SonicStage 說明提供了有關如何使用 SonicStage 的更多詳細資料。SonicStage 說明可讓您輕易地透過下列方式搜尋相關資訊：從諸如“匯入音訊資料”或“傳輸音訊資料”等操作清單，或者主要關鍵字清單中，或者透過鍵入可讓您進入相應說明的文字。

1 在 SonicStage 執行時，按一下“說明”－“SonicStage 說明”。

說明將會出現。
隨身聽在 SonicStage 說明中以“ATRAC Audio Device”表示。

“SonicStage 說明”



註

- 在 SonicStage 說明中，“裝置/媒體”是表示本隨身聽的一般用語。
- 按照網際網路供應商的建議系統相關事項說明來進行。

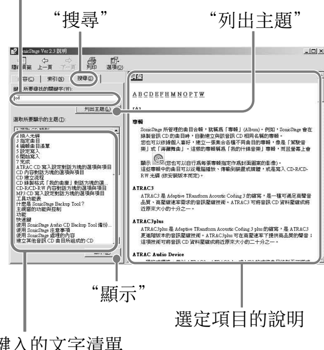
瞭解 SonicStage 說明



1 連按兩下 SonicStage 說明左框格中的“ 概觀”。

2 按一下“ 關於本說明檔案”。
右框格中將會出現說明。
如有必要，請捲動顯示幕。按一下底線文字以跳到其相應說明中。

搜尋說明中的文字



1 按一下“搜尋”。

2 鍵入文字。

3 按一下“列出主題”。
鍵入的文字清單將會顯示。

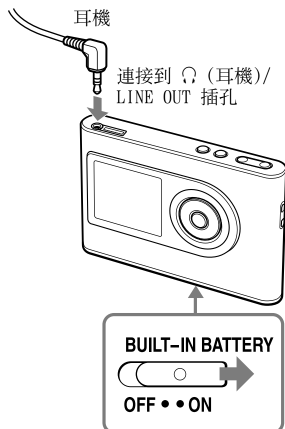
4 按一下以選擇所顯示文字中所需的項目。

5 按一下“顯示”。
選定項目的說明將會顯示。

播放

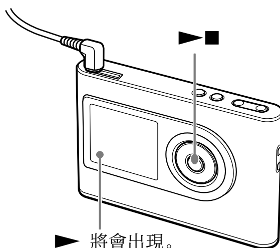
請先將音訊資料從電腦傳輸至隨身聽
(☞ 第 14 頁)。
您可以將顯示幕上的功能表與訊息語言變更為您的母語 (☞ 第 31 頁)。

1 將 BUILT-IN BATTERY 開關設為 ON (☞ 第 8 頁)，然後將耳機連接到隨身聽。

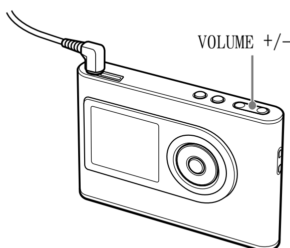


2 按下 ►■。

► (播放) 出現在顯示幕左下方，隨身聽開始播放。



3 按下 VOLUME +/– 調整音量。



可以播放的音訊資料

此隨身聽可以播放以 ATRAC3plus/MP3 格式壓縮的音訊資料。
ATRAC3plus（Adaptive Transform Acoustic Coding3plus，自適應變換聲編碼3）是一種符合高音質與高壓縮率要求的音訊壓縮技術。
ATRAC3plus 能以 64 kbps 的速度將音訊檔案壓縮為原始大小的 1/20 左右。
可以播放的 MP3 檔案格式如下所示：

- MPEG-1 Audio Layer-3
- 位元速率為 32 至 320 kbps（CBR/VBR）
- 取樣頻率為 32/44.1/48 kHz

註

- 隨身聽無法播放的 MP3 格式檔案仍然可以傳輸至隨身聽中。
- 如果嘗試播放此隨身聽無法播放的 MP3 曲目，播放將會停止。按下 ▶▶| 可選擇其他曲目。
- 使用內建電池時，如果隨身聽在停止模式下約 30 秒內沒有任何操作，顯示幕電源會自動關閉。捲動曲目標題等項目時，顯示幕電源會在捲動完成約 30 秒後關閉。
- 使用 AC 變壓器時，如果隨身聽在停止模式下約 3 分鐘內沒有任何操作，顯示幕電源會自動關閉。捲動曲目標題等項目時，顯示幕電源會在捲動完成約 3 分鐘後關閉。
- 如果隨身聽沒有開始播放，請確認 HOLD 開關是否已設為關閉（☞ 如右文所示）。

鎖定控制鈕（HOLD）

您可以鎖定控制鈕以免攜帶隨身聽時不小心按下按鈕。啟用 HOLD 功能後，如果按下任何按鈕，“HOLD”將在顯示幕上閃爍。

1 朝箭頭所示方向滑動 HOLD 開關。

解除鎖定控制鈕

朝箭頭所示相反方向滑動 HOLD 開關。

續 ⟹

基本播放操作（播放、停止、搜尋）

動作	操作
從隨身聽先前停止處開始播放	按下 ►■，可從先前停止處開始播放。
停止播放	按下 ►■。
尋找目前曲目的起始處	按一下 I◄◄。
尋找上一首曲目的起始處*	重複按下 I◄◄。
尋找下一首曲目的起始處*	按一下 ►►I。
尋找後續曲目的起始處*	重複按下 ►►I。
倒轉	按住 I◄◄。
快轉	按住 ►►I。

* 如果選擇了隨機播放或播放單元隨機播放（☞ 第 26 頁），則播放順序會有所不同。

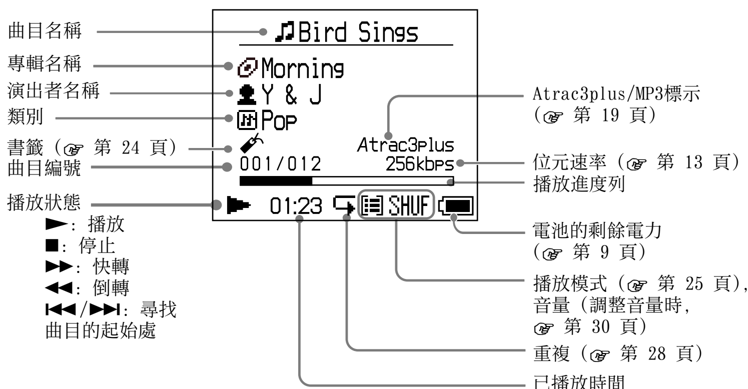
關閉隨身聽電源

按住 MENU 直到顯示幕關閉。
要重新開啟隨身聽電源，請按下任何按鈕。

在顯示幕上查看資訊

您可以在隨身聽顯示幕上查看音訊資料與播放狀態。

播放過程中的隨身聽顯示幕



註

可以顯示從 A 到 Z、a 到 z、0 到 9 等字元以及各種符號（/ 除外）。

播放按 MODE 選定的曲目
(演出者、專輯、類別、群組等)

將隨身聽中的曲目分組至“模式”(例如按“演出者”或“專輯”分組)後，您可以自由選擇要聽的曲目。
共有五種模式，此處以“演出者”模式的顯示幕為例說明其步驟。
如需有關各模式顯示幕的詳細資料，請參閱 ☞ 第 23 頁。
您也可以重複播放(☞ 第 28 頁)或隨機播放(☞ 第 26 頁，隨機播放)選定曲目。

1 重複按下 MODE 選擇模式。

每按一下按鈕，模式會按下列順序依次變更:

演出者 → 專輯 * → 類別 → 群組 ** → 其他 → 返回演出者

模式將會出現。



* 顯示幕上出現的是 SonicStage 的 CD 資訊中的專輯名稱(原始專輯名稱)。

**專輯在 SonicStage 中會識別為群組。

2 按下 ↑ 或 ↓ 選擇模式中的項目。

在要開始播放的位置按下 ►■。播放將從選定演出者第一張專輯的第一首曲目開始。列在選定演出者之後的演出者所有專輯將按曲目編號順序播放。

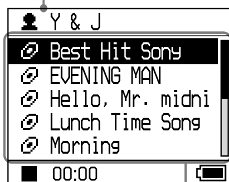
您想聆聽的演出者。



續 ⇒

3 **要搜尋更多曲目，請按下 ►►I。**

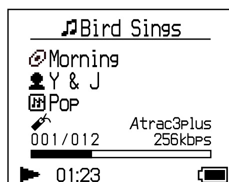
在步驟 2 中選定的演出者。



選定演出者的專輯將會出現。

4 **按下 ↑ 或 ↓ 選擇項目，然後按下 ►■。**

播放會從選定曲目或選定項目（演出者或專輯等）的第一首曲目開始。列在選定項目後的所有曲目將按曲目編號順序播放。



返回開始播放處的顯示幕

按住 MODE。

返回選擇模式所在的顯示幕

按下 MODE。

返回曲目清單

按下 ↑ 或 ↓。

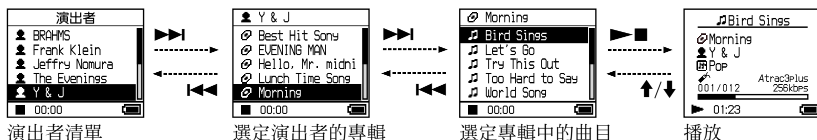
在選擇模式或在清單顯示幕中停止播放

按住 ►■。

模式顯示幕

顯示幕將因模式而異。
在所有顯示幕中，按下 ►■ 即可開始播放。

演出者



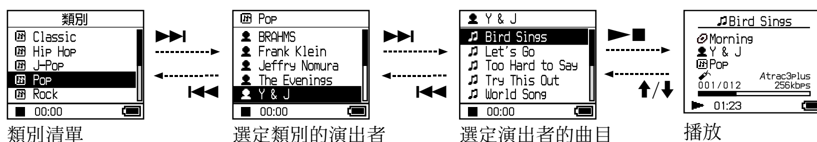
演出者清單　選定演出者的專輯　選定專輯中的曲目　播放

專輯：顯示 SonicStage 的 CD 資訊中的專輯名稱（原始專輯名稱）



專輯清單　選定專輯中的曲目　播放

類別



類別清單　選定類別的演出者　選定演出者的曲目　播放

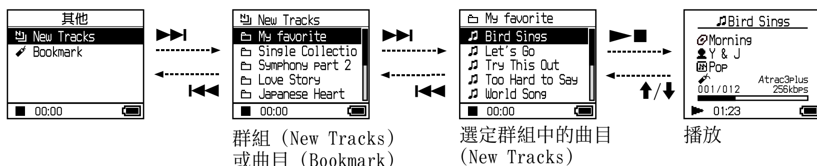
群組：播放 SonicStage 中建立的專輯群組曲目



群組清單　選定群組中的曲目　播放

其他

- “New Tracks”：最近（最近 5 次）傳輸到隨身聽的群組中的曲目
- “Bookmark”：設為書籤的曲目（關於如何新增書籤，請參閱 ☞ 第 24 頁）



群組（New Tracks）或曲目（Bookmark）　選定群組中的曲目（New Tracks）　播放

續

新增書籤（書籤曲目播放）

您可以將書籤新增至最愛的曲目以進行播放。要播放設有書籤的曲目，請選擇“其他”模式（☞ 第 21 頁）。

1 **播放曲目時，如果您要在該曲目新增書籤，按住 ⬆ 或 ⬇。**

書籤編號（設有書籤的曲目數目/可用的書籤數目）將會出現，隨後 ✐（書籤）將會亮起。

2 **如果要將書籤新增到兩個或兩個以上的曲目，請重複步驟 1。**

最多可在 100 首曲目中新增書籤。

播放設有書籤的曲目

1. 重複按下 MODE 選擇“其他”模式。
2. 按下 ⬆ 或 ⬇ 選擇“Bookmark”，然後按下 ▶▶I。
   要播放所有設有書籤的曲目，請按下 ▶■。
3. 按下 ⬆ 或 ⬇ 選擇曲目，然後按下 ▶■。

移除書籤

播放曲目時，如果您要移除該曲目的書籤，按住 ⬆ 或 ⬇。
顯示幕上將會顯示“關閉”，✐ 亦會消失。

註

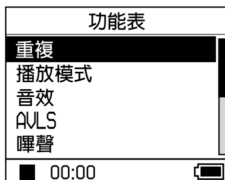
只能在播放過程中新增或移除書籤。

變更播放選項（播放模式）

您可以使用各種播放選項，例如選擇要聽的歌曲，然後以隨機順序播放歌曲等。
如需有關播放選項（播放模式）的詳細資料，請參閱 ☞ 第 26、27 頁。
您還可以用選擇的播放選項重複播放歌曲（☞ 第 28 頁，重複播放）。

1 按下 MENU。

"功能表"顯示幕將會出現。



2 按下 ↑ 或 ↓ 選擇"播放模式"，然後按下 ►■。

"播放模式"顯示幕將會出現。



3 按下 ↑ 或 ↓ 選擇播放選項，然後按下 ►■。

預設值為"Normal"(一般播放)。



播放選項出現。

4 按兩下 MENU 移至播放顯示幕，然後按下 ►■。

播放會依照選定的播放選項開始。

取消設定

按下 MENU 返回"功能表"顯示幕。
按住 MODE 或按下"功能表"顯示幕中的"功能表"，返回步驟 1 之前的顯示幕。

返回一般播放

在步驟 3 中，選擇"Normal"。

返回選擇模式所在的顯示幕

按下 MODE。

註

當您變更播放模式時，播放單元（☞ 第 27 頁）亦會變更為隨身聽中錄製的所有曲目。
如果僅要播放選定的播放模式，請在清單顯示幕中選擇項目（演出者、專輯、曲目等）。

續 ⇀

播放選項（播放模式）

播放的曲目範圍（☞ 第 27 頁“播放單元”）視開始播放的模式而定（☞ 第 21 頁）。

功能表顯示幕/圖示	說明
Normal/無圖示 （一般播放）	選定項目之後的所有曲目將按曲目編號順序播放一次。 如果選擇曲目以外的項目（專輯、演出者等），會從項目的第一首曲目開始，按照曲目編號順序將所有曲目播放一次。
1 Track/1 （單曲播放）	選定曲目只播放一次。 如果選擇曲目以外的項目（專輯、演出者等），則只有第一首曲目會播放一次。
Play Unit/ （播放單元播放）	選定播放單元的所有曲目將按曲目編號順序播放一次。
Track SHUF/♫ SHUF （隨機播放）	選定播放單元的所有曲目將按隨機順序播放一次。 在選擇模式所在的顯示幕中，所有錄製曲目將按隨機順序播放一次。
Unit SHUF/ SHUF （播放單元隨機播放）	選定播放單元的所有曲目將按所有播放單元的隨機順序播放一次。

什麼是“播放單元”？

播放開始時，清單中的所有項目（演出者、專輯、曲目等）均稱為“播放單元”。
當您變更播放模式時，播放單元會變更為隨身聽中錄製的所有曲目。

播放單元的播放

範例：選擇演出者模式時

演出者	專輯	曲目
演出者 BRAHMS Frank Klein Jeffry Nomura The Evenings Y & J 00:00	Y & J Best Hit Song EVENING MAN Hello, Mr. midni Lunch Time Song Morning 00:00	Morning Bird Sings Let's Go Try This Out Too Hard to Say World Song 00:00
所有演出者的所有曲目將組成一個播放單元。	演出者“Y & J”所有專輯中的所有曲目組成一個播放單元。	演出者“Y & J”的專輯“Morning”中的所有曲目組成一個播放單元。
選擇“Play Unit”（播放單元播放）時		
• 播放將從“Y & J”中的曲目開始，並在播放完“The Evenings”中所有曲目後結束。	• 播放將從專輯“Morning”開始，並在播放完專輯“Lunch Time Song”中所有曲目後結束。	• 播放將從專輯“Morning”的第一首曲目開始，並在播放完所有曲目後結束。
選擇“Unit SHUF”（播放單元隨機播放）時		
• 隨機播放每位演出者的作品，演出者的專輯或曲目將按順序播放。	• 隨機播放每張專輯中的曲目，專輯中的曲目將按順序播放。	• 隨機播放專輯“Morning”中的曲目。
選擇“曲目 SHUF”（隨機播放）時		
• 隨機播放錄製的所有曲目。	• 隨機播放“Y & J”所有專輯中的曲目。	• 隨機播放專輯“Morning”中的曲目。

隨機播放

例如，要隨機播放隨身聽中錄製的所有曲目，請顯示“其他”以外的模式（“演出者”模式等），選擇“Track SHUF”作為播放模式，然後開始播放（☞ 第 25 頁）。隨身聽中錄製的所有曲目將按隨機順序播放一遍。



續

重複播放曲目（重複播放）

依照 ☞ 第 25 頁選定的播放選項重複播放曲目。

1 選擇要重複的播放選項（☞ 第 25 頁）。

2 按下 MENU。

“功能表”顯示幕將會出現。



3 按下 ⬆ 或 ⬇ 選擇“重複”，然後按下 ►■。

“重複”顯示幕將會出現。



4 按下 ⬇ 選擇“開啟”，然後按下 ►■。



出現。

5 按兩下 MENU 移至播放顯示幕，然後按下 ►■。

目前的播放選項將會重複。

重複所有曲目

選擇“其他”以外的模式（“演出者”模式等），然後執行步驟 1 至 5。

取消設定

按下 MENU 返回“功能表”顯示幕。
按住 MODE 或按下“功能表”顯示幕中的“功能表”，以返回步驟 2 之前的顯示幕。

返回一般播放

在步驟 4 中，在“重複”顯示幕中選擇“關閉”。

返回選擇模式所在的顯示幕

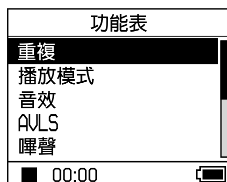
按下 MODE。

變更音效品質與設定

如需各項設定的詳細資訊，請參閱
☞ 第 30 頁。

1 **按下 MENU。**

"功能表"顯示幕將會出現。



2 **按下 ↑ 或 ↓ 選擇項目，然後按下 ►■。**

設定選定項目的顯示幕將會出現。

3 **按下 ↑ 或 ↓ 選擇選項，然後按下 ►■。**

變更音效品質

在步驟 3 後，按下 ↑ 或 ↓ 選擇選項（☞ 第 30 頁），然後按下 ►■。
如果選擇"Custom1"、"Custom2"、"Custom3"或"Custom4"，則可自訂音效品質（☞ 第 32 頁）。

返回前一個顯示幕

按下 ⏮。

取消設定

按下 MENU 返回"功能表"顯示幕。
按住 MODE 或按下"功能表"顯示幕中的"功能表"，返回步驟 1 之前的顯示幕。

返回選擇模式所在的顯示幕

按下 MODE。

註

如果選定"V-SUR"或"Sound EQ"，則音效設定對 MP3 曲目不起作用。要變更 MP3 曲目的音效品質，請調整"Digital Sound Preset"音效設定。

續 ⟶

設定項目

項目	選項（●：預設值）		
音效 （音效設定）	● 關閉		以一般音效品質播放曲目。
	V-SUR [1][2]	Studio （VS）	重現錄音室音效。
		Live （VL）	重現音樂廳音效。
		Club （VC）	重現舞廳音效。
		Arena （VA）	重現運動場音效。
	Sound EQ [1][2]	Heavy （SH）	以強勁音效播放曲目，與“Pops”音樂相比，更強調高音與低音。
		Pops （SP）	以聲樂音效播放曲目，加強中音。
		Jazz （SJ）	以輕快音效播放曲目，強調高音與低音。
		Unique （SU）	以特殊音效播放曲目，相對中音而言，更強調高音與低音。
		Custom1 （S1）	以自訂音效播放曲目（請參閱 ☞ 第 32 頁以獲得詳細資料）。
		Custom2 （S2）	以自訂音效播放曲目（請參閱 ☞ 第 32 頁以獲得詳細資料）。
	Digital Sound Preset [2]	Custom3 （S3）	以預設高音與低音音效播放曲目 （請參閱 ☞ 第 33 頁以獲得詳細資料）。
		Custom4 （S4）	以預設高音與低音音效播放曲目 （請參閱 ☞ 第 33 頁以獲得詳細資料）。
AVLS [3] （限制音量）	開啟		限制最大音量以保護您的聽覺。
	● 關閉		將會變更音量而不限制音量。
嗶聲 （操作的聲音）	● 開啟		操作隨身聽時會發出嗶聲。
	關閉		嗶聲已關閉。
音訊輸出 （外部音訊輸出）	● 耳機		連接隨附的耳機時選擇此選項。
	線路輸出		使用音源線連接其他裝置（如揚聲器）時，選擇此選項（☞ 第 35 頁）。
對比 （調整顯示幕）	● 右起第二個		顯示幕使用一般亮度。如果隨身聽機身為黑色，則預設值為左起第二個。
	- 至 +		向 - 方向調整可使顯示幕變亮，向 + 方向調整可使用顯示幕變暗。

1)這些設定僅在播放 ATRAC3plus 音訊曲目時有效。播放 MP3 音訊曲目時，這些設定無效。
2)顯示幕上的音效設定以括號中的字母顯示（☞ 第 7 頁）。
3)AVLS 是 Automatic Volume Limiter（自動音量限制系統）的縮寫。

項目	選項（●：預設值）	
背光 （顯示幕的 LCD 背光）	● 自動	按下某個按鈕，顯示幕會亮起約 10 秒鐘；如果捲動曲目標題等，顯示幕會持續亮起。
	10 秒	按下某個按鈕，顯示幕會亮起約 10 秒鐘。即使捲動曲目標題等，燈光也會在約 10 秒鐘後熄滅。
	30 秒	按下某個按鈕，顯示幕會亮起約 30 秒鐘。即使捲動曲目標題等，燈光也會在約 30 秒鐘後熄滅。
	關閉	關閉顯示幕電源以省電。
反向顯示 （顛倒顯示方式）	● 正	字元與圖示顯示為黑色，背景為白色。
	負	字元與圖示顯示為白色，背景為黑色。
語言 （顯示語言）	日本語	訊息與功能表以日文顯示。
	● English	訊息與功能表以英文顯示。
	Français	訊息與功能表以法文顯示。
	Deutsch	訊息與功能表以德文顯示。
	Italiano	訊息與功能表以義大利文顯示。
	Español	訊息與功能表以西班牙文顯示。
	簡体中文 *	訊息與功能表以簡體中文顯示。
	繁體中文 *	訊息與功能表以繁體中文顯示。
	한글*	訊息與功能表以韓文顯示。

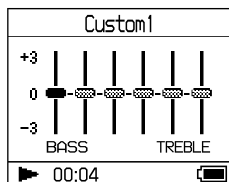
* 視您使用隨身聽的國家/地區而定，上述語言可能不會顯示。

續

自訂音效品質（Sound EQ – Custom）

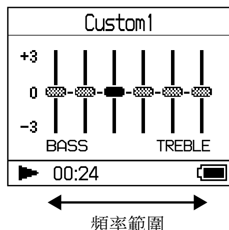
透過在顯示幕上檢查設定，可分別調整每種頻率範圍的音效品質。

1 在“變更音效品質與設定”的步驟 2 中選擇“音效”後（☞ 第 29 頁），請選擇“Sound EQ”的“Custom1”或“Custom2”。



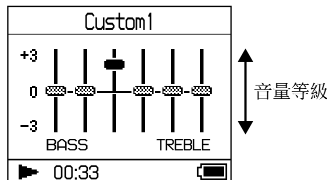
2 按下 ⏮ 或 ⏭ 選擇頻率範圍。

有六種頻率範圍可供選擇。



3 按下 ↑ 或 ↓ 選擇音量。

可選擇的等級有七種。



4 重複步驟 2 與 3 以調整其他頻率範圍。

5 按下 ►■。

“功能表”顯示幕將會出現。

取消設定

按下 MENU 返回“功能表”顯示幕。

按住 MODE 或按下“功能表”顯示幕中的“功能表”，以返回步驟 1 之前的顯示幕。

返回選擇模式所在的顯示幕

按下 MODE。

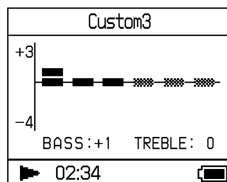
註

- 如果音量調高後造成聲音失真，請調低音量。
- 如果覺得“Custom1”或“Custom2”音效設定與其他音效設定之間的音量有所不同，請根據您的喜好調整音量。

調整高音與低音加強 (Digital Sound Preset)

您可以根據個人喜好預設高音與低音等級。在查看顯示幕的同時調整加強設定。

1 在“變更音效品質與設定”的步驟 2 中選擇“音效”後（☞ 第 29 頁），請選擇“Digital Sound Preset”的“Custom3”或“Custom4”。

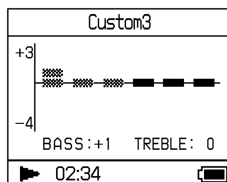


預設值

音效品質	Custom3 (S3)	Custom4 (S4)	關閉 (NORMAL SOUND)
低音	+1	+3	±0
高音	±0	±0	±0

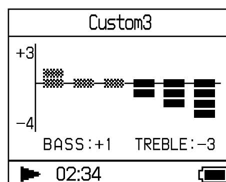
2 按下 ⏮ 或 ⏭ 選擇“Treble”或“Bass”。

您可以調整高音與低音的音效品質。



3 按下 ⬆ 或 ⬇ 選擇音量。

可選擇的等級有八種。



音效品質	加強等級
低音	-4 至 +3
高音	-4 至 +3

4 按下 ►■。

“功能表”顯示幕將會出現。

取消設定

按下 MENU 返回“功能表”顯示幕。

按住 MODE 或按下“功能表”顯示幕中的“功能表”，以返回步驟 1 之前的顯示幕。

返回選擇模式所在的顯示幕

按下 MODE。

註

- 高音與低音分別出現在“Custom3”或“Custom4”圖表的左右兩端。您不能分別調整高音與低音之間的等級，因為所有等級與高低音等級相連結，將會自動變更。
- 如果音量調高後造成聲音失真，請調低音量。
- 如果覺得“Custom3”或“Custom4”音效設定與其他音效設定之間的音量有所不同，請根據您的喜好調整音量。

將音訊資料傳回到電腦

音訊資料可以傳回到電腦上的 SonicStage“我的曲庫”。



1 **將隨身聽連接到電腦（請參閱“將音訊資料傳輸到隨身聽”中的步驟 1 與 2，☞ 第 14 頁）。**

2 **按一下 SonicStage 視窗右側的“傳輸”。**

螢幕將切換到“傳輸”視窗。

3 **從 SonicStage 視窗右側的傳輸目的地清單中選擇“ATRAC Audio Device”。**

4 **按一下 SonicStage 視窗右側 Network Walkman 清單中要傳輸到“我的曲庫”的曲目。**

要傳輸多首曲目，在選擇曲目的同時按住“Ctrl”鍵。要傳輸專輯的所有曲目，請按一下該專輯。

5 **按一下 SonicStage 視窗上的 [←]。**

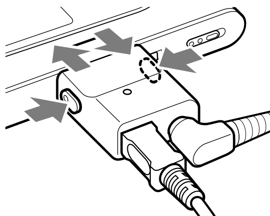
開始傳輸步驟 4 中選定的曲目。
您可以在 SonicStage 視窗上檢查傳輸狀態。

停止傳輸

按一下 SonicStage 視窗上的 [■]。

從隨身聽上取下 USB 轉接器

按壓兩側的灰色按鈕，向內推 USB 轉接器，然後將其向外拉出。

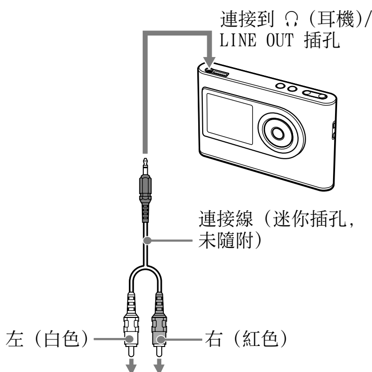


註

- 從另一台電腦傳輸到隨身聽的曲目無法傳輸到您電腦上“我的曲庫”中。
- 請勿在傳輸資料時拔下 USB 纜線或 USB 轉接器。否則，正在傳輸的資料可能會損毀。

連接其他裝置

您可以透過立體聲音響來聆聽曲目，並可將隨身聽上的曲目錄製到 MD 或錄音帶中。請參閱要連接的裝置所隨附之使用說明書。
請務必關閉所有裝置電源，然後按以下所述進行連接並變更設定。



MD 錄放隨身聽、AV 擴音器、主動式揚聲器、卡式錄音機等。

您必須變更“功能表”顯示幕中的“音訊輸出”設定，才能將音效輸出到連接的裝置。“音訊輸出”的設定如下所示。要變更設定，請參閱 ☞ 第 29 頁。

連接裝置	設定
耳機	耳機
使用連接線連接的裝置	線路輸出

連接另一個裝置時，請將其設定為“線路輸出”。設定為“線路輸出”時，無法調整音量，“音效”中的設定無法使用且不起作用。

註

- 將隨附的耳機連接到隨身聽時，請勿將“音訊輸出”設定為“線路輸出”。如果將其設定為“線路輸出”，就無法調整音量，且聲音會失真並伴有雜音。
- 播放前，請將連接裝置的音量調低，以免損壞連接的揚聲器。

儲存音訊檔案以外的資料

您可以使用 Windows 檔案總管，將資料從電腦的硬碟傳輸到隨身聽的內建硬碟中。隨身聽的內建硬碟在 Windows 檔案總管中會顯示為外接式磁碟機（卸除式儲存裝置）。

註

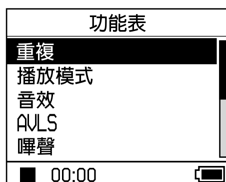
- 使用 Windows 檔案總管操作隨身聽的硬碟時，請勿使用 SonicStage。
- 使用檔案總管傳輸到隨身聽的 WAV 與 MP3 檔案將無法播放，請使用 SonicStage 進行傳輸。
- 請勿在傳輸資料時拔下 USB 纜線。否則，正在傳輸的資料可能會損毀。
- 請勿在電腦上初始化隨身聽硬碟。

重設為原廠設定

將“功能表”顯示幕中的所有設定重設為原廠設定。

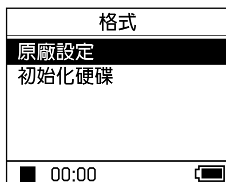
1 **在隨身聽停止播放時按下 MENU。**

“功能表”顯示幕將會出現。



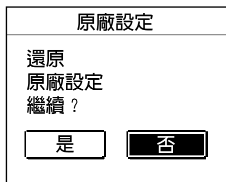
2 **按下 ↑ 或 ↓ 選擇“格式”，然後按下 ►■。**

“格式”顯示幕將會出現。



3 **選擇“原廠設定”後按下 ►■。**

“原廠設定”顯示幕將會出現。



4 **按下 ⏮ 選擇“是”，然後按下 ►■。**

此時會出現訊息，隨後會出現“格式”顯示幕。

取消設定

在步驟 4 中選擇“否”，然後按下 ►■。“格式”顯示幕將會出現。
按下 MENU 返回“功能表”顯示幕。
按住 MODE 或按下“功能表”顯示幕中的“功能表”，以返回步驟 1 之前的顯示幕。

返回選擇模式所在的顯示幕

按下 MODE。

註

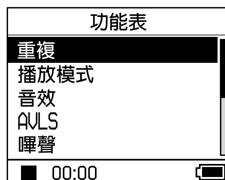
您無法在播放時重設為原廠設定。

初始化硬碟

您可以初始化隨身聽的內建硬碟。如果初始化硬碟，其中儲存的所有音訊資料及其他資料均會清除。請務必在初始化之前檢查硬碟中儲存的資料。
如果曲目因初始化而被清除，在將隨身聽連接到電腦時，SonicStage 會將這些曲目視為要傳回到電腦的曲目。因此，剩餘可傳輸數量會自動增加。

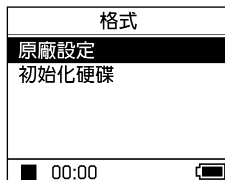
1 **在隨身聽停止播放時按下 MENU。**

“功能表”顯示幕將會出現。



2 **按下 ⬆ 或 ⬇ 選擇“格式”，然後按下 ►■。**

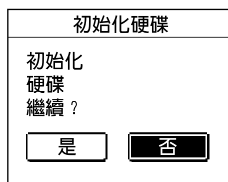
“格式”顯示幕將會出現。



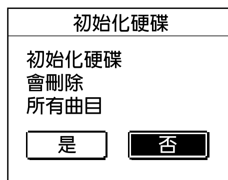
續

3 **按下 ⬇ 選擇“初始化硬碟”，然後按下 ►■。**

“初始化硬碟”顯示幕將會出現。



4 **按下 I◄◄ 選擇“是”，然後按下 ►■。**



5 **按下 I◄◄ 選擇“是”，然後按下 ►■。**

此時會出現訊息，隨後會出現“格式”顯示幕。

取消設定

在步驟 5 中選擇“否”，然後按下 ►■。“格式”顯示幕將會出現。
按下 MENU 返回“功能表”顯示幕。
按住 MODE 或按下“功能表”顯示幕中的“功能表”，以返回步驟 1 之前的顯示幕。

返回選擇模式所在的顯示幕

按下 MODE。

註

- 請勿在電腦上初始化隨身聽硬碟。
- 您無法在播放時格式化硬碟。
- 如果初始化隨身聽，所有音訊資料及音訊資料以外的檔案均會刪除。

有關處置裝置的注意事項

本隨身聽具有一個內建鋰離子充電電池。處置隨身聽時，務必正確處置電池。

> 一部分國家對於本產品的電源用電池可能規定有處置的標準。
> 請洽詢當地有關當局。

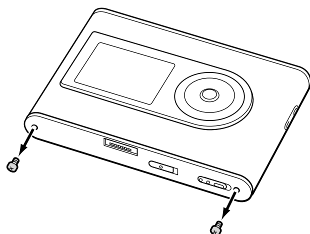
註

- 除非處置隨身聽，否則切勿進行拆卸。
- 處理內部金屬零件時請小心，特別注意其邊緣。

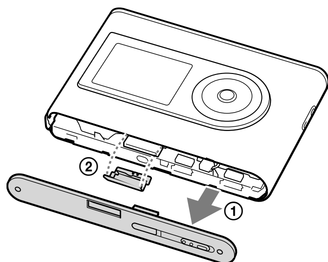
取出內建充電電池

1 將隨身聽底部的 BUILT-IN BATTERY 開關滑到 OFF 位置。

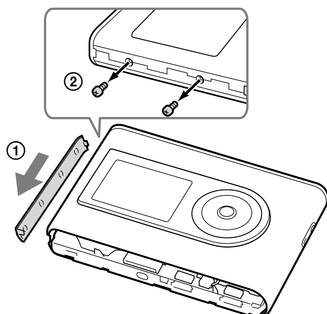
2 取下底部的兩顆螺絲。



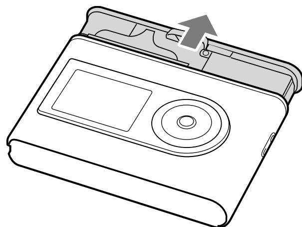
3 卸下底部的擋片（①）與 USB 托具（②）。如有必要，請使用鑷子等工具。



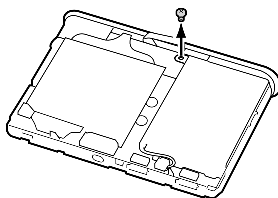
4 滑開側面擋片（①）並取出本隨身聽側面上的兩顆螺絲（②）。



5 用手指將底部推入隨身聽，並按下列箭頭所示方向拉出隨身聽內部。

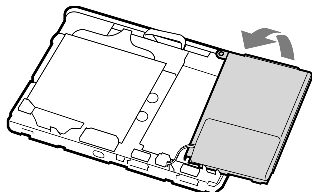


6 取下電池一側的螺絲。

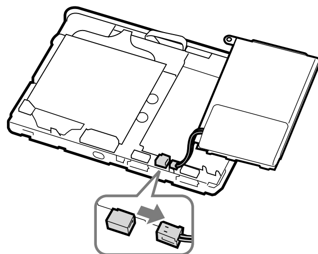


續

7 取出內建電池。



8 拉動電池與隨身聽之間的連接線以分開接頭。



故障排除

如果隨身聽發生故障，請嘗試下列解決方法。

1 將 BUILT-IN BATTERY 開關設定為 OFF，然後再設定為 ON。設定為 OFF 時，資料不會遺失。
2 檢查“故障排除”中的症狀。
3 如果問題仍然存在，請就近與 Sony 經銷商聯絡。

電源

問題	起因與/或更正措施
CHG 指示燈未亮起。	→ USB 轉接器的端子髒了。使用柔軟的乾布擦拭。 → 隨身聽未連接到 USB 轉接器。穩固地插入 USB 轉接器，直到其到達末端並卡入定位（☞ 第 8 頁）。
CHG 指示燈閃爍。	→ 溫度不適合。在 5 到 35℃ 之間的環境溫度下為電池充電。
電池壽命過短。	→ 操作溫度低於 5℃。這是電池特性的原因，不是故障。 → 長期未使用隨身聽。重複充電與放電即可改善電池效能。 → 電池需要更換。請就近與 Sony 經銷商聯絡。 → 電池充電時間不夠。隨身聽需要 15 分鐘的時間來檢查電池狀況以便在快速充電開始之前對電池提供保護。對電池充電，直到電池充足電（直到 CHG 指示燈熄滅）。

續 ⟹

音效

問題	起因與/或更正措施
無聲音。聽到雜音。	→ 音量設定為零。調高音量（☞ 第 18 頁）。 → 未正確連接耳機插頭。請將耳機插頭穩固地連接到 🎧（耳機）/LINE OUT 插孔（☞ 第 18 頁）。 → 耳機插頭髒了。使用柔軟的乾布清潔耳機插頭。 → 硬碟中未儲存音訊資料。
音量不增大。	→ “AVLS”設定為“開啟”。將其設定為“關閉”（☞ 第 30 頁）。
耳機的右聲道無聲音。	→ 未正確連接耳機插頭。請將耳機插頭穩固地連接到 🎧（耳機）/LINE OUT 插孔（☞ 第 18 頁）。
無法調整音量。	→ “音訊輸出”設定為“線路輸出”。使用連接裝置上的音量控制鈕調整音量，或將“音訊輸出”設定為“耳機”（☞ 第 30 頁）。
使用與立體聲音響連接的隨身聽時，聲音失真或有雜音。	→ “音訊輸出”設定為“耳機”。請將其設定為“線路輸出”（☞ 第 30 頁）。
播放 MP3 音訊曲目時，即使設定了“音效”中的“虛擬環繞聲”與“音效均衡器”，聲音也不會變更。	→ 在播放 MP3 音訊曲目時，只有“數位音效預設”中的設定起作用（☞ 第 30 頁）。

操作/播放

問題	起因與/或更正措施
按鈕不起作用。	→ 按鈕已鎖定。將 HOLD 開關滑回原位（☞ 第 19 頁）。 → 發生濕氣凝結。將隨身聽擱置幾小時，直至濕氣蒸發。 → 剩餘電池電力不足。請為電池充電（☞ 第 8 頁）。 → 隨身聽連接到已開機的電腦時，如果 USB 轉接器連接到隨身聽，按鈕操作將無效。從隨身聽上取下 USB 轉接器（☞ 第 9 頁）。
播放突然停止。	→ 剩餘電池電力不足。請為電池充電（☞ 第 8 頁）。 → 嘗試播放本隨身聽無法播放的 MP3 音訊曲目時，播放將會停止。請按下 ▶▶I 以選擇其他曲目（☞ 第 19 頁）。
背光未開啟。	→ “背光”設定為“關閉”。請將其設定為“自動”、“10 秒”或“30 秒”（☞ 第 31 頁）。
標題顯示“□”。	→ 內含無法在隨身聽上顯示的字元。請使用 SonicStage 軟體用適當的字元重命名標題。

顯示幕關閉。	➔ 在停止模式下，如果約 30 秒（使用電池）或約 3 分鐘（使用 AC 變壓器）內未進行任何操作，顯示幕將自動關閉。捲動曲目標題等時，顯示幕電源會在捲動完成約 30 秒或約 3 分鐘後關閉。另外，按住 MENU 也將關閉顯示幕。在所有情況下，按下任何按鈕即可再次開啟顯示幕。

連接電腦/SonicStage

問題	起因與/或更正措施
無法安裝 SonicStage 軟體。	➔ 使用了與軟體不相容的作業系統（☞ 第 10 頁）。 ➔ 所有 Windows 應用程式均未關閉。如果其他程式正在執行時開始安裝，則可能會發生故障。特別是對於需要佔用大量系統資源的程式（如防毒軟體），更會出現這種情況。 ➔ 電腦硬碟沒有足夠的空間。需要 200 MB 以上的可用空間。請刪除電腦上不必要的檔案。
安裝似乎在尚未完成之前即已停止。	➔ 查看安裝視窗下方顯示的錯誤訊息。請在按住“Alt”鍵的同時按下“Tab”鍵。如果出現錯誤訊息，請按下“Enter”鍵。安裝將繼續進行。如果沒有訊息，則表示安裝仍在進行。請等待更長時間。
電腦顯示幕上的進度列沒有移動。電腦存取指示燈持續幾分鐘未亮起。	➔ 安裝在正常進行。請稍候。視光碟機或系統環境而定，安裝過程可能需要 30 分鐘或更長時間。
使用 USB 纜線連接到電腦時，“PC 連線”未顯示。	➔ 請等待 SonicStage 軟體的驗證。 ➔ 電腦正在執行另一應用程式。請稍等一段時間或重新連接 USB 纜線。如果問題仍然存在，請拔下 USB 纜線，重新啟動電腦，然後重新連接 USB 纜線。 ➔ 未正確連接 USB 纜線。拔下 USB 纜線，然後重新連接。 ➔ 使用了 USB 集線器。不保證能順利使用 USB 集線器連接。請將 USB 纜線直接連接到電腦。

續

問題	起因與/或更正措施
連接到電腦時，隨身聽不被電腦識別。	→ USB 轉接器未正確連接到隨身聽。穩固地插入 USB 轉接器，直到其到達末端並卡入定位（☞ 第 8 頁）。 → 未正確連接 USB 纜線。拔下 USB 纜線，然後重新連接。 → 使用了 USB 集線器。不保證能順利使用 USB 集線器連接。請將 USB 纜線直接連接到電腦。 → 未安裝隨身聽的驅動程式檔案。使用隨附的 CD-ROM 重新安裝隨身聽的 SonicStage 軟體（☞ 第 11 頁），以便一起安裝驅動程式。 → SonicStage 軟體的安裝失敗。中斷隨身聽與電腦的連接，然後使用隨附的 CD-ROM 重新安裝軟體（☞ 第 11 頁）。 → 將 BUILT-IN BATTERY 開關滑到 ON 位置。
您無法從電腦將音訊資料傳輸到隨身聽。	→ 未正確連接 USB 纜線。拔下 USB 纜線，然後重新連接。 → 曲目已傳輸到隨身聽三次。將曲目傳回電腦以增加可傳輸數量（☞ 第 34 頁），然後再次將曲目傳輸到隨身聽。 → 隨身聽硬碟的可用空間不足。將任何不必要的曲目傳回電腦，以增加可用空間（☞ 第 34 頁）。 → 已經傳輸了 65535 首以上的曲目或 4096 個以上的群組到隨身聽硬碟。或者已經傳輸了 999 首以上的曲目到一個群組。 → 由於版權所有者設定的限制，可能無法傳輸限定播放時間或播放次數的曲目。如需有關每個音訊檔案設定的詳細資料，請與經銷商聯絡。
可傳輸到隨身聽的曲目數不多(可用錄製時間過短)。	→ 隨身聽硬碟的可用空間不足以儲存您嘗試傳輸的音訊資料的大小。請傳回任何不必要的曲目，以增加可用空間（☞ 第 34 頁）。 → 隨身聽的硬碟儲存了音訊資料以外的資料。請將音訊資料以外的資料移到電腦以增加可用空間。
您無法從隨身聽將音訊資料傳回電腦。	→ 將用於傳輸到隨身聽的電腦以外的電腦選擇為傳輸目標。您無法將音訊資料傳回用於傳輸到隨身聽的電腦以外的電腦。 → 音訊資料已從用於傳輸到隨身聽的電腦中刪除。如果曲目已從用於傳輸到隨身聽的電腦中刪除，則無法將音訊資料傳回電腦。

問題	起因與/或更正措施
隨身聽連接到電腦時，音訊資料傳回電腦，剩餘可傳輸數量在沒有操作的情況下偶然增加。	→ 如果使用安裝在用於傳輸到隨身聽的電腦以外的電腦上的 SonicStage 軟體從隨身聽中刪除了曲目，當隨身聽連接到用於傳輸到隨身聽的電腦時，曲目將自動傳回。因此，剩餘可傳輸數會自動增加。
隨身聽連接到電腦時，隨身聽的操作不穩定。	→ 使用 USB 集線器或 USB 延長線。不保證能順利透過 USB 集線器或 USB 延長線連接。請將 USB 纜線直接連接到電腦。
隨身聽連接到電腦時，電腦螢幕上顯示“無法驗證裝置/媒體”。	→ 隨身聽未正確連接到電腦。請結束 SonicStage 軟體，並確認 USB 纜線的連接。重新啟動 SonicStage 軟體。

其他

問題	起因與/或更正措施
隨身聽操作時無嗶聲。	→ “嗶聲”設定為“關閉”。請將其設定為“開啟”(☞ 第 30 頁)。
隨身聽或 USB 轉接器發熱。	→ 隨身聽與 USB 轉接器在電池正在充電以及剛剛充完電之後會發熱，這是因為快速充電的緣故。除此以外，隨身聽與 USB 轉接器在傳輸大量曲目時也會發熱。請將隨身聽擱置一段時間。
聽到隨身聽內部發出聲音。隨身聽晃動。	→ 隨身聽的內建硬碟移動時，您可能會聽到操作的聲音，且隨身聽出現振動。這並不是故障。

錯誤訊息

如果顯示幕上出現錯誤訊息，請按照下列說明進行。

訊息	含義	更正措施
AVLS 無音量 操作	音量超過 AVLS 的最大音量。	→ 將“AVLS”設定為“關閉” （☞ 第 30 頁）。
書籤已滿	書籤數量超過限制。	→ 移除不必要的書籤（☞ 第 24 頁）。
無法操作停止	播放期間在“功能表”顯示幕中選擇了“格式”。	→ 停止播放，並再次選擇“格式”。
停止時無法 操作	您嘗試在隨身聽停止時新增書籤。	→ 在播放期間新增書籤 （☞ 第 24 頁）。
無法播放 連接至 PC	隨身聽中的時鐘不運作。	→ 連接到電腦（☞ 第 14 頁）。
無法播放曲目 錯誤	音訊資料損壞。	→ 再次將音訊資料傳輸到隨身聽 （☞ 第 14 頁）。
無法播放裝置 上的曲目	• 不允許在隨身聽上播放該曲目。 • 播放限定播放次數的曲目。	→ 您無法播放不允許在隨身聽上播放的曲目。
無法播放 無法用於播放	您嘗試在曲目的限制播放時間範圍之外播放曲目。	→ 限定播放時間的曲目只能在指定的播放時間內播放。
充電 5°C - 35°C 41F - 95F	在溫度超過 5 到 35°C 範圍的環境下為隨身聽充電。	→ 在 5 到 35°C 之間的環境溫度下充電。
連接 AC 變 壓器	• 隨身聽連接到電腦，但是 AC 變壓器未連接到 USB 轉接器的 DC IN 插孔。 • AC 變壓器與 USB 轉接器的連接中斷，而隨身聽連接到電腦。	→ 將 AC 變壓器連接到 USB 轉接器 （☞ 第 14 頁）。
硬碟可寫入 5°C - 35°C	在溫度超過 5 到 35°C 範圍的環境下將音訊資料傳輸到隨身聽。	→ 在 5 到 35°C 之間的環境溫度下操作。

訊息	含義	更正措施
硬碟初始化不正確	• 隨身聽硬碟未正確初始化。 • 隨身聽硬碟在電腦上進行初始化。 • 隨身聽硬碟未初始化，因為已被變更。	→ 重新初始化隨身聽硬碟（☞ 第 37 頁）。
HOLD	HOLD 開關設定為 ON。	→ 朝箭頭所示相反方向滑動 HOLD 開關，解除鎖定控制鈕（☞ 第 19 頁）。
LINE OUT 無法操作	“音訊輸出”設定為“線路輸出”時，您嘗試變更音量或“音效”的設定。	→ 將“音訊輸出”設定為“耳機”（☞ 第 30 頁）。
LOW BATTERY	沒有剩餘電力。	→ 為電池充電（☞ 第 8 頁）。
超過最大群組數	群組（專輯、演出者等）數超過限制（8192）。	→ 清單顯示（曲目清單除外）中的項目總數超過 8192。檢查“模式”並將任何不必要的曲目傳回電腦（☞ 第 34 頁）。
系統檔案不符	系統檔案中有不相符項。	→ 初始化隨身聽硬碟（☞ 第 37 頁），然後再次將音訊資料傳輸到隨身聽（☞ 第 14 頁）。
找不到資料庫	中斷與電腦的連接時，沒有曲目傳輸到隨身聽，或缺少“模式”資訊。	→ 將音訊資料傳輸到隨身聽（☞ 第 14 頁）。
無曲目	曲目清單中無曲目。	→ 移至有曲目的曲目清單。 → 將音訊資料傳輸到隨身聽（☞ 第 14 頁）。
系統錯誤 <編號 ***>（編號在括號中顯示。）	系統出現錯誤。	→ 記下編號，並就近與 Sony 經銷商聯絡。

規格

可錄製的最大曲目數（近似值）*

ATRAC3	ATRAC3plus	MP3
5 000 (132 kbps)	2 500 (256 kbps)	5 000 (128 kbps)
6 000 (105 kbps)	10 000 (64 kbps)	10 000 (64 kbps)
10 000 (66 kbps)	13 000 (48 kbps)	

* 傳輸四分鐘曲目時

取樣頻率
44.1 kHz（ATRAC3plus）、32/44.1/48 kHz（MP3）

音訊壓縮技術
自適應變換聲編碼 3plus（ATRAC3plus）、
MPEG-1 音頻動態壓縮第 3 層（MP3）

頻率響應
20 到 20 000 Hz
（在播放期間測量單一訊號）

輸出
🎧（耳機)/LINE OUT*：立體聲迷你插孔/194 mV
* 插孔用於耳機與 LINE OUT。

操作溫度
5 到 35℃

電源
DC IN 6 V（內建充電電池供電）

電池壽命（連續播放）
ATRAC3plus 格式（48 kbps）：約 30 小時
MP3 格式（128 kbps）：約 22 小時

尺寸
不含突出零件：
90.0 × 62.1 × 14.8（最薄部分 13.8）公釐（寬/高/深）
含突出零件：
90.8 × 63.4 × 15.7 公釐（寬/高/深）

重量
約 130 克

由 Dolby Laboratories 取得美國與其他國家之專利授權。

設計與規格如有變更，恕不另行通知。

索引

符号

A

B

C

D

E

F

H

I

J

K

http://www.sony.net/

Sony Corporation

SONY®

NW-HD3

사용 설명서

KR

Network Walkman

Portable Hard Disk Audio Player



Atrac3plus

원하는 항목으로 바로 이동하려면 PDF 북마크 또는 사용 설명서의 "목차" 에서 제목을 클릭하거나 문장에서 페이지를 클릭하십시오.



경고

제품에 빗물이 들어가거나 습기가 차면 화재나 감전의 위험이 있습니다.

본 기는 책장이나 조립형 캐비넷과 같은 밀폐된 장소에 놓지 마십시오.

화재가 날 수 있으므로 신문, 헝겊, 커튼 등으로 기기의 환풍구를 막지 마십시오. 또한 기기 위에 촛불을 두지 마십시오.

꽃병과 같이 액체가 들어 있는 물체를 기기 위에 올리지 마십시오. 화재가 발생하거나 감전될 수 있습니다.

설치 시 주의 사항

정전기 또는 전기 잡음이 발행하는 장소에서 플레이어를 사용하면 트랙이 전송하는 정보가 손상될 수 있습니다. 이러한 경우 컴퓨터에서의 전송 권한이 성공적으로 이루어지지 않습니다.

한국 소비자용

이 기기는 가정용으로 전자파 적헙등록을 한 기기로서 주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

"WALKMAN" 은 Sony Corporation 의 등록 상표로서 헤드폰 스테레오 제품을 대표합니다. WALKMAN 은 Sony Corporation의 상표입니다.

목차

사용자 공지 사항

제공된 소프트웨어

- 저작권 법에서는 소프트웨어 및 소프트웨어와 함께 제공되는 설명서를 전체적 또는 부분적으로 복사하거나, 저작권 소유주의 허가 없이 소프트웨어를 대여하는 행위를 금지하고 있습니다.
- SONY는 해당 플레이어와 함께 제공된 소프트웨어를 지정 용도 이외로 사용한 결과 야기되는 어떠한 재정적인 손상이나 이익 손실에 대해 책임지지 않으며 여기에는 제삼자의 손실 비용 청구에 대한 면책도 포함됩니다.
- 제조상 결함으로 인하여 소프트웨어에 문제가 발생한 경우, SONY는 제품을 교환해 드립니다. 그러나, SONY에서는 그 외의 책임은 지지 않습니다.
- 해당 플레이어와 함께 제공된 소프트웨어는 지정된 장치 이외의 다른 장치에서 사용할 수 없습니다.
- 품질 개선을 위한 지속적인 노력의 일환으로 소프트웨어의 사양이 예고 없이 변경될 수 있음을 유념하시기 바랍니다.
- 함께 제공된 소프트웨어 이외의 다른 소프트웨어로 이 플레이어를 작동하면 보증을 받을 수 없습니다.
- 텍스트 및 문자의 종류에 따라 SonicStage에 표시된 텍스트가 장치에서 올바르게 표시되지 않을 수 있습니다. 이유는 다음과 같습니다.
  – 연결된 플레이어의 성능.
  – 정상적으로 작동하지 않는 플레이어.

- SonicStage 및 SonicStage 로고는 Sony Corporation의 상표 또는 등록 상표입니다.
- OpenMG, ATRAC3plus 및 각각의 로고는 Sony Corporation의 상표입니다.
- Microsoft, Windows, Windows NT 및 Windows Media는 미국 또는 기타 국가에서 Microsoft Corporation의 상표 또는 등록 상표입니다.
- IBM 및 PC/AT는 International Business Machines Corporation의 등록 상표입니다
- Macintosh는 미국 또는 기타 국가에서 Apple Computer, Inc.의 상표입니다.
- Pentium은 Intel Corporation의 상표 또는 등록 상표입니다.
- Adobe 및 Adobe Reader는 미국 또는 기타 국가에서 Adobe Systems Incorporated의 상표 또는 등록 상표입니다.
- 미국 및 기타 국가의 특허는 Dolby Laboratories의 소유입니다.
- 기타 모든 상표 및 등록 상표는 해당 소유자의 상표이거나 등록 상표입니다.
- 본 설명서에 ™ 및 ® 마크는 명시하지 않았습니다.
- CD and music−related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000−2003 Gracenote.
  Gracenote CDDB® Client Software, copyright 2000−2003 Gracenote.
  This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593 and other patents issued or pending.
  Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.

사용 전 주의 사항

안전에 대한 참고 사항

- USB 어댑터의 DC IN 잭에 이물질을 넣지 마십시오.
- USB 어댑터 단자에 금속 물체로 인한 단락이 발생하지 않도록 하십시오.

설치시 참고 사항

- 직사광선, 열, 습기, 진동 등이 심한 곳에서 플레이어를 사용하지 마십시오.
- AC 전원 어댑터로 플레이어를 사용하고 있는 중에는 레코더를 감싸지 마십시오. 플레이어가 과열되어 오작동을 일으키거나 고장날 수 있습니다.

과열에 대한 참고 사항

장시간 동안 충전하면 플레이어나 USB 어댑터가 과열될 수 있습니다.

헤드폰

교통 안전

자동차, 자전거, 기타 엔진이 있는 차량 등을 운전하고 있을 때는 헤드폰을 사용하지 마십시오. 교통 사고가 발생할 수 있으며 일부 지역에서는 위법 행위입니다. 또 보행 중에 특히 횡단 보도에서 음량을 높이면 위험할 수 있습니다. 위험 가능성이 많은 상황에서는 세심한 주의를 기울이거나 연속해서 사용하지 않아야 합니다.

청각 장애 예방

헤드폰으로 들을 때에는 볼륨을 높게 하지 마십시오. 장시간 동안 큰 사운드를 들으면 청력에 문제가 발생할 수 있습니다. 귀에서 울리는 소리가 들리면 음량을 줄이거나 사용을 정지하십시오.

주위에 대한 배려

주변의 소리를 들을 수 있고 주변 사람들에게 피해가 가지 않도록 적절한 레벨로 볼륨을 유지하십시오.

경고

플레이어 사용 중에 번개가 치면 즉시 헤드폰을 벗으십시오.

청소

- 부드러운 헝겊에 물이나 약한 세제를 조금 묻혀서 플레이어 케이스를 닦으십시오.
- 헤드폰 플러그를 정기적으로 닦으십시오.

참고

- 거친 수세미, 연마제, 알콜이나 벤젠과 같은 용제를 사용하면 케이스의 광택이 손상될 수 있습니다.
- USB 어댑터 또는 녹음용 USB 어댑터의 연결부를 청소하는 중에 물이 들어가지 않도록 주의하십시오.

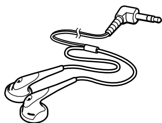
플레이어에 대해 궁금한 사항이나 문제가 있으면 가까운 Sony 제품 대리점에 문의하십시오.

참고

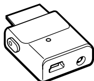
- 녹음한 음악의 사용은 개인 용도로 제한됩니다. 이 제한을 벗어나 공개적으로 사용하려면 저작권 소유자의 승인이 필요합니다.
- Sony는 플레이어 또는 컴퓨터의 문제로 인해 녹음/다운로드가 불완전하거나 데이터가 손상된 경우에도 이에 대해 책임지지 않습니다.

기본 제공 부속품 확인

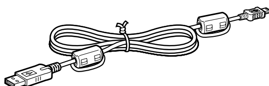
- 헤드폰 (1)



- USB 어댑터(1)
  (제공된 USB 케이블 및 제공된 AC 전원 어댑터 연결용)



- 전용 USB 케이블(1)



- AC 전원 어댑터(1)
- 휴대용 케이스(1)
- CD-ROM(1) *
  (SonicStage, 사용 설명서(PDF))
- 빠른 시작 안내서(1)

* 이 CD-ROM을 오디오 CD 플레이어에서 재생하지 마십시오.

참고

플레이어를 사용할 때는 케이스가 휘거나 오작동이 발생하지 않도록 아래 주의 사항을 준수하십시오.

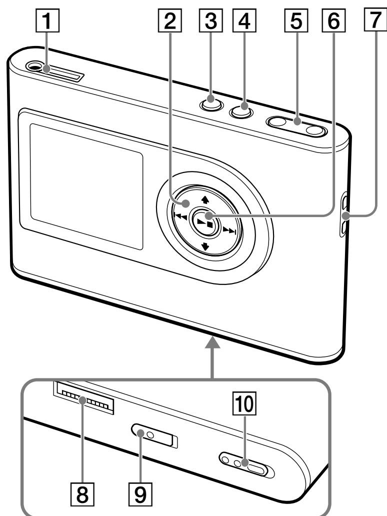
– 뒷주머니에 플레이어를 넣은 채 앉지 마십시오.



– 플레이어에 리모콘이나 헤드폰/이어폰을 감아 가방에 넣었을 때 가방에 충격이 가해지지 않도록 하십시오.

부품 및 조절 장치 설명

플레이어



1 🎧 (헤드폰)/LINE OUT 잭 (☞ 18 페이지)

2 ↑, ↓, ⏮, ⏭ 버튼(☞ 20, 21 페이지)

3 MENU 버튼(☞ 25, 29 페이지)

4 MODE 버튼(☞ 21 페이지)

5 VOLUME +*/– 버튼(☞ 18 페이지)

6 ►■ (재생/정지) 버튼(☞ 18, 20 페이지)

7 손잡이 끈 구멍**

8 USB 어댑터 커넥터 (☞ 8, 15 페이지)

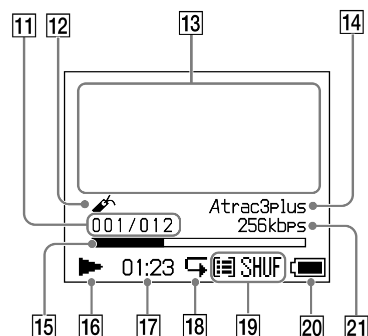
9 BUILT-IN BATTERY 스위치 (☞ 8 페이지)

10 HOLD 스위치(☞ 19 페이지)

* 이 버튼에는 촉각 도트가 있습니다.

** 취향에 맞는 줄을 부착할 수 있습니다.

플레이어 디스플레이



11 트랙 번호 표시등(☞ 20 페이지)

12 북마크 표시등(☞ 24 페이지)

13 문자 정보 디스플레이 (☞ 20 페이지)

14 Atrac3plus/MP3 표시등 (☞ 19 페이지)

15 재생 진행률 막대(☞ 20 페이지)

16 재생 표시등(☞ 20 페이지)

17 재생 시간(☞ 20 페이지)

18 반복 표시등(☞ 28 페이지)

19 재생 모드 표시등(☞ 25 페이지), 사운드 표시등(볼륨 조절 시, ☞ 30 페이지)

20 배터리 표시등(☞ 9 페이지)

21 비트 전송률(☞ 13 페이지)

일련 번호

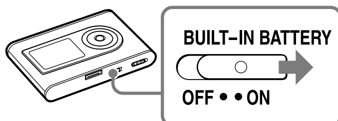
이 플레이어에 제공된 일련 번호는 고객 등록 시에 필요합니다. 일련 번호는 플레이어 뒷면의 라벨에 있습니다.

전원 준비

내장형 리튬 이온 충전지를 처음 사용하기 전 또는 소모된 경우에는 충전해야 합니다.

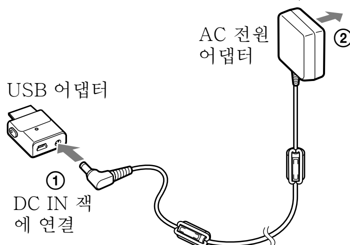
1 BUILT-IN BATTERY 스위치를 ON으로 미십시오.

내장형 충전지의 보호가 해제되고 플레이어에 전원이 공급됩니다. 스위치를 ON 위치에 고정하십시오.



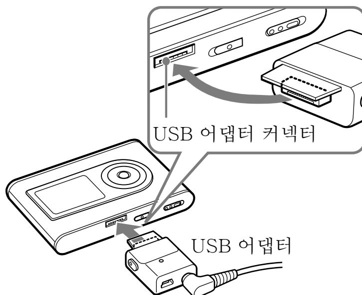
2 AC 전원 어댑터를 USB 어댑터에 연결하십시오.

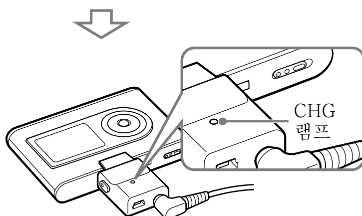
AC 전원 어댑터의 DC 플러그를 USB 어댑터의 DC IN 잭에 연결한 다음, AC 플러그를 콘센트에 연결하십시오.



3 USB 어댑터를 플레이어에 연결하십시오.

다음 그림과 같이 USB 어댑터가 제자리에 맞아 찰칵 소리가 들릴 때까지 끼우십시오.
배터리 충전이 시작됩니다. USB 어댑터의 CHG 램프가 켜집니다. 플레이어가 켜져 있는 경우, 디스플레이의 배터리 표시등이 바뀝니다.



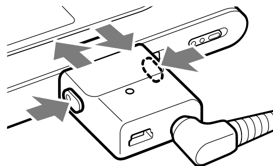


약 3시간* 후에 충전이 완료되고 CHG 램프가 꺼집니다. 플레이어가 켜져 있는 경우, 디스플레이의 번개 마크가 켜집니다.
충전 시간을 줄이려면 디스플레이를 끄고 USB 어댑터에서 USB 케이블을 분리하십시오. 그러면 최대 80%까지 충전하는 데 약 1시간* 걸립니다.

* 완전히 방전된 배터리를 실온에서 충전할 때의 대략적인 시간입니다. 디스플레이가 켜져 있는 경우, 충전에 약 5시간 걸립니다. 충전 시간은 배터리의 남은 전원과 상태에 따라 달라집니다. 배터리를 저온 환경에서 충전할 경우, 충전 시간이 길어집니다.

플레이어에서 USB 어댑터를 분리하려면

USB 어댑터 양쪽의 회색 버튼을 누른 상태에서 안쪽으로 밀었다가 바깥쪽으로 당기십시오.



USB 연결로 배터리 충전

컴퓨터를 켜고 USB 케이블을 컴퓨터에 연결하십시오(☞ 14 페이지). USB 어댑터의 CHG 램프가 켜지면서 배터리 충전이 시작됩니다. 충전하는 데 약 5시간 걸립니다. 플레이어에 AC 전원 어댑터를 연결한 경우, AC 전원 어댑터에서 전원이 공급됩니다.

참고

- USB 연결로 배터리를 충전할 경우, 컴퓨터에서 공급되는 전원이 부족하면 충전 시간이 길어집니다.
- USB 연결로 배터리를 충전할 때에는 시스템 환경에 따라 충전이 중단될 수 있습니다.
- 플레이어를 컴퓨터에 장시간 연결하여 충전할 경우, 플레이어의 과열을 방지하기 위해 충전이 중단될 수 있습니다. 이런 경우에는 CHG 램프가 꺼집니다. 플레이어에서 USB 어댑터를 분리하고 어느 정도 기다렸다가 다시 충전을 시작하십시오.
- 플레이어를 3개월 이상 사용하지 않을 경우에는 BUILT-IN BATTERY 스위치를 OFF로 설정하여 배터리의 성능 저하를 예방하십시오.
- 충전지는 주위 온도가 5 ~ 35°C인 환경에서 충전하십시오.

AC 전원 어댑터에 대한 참고 사항

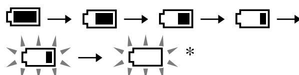
- 플레이어와 함께 제공된 AC 전원 어댑터와 USB 어댑터만 사용하십시오. 다른 AC 전원 어댑터를 사용하면 플레이어의 오작동을 일으킬 수 있습니다.



- 플레이어가 꺼져 있더라도 콘센트에 연결되어 있는 한 플레이어는 AC 전원(주전원)에 연결된 상태입니다.
- 플레이어를 장시간 사용하지 않을 경우에는 전원을 분리하십시오. 벽면 콘센트의 AC 전원 어댑터는 어댑터 플러그를 잡고 빼십시오. 절대 코드를 잡아 당기지 마십시오.

배터리의 남은 전원 확인

배터리의 남은 전원은 디스플레이에 표시됩니다. 검정 표시 칸이 감소할수록 남은 전력이 많이 소모된 것입니다.



* 디스플레이에 "배터리 부족"이 나타나면서 신호음이 울립니다.

배터리가 소모되면 다시 충전하십시오.

참고

- 디스플레이에 표시되는 것은 대략적인 잔여 배터리 전원입니다. 예를 들어, 한 칸이 항상 배터리 전원의 4분의 1을 나타내는 것은 아닙니다.
- 작동 상태에 따라 실제 남은 전원보다 디스플레이가 늘어나거나 줄어들 수 있습니다.

배터리 수명(연속 사용)

ATRAC3plus 48 kbps의 재생 시간은 약 30시간입니다. MP3 128 kbps의 재생 시간은 약 22시간입니다.
이 시간은 플레이어의 사용 방법에 따라 달라집니다.

컴퓨터에 SonicStage 설치

제공된 CD-ROM을 사용하여 SonicStage를 컴퓨터에 설치하십시오.

필요한 시스템 환경 준비

다음 시스템 환경이 필요합니다.

컴퓨터	IBM PC/AT 또는 호환	
	• CPU: Pentium II 400 MHz 이상(Pentium III 450 MHz 이상 권장) • 하드 디스크 드라이브 공간: 200 MB 이상(1.5 GB 이상 권장) (필요한 공간은 Windows 버전 및 하드 디스크에 저장된 음악 파일의 수에 따라 다릅니다.) • RAM: 64 MB 이상(128 MB 이상 권장)	
	기타	• CD 드라이브(WDM에 의한 디지털 재생 가능) • 사운드 카드 • USB 포트(Hi-Speed USB 지원)
운영 체제	출고시 설치: Windows XP Media Center Edition 2005/Windows XP Media Center Edition 2004/ Windows XP Media Center Edition/Windows XP Professional/ Windows XP Home Edition/Windows 2000 Professional/ Windows Millennium Edition/Windows 98 Second Edition	
화면	High Color(16 bit) 이상, 800 × 600 도트 이상(1024 × 768 도트 이상 권장)	
기타	• 인터넷 액세스: 웹 등록, EMD 서비스 및 CDDB용 • WMA 파일 재생용으로 설치된 Windows Media Player(버전 7.0 이상)	

참고

- SonicStage는 다음 환경에서 지원되지 않습니다.
  - 위에 표시된 운영 체제 이외의 운영 체제
  - 개인적으로 구축한 PC 또는 운영 체제
  - 원래 제조업체가 설치한 운영 체제의 업그레이드 환경
  - 다중 부팅 환경
  - 다중 모니터 환경
  - Macintosh
- Sony는 시스템 요구 사항을 만족하는 모든 컴퓨터에서 작동 결함이 없음을 보장하지 않습니다.
- Windows XP/Windows 2000 Professional의 NTFS 포맷은 표준(출고시) 설정으로만 사용할 수 있습니다.
- Windows 2000 Professional 사용자는 이 소프트웨어를 사용하기 전에 서비스 팩 3 이상의 버전을 설치하십시오.
- Sony는 컴퓨터에서 시스템 일시 중단, 절전 모드 또는 최대 절전 모드 기능이 결함 없이 작동됨을 보장하지 않습니다.

SonicStage 설치

SonicStage 소프트웨어를 설치하기 전에 다음 사항을 확인하십시오.

- 다른 소프트웨어를 모두 종료하십시오. 바이러스 검사 소프트웨어도 많은 양의 시스템 리소스를 필요로 하므로 종료하십시오.
- 제공된 CD-ROM을 사용하여 SonicStage를 설치하십시오.
  - OpenMG Jukebox 또는 SonicStage가 설치되어 있는 경우, 새로운 기능의 새 버전이 기존 소프트웨어를 덮어씁니다.
  - SonicStage Premium, SonicStage Simple Burner, MD Simple Burner가 설치되어 있는 경우, 이 소프트웨어와 SonicStage가 공존하게 됩니다.
  - 기존 소프트웨어로 등록한 오디오 데이터는 그대로 사용할 수 있습니다. 그러나 예방 차원에서 오디오 데이터를 백업할 것을 권장합니다. 데이터 백업에 대한 내용은 SonicStage 도움말에서 "내 라이브러리 백업" – "디스크에 데이터 백업" 을 참조하십시오.

1 **컴퓨터를 켜고 Windows를 시작하십시오.**

2 **컴퓨터의 CD 드라이브에 제공된 CD-ROM을 넣으십시오.**

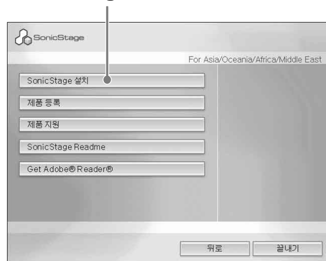
설치 프로그램이 자동으로 시작되고 설치 창이 나타납니다.
지역에 따라 국가를 선택하는 창이 나타날 수 있습니다. 이런 경우, 화면에 표시되는 지침을 따르십시오.

3 **SonicStage 소프트웨어를 사용하는 국가 또는 지역을 클릭하십시오.**



4 **"SonicStage 설치" 를 클릭하고 표시된 지침을 따르십시오.**

"SonicStage 설치"



지침을 주의 깊게 읽으십시오.
지역에 따라 "SonicStage 설치" 이외의 버튼이 위의 그림과 다를 수 있습니다.
시스템 환경에 따라 설치 소요 시간은 20 – 30분 정도 걸립니다.
설치가 완료된 후에만 컴퓨터를 다시 시작해야 합니다.
설치 중에 문제가 발생한 경우 "문제 해결" (☞ 43 페이지)을 참조하십시오.

설치 제거에 관한 참고 사항

SonicStage를 설치하면 "OpenMG Secure Module" 이 설치됩니다.
SonicStage를 설치 제거할 때 OpenMG Secure Module은 다른 소프트웨어가 사용할 수도 있으므로 삭제하지 마십시오.

컴퓨터로 오디오 데이터 가져오기

오디오 CD의 트랙(오디오 데이터)을 컴퓨터 하드 드라이브의 SonicStage "내 라이브러리" 로 녹음 및 저장합니다.
인터넷, 컴퓨터의 하드 디스크 등 다른 원본의 트랙을 녹음하거나 가져올 수도 있습니다. 자세한 내용은 SonicStage 도움말을 참조하십시오(☞ 16 페이지).

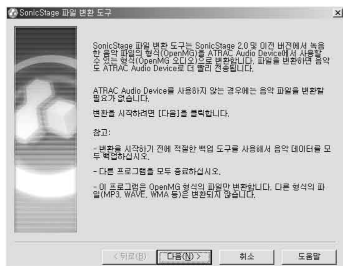
"음악 원본" 원본 표시



"CD 정보"
"형식/비트 전송"

1 "시작" – "모든 프로그램" * – "SonicStage" – "SonicStage" 를 선택하십시오.

SonicStage가 시작됩니다.
이전 버전의 SonicStage를 사용하는 경우, SonicStage를 설치한 후 맨 처음 시작할 때 "SonicStage 파일 변환 도구" ** 창이 나타납니다. 창의 지침을 따르십시오.



* Windows Millennium Edition/Windows 2000 Professional/Windows 98 Second Edition의 경우 "프로그램" 이 표시됩니다.
**이 도구는 SonicStage2.0 또는 이전 버전으로 컴퓨터에 가져온 오디오 파일을 플레이어에 가장 적합한 데이터 포맷(OpenMG)으로 변환하여 플레이어로 오디오 데이터 전송이 고속으로 이루어지도록 합니다.

2 컴퓨터의 CD 드라이브에 녹음할 오디오 CD를 넣으십시오.

SonicStage 창 왼쪽 위의 원본 표시가 "CD 녹음" 으로 바뀝니다.

3 **SonicStage 창에서 "음악 원본" 을 클릭하십시오.**

오디오 CD의 내용이 음악 원본 목록에 나타납니다. 앨범 제목, 음악가 이름, 트랙 이름 등의 CD 정보를 자동으로 가져오지 못하는 경우, 컴퓨터를 인터넷에 연결하고 창 오른쪽의 "CD 정보"를 클릭하십시오.

4 **필요한 경우, 오디오 CD 녹음에 사용할 형식과 비트 전송을 변경하십시오.**

SonicStage 창 오른쪽의 "형식/비트 전송"을 클릭하면 "CD 녹음 형식[내 라이브러리]" 대화 상자가 나타납니다.
기본 설정은 OpenMG Audio (ATRAC3plus) 형식, 64 kbps 비트 전송입니다.

5 **SonicStage 창에서 [→] 를 클릭하십시오.**

선택한 트랙의 녹음이 시작됩니다.

녹음을 중지하려면

SonicStage 창에서 [■] 를 클릭하십시오.

녹음하지 않을 트랙을 선택하려면

5단계를 수행하기 전에 SonicStage 창에서 해당 트랙 번호를 클릭하여 ☑의 선택을 해제하십시오.

참고

SonicStage에서는 COMPACT DISC DIGITAL AUDIO 마크가 있는 오디오 CD만 사용할 수 있습니다. 복제 방지 CD를 사용하는 경우, 정상적인 작동을 보장할 수 없습니다.

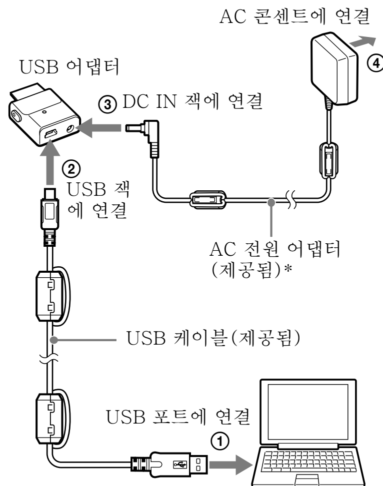
플레이어에 오디오 데이터 전송

컴퓨터의 SonicStage "내 라이브러리"에 저장된 트랙(오디오 데이터)을 ATRAC3plus/MP3 형식으로 플레이어에 전송합니다.
전송되는 오디오 데이터에는 CD 정보의 음악가 이름, 앨범 이름(원래의 앨범 이름)과 같은 정보도 포함됩니다.



1 USB 어댑터를 컴퓨터와 AC 전원 어댑터에 연결하십시오.

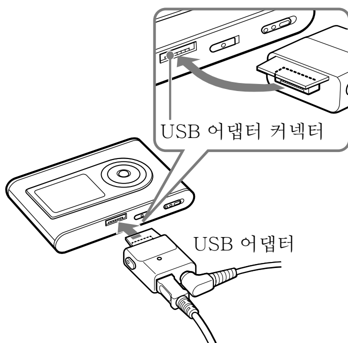
아래 그림과 같이 ①에서 ④까지 연결하십시오. USB 케이블의 큰 커넥터를 컴퓨터 USB 포트에 연결하고 작은 커넥터를 USB 어댑터의 USB 잭에 연결하십시오.



* 오디오 데이터 전송 시 AC 전원 어댑터가 USB 어댑터에 연결되어 있는지 확인하십시오. 연결되어 있지 않으면 오디오 데이터를 전송할 수 없습니다.

2 USB 어댑터를 플레이어에 연결하십시오.

다음 그림과 같이 USB 어댑터가 제자리에 맞아 찰칵 소리가 들릴 때까지 끼우십시오.
디스플레이에 "PC 연결" 이 나타납니다.
SonicStage 창에 자동 전송 설정 디스플레이가 나타납니다. 창의 지침을 따르십시오. 자세한 내용은 SonicStage 도움말을 참조하십시오 (☞ 16 페이지).



3 SonicStage 창 오른쪽의 "전송" 을 클릭하십시오.

화면이 전송 창으로 바뀝니다.

4 SonicStage 창 오른쪽의 전송 대상 목록에서 "ATRAC Audio Device" 를 선택하십시오.

5 SonicStage 창 왼쪽의 내 라이브러리 목록에서 전송할 트랙을 클릭하십시오.

전송할 트랙을 2개 이상 선택하려면 "Ctrl" 키를 누른 상태에서 트랙을 클릭하십시오. 앨범의 전체 트랙을 전송하려면 앨범을 클릭하십시오.

6 SonicStage 창에서 [→] 를 클릭하십시오.

선택한 트랙의 전송이 시작됩니다.
SonicStage 창에서 전송 상태를 확인할 수 있습니다.

전송을 중지하려면

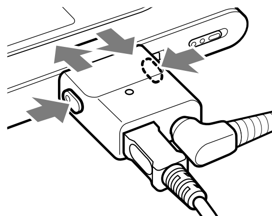
SonicStage 창에서 [■] 를 클릭하십시오.

참고

오디오 데이터 전송 시 진동이 있는 곳에서 플레이어를 사용하지 마십시오. 또한 자성이 있는 물체와 가까운 곳에 두지 마십시오.

플레이어에서 USB 어댑터를 분리하려면

USB 어댑터 양쪽의 회색 버튼을 누른 상태에서 안쪽으로 밀었다가 바깥쪽으로 당기십시오.



계속 ⟹

참고

- 데이터 전송 중에 USB 케이블 또는 USB 커넥터를 분리하지 마십시오. 전송 중이던 데이터가 삭제될 수 있습니다.
- USB 허브 또는 USB 확장 케이블을 플레이어와 함께 사용하는 경우, 올바른 작동이 보장되지 않습니다. 항상 제공된 USB 케이블로 플레이어와 컴퓨터를 직접 연결하십시오.
- 컴퓨터에 연결된 일부 USB 장치로 인해 플레이어가 올바르게 작동되지 않을 수 있습니다.
- 컴퓨터에 연결되어 있는 동안 플레이어의 제어 버튼은 모두 비활성화됩니다. 재생 중에 플레이어를 컴퓨터에 연결된 USB 어댑터에 연결할 경우, 재생이 정지되고 플레이어 디스플레이에 "PC 연결" 이 나타납니다.
- 플레이어에 오디오 데이터를 전송할 여유 공간이 부족한 경우, 전송이 실패합니다.
- 전송 도중에는 시스템 일시 중단, 절전, 최대 절전 기능이 작동하지 않습니다.
- SonicStage에 입력되어 있는 텍스트는 글꼴과 글자 수에 따라 플레이어에 표시되지 않을 수 있습니다. 이는 플레이어 자체의 제한 사항 때문입니다.
- 전원이 연결된 컴퓨터에 플레이어를 장시간 연결해 두거나 플레이어에 많은 양의 데이터를 전송할 경우, 플레이어가 과열될 수 있습니다. 그러나 이러한 경우도 정상적인 것입니다. 플레이어를 USB 어댑터에서 잠시 분리해 놓으십시오.

SonicStage 도움말 사용

SonicStage 도움말은 SonicStage의 사용 방법을 자세히 설명합니다. SonicStage 도움말을 사용하면 "오디오 데이터 가져오기" , "오디오 데이터 전송" 등의 작업 목록 또는 키워드 목록을 사용하거나 단어 입력 시 해당하는 설명이 나타나므로 사용자가 쉽게 정보를 검색할 수 있습니다.

---

1 SonicStage 실행 중에 "도움말" – "SonicStage 도움말" 을 클릭하십시오.

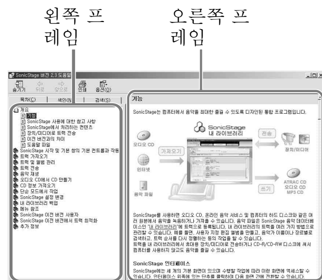
도움말이 나타납니다.
SonicStage 도움말에서 이 플레이어는 "ATRAC Audio Device" 입니다.

"SonicStage 도움말"

참고

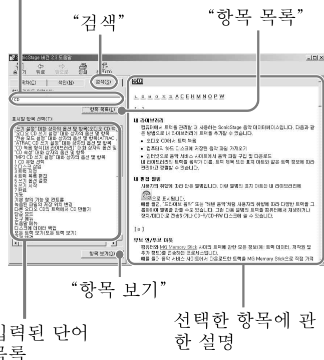
- SonicStage 도움말에서 "장치/미디어" 는 이 플레이어를 통칭하는 용어입니다.
- 권장 시스템 등에 관한 자세한 내용은 인터넷 서비스 제공업체의 지침을 따르십시오.

SonicStage 도움말에 관해 알아보려면



1 SonicStage 도움말 왼쪽 프레임에서 “ 개요”를 더블 클릭하십시오.
2 “ 도움말 정보”를 클릭하십시오.
오른쪽 프레임에 설명이 나타납니다.
필요한 경우 화면을 스크롤합니다. 밑줄로 표시된 단어를 클릭하면 해당 설명을 볼 수 있습니다.

설명 안에서 단어를 검색하려면

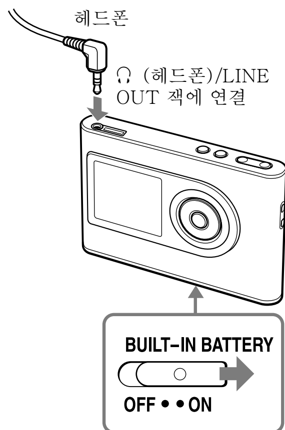


1 “검색”을 클릭하십시오.
2 단어를 입력하십시오.
3 “항목 목록”을 클릭하십시오.
입력한 단어의 목록이 표시됩니다.
4 표시된 단어 중에서 원하는 것을 클릭하여 선택하십시오.
5 “항목 보기”를 클릭하십시오.
선택된 단어에 대한 설명이 표시됩니다.

재생

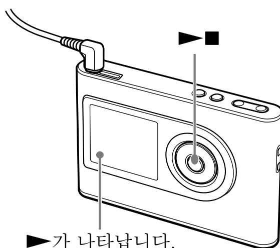
먼저 컴퓨터의 오디오 데이터를 플레이어로 전송합니다(☞ 14 페이지).
디스플레이 메뉴와 메시지의 언어를 사용자의 언어로 변경할 수 있습니다(☞ 31 페이지).

1 BUILT-IN BATTERY 스위치를 ON으로 설정한 다음(☞ 8 페이지), 플레이어에 헤드폰을 연결하십시오.

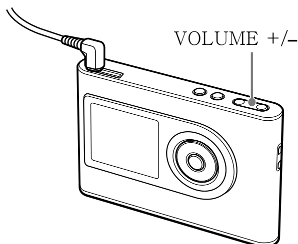


2 ►■를 누르십시오.

플레이어의 디스플레이 왼쪽 하단에 ► (재생)이 나타나면서 재생이 시작됩니다.



3 VOLUME +/–를 눌러 볼륨을 조절하십시오.



재생 가능한 오디오 데이터

이 플레이어는 ATRAC3plus/MP3 포맷으로 압축된 오디오 데이터를 재생합니다.
ATRAC3plus(Adaptive Transform Acoustic Coding3plus)는 고품질 사운드와 고압축 비율 요구를 만족시키는 오디오 압축 기술입니다.
ATRAC3plus는 64 kbps에서 오디오 파일을 원본의 약 1/20 크기로 압축할 수 있습니다.
재생 가능한 MP3 파일 포맷은 다음과 같습니다.

– MPEG-1 Audio Layer-3
– 비트 전송률 32 ~ 320 kbps(CBR/VBR)
– 샘플링 주파수 32/44.1/48 kHz

참고

- 플레이어에서 재생할 수 없는 MP3 파일 포맷도 전송은 할 수 있습니다.
- 그러나 플레이어에서 재생할 수 없는 MP3 오디오 트랙 재생을 시도하면 재생이 정지됩니다. ▶▶I를 눌러 다른 트랙을 선택하십시오.
- 내장형 배터리를 사용하는 경우, 플레이어가 약 30초간 정지 모드에 있으면 디스플레이가 자동으로 꺼집니다. 트랙 제목 등을 스크롤할 때는 스크롤이 끝나고 약 30초가 지나면 디스플레이가 꺼집니다.
- AC 전원 어댑터를 사용하는 경우, 플레이어가 약 3분간 정지 모드에 있으면 디스플레이가 자동으로 꺼집니다. 트랙 제목 등을 스크롤할 때는 스크롤이 끝나고 약 3분이 지나면 디스플레이가 꺼집니다.
- 재생이 시작되지 않으면 HOLD 스위치가 해제되어 있는지 확인하십시오(☞ 오른쪽).

조절 장치 잠금(HOLD)

조절 장치를 잠그면 플레이어 휴대 중 실수로 버튼을 누르는 것을 예방할 수 있습니다. HOLD 기능을 작동하면 버튼을 누를 때 디스플레이에서 "HOLD"가 깜박입니다.

1 HOLD 스위치를 화살표 방향으로 미십시오.

조절 장치의 잠금을 해제하려면

HOLD 스위치를 화살표 반대 방향으로 미십시오.

계속

기본 재생 작동(재생, 정지, 검색)

동작	조작 방법
플레이어가 정지되어 있는 위치부터 재생	►■를 누르십시오. 정지되어 있는 위치부터 재생됩니다.
재생 정지	►■를 누르십시오 .
현재 트랙의 시작 부분 찾기	⏮ 를 한 번 누르십시오.
이전 트랙의 시작 부분 찾기*	⏮를 반복해서 누르십시오.
다음 트랙의 시작 부분 찾기*	⏭를 한 번 누르십시오.
이어지는 다음 트랙의 시작 부분 찾기*	⏭를 반복해서 누르십시오.
빨리 되감기	⏮를 계속 누르고 있으십시오.
앞으로 빨리 감기	⏭를 계속 누르고 있으십시오.

* 혼합 재생 또는 재생 단위 혼합 재생을 선택한 경우(☞ 26 페이지), 재생 순서가 달라집니다.

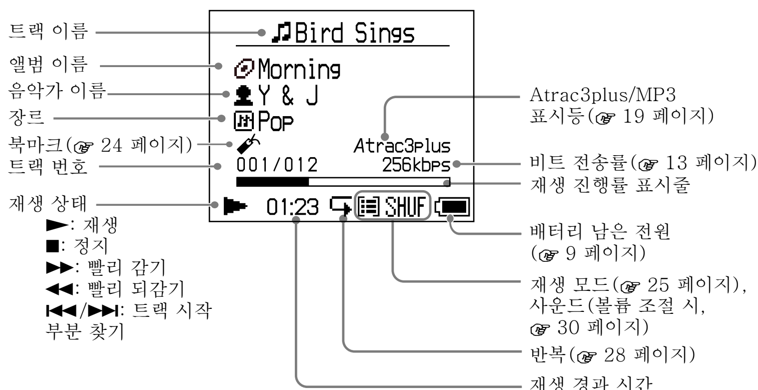
플레이어를 끄려면

디스플레이가 꺼질 때까지 MENU를 계속 누르고 있으십시오.
플레이어를 다시 켜려면 아무 버튼이나 누르십시오.

디스플레이에 표시되는 정보 확인

플레이어의 디스플레이에서 오디오 데이터와 재생 상태를 확인할 수 있습니다.

재생 중 플레이어 디스플레이



참고

문자 A ~ Z, a ~ z, 0 ~ 9 그리고 기호(/ 제외)가 표시됩니다.

모드별로 선택한 트랙 재생 (음악가, 앨범, 장르, 그룹 등)

플레이어의 트랙을 "모드" ("음악가" , "앨범" 등)로 그룹화하여 듣고 싶은 트랙을 선택할 수 있습니다.
다섯 가지 모드가 있으며, 여기서는 "음악가" 모드의 디스플레이를 예로 사용합니다.
모드별 디스플레이에 대한 자세한 내용은 ☞ 23 페이지를 참조하십시오.
또한 선택한 트랙을 반복(☞ 28 페이지) 또는 무작위(혼합 재생, ☞ 26 페이지) 재생할 수 있습니다.

1 MODE를 반복해서 눌러 모드를 선택하십시오.

버튼을 누를 때마다 모드가 다음 순서로 바뀝니다.

음악가 ( ) → 앨범 ( )* → 장르 ( ) → 그룹 ( )** → 기타 → 음악가로 돌아감

MODE가 나타납니다.



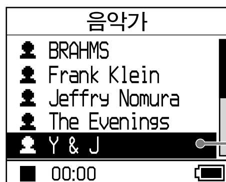
* SonicStage CD 정보의 앨범 이름(원래의 앨범 이름)이 표시됩니다.

**SonicStage에서 앨범은 그룹으로 인식됩니다.

2 ↑ 또는 ↓를 눌러 모드 내의 항목을 선택하십시오.

현재 위치에서 재생을 시작하려면 ►■를 누르십시오. 선택한 음악가의 첫 앨범에 있는 첫 트랙에서부터 재생이 시작됩니다. 선택한 음악가 다음에 나열된 음악가들의 모든 앨범이 트랙 번호 순서대로 재생됩니다.

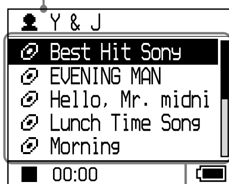
듣고 싶은 음악가



계속

3 **다른 트랙을 검색하려면 ▶▶I를 누르십시오.**

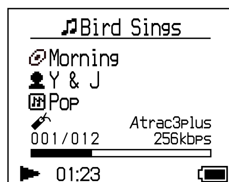
2단계에서 선택한 음악가



선택한 음악가의 앨범이 나타납니다.

4 **↑ 또는 ↓를 눌러 항목을 선택한 다음, ►■를 누르십시오.**

선택한 트랙 또는 선택한 항목(음악가, 앨범 등)의 첫 번째 트랙에서부터 재생이 시작됩니다. 선택한 항목 이후에 나열된 모든 트랙이 트랙 번호 순서대로 재생됩니다.



재생을 시작한 디스플레이로 돌아가려면

MODE를 계속 누르고 있으십시오.

모드를 선택하는 디스플레이로 돌아가려면

MODE를 누르십시오.

트랙 목록으로 돌아가려면

↑ 또는 ↓를 누르십시오.

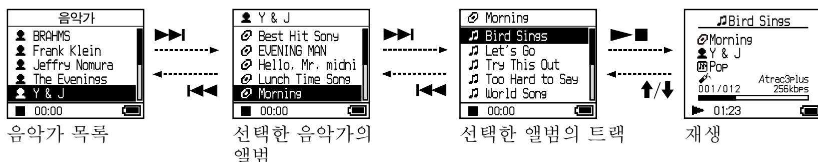
모드를 선택할 때 또는 목록 디스플레이에서 재생을 정지하려면

►■를 계속 누르고 있으십시오.

모드 디스플레이

모드에 따라 디스플레이가 다릅니다.
모든 디스플레이에서 ►■를 누르면 재생을 시작할 수 있습니다.

음악가



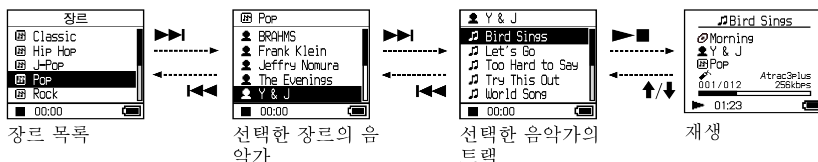
음악가 목록 | 선택한 음악가의 앨범 | 선택한 앨범의 트랙 | 재생

앨범: SonicStage CD 정보의 앨범 이름(원래의 앨범 이름)이 표시됨



앨범 목록 | 선택한 앨범의 트랙 | 재생

장르



장르 목록 | 선택한 장르의 음악가 | 선택한 음악가의 트랙 | 재생

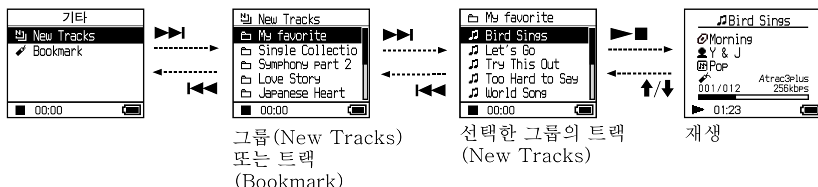
그룹: SonicStage에서 만든 앨범 그룹에 있는 트랙이 재생됨



그룹 목록 | 선택한 그룹의 트랙 | 재생

기타

- "New Tracks" : 플레이어에 새로 전송된 그룹의 트랙(최근 5회)
- "Bookmark" : 북마크한 트랙(북마크 추가 방법은 ☞ 24 페이지 참조)



그룹(New Tracks) 또는 트랙(Bookmark) | 선택한 그룹의 트랙(New Tracks) | 재생

계속

북마크 추가(북마크 트랙 재생)

즐겨 듣는 트랙에 북마크를 추가하여 재생할 수 있습니다. 북마크한 트랙을 재생하려면 "기타" 모드를 선택하십시오(☞ 21 페이지).

---

1 북마크를 추가할 트랙을 재생하는 중에 ⬆ 또는 ⬇를 계속 누르고 있으십시오.

북마크 수(북마크한 트랙의 수/추가할 수 있는 북마크 수)가 나타나고 ✐ (북마크)가 켜집니다.

---

2 두 개 이상의 트랙에 북마크를 추가하려면 1단계를 반복하십시오.

최대 100개의 트랙에 북마크를 추가할 수 있습니다.

북마크한 트랙을 재생하려면

1. MODE를 반복해서 눌러 "기타" 모드를 선택하십시오.
2. ⬆ 또는 ⬇를 눌러 "Bookmark"를 선택하고 ▶▶I를 누르십시오.
   북마크한 트랙 전체를 재생하려면 ►■를 누르십시오.
3. ⬆ 또는 ⬇를 눌러 트랙을 선택하고 ►■를 누르십시오.

북마크를 제거하려면

북마크를 제거할 트랙을 재생하는 중에 ⬆ 또는 ⬇를 계속 누르고 있으십시오.
"끔"이 나타나고 디스플레이에서 ✐가 없어집니다.

참고

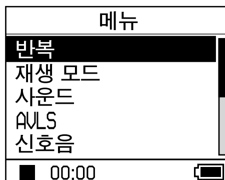
북마크 추가 또는 제거는 재생 중에만 가능합니다.

재생 옵션 변경(재생 모드)

듣고 싶은 곡 선택, 곡 무작위 재생과 같은 다양한 재생 옵션을 사용할 수 있습니다.
재생 옵션(재생 모드)에 대한 자세한 내용은 ☞ 26, 27 페이지를 참조하십시오.
재생 옵션을 선택하여 곡을 반복 재생할 수도 있습니다(반복 재생, ☞ 28 페이지).

1 MENU를 누르십시오.

메뉴 디스플레이가 나타납니다.



2 ⬆ 또는 ⬇를 눌러 "재생 모드"를 선택하고 ►■를 누르십시오.

재생 모드 디스플레이가 나타납니다.



3 ⬆ 또는 ⬇를 눌러 재생 옵션을 선택하고 ►■를 누르십시오.

기본 설정은 "Normal"(일반 재생) 입니다.



재생 옵션이 나타납니다.

4 MENU를 두 번 눌러 재생 디스플레이로 이동하여 ►■를 누르십시오.

선택한 재생 옵션으로 재생이 시작됩니다.

설정을 취소하려면

MENU를 눌러 메뉴 디스플레이로 돌아가십시오.
MODE를 누르고 있거나 메뉴 디스플레이에서 MENU를 누르면 1단계 전의 디스플레이로 돌아갑니다.

일반 재생으로 돌아가려면

3단계에서 "Normal"을 선택하십시오.

모드를 선택하는 디스플레이로 돌아가려면

MODE를 누르십시오.

참고

재생 모드를 변경하면 재생 단위(☞ 27 페이지)도 플레이어에 녹음된 전체 트랙으로 바뀝니다.
선택한 재생 모드로만 재생하려면 목록 디스플레이에서 항목(음악가, 앨범, 트랙 등)을 선택하십시오.

계속 ⟶

재생 옵션(재생 모드)

재생할 트랙의 범위("재생 단위" ☞ 27 페이지)는 재생을 시작한 모드 (☞ 21 페이지)에 따라 다릅니다.

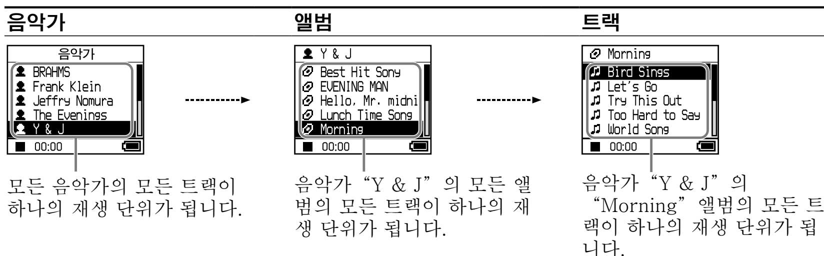
메뉴 디스플레이/아이콘	설명
Normal/아이콘 없음 (일반 재생)	선택한 트랙 이후의 모든 트랙이 트랙 번호 순서대로 한 번씩 재생됩니다. 트랙이 아닌 항목(앨범, 음악가 등)을 선택할 경우, 해당 항목의 첫 번째 트랙부터 모든 트랙이 트랙 번호 순서대로 한 번씩 재생됩니다.
1 Track/1 (한 번 재생)	선택한 트랙이 한 번 재생됩니다. 트랙이 아닌 항목(앨범, 음악가 등)을 선택할 경우, 첫 번째 트랙만 한 번 재생됩니다.
Play Unit/[아이콘] (재생 단위 재생)	선택한 재생 단위에 속한 모든 트랙이 트랙 번호 순서대로 한 번씩 재생됩니다.
Track SHUF/♫ SHUF (혼합 재생)	선택한 재생 단위에 속한 모든 트랙이 무작위 순서로 한 번씩 재생됩니다. 모드를 선택한 디스플레이에 있는 녹음된 모든 트랙이 무작위 순서로 한 번씩 재생됩니다.
Unit SHUF/[아이콘] SHUF (재생 단위 혼합 재생)	모든 재생 단위가 무작위 순서로 선택되고 재생 단위의 모든 트랙이 한 번씩 재생됩니다.

"재생 단위" 란?

재생 시작 시 목록에 표시되어 있는 모든 항목(음악가, 앨범, 트랙 등)을 "재생 단위" 라 합니다.
재생 모드를 변경하면 재생 단위가 플레이어에 녹음된 전체 트랙으로 바뀝니다.

재생 단위 재생 시

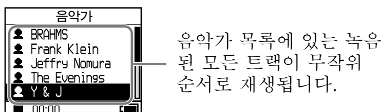
예: 음악가 모드를 선택한 경우



음악가	앨범	트랙
모든 음악가의 모든 트랙이 하나의 재생 단위가 됩니다.	음악가 "Y & J" 의 모든 앨범의 모든 트랙이 하나의 재생 단위가 됩니다.	음악가 "Y & J" 의 "Morning" 앨범의 모든 트랙이 하나의 재생 단위가 됩니다.
"Play Unit" 를 선택한 경우(재생 단위 재생)		
• "Y & J" 의 트랙에서부터 재생이 시작되어 "The Evenings" 의 모든 트랙이 재생되면 끝납니다.	• "Morning" 앨범의 트랙에서부터 재생이 시작되어 "Lunch Time Song" 앨범의 모든 트랙이 재생되면 끝납니다.	• "Morning" 앨범의 첫 번째 트랙에서부터 재생이 시작되어 모든 트랙이 재생되면 끝납니다.
"Unit SHUF" 를 선택한 경우(재생 단위 혼합 재생)		
• 모든 음악가가 무작위 순서로 재생됩니다. 해당 음악가의 앨범 또는 트랙은 순서대로 재생됩니다.	• 모든 앨범이 무작위 순서로 재생됩니다. 앨범 내의 트랙은 순서대로 재생됩니다.	• "Morning" 앨범 내의 트랙이 무작위 순서로 재생됩니다.
"Track SHUF" 를 선택한 경우(혼합 재생)		
• 녹음된 모든 트랙이 무작위 순서로 재생됩니다.	• "Y & J" 의 모든 앨범 내의 트랙이 무작위 순서로 재생됩니다.	• "Morning" 앨범 내의 트랙이 무작위 순서로 재생됩니다.

혼합 재생 시

예를 들어 플레이어에 녹음된 모든 트랙을 무작위 순서로 재생하려는 경우, "기타" 이외의 모드("음악가" 모드 등)를 표시하고 재생 모드로 "Track SHUF" 를 선택하여 재생을 시작하십시오(☞ 25 페이지). 그러면 플레이어에 녹음된 모든 트랙이 무작위 순서로 한 번씩 재생됩니다.



음악가 목록에 있는 녹음된 모든 트랙이 무작위 순서로 재생됩니다.

계속 ⟹

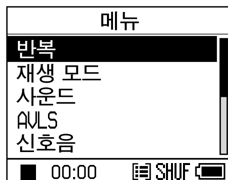
트랙 반복 재생(반복 재생)

트랙이 ☞ 25 페이지에서 선택한 재생 옵션으로 반복 재생됩니다.

1 **반복할 재생 옵션을 선택하십시오 (☞ 25 페이지).**

2 **MENU를 누르십시오.**

메뉴 디스플레이가 나타납니다.

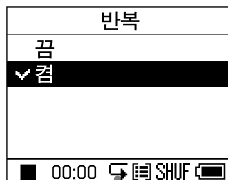


3 **↑ 또는 ↓를 눌러 "반복" 을 선택하고 ►■를 누르십시오.**

반복 디스플레이가 나타납니다.



4 **↓를 눌러 "켬" 을 선택하고 ►■를 누르십시오.**



가 나타납니다.

5 **MENU를 두 번 눌러 재생 디스플레이로 이동하여 ►■를 누르십시오.**

현재 재생 옵션이 반복됩니다.

모든 트랙을 반복하려면

"기타" 이외의 모드("음악가" 모드 등)를 선택하고 1 ~ 5단계를 수행하십시오.

설정을 취소하려면

MENU를 눌러 메뉴 디스플레이로 돌아가십시오.
MODE를 누르고 있거나 메뉴 디스플레이에서 MENU를 누르면 2단계 전의 디스플레이로 돌아갑니다.

일반 재생으로 돌아가려면

4단계의 반복 디스플레이에서 "끔" 을 선택하십시오.

모드를 선택하는 디스플레이로 돌아가려면

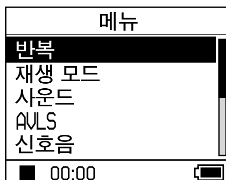
MODE를 누르십시오.

음질 및 설정 변경

다양한 설정 항목에 관한 자세한 내용은 ☞ 30 페이지를 참조하십시오.

1 MENU를 누르십시오.

메뉴 디스플레이가 나타납니다.



2 ↑ 또는 ↓를 눌러 항목을 선택하고 ►■를 누르십시오.

선택한 항목을 설정하는 디스플레이가 나타납니다.

3 ↑ 또는 ↓를 눌러 옵션을 선택하고 ►■를 누르십시오.

음질을 변경하려면

3단계 이후 ↑ 또는 ↓를 선택하여 옵션을 선택하고(☞ 30 페이지) ►■를 누르십시오.
"Custom1", "Custom2", "Custom3", "Custom4"를 선택할 경우, 음질을 사용자 지정할 수 있습니다 (☞ 32 페이지).

이전 디스플레이로 돌아가려면

⏮를 누르십시오.

설정을 취소하려면

MENU를 눌러 메뉴 디스플레이로 돌아가십시오.
MODE를 누르고 있거나 메뉴 디스플레이에서 MENU를 누르면 1단계 전의 디스플레이로 돌아갑니다.

모드를 선택하는 디스플레이로 돌아가려면

MODE를 누르십시오.

참고

MP3 트랙의 경우, "V-SUR" 또는 "Sound EQ" 사운드 설정을 선택해도 작동하지 않습니다. MP3 트랙의 음질은 "Digital Sound Preset" 사운드 설정을 조정하여 변경하십시오.

계속 ⟶

설정 항목

항목	옵션(●: 기본 설정)		
사운드 (사운드 설정)	● 끔		트랙이 일반 음질로 재생됩니다.
	V-SUR[1) 2)]	Studio (VS)	녹음 스튜디오의 사운드 효과를 만듭니다.
		Live (VL)	콘서트장의 사운드 효과를 만듭니다.
		Club (VC)	나이트 클럽의 사운드 효과를 만듭니다.
		Arena (VA)	경기장의 사운드 효과를 만듭니다.
	Sound EQ[1) 2)]	Heavy (SH)	Pops 사운드에 비해 고대역과 저대역이 강조된 강렬한 사운드로 재생합니다.
		Pops (SP)	중간 대역 오디오가 강조된 보컬의 사운드로 재생합니다.
		Jazz (SJ)	고음과 저음을 강조한 생생한 사운드로 재생합니다.
		Unique (SU)	중간 대역보다 고대역과 저대역 오디오를 강조한 특별한 사운드로 재생합니다.
		Custom1 (S1)	사용자가 정의한 사운드로 재생합니다(자세한 내용은 ☞ 32 페이지 참조).
		Custom2 (S2)	사용자가 정의한 사운드로 재생합니다(자세한 내용은 ☞ 32 페이지 참조).
	Digital Sound Preset[2)]	Custom3 (S3)	고음과 저음이 미리 설정된 사운드로 재생합니다(자세한 내용은 ☞ 33 페이지 참조).
		Custom4 (S4)	고음과 저음이 미리 설정된 사운드로 재생합니다(자세한 내용은 ☞ 33 페이지 참조).
AVLS [3)] (볼륨 제한)	켬		청력을 보호하기 위해 최대 볼륨을 제한합니다.
	● 끔		볼륨 수준의 제한 없이 볼륨을 조절합니다.
신호음 (작동 사운드)	● 켬		플레이어를 작동할 때 신호음이 들립니다.
	끔		신호음이 꺼집니다.
오디오 출력 (외부 오디오 출력)	● 헤드폰		제공된 헤드폰을 연결할 때 이 옵션을 선택합니다.
	라인 출력		스피커 등의 장치를 오디오 코드로 연결할 때 이 옵션을 선택합니다(☞ 35 페이지).
대비 (디스플레이 조절)	● 오른쪽에서 두 번째		디스플레이가 중간 밝기로 설정됩니다. 플레이어 본체가 검은색인 경우, 기본 설정은 왼쪽에서 두 번째입니다.
	– ~ +		디스플레이를 밝게 하려면 – 쪽으로, 어둡게 하려면 + 쪽으로 설정합니다.

1) 이 설정은 ATRAC3plus 오디오 트랙을 재생할 때만 작동합니다. MP3 오디오 트랙을 재생할 때는 작동하지 않습니다.

2) 이 사운드 설정은 디스플레이에 괄호 안의 문자로 나타납니다(☞ 7 페이지).

3) AVLS는 Automatic Volume Limiter System(자동 볼륨 조절 시스템)의 약어입니다.

항목	옵션(●: 기본 설정)	
백라이트 (디스플레이의 LCD 백라이트)	● 자동	버튼을 누르면 디스플레이가 약 10초 동안 켜지고 트랙 제목 등을 스크롤하는 동안 켜져 있습니다.
	10 seconds	버튼을 누르면 디스플레이가 약 10초 동안 켜집니다. 10초가 지나면 트랙 제목 등을 스크롤하는 중이라도 꺼집니다.
	30 seconds	버튼을 누르면 디스플레이가 약 30초 동안 켜집니다. 30초가 지나면 트랙 제목 등을 스크롤하는 중이라도 꺼집니다.
	끔	절전을 위해 디스플레이가 꺼져 있습니다.
반전 디스플레이 (디스플레이 반전)	● 포지티브	문자와 아이콘은 검은색으로, 배경은 흰색으로 나타납니다.
	네거티브	문자와 아이콘은 흰색으로, 배경은 검은색으로 나타납니다.
언어 (디스플레이 언어)	日本語	메시지와 메뉴가 일본어로 표시됩니다.
	● English	메시지와 메뉴가 영어로 표시됩니다.
	Français	메시지와 메뉴가 프랑스어로 표시됩니다.
	Deutsch	메시지와 메뉴가 독일어로 표시됩니다.
	Italiano	메시지와 메뉴가 이태리어로 표시됩니다.
	Español	메시지와 메뉴가 스페인어로 표시됩니다.
	簡体中文 *	메시지와 메뉴가 중국어 간체로 표시됩니다.
	繁體中文 *	메시지와 메뉴가 중국어 번체로 표시됩니다.
	한글 *	메시지와 메뉴가 한국어로 표시됩니다.

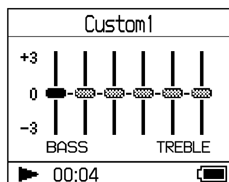
* 일부 국가에서는 이 언어가 표시되지 않습니다.

계속 ⟶

음질 사용자 지정 (Sound EQ – Custom)

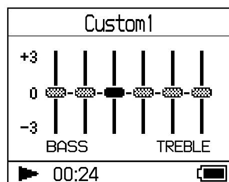
디스플레이에서 설정을 확인하면서 각 주파수 대역별로 음질을 조절할 수 있습니다.

1 **"음질 및 설정 변경" 2단계에서 "사운드"를 선택하고(☞ 29 페이지) "Sound EQ"에서 "Custom1" 또는 "Custom2"를 선택하십시오.**



2 **⏮ 또는 ⏭를 눌러 주파수 대역을 선택하십시오.**

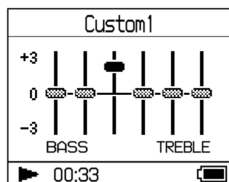
6개의 주파수 대역이 있습니다.



주파수 대역

3 **↑ 또는 ↓를 눌러 사운드 레벨을 선택하십시오.**

사운드 레벨은 7단계로 조절할 수 있습니다.



사운드 레벨

4 **나머지 주파수 대역을 조절하려면 2, 3단계를 반복하십시오.**

5 **►■를 누르십시오.**

메뉴 디스플레이가 나타납니다.

설정을 취소하려면

MENU를 눌러 메뉴 디스플레이로 돌아가십시오.
MODE를 누르고 있거나 메뉴 디스플레이에서 MENU를 누르면 1단계 전의 디스플레이로 돌아갑니다.

모드를 선택하는 디스플레이로 돌아가려면

MODE를 누르십시오.

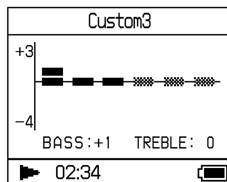
참고

- 사운드 설정으로 볼륨을 높일 때 소리가 왜곡되는 경우, 볼륨을 낮추십시오.
- "Custom1", "Custom2" 사운드 설정 및 다른 사운드 설정에서 볼륨이 서로 다를 경우, 원하는 대로 볼륨을 조절하십시오.

고음 및 저음 조정
(Digital Sound Preset)

고음 및 저음 레벨을 원하는 대로 미리 설정해 둘 수 있습니다. 디스플레이를 확인하면서 강조 설정을 조절하십시오.

1 "음질 및 설정 변경" 2단계에서 "사운드" 를 선택하고(☞ 29 페이지) "Digital Sound Preset" 에서 "Custom3" 또는 "Custom4" 를 선택하십시오.

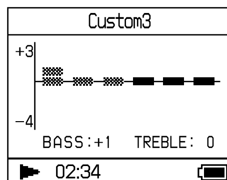


기본 설정

음질	Custom3 (S3)	Custom4 (S4)	끔 (일반 사운드)
Bass	+1	+3	±0
Treble	±0	±0	±0

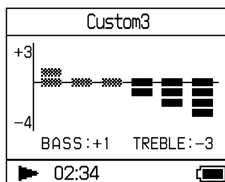
2 ⏮ 또는 ⏭를 눌러 "Treble" 또는 "Bass" 를 선택하십시오.

고음과 저음의 음질을 조절할 수 있습니다.



3 ⬆ 또는 ⬇를 눌러 사운드 레벨을 선택하십시오.

사운드 레벨은 8단계로 조절할 수 있습니다.



음질	강조 레벨
Bass	−4 ~ +3
Treble	−4 ~ +3

4 ►■를 누르십시오.

메뉴 디스플레이가 나타납니다.

설정을 취소하려면

MENU를 눌러 메뉴 디스플레이로 돌아가십시오.
MODE를 누르고 있거나 메뉴 디스플레이에서 MENU를 누르면 1단계 전의 디스플레이로 돌아갑니다.

모드를 선택하는 디스플레이로 돌아가려면

MODE를 누르십시오.

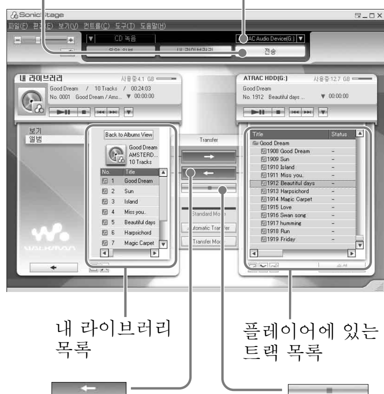
참고

- "Custom3" 또는 "Custom4" 의 그래프에서 고음 및 저음 사운드 레벨은 양쪽 끝입니다. 그 사이에 있는 레벨들은 고음 및 저음 레벨과 연결되어 자동으로 바뀌므로 각각 따로 조절할 수 없습니다.
- 사운드 설정으로 볼륨을 높일 때 소리가 왜곡되는 경우, 볼륨을 낮추십시오.
- "Custom3" , "Custom4" 사운드 설정 및 다른 사운드 설정에서 볼륨이 서로 다를 경우, 원하는 대로 볼륨을 조절하십시오.

컴퓨터에 오디오 데이터 다시 전송

오디오 데이터를 컴퓨터의 SonicStage “내 라이브러리”에 다시 전송할 수 있습니다.

“전송” “ATRAC Audio Device”



1 플레이어를 컴퓨터에 연결하십시오 (“플레이어에 오디오 데이터 전송”에서 1, 2단계 참조, ☞ 14 페이지).

2 SonicStage 창 오른쪽의 “전송”을 클릭하십시오.

화면이 전송 창으로 바뀝니다.

3 SonicStage 창 오른쪽의 전송 대상 목록에서 “ATRAC Audio Device”를 선택하십시오.

4 SonicStage 창 오른쪽의 Network Walkman 목록에서 내 라이브러리에 전송할 트랙을 클릭하십시오.

전송할 트랙을 2개 이상 선택하려면 “Ctrl”키를 누른 상태에서 트랙을 클릭하십시오. 앨범의 모든 트랙을 전송하려면 앨범을 클릭하십시오.

5 SonicStage 창에서 [←]를 클릭하십시오.

4단계에서 선택한 트랙의 전송이 시작됩니다.

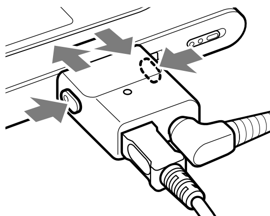
SonicStage 창에서 전송 상태를 확인할 수 있습니다.

전송을 중지하려면

SonicStage 창에서 [■]를 클릭하십시오.

플레이어에서 USB 어댑터를 분리하려면

USB 어댑터 양쪽의 회색 버튼을 누른 상태에서 안쪽으로 밀었다가 바깥쪽으로 당기십시오.

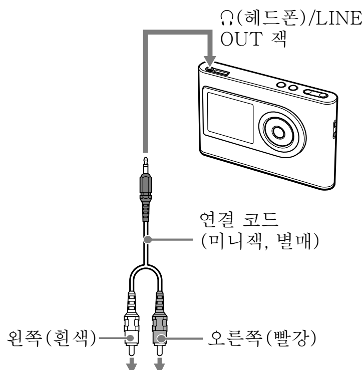


참고

- 다른 컴퓨터에서 플레이어로 전송한 트랙은 컴퓨터의 내 라이브러리로 전송할 수 없습니다.
- 데이터 전송 중에 USB 케이블 또는 USB 어댑터를 분리하지 마십시오. 전송 중이던 데이터가 삭제될 수 있습니다.

다른 장치 연결

플레이어의 트랙을 스테레오 시스템을 통해 감상하고 MiniDisc 또는 카세트 테이프에 녹음할 수 있습니다. 연결할 장치와 함께 제공된 사용 설명서를 참조하십시오.
아래 설명대로 연결하여 설정을 변경하기 전에 모든 장치의 전원을 껐는지 확인하십시오.



MiniDisc 레코더, AV 앰프, 액티브 스피커, 카세트 레코더 등

연결된 장치에서 소리를 출력하도록 메뉴 디스플레이에서 "오디오 출력" 설정을 변경해야 합니다. "오디오 출력" 설정은 다음과 같습니다. 설정 방법은 ☞ 29 페이지를 참조하십시오.

연결 장치	설정
헤드폰	헤드폰
연결 코드로 연결되어 있는 장치	라인 출력

다른 장치를 연결할 경우, "라인 출력" 으로 설정하십시오. "라인 출력" 으로 설정되어 있으면 볼륨을 조절할 수 없습니다. 또한 "사운드" 의 설정을 사용할 수 없고 작동하지도 않습니다.

참고

- 제공된 헤드폰을 플레이어에 연결할 경우, "오디오 출력" 을 "라인 출력" 으로 설정하지 마십시오. "라인 출력" 으로 설정하면 볼륨이 조절되지 않고 소리가 왜곡되거나 잡음이 발생합니다.
- 연결된 스피커에 무리가 가지 않도록 재생하기 전에 연결된 장치의 볼륨을 낮추십시오.

오디오 파일 이외의 데이터 저장

Windows 탐색기를 사용하여 컴퓨터 하드 디스크의 데이터를 플레이어의 내장 하드 디스크로 전송할 수 있습니다.
플레이어의 내장 하드 디스크는 Windows 탐색기에서 외부 장치(이동식 저장소)로 표시됩니다.

참고

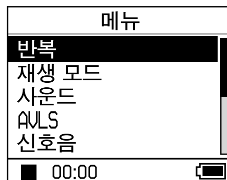
- Windows 탐색기로 플레이어의 하드 디스크를 작동하는 중에는 SonicStage를 사용하지 마십시오.
- 탐색기로 플레이어에 전송한 WAV 파일과 MP3 파일은 재생할 수 없습니다. SonicStage로 전송하십시오.
- 데이터 전송 중에 USB 케이블을 분리하지 마십시오. 전송 중이던 데이터가 손상될 수 있습니다.
- 컴퓨터에서 플레이어의 하드 디스크를 초기화하지 마십시오.

출하시 설정으로 재설정

모든 메뉴 디스플레이 설정을 출하시 설정으로 재설정합니다.

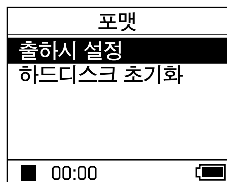
1 플레이어가 정지된 상태에서 MENU를 누르십시오.

메뉴 디스플레이가 나타납니다.



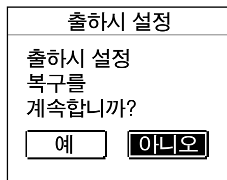
2 ↑ 또는 ↓를 눌러 "포맷"을 선택하고 ►■를 누르십시오.

포맷 디스플레이가 나타납니다.



3 "출하시 설정"을 선택하고 ►■를 누르십시오.

출하시 설정 디스플레이가 나타납니다.



4 ⏮를 눌러 "예"를 선택하고 ►■를 누르십시오.

메시지가 나타나고 포맷 디스플레이가 나타납니다.

설정을 취소하려면

4단계에서 "아니오"를 선택하고 ►■를 누르십시오. 포맷 디스플레이가 나타납니다.
MENU를 눌러 메뉴 디스플레이로 돌아가십시오.
MODE를 누르고 있거나 메뉴 디스플레이에서 MENU를 누르면 1단계 전의 디스플레이로 돌아갑니다.

MODE를 선택하는 디스플레이로 돌아가려면

MODE를 누르십시오.

참고

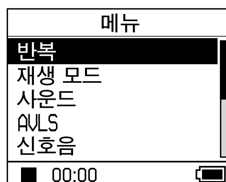
재생 중에는 출하시 설정으로 재설정할 수 없습니다.

하드 디스크 초기화

플레이어의 내장 하드 디스크를 초기화할 수 있습니다. 하드 디스크를 초기화하면 모든 오디오 데이터와 기타 데이터가 삭제됩니다. 하드 디스크를 초기화하기 전에 저장되어 있는 데이터를 확인하십시오.
초기화를 사용하여 트랙을 삭제한 경우, 플레이어를 컴퓨터에 연결하면 SonicStage가 삭제된 트랙을 컴퓨터에 다시 전송할 트랙으로 인식합니다. 따라서 남은 전송 횟수가 자동으로 증가합니다.

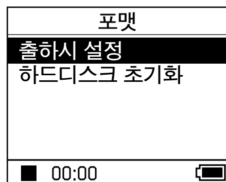
1 플레이어가 정지된 상태에서 MENU를 누르십시오.

메뉴 디스플레이가 나타납니다.



2 ⬆ 또는 ⬇를 눌러 "포맷"을 선택하고 ►■를 누르십시오.

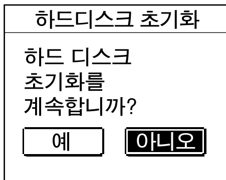
포맷 디스플레이가 나타납니다.



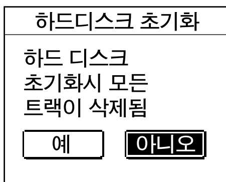
계속

3 ↓를 눌러 "하드디스크 초기화"를 선택하고 ►■를 누르십시오.

하드디스크 초기화 디스플레이가 나타납니다.



4 I◄◄를 눌러 "예"를 선택하고 ►■를 누르십시오.



5 I◄◄를 눌러 "예"를 선택하고 ►■를 누르십시오.

메시지가 나타나고 포맷 디스플레이가 나타납니다.

설정을 취소하려면

5단계에서 "아니오"를 선택하고 ►■를 누르십시오. 포맷 디스플레이가 나타납니다.
MENU를 눌러 메뉴 디스플레이로 돌아가십시오.
MODE를 누르고 있거나 메뉴 디스플레이에서 MENU를 누르면 1단계 전의 디스플레이로 돌아갑니다.

MODE를 선택하는 디스플레이로 돌아가려면

MODE를 누르십시오.

참고

- 컴퓨터에서 플레이어의 하드 디스크를 초기화하지 마십시오.
- 재생 중에는 하드 디스크를 포맷할 수 없습니다.
- 플레이어를 초기화하면 모든 오디오 데이터 및 기타 파일이 삭제됩니다.

본 제품 폐기에 관한 참고 사항

이 플레이어에는 내장형 리튬 이온 충전지가 들어 있습니다. 플레이어는 적법한 절차에 따라 폐기하십시오.

일부 국가에서는 본 제품에 전원을 공급하는 배터리의 폐기를 규제하고 있습니다. 자세한 내용은 지역 관할 기관으로 문의하십시오.

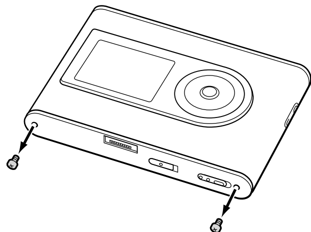
참고

- 폐기할 때를 제외하고 플레이어를 분해하지 마십시오.
- 내부의 금속 부품, 특히 부품 가장자리는 조심해서 다루십시오.

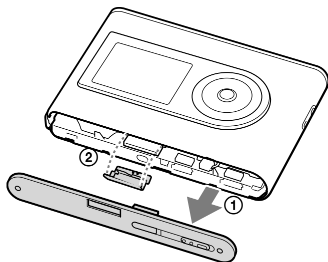
내장형 충전지를 분리하려면

1 플레이어바닥의BUILT−INBATTERY 스위치를 OFF로 미십시오.

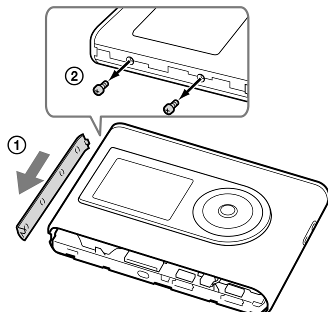
2 바닥의 나사 두 개를 푸십시오.



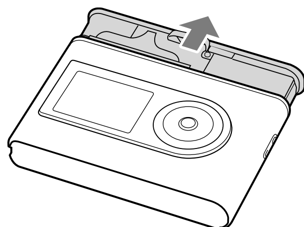
3 바닥판(①)과 USB 브래킷(②)을 분리하십시오. 필요한 경우, 핀셋과 같은 도구를 사용하십시오.



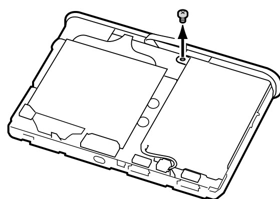
4 플레이어 옆판(①)을 밀고 옆면의 나사 두 개(②)를 푸십시오.



5 손가락으로 바닥을 플레이어 쪽으로 민 다음, 플레이어 내부를 아래의 화살표 방향으로 당기십시오.

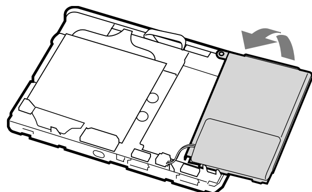


6 배터리 옆의 나사를 푸십시오.

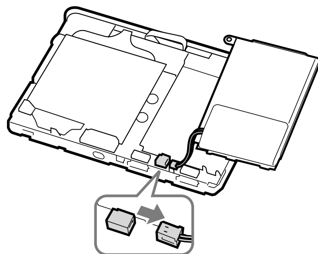


계속

7 내장형 배터리를 분리하십시오.



8 배터리와 플레이어를 연결하는 코드를 잡아당겨 커넥터에서 분리하십시오.



문제 해결

플레이어에 문제가 발생하면 다음 해결 방법을 시도해 보십시오.

1 BUILT-IN BATTERY 스위치를 OFF로 설정했다가 다시 ON으로 설정하십시오. OFF로 설정해도 데이터는 사라지지 않습니다.
2 "문제 해결"에 나온 증상을 확인하십시오.
3 문제가 계속 발생하면 가까운 Sony 대리점에 문의하십시오.

전력

증상	원인 및 해결 방법
CHG 램프가 켜지지 않습니다.	→ USB 어댑터 단자에 먼지가 끼었습니다. 부드러운 마른 천으로 닦으십시오. → 플레이어가 USB 어댑터에 연결되지 않았습니다. USB 어댑터가 제자리에 맞아 찰칵 소리가 들릴 때까지 끝까지 밀어 넣으십시오(☞ 8 페이지).
CHG 램프가 깜박입니다.	→ 온도가 적당하지 않습니다. 충전지는 주위 온도가 5 ~ 35°C인 환경에서 충전하십시오.
배터리 수명이 오래 가지 않습니다.	→ 작동 온도가 5°C 이하입니다. 배터리 특성상 발생하는 문제로 오작동은 아닙니다. → 플레이어를 장기간 사용하지 않았습니다. 충전과 방전을 반복하면 배터리 성능이 개선됩니다. → 배터리를 교체해야 합니다. 가까운 Sony 제품 대리점에 문의하십시오. → 배터리 충전 시간이 충분하지 않습니다. 빠른 재충전을 시작하기 전에 플레이어가 배터리 상태를 확인하고 보호하는 데 15분이 걸립니다. 배터리 충전이 완료되기 전에(CHG 램프가 꺼지기 전에) 중단하지 마십시오.

계속 ⟶

사운드

증상	원인 및 해결 방법
사운드가 들리지 않습니다. 잡음만 들립니다.	➔ 볼륨이 영(0)으로 설정되어 있습니다. 볼륨을 높이십시오(☞ 18 페이지). ➔ 헤드폰 플러그가 제대로 연결되어 있지 않습니다. 🎧(헤드폰)/LINE OUT 잭에 올바르게 연결하십시오(☞ 18 페이지). ➔ 헤드폰 플러그에 먼지가 끼었습니다. 헤드폰 플러그를 부드러운 마른 천으로 닦으십시오. ➔ 하드 디스크에 저장된 오디오 데이터가 없습니다.
볼륨이 커지지 않습니다.	➔ "AVLS"가 "켬"으로 설정되어 있습니다. "끔"으로 설정하십시오(☞ 30 페이지).
헤드폰 오른쪽 채널에서 사운드가 들리지 않습니다.	➔ 헤드폰 플러그가 제대로 연결되어 있지 않습니다. 🎧(헤드폰)/LINE OUT 잭에 올바르게 연결하십시오(☞ 18 페이지).
볼륨을 조절할 수 없습니다.	➔ "오디오 출력"이 "라인 출력"으로 설정되어 있습니다. 연결된 장치의 볼륨 조절기를 사용하여 볼륨을 조절하거나 "오디오 출력"을 "헤드폰"으로 설정하십시오(☞ 30 페이지).
플레이어를 스테레오 시스템과 연결하여 사용하면 소리가 왜곡되거나 잡음이 발생합니다.	➔ "오디오 출력"이 "헤드폰"으로 설정되어 있습니다. "라인 출력"으로 설정하십시오(☞ 30 페이지).
MP3 오디오 트랙을 재생하면 "사운드"의 "V-SUR" 및 "SOUND EQ"를 설정해도 사운드를 변경할 수 없습니다.	➔ MP3 오디오 트랙을 재생하는 중에는 "Digital Sound Preset"의 설정만 작동합니다(☞ 30 페이지).

작동/재생

증상	원인 및 해결 방법
버튼이 작동하지 않습니다.	➔ 버튼이 잠겨 있습니다. HOLD 스위치를 뒤로 미십시오(☞ 19 페이지). ➔ 수분 응결이 발생했습니다. 습기가 마를 때까지 몇 시간 플레이어를 다른 곳에 두십시오. ➔ 배터리의 남은 전원이 부족합니다. 배터리를 충전하십시오(☞ 8 페이지). ➔ 전원이 연결된 컴퓨터에 플레이어를 연결한 경우, 플레이어를 USB 어댑터에 연결하면 버튼이 작동하지 않게 됩니다. 플레이어와 USB 어댑터를 분리하십시오(☞ 9 페이지).
재생이 갑자기 멈췄습니다.	➔ 배터리의 남은 전원이 부족합니다. 배터리를 충전하십시오(☞ 8 페이지). ➔ 플레이어에서 재생할 수 없는 MP3 오디오 트랙 재생을 시도하면 재생이 정지됩니다. ▶▶I를 눌러 다른 트랙을 선택하십시오(☞ 19 페이지).
백라이트가 켜지지 않습니다.	➔ "백라이트"가 "끔"으로 설정되어 있습니다. "자동", "10 seconds", "30 seconds"중 하나를 선택하십시오(☞ 31 페이지).
제목에 "□"가 표시됩니다.	➔ 플레이어에 표시되지 않는 문자와 관련된 문제입니다. SonicStage 소프트웨어에서 해당 제목을 적합한 문자로 바꾸십시오.

디스플레이가 꺼집니다.	➔ 약 30초 동안(배터리 사용 시) 아무 작동도 하지 않거나 약 3분 동안(AC 전원 어댑터 사용 시) 정지 모드에 있으면 디스플레이가 자동으로 꺼집니다. 트랙 제목 등을 스크롤할 때는 스크롤이 끝나고 약 30초 또는 약 3분이 지나면 디스플레이가 꺼집니다. 또한 MENU를 계속 누르고 있어도 디스플레이가 꺼집니다. 어떠한 경우에도 아무 버튼이나 누르면 디스플레이를 다시 켤 수 있습니다.

컴퓨터와의 연결/SonicStage

증상	원인 및 해결 방법
SonicStage 소프트웨어를 설치할 수 없습니다.	➔ 운영 체제가 사용 중인 소프트웨어와 호환되지 않습니다 (☞ 10 페이지). ➔ Windows 프로그램을 모두 닫지 않았습니다. 다른 프로그램이 실행되는 동안 설치를 시작하면 오작동이 발생할 수 있습니다. 바이러스 검사 소프트웨어와 같이 많은 양의 시스템 리소스를 필요로 하는 프로그램의 경우에 특히 그렇습니다. ➔ 컴퓨터 하드 디스크의 여유 공간이 충분하지 않습니다. 200 MB 이상의 여유 공간이 필요합니다. 컴퓨터의 불필요한 파일들을 삭제하십시오.
설치가 완료되기 전에 중단된 것으로 나타납니다.	➔ 설치 창 아래에 오류 메시지가 나타나는지 확인하십시오. “Alt” 키를 누르면서 “Tab” 키를 누르십시오. 오류 메시지가 표시된 경우, “Enter” 키를 누르십시오. 설치가 다시 시작될 것입니다. 메시지가 표시되지 않는 경우, 설치가 진행 중입니다. 좀 더 기다리십시오.
컴퓨터 화면의 진행률 막대가 움직이지 않습니다. 컴퓨터 액세스 램프에 몇 분 동안 불이 들어오지 않습니다.	➔ 설치가 정상적으로 진행 중입니다. 기다려 주십시오. CD 드라이브 또는 시스템 환경에 따라 설치에 30분 이상 걸릴 수도 있습니다.
USB 케이블로 컴퓨터에 연결했는데 “PC 연결” 이 표시되지 않습니다.	➔ SonicStage 소프트웨어가 인증되는 동안 기다리십시오. ➔ 컴퓨터에서 다른 응용 프로그램이 실행 중입니다. 잠시 기다린 다음, USB 케이블을 다시 연결하십시오. 문제가 지속되면 USB 케이블을 분리하고 컴퓨터를 재시작한 다음, USB 케이블을 다시 연결하십시오. ➔ USB 케이블이 제대로 연결되지 않았습니다. USB 케이블을 분리한 다음, 다시 연결하십시오. ➔ USB 허브를 사용했습니다. USB 허브를 통한 연결은 보장하지 않습니다. USB 케이블을 컴퓨터에 직접 연결하십시오.

계속

증상	원인 및 해결 방법
플레이어를 컴퓨터에 연결했을 때 컴퓨터에서 플레이어를 인식하지 못합니다.	→ USB 어댑터가 플레이어에 올바르게 연결되지 않았습니다. USB 어댑터가 제자리에 맞아 찰칵 소리가 들릴 때까지 끝까지 밀어 넣으십시오(☞ 8 페이지). → USB 케이블이 제대로 연결되지 않았습니다. USB 케이블을 분리한 다음, 다시 연결하십시오. → USB 허브를 사용했습니다. USB 허브를 통한 연결은 보장하지 않습니다. USB 케이블을 컴퓨터에 직접 연결하십시오. → 플레이어용 드라이버 파일이 설치되지 않았습니다. 제공된 CD-ROM으로 플레이어용 SonicStage 소프트웨어를 다시 설치하여(☞ 11 페이지) 드라이버도 함께 설치되도록 하십시오. → SonicStage 소프트웨어 설치가 실패했습니다. 플레이어와 컴퓨터를 분리한 다음, 제공된 CD-ROM으로 소프트웨어를 다시 설치하십시오(☞ 11 페이지). → BUILT-IN BATTERY 스위치를 ON으로 미십시오.
컴퓨터에서 플레이어로 오디오 데이터를 전송할 수 없습니다.	→ USB 케이블이 제대로 연결되지 않았습니다. USB 케이블을 분리한 다음, 다시 연결하십시오. → 해당 트랙을 플레이어에 이미 세 번 전송했습니다. 이 트랙을 컴퓨터에 다시 전송해서 가능한 전송 횟수를 늘린 다음(☞ 34 페이지), 다시 플레이어로 전송하십시오. → 플레이어의 하드 디스크 여유 공간이 부족합니다. 불필요한 트랙을 컴퓨터로 다시 전송해서 여유 공간을 늘리십시오(☞ 34 페이지). → 플레이어의 하드 디스크로 65,535개가 넘는 트랙 또는 4,096개가 넘는 그룹을 전송했습니다. 아니면 한 그룹에 999개가 넘는 트랙을 전송했습니다. → 재생 기간 또는 재생 횟수가 제한된 트랙은 저작권 소유자가 설정한 제한으로 인해 전송이 불가능할 수 있습니다. 각 오디오 파일의 설정에 대한 자세한 내용은 배포자에게 문의하십시오.
플레이어로 전송할 수 있는 트랙의 수가 많지 않습니다 (녹음할 수 있는 시간이 짧습니다).	→ 전송을 시도한 오디오 데이터 크기에 비해 플레이어의 하드 디스크 여유 공간이 부족합니다. 불필요한 트랙을 다시 전송해서 여유 공간을 늘리십시오(☞ 34 페이지). → 오디오 데이터 이외의 데이터가 플레이어 하드 디스크에 저장되어 있습니다. 오디오 데이터 이외의 데이터를 컴퓨터로 이동하여 여유 공간을 늘리십시오.
플레이어에서 컴퓨터로 오디오 데이터를 전송할 수 없습니다.	→ 플레이어에 전송할 때 사용한 컴퓨터가 아닌 다른 컴퓨터가 전송 대상으로 선택되어 있습니다. 플레이어에 전송할 때 사용한 컴퓨터가 아닌 다른 컴퓨터에는 오디오 데이터를 전송할 수 없습니다. → 플레이어에 전송할 때 사용한 컴퓨터에서 해당 오디오 데이터가 삭제되었습니다. 플레이어에 전송할 때 사용한 컴퓨터에서 트랙을 삭제한 경우, 해당 오디오 데이터를 컴퓨터로 다시 전송할 수 없습니다.

증상	원인 및 해결 방법
오디오 데이터를 컴퓨터로 다시 전송한 다음, 플레이어를 컴퓨터에 연결했을 때 아무 작동을 하지 않았는데도 남은 전송 횟수가 늘어나는 경우가 있습니다.	➔ 플레이어 전송 시 사용한 컴퓨터가 아닌 다른 컴퓨터에 설치된 SonicStage 소프트웨어로 플레이어의 트랙을 삭제한 경우, 플레이어 전송 시 사용한 컴퓨터에 플레이어를 연결하면 해당 트랙이 컴퓨터에 자동으로 다시 전송됩니다. 따라서 남은 전송 횟수도 자동으로 늘어나게 됩니다.
컴퓨터에 연결되어 있는 동안 플레이어의 작동이 불안정합니다.	➔ USB 허브 또는 USB 연장 케이블을 사용했습니다. USB 허브 또는 USB 연장을 통한 연결은 보장하지 않습니다. USB 케이블을 컴퓨터에 직접 연결하십시오.
플레이어를 컴퓨터에 연결하면 컴퓨터 화면에 "Failed to authenticate Device/Media"라는 메시지가 표시됩니다.	➔ 플레이어가 컴퓨터에 올바르게 연결되지 않았습니다. SonicStage 소프트웨어를 종료하고 USB 케이블 연결을 확인하십시오. SonicStage 소프트웨어를 다시 시작하십시오.

기타

증상	원인 및 해결 방법
플레이어를 작동할 때 신호음이 울리지 않습니다.	➔ "신호음"이 "끔"으로 설정되어 있습니다. "켬"으로 설정하십시오(☞ 30 페이지).
플레이어 또는 USB 어댑터가 과열되었습니다.	➔ 배터리 충전 도중 또는 충전 직후에는 고속 충전의 영향으로 플레이어와 USB 어댑터가 과열될 수 있습니다. 이 밖에도 많은 수의 트랙을 전송할 때 플레이어와 USB 어댑터가 과열될 수 있습니다. 플레이어를 잠시 분리해 두십시오.
플레이어 내부에서 소리가 납니다. 플레이어가 떨립니다.	➔ 플레이어에 내장된 하드 디스크가 움직일 때 작동하는 소리가 들릴 수 있고 플레이어 진동 현상도 발생합니다. 기능에 문제가 있는 것은 아닙니다.

오류 메시지

디스플레이에 오류 메시지가 나타나면 아래 지침을 따르십시오.

메시지	의미	해결 방법
AVLS 볼륨 작동 불가	볼륨이 AVLS 최대 볼륨을 초과했습니다.	➔ "AVLS" 를 "끔" 으로 설정하십시오(☞ 30 페이지).
북마크풀	북마크 수 제한을 초과했습니다.	➔ 불필요한 북마크를 제거하십시오 (☞ 24 페이지).
작동 정지 불가	재생 중에 메뉴 디스플레이에서 "포맷" 을 선택했습니다.	➔ 재생을 정지하고 "포맷" 을 다시 선택하십시오.
정지시 작동 불가	플레이어가 정지된 상태에서 북마크를 추가하려 했습니다.	➔ 북마크는 재생 중에 추가하십시오 (☞ 24 페이지).
재생 불가 PC 연결	플레이어의 시계가 작동하지 않습니다.	➔ 컴퓨터에 연결하십시오(☞ 14 페이지).
재생 불가 트랙 오류	오디오 데이터가 손상되었습니다.	➔ 오디오 데이터를 플레이어에 다시 전송하십시오(☞ 14 페이지).
재생 불가 현재 장치 트랙	• 플레이어에서 재생이 허용되지 않은 트랙입니다. • 재생 횟수가 제한되어 있는 트랙입니다.	➔ 플레이어에서 재생이 허용되지 않은 트랙은 재생할 수 없습니다.
재생 불가 현재 위치	제한된 재생 기간 전 또는 후에 트랙을 재생하려 했습니다.	➔ 재생 기간이 제한된 트랙은 지정된 재생 기간 내에서만 재생할 수 있습니다.
충전 온도 5°C – 35°C	주위 온도가 5 ~ 35°C 범위를 벗어난 환경에서 플레이어를 충전하려고 했습니다.	➔ 주위 온도가 5 ~ 35°C인 환경에서 충전하십시오.
AC 전원 어댑터 연결	• 플레이어를 컴퓨터에 연결했는데 AC 전원 어댑터는 USB 어댑터의 DC IN 잭에 연결하지 않았습니다. • 플레이어를 컴퓨터에 연결했는데 AC 전원 어댑터는 USB 어댑터에 연결하지 않았습니다.	➔ AC 전원 어댑터를 USB 어댑터에 연결하십시오(☞ 14 페이지).
하드 디스크 쓰기 온도 5°C – 35°C	주위 온도가 5 ~ 35°C 범위를 벗어난 환경에서 플레이어에 오디오 데이터를 전송하려고 했습니다.	➔ 주위 온도가 5 ~ 35°C인 환경에서 전송하십시오.

메시지	의미	해결 방법
HDD 초기화 오류	• 플레이어의 하드 디스크가 올바르게 초기화되지 않았습니다. • 플레이어의 하드 디스크가 컴퓨터에서 초기화되었습니다. • 플레이어의 하드 디스크가 변경되어 초기화되지 않았습니다.	➔ 플레이어의 하드 디스크를 다시 초기화하십시오(☞ 37 페이지).
잠금	HOLD 스위치가 ON으로 설정되어 있습니다.	➔ HOLD 스위치를 표시된 화살표의 반대 방향으로 밀어 조절 장치의 잠금을 푸십시오(☞ 19 페이지).
라인 출력 작동 불가	"오디오 출력"이 "라인 출력"으로 설정된 상태에서 볼륨 또는 "사운드" 설정을 변경하려고 했습니다.	➔ "오디오 출력"을 "헤드폰"으로 설정하십시오(☞ 30 페이지).
배터리 부족	배터리에 남은 전원이 없습니다.	➔ 배터리를 충전하십시오 (☞ 8 페이지).
최대 그룹 수 초과	그룹(앨범, 음악가 등) 수가 제한(8,192개)을 초과했습니다.	➔ 목록 디스플레이(트랙 목록 제외)의 총 항목 수가 8,192개를 초과했습니다. MODE를 확인하여 불필요한 트랙은 컴퓨터로 전송하십시오(☞ 34 페이지).
시스템 파일 불일치	시스템 파일이 일치하지 않습니다.	➔ 플레이어의 하드 디스크를 초기화하고(☞ 37 페이지) 오디오 데이터를 플레이어로 다시 전송하십시오 (☞ 14 페이지).
데이터베이스 없음	플레이어에 전송한 트랙이 없거나 MODE 정보가 부족한 상태에서 컴퓨터에서 분리했습니다.	➔ 플레이어에 오디오 데이터를 전송하십시오(☞ 14 페이지).
트랙 없음	트랙 목록에 트랙이 없습니다.	➔ 트랙이 있는 트랙 목록으로 이동하십시오. ➔ 플레이어에 오디오 데이터를 전송하십시오(☞ 14 페이지).
시스템 오류 <No. ***> (괄호 안에 번호가 나타납니다.)	시스템 오류가 발생했습니다.	➔ 번호를 적어서 가까운 Sony 대리점에 문의하십시오.

사양

녹음할 수 있는 최대 트랙 수(대략)*

ATRAC3	ATRAC3plus	MP3
5 000 (132 kbps)	2 500 (256 kbps)	5 000 (128 kbps)
6 000 (105 kbps)	10 000 (64 kbps)	10 000 (64 kbps)
10 000 (66 kbps)	13 000 (48 kbps)	

* 4분 길이의 트랙 전송 시

샘플링 주파수

44.1 kHz(ATRAC3plus),
32/44.1/48 kHz (MP3)

오디오 압축 기술

ATRAC3plus(Adaptive Transform Acoustic Coding3plus), MP3(MPEG-1 Audio Layer-3)

응답 주파수

20 ~ 20 000 Hz
(재생 도중 신호 한 번 측정)

출력

(헤드폰)/LINE OUT* :
스테레오 미니잭/194 mV

* 헤드폰과 LINE OUT에 모두 사용되는 잭입니다.

작동 온도

5 ~ 35ºC

전원

DC IN 6 V(내장형 충전지)

배터리 수명(연속 재생)

ATRAC3plus 포맷(48 kbps): 약 30시간
MP3 포맷(128 kbps): 약 22시간

크기

돌출 부분 제외:
90.0 × 62.1 × 14.8(가장 얇은 부분 13.8) mm (w/h/d)
돌출 부분 포함:
90.8 × 63.4 × 15.7 mm (w/h/d)

무게

약 130 g

미국 및 기타 국가의 특허는 Dolby Laboratories의 소유입니다.

디자인과 사양은 통보 없이 변경될 수 있습니다.

색인

기호

A

B

C

D

H

J

L

M

N

http://www.sony.net/

Sony Corporation